

「生活者としての外国人」に対する
日本語教育の標準的なカリキュラム案

教材例集

平成24年1月31日

文化審議会国語分科会

目次

1. はじめに	1ページ
1.1 地域における日本語教育で大切なこと	1ページ
1.2 教材例集の趣旨・期待される活用方法	1ページ
1.3 教材例集の構成	5ページ
2. 教材例（※教材例は、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案（以下、「カリキュラム案」という。）から抜粋し、作成しているものであり、カリキュラム案で示した生活上の行為の事例の全てについて作成しているものではない。なお、「V 子育て・教育を行う」「VI 働く」は除いてある。）	
I 健康・安全に暮らす	
01 健康を保つ	
(01) 医療機関で治療を受ける	7ページ
(02) 薬を利用する	22ページ
(03) 健康に気を付ける	40ページ
02 安全を守る	
(04) 事故に備え、対応する	45ページ
(05) 災害に備え、対応する(地震)	55ページ
(05) 災害に備え、対応する(火事)	72ページ
II 住居を確保・維持する	
04 住環境を整える	
(07) 住居を管理する	83ページ
III 消費活動を行う	
05 物品購入・サービスを利用する	
(08) 物品購入・サービスを利用する	92ページ
06 お金を管理する	
(09) 金融機関を利用する	106ページ
IV 目的地に移動する	
07 公共交通機関を利用する	
(10) 電車、バス、飛行機、船等を利用する	116ページ
(11) タクシーを利用する	132ページ
08 自力で移動する	
(12) 徒歩で移動する	143ページ
VII 人とかかわる	
14 他者との関係を円滑にする	
(31) 人と付き合う	154ページ
VIII 社会の一員となる	
15 地域・社会のルール・マナーを守る	
(33) 住民としての手続をする	167ページ
(34) 住民としてのマナーを守る	178ページ
16 地域社会に参加する	
(35) 地域社会に参加する	188ページ
IX 自身を豊かにする	
20 余暇を楽しむ	
(44) 余暇を楽しむ	203ページ
X 情報を収集・発信する	
21 通信する	
(45) 郵便・宅配便を利用する	216ページ
(46) インターネットを利用する	227ページ
(47) 電話・ファクシミリを利用する	238ページ
3. 参考資料	
3.1 教材例集を作成する際に活用及び参考にした資料・ホームページ等	251ページ
3.2 生活上の行為の事例と能力記述	255ページ

1. はじめに

1.1 地域における日本語教育で大切なこと

日本では平成2年に施行された「出入国管理及び難民認定法」の改正以来、地域で暮らす外国人が増加しました。この2年、外国人の数は減少傾向にありますが、それでも依然 200 万人を超えています。特に最近は外国人の定住化傾向が進んでいることから、「生活者としての外国人」の側面に焦点を当てた日本語教育を実施することが求められています。そこで日本語教育小委員会において、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標を以下のように整理しました。

【目的】

言語・文化の相互尊重を前提としながら、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り生活できるようになること

【目標】

- 日本語を使って、健康かつ安全に生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、自立した生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、文化的な生活を送ることができるようにすること

上記の目的、目標を達成するための日本語の教育内容の検討と学習機会提供のための仕組みを整備することが求められています。地域で暮らす外国人は日本語学習に対するレディネス(すでに日本語学習をどの程度行っているか等)、学習適性、学習環境、在留資格、生活課題などの面において多様性があり、多様な日本語学習のニーズが存在します。そのため、日本語教育を実施する際にも、上記の目的・目標を踏まえた上で、学習者の状況やニーズを把握し、それに沿った形で日本語教育を行うこと、さらに地域住民とのつながりや社会参加を目指すようなプログラム設計や体制作りを行い、実施することが大切です。

1.2 教材例集の趣旨・期待される活用方法

1.2.1 教材例集の趣旨について

教材例集は「「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案について」(以下、「カリキュラム案」という。)を基に作成しています。

カリキュラム案とは、各地域で実施する日本語教育の具体的な内容やプログラムを検討・作成する際の基となるものであり、外国人が来日して、生活の基盤を形成する上で必要不可欠であると考えられる生活上の行為の事例、そこで必要となる日本語学習の項目・要素、関連する社会・文化的な情報などから構成されてい

ます。カリキュラム案は、各都道府県、市町村における日本語教育担当者、各地域において日本語教育のコーディネーター的役割を果たす人に活用されることを想定しています。また、コーディネーターがカリキュラム案を活用する際の参考として「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案 活用のためのガイドブック」(以下、「ガイドブック」という。)を作成し、今回、さらに教室活動を行う際の教材について検討する際の参考として本教材例集を作成しました。

「生活者としての外国人」に対する日本語教育は地域の実情・学習者の状況が様々であるため、的確に状況を把握し、地域・学習者のニーズに合わせた形で実施することが必要となります。その手順については、本教材例集の3ページで示しています(※詳細はガイドブック参照)。

教材を中心に教室活動を考えるのではなく、あくまでも地域の実情・学習者の状況に合わせた日本語教育を行うため、地域の実情・学習者の状況に合わせて本教材例集に工夫を行い、日本語教育に取り組んでください。この教材例集は「生活者としての外国人」に対する日本語教育について、その在り方を具体的な教材例の形で示したものであり、他の教材の使用を否定するものではありません。地域の実情や学習者の日本語のレディネスに合わせて、より有効な教室活動が展開されるよう他の教材や資料などを組み合わせながら教室活動を行うことを期待しています。また、地域や外国人の状況によっては「生活上の行為が日本語でできるようになる」ための活動よりも、「地域交流や居場所作り、人と人とのつながり作り」を進めることが必要な場合もあります。地域や外国人の状況、必要とされる日本語教育の形に合わせて、教材例集を活用し、地域住民とのつながりや外国人の社会参加に役立ててください。

また、この教材例集は、日本語の文法や知識に関する学習を中心に据えたものではなく、生活上の行為ができるようになることを目的として作成しています。そのため、「初級、中級、上級」といった日本語のレベルに着目し、文法や日本語の構造に関する知識を積み上げていく形を取っていません。何らかの助けがあれば、日本語を使って生活上の行為は行えるということ、レベルに応じてできる形で生活上の行為ができるようになるればよいということを前提としているためです。また、現実的に、日本語が上手になるまでの間も地域で生活をする存在であるという「生活者としての外国人」を考えているためです。来日後、間もない外国人が、日本語が上手であるかどうかにかかわらず、地域社会の中で生活するということを考え、生活上の行為ができるようになること及び自分の基本的な情報を伝え、基本的な人間関係を築く基礎を作れるようになることを目指しています。

1.2.2 期待される活用方法について

個々の「教材例」は、そのままの状態ですべての地域ですべての学習者を対象に効果的に活用できるものではありません。地域の実情、学習者の日本語のレベルに合わせて教材例の内容に手を加えたり、多言語情報を活用したり母語話者の協力を得たりする等、工夫を行うことが必要となります。学習者のニーズや地域ならではの情報を調べ、それに対応させた内容に加工していくことが重要です。また、教材例集の(01)から順番に使う必要もありません。学習者の状況、ニーズ等を見ながら、必要な部分を選択して使用することが大切です。

また、その際、ガイドブックの4ページにあるように、「地域・学習者に応じた教育内容の選択と工夫」、「専門家・地域住民との協働」、「行動・体験中心の活動」、「対話による相互理解の促進」を意識したプログラムを作成し、それに合わせた教材を作成してください¹。

また、この教材例集では「指導者」、「協力者」という言葉を次のように使っています。

指導者…日本語教室で学習者に日本語を教える、あるいは教室活動を中心的に行う人のこと。

協力者…地域住民や学習者の母語が分かる人や外国人のことを指し、教室活動に協力してくれる人のこと。

指導者だけでなく、多様な人が教室活動に参加し、教室活動を通じて人間関係を広げていくことが学習者の地域社会への参加の助けとなると同時に、地域住民が外国人の置かれている状況や外国人とのコミュニケーションについて学ぶよい機会となります。協力者として教室活動に参加してくれる人は地域により異なりますが、適宜、地域の状況に合わせて日本語教育プログラムを企画してください。なお、本教材例集は文化庁ホームページからダウンロードすることが可能です。

¹ 本教材例集に掲載しているイラスト・写真は、日本語教育用の教材を作成する場合に限り、出典を明記の上、利用することが可能です。出典は本教材例ではなく、本教材例で個々のイラスト・写真について示しているURLとなります。イラスト・写真の使用に当たり、使用料は発生しません。

ただし、本教材例集に掲載した写真・イラストを再利用して、営利目的で教材を作成する場合は、それぞれのイラスト・写真の著作権所有者に連絡を行い、使用条件や使用料等について確認を行う必要がありますので御注意ください。(転載元のURLが示されていないイラスト・写真の著作権は文化庁が有します。)また、著作権所有者の同意なく、イラスト・写真に修正・加工を加えたものを使用することはできません。

1.3 教材例集の構成

1.3.1 教材例集の内容

教材例集はカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例(12～13 ページ)から、分野が偏らないように選択し、教材の例を作成したものです。教材例集で取り上げていることを学べば、生活上の基盤が形成されるというわけではありません。

また、「V 子育て・教育を行う」と「VI 働く」は、全ての「生活者としての外国人」に必要ではないので、カリキュラム案や教材例集からは除いています。必要に応じて取り扱ってください。カリキュラム案で取り上げていない生活上の行為の事例を含め、本教材例集を参考に各地域で教材が作成されることを期待しています。

1.3.2 各シート内容及び使い方について

各教材例は、それぞれ1ページ目で取り上げる生活上の行為の事例、目標・ねらいなど、各教材例の概要を示しています。なお、生活上の行為の事例に付けている数字は、標準的なカリキュラム案と同じものです。その後、具体的に教室活動で使用するシートとして「写真・イラストシート」「活動シート」「ことば・表現シート」「別表、参考資料等」「指導ノート」を付けています。

○写真・イラストシート

写真・イラストシートは、その教材例で取り上げる生活上の行為の事例をイメージできるような写真・イラストを取り上げています。

○活動シート

活動シートは、その教材例で取り上げている生活上の行為の事例ができるようになるための活動例を取り上げています。

○ことば・表現シート

ことば・表現シートは、その教材例で取り上げている生活上の行為の事例に関連することば・表現を取り上げています。全てを覚えなないといけないわけではありません。学習者や地域の状況に応じて必要なものを必要なときに取り上げてください。

○別表、参考資料等

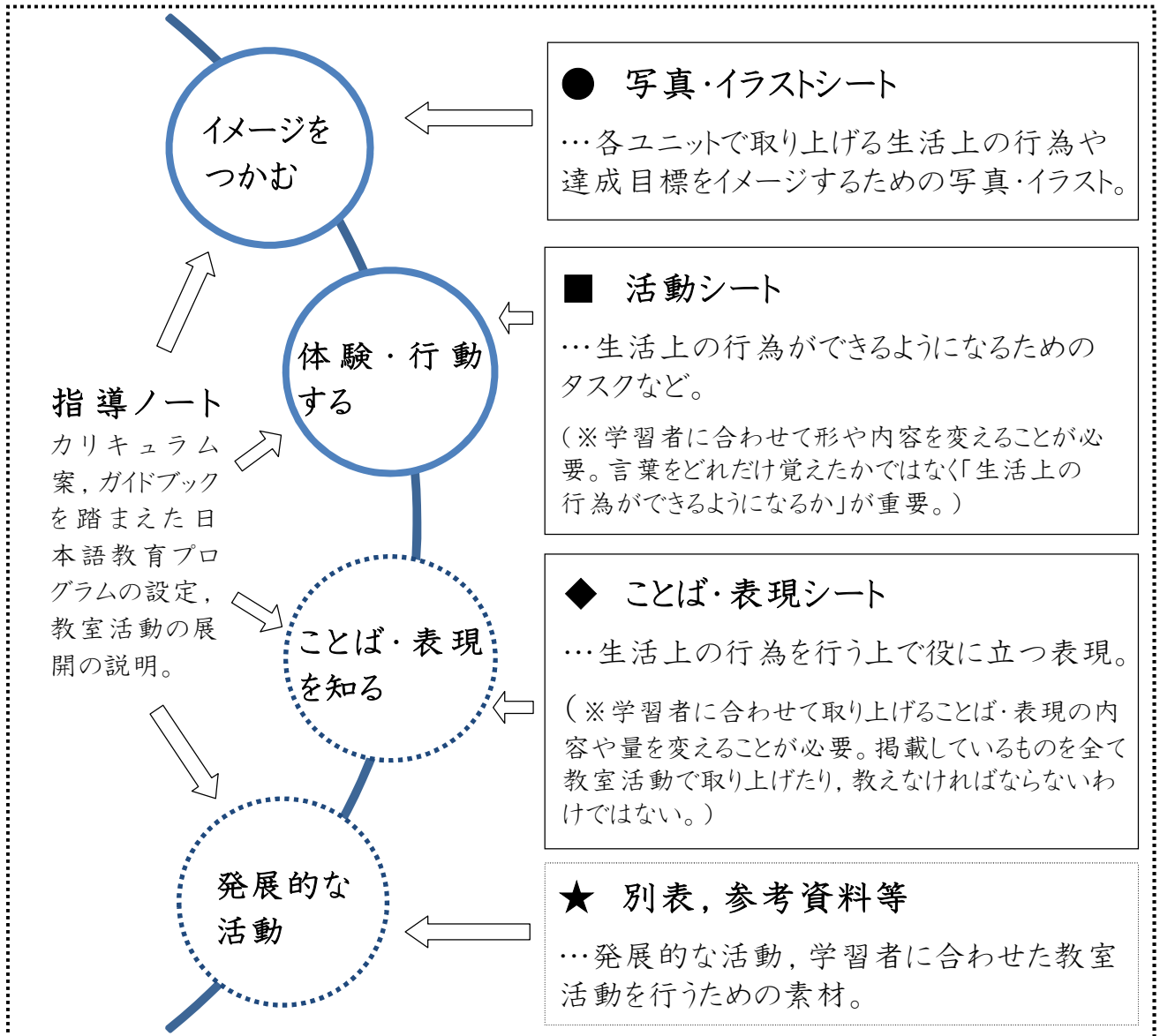
別表、参考資料等は、発展的な活動を行うときに、参考になるシートです。

○指導ノート

指導ノートは、その教材例の活用の仕方、修正の仕方など地域の状況や学習者の状況に合わせた教室活動を行う際のヒントをまとめています。

なお、各シートで取り上げる内容と全体の構成は次のページの図のようになります。

各教材例の構成の図

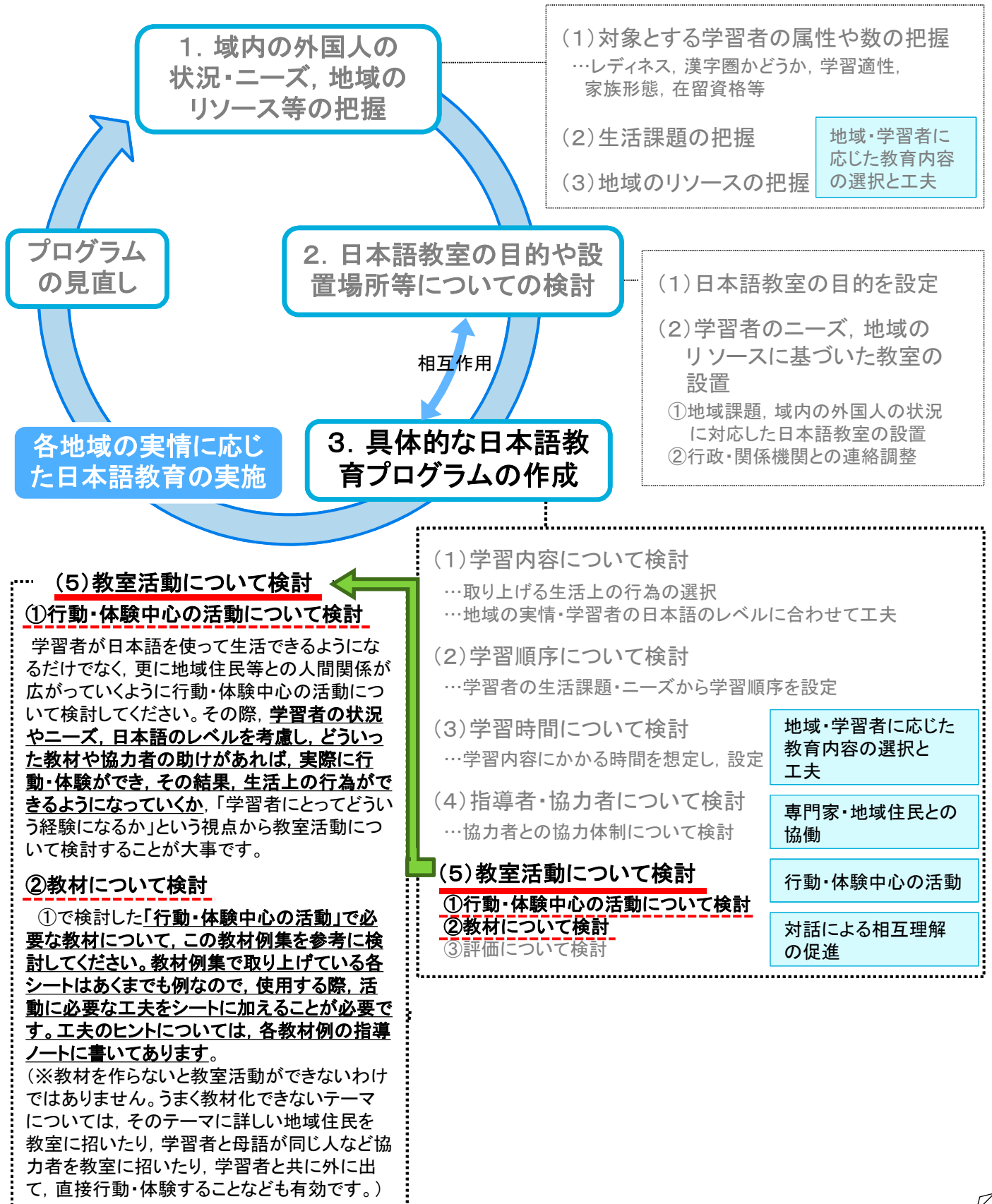


※●, ■, ◆, ★について, 各教材例の対応するシートにも同じ印を付けています。

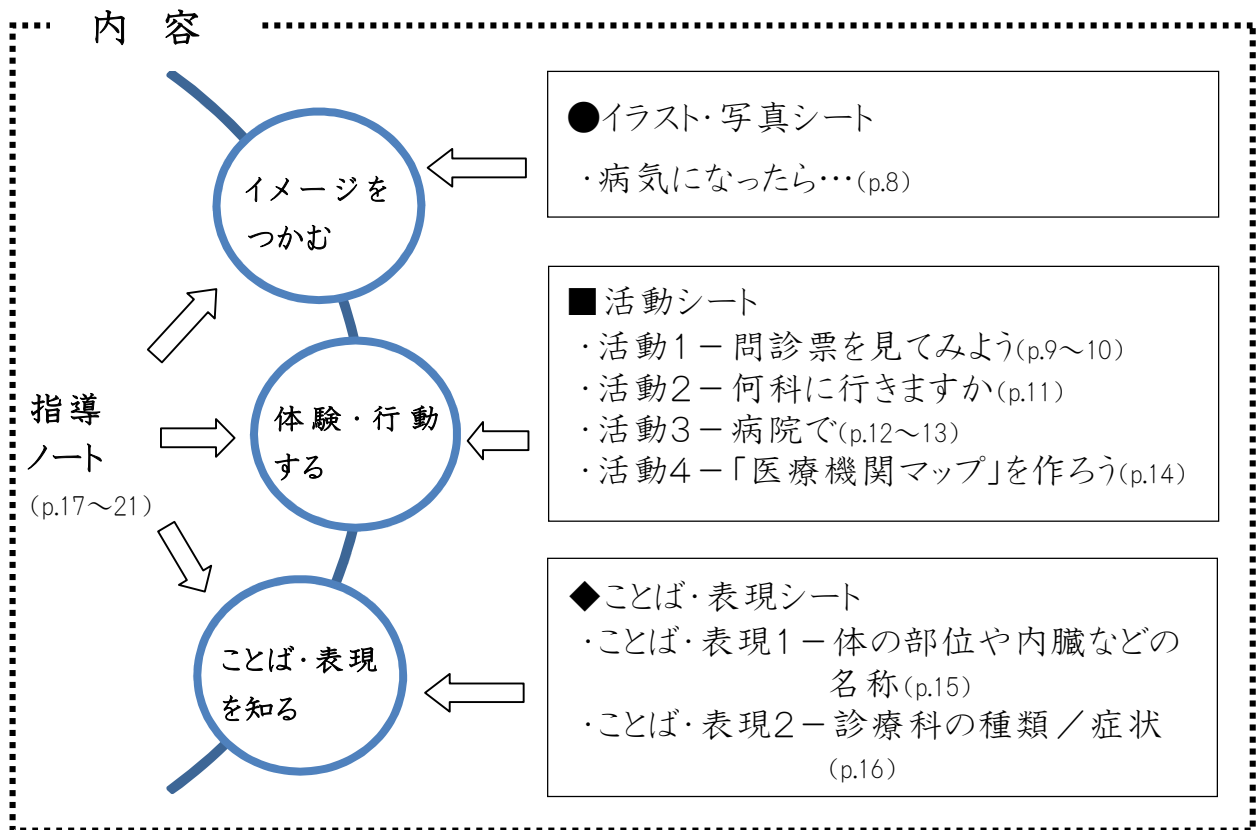
※「ことば・表現を知る」, 「発展的な活動」の点線は教材例によっては, 対応するシートがないことを意味します。

日本語教育プログラムの作成手順における教材の位置付けについて

(※ガイドブック 7ページより。赤字部分は教材に関する部分。)



(01) 医療機関で治療を受ける



取り上げる生活上の行為の事例

- (0102010)「初診受付で手続をする」
- (0103010)「医者診察を受ける」
- (0103120)「病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する」

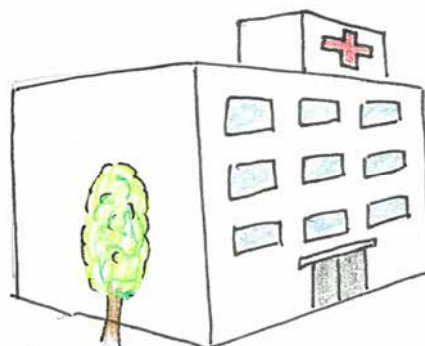
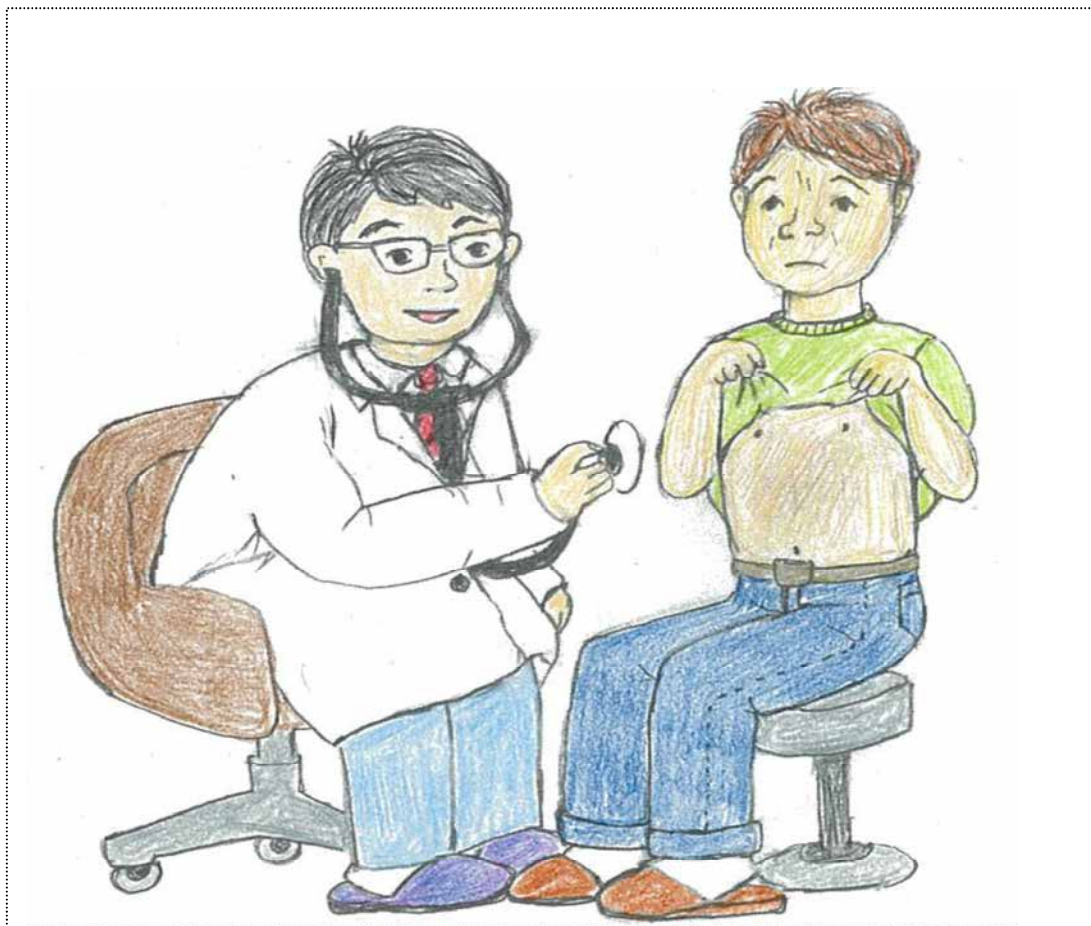
教室活動の目標

- ・病気やけがのとき、医療機関で治療を受けることができる

教室活動のねらい

- ・症状を伝えることができる
- ・医者診察、指示が理解できる
- ・病気への対処法・生活上の注意を尋ねる
- ・病気への対処法・生活上の注意を理解できる
- ・地域での医療機関の活用について話し合うことができる

● 病気(びょうき)になったら…



■ **活動1 - 問診票を 見てみよう**

英語

INTERNAL MEDICINE 内科問診票

Check (✓) all corresponding answers. year 年 month 月 day 日

Name 名前	<input type="checkbox"/> Male 男 <input type="checkbox"/> Female 女	Date of birth: 生年月日 ____ year 年 ____ month 月 ____ day 日
Address 住所	Phone 電話	
Do you have health insurance? 健康保険を持っていますか?		
<input type="checkbox"/> No 無 <input type="checkbox"/> Yes 有		
Nationality 国籍	Language 言葉	

What is wrong with you? どうしましたか

<input type="checkbox"/> fever (____で) 熱がある	<input type="checkbox"/> headache 頭痛	<input type="checkbox"/> sore throat 喉が痛い
<input type="checkbox"/> cough 咳	<input type="checkbox"/> palpitation 心悸	<input type="checkbox"/> chest pain 胸痛
<input type="checkbox"/> rash 発疹	<input type="checkbox"/> dizziness めまい	<input type="checkbox"/> shortness of breath 息切れ
<input type="checkbox"/> swelling むくみ	<input type="checkbox"/> stomachache 胃痛	<input type="checkbox"/> tightness in chest 胸の圧迫感
<input type="checkbox"/> abdominal pain 腹痛	<input type="checkbox"/> excessive thirst 口渇	<input type="checkbox"/> high blood pressure 高血圧
<input type="checkbox"/> numbness しびれ	<input type="checkbox"/> abdomen feels swollen 腹が張っている感じ	<input type="checkbox"/> weight loss 体重の減少
<input type="checkbox"/> vomiting 嘔吐	<input type="checkbox"/> nausea 吐き気	<input type="checkbox"/> loss appetite 食欲不振
<input type="checkbox"/> bloody stool 血便	<input type="checkbox"/> feel heavy だるい	<input type="checkbox"/> diarrhea 下痢
<input type="checkbox"/> others その他		<input type="checkbox"/> tire easily 疲れやすい

* How long have you had problems? それはいつごろからですか
Since ____ year 年 ____ month 月 ____ day 日から

Have you ever been allergic to medication or food? 薬や食物等でアレルギーを生じたことがありますか
 No 無 Yes 有 → medication 薬 food 食物 others その他

Are you presently taking medication? 現在飲んでいる薬はありますか
 No 無
 Yes 有 → if you have any with you now, please show them to me. 持っていれば見せてください

Questions for women: 女性の方への質問です

* Are you pregnant or do you have a possibility of pregnancy?
妊娠していますか、またその可能性はありますか
 No いいえ Yes はい → ____ months ヶ月

* Are you presently breastfeeding? 授乳中ですか
 No いいえ Yes はい

What illnesses have you had in the past? 過去にどのような病気をしましたか

<input type="checkbox"/> stomach and intestinal disorder 胃腸の病気	<input type="checkbox"/> liver disease 肝臓の病気
<input type="checkbox"/> heart disease 心臓の病気	<input type="checkbox"/> kidney disease 腎臓の病気
<input type="checkbox"/> diabetes 糖尿病	<input type="checkbox"/> asthma 喘息
<input type="checkbox"/> AIDS エイズ	<input type="checkbox"/> thyroid problem 甲状腺の病気
<input type="checkbox"/> tuberculosis 結核	<input type="checkbox"/> high blood pressure 高血圧症
<input type="checkbox"/> others その他	

* Has this disease been cured? その病気は治りましたか
 No いいえ Yes はい

Have you ever had any operations? 手術を受けたことがありますか
 No いいえ Yes はい

Have you ever had a blood transfusion? 輸血を受けたことがありますか
 No いいえ Yes はい

produced by 国際交流センター海外台 | created by DIGITALUM project/H-Illusion Mill

担当医・支援者の方々へ

この問診票は、在日外国人医師やボランティアによって作成されたものを、インターネットを通じてのネットワークを通じて、無料で配布しているものです。無償で提供しては、できる限りの正確さを求めています。間違い等が見つかりましたら、速にお知らせください。インターネット上で配布しております。またインターネットサイトには、この問診票の日本語版の問診票、英語版の問診票などがありますので、必要に応じてご利用ください。また、翻訳の間違いや、追加したほうがよい質問事項等がございましたら下記のサイトでメールで情報をいただければ幸いです。

<http://www.k-i-a.or.jp/medical/> 2003年3月発行

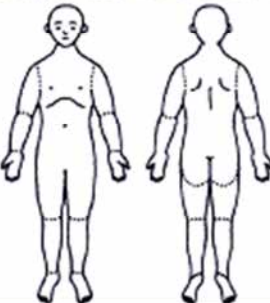
※ 多言語医療問診票 <http://www.mm.jp.or.jp/konan-international-lounge/jmonshin/top.htm>
及び <http://www.k-i-a.or.jp/medical/>

骨科问诊表

整形外科問診票

年 月 日

姓名 名前	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年齢
住址 住所	电话 電話	
是否持有健康保険証	健康保険を持っていますか	
<input type="checkbox"/> 有 はい	<input type="checkbox"/> 没有 いいえ	
国籍		

有何症状? どうしましたか (请在图上标出其位置) (その箇所に印をつけてください)	<input type="checkbox"/> 疼痛 痛み <input type="checkbox"/> 外伤 けが <input type="checkbox"/> 肿胀 腫れ <input type="checkbox"/> 肿块 しこり <input type="checkbox"/> 麻木 しびれ <input type="checkbox"/> 扭伤 ひねった <input type="checkbox"/> 其他 その他
	何时开始的? いつ頃からですか 月 日
是否有药物或食物过敏史 <input type="checkbox"/> 无 いいえ <input type="checkbox"/> 有 はい	薬や食物でアレルギーを生じることがありますか <input type="checkbox"/> 药物 薬 <input type="checkbox"/> 食物 <input type="checkbox"/> 其他 その他
是否正在服药? <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい	現在毎日飲んでいる薬がありますか 如隨身攜帶, 請給醫生看一下 持っていれば見せてください
请问女性患者 女性に聞きます 现在是否正在怀孕或可能怀孕 <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい	妊娠していますか、また可能性はありますか 一几个月 何ヶ月
是否正在哺乳 <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい	授乳中ですか
迄今为止曾患过何种疾病? <input type="checkbox"/> 肠胃病 胃腸の病気 <input type="checkbox"/> 肝脏病 肝臓の病気 <input type="checkbox"/> 心脏病 心臓の病気 <input type="checkbox"/> 肾脏病 腎臓の病気 <input type="checkbox"/> 结核病 結核 <input type="checkbox"/> 高血压 高血圧症 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 甲状腺疾患 甲状腺の病気 <input type="checkbox"/> 哮喘 喘息 <input type="checkbox"/> 艾滋病 エイズ <input type="checkbox"/> 其他 その他	今までにかかった病気はありますか
所患疾病是否已治愈? <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい	その病気は治りましたか
是否接受过手术治疗? <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい	手術を受けたことがありますか
是否接受过输血? <input type="checkbox"/> 否 いいえ <input type="checkbox"/> 是 はい	輸血を受けたことがありますか

■ 活動2 - 何科(なに)に 行(い)きますか

○「多言語(たげんご)医療問診票(いりょうもんしんひょう)」で、ことばを 確認(かくにん)しましょう。線(せん)で つなぎましょう。

どこへ 行(い)きますか。

け 外
科

ない 内
科

しょう 小
児科

さん 産
婦人科

ひ 皮
膚科

せい 整
形外科



どう しましたか。

(a) せき が 出
る

(b) やけど

(c) はつねつ
(熱が ある)

(d) めまいが する
(目が まわる)

(e) はっしん
(ブツブツが ある)

(f) こし を う
った
(打撲 した)

(g) なか が いた

■ 活動3－病院で

かいわれい
(1)会話例1

うけつけ
(受付で)

A さん : あのう、初めて なんですが。

うけつけ ひと しんもん
受付の人 : 初診ですね。こちらの 問診票に
きにゅう
記入してください。

A さん : (多言語医療問診票を 渡しながら)
か
これ、書いてきました。



かいわれい
(2)会話例2

しんさつしつ
(診察室で)

い し
医 師 : どうしましたか。

A さん : (多言語医療問診票を 見せながら)

きのう あたま いた
昨日から 頭が 痛いです。

ねつ
熱が あります。

い し
医 師 : 口を 大きく 開けてください。

いつかぶん くすり
かぜですね。5日分の 薬を
だ
出しておきます。



かいわれい
(3) 会話例3

しんさつしつ
(診察室で)

い し 師： どうしましたか。

B さん： (多言語医療問診票を見せながら)

ころん で あしぐびが いたい んです。

い し 師： ちょっと 見せてください。

B さん： ここです。

い し 師： 少し はれていますね。

れんとげん を と 撮りましょう。

B さん： はい。



しんさつしつ
(診察室で)

い し 師： (レントゲン写真を見せながら)

ほね に いじょう は ありません。

ねんぎ ですね。しっぷ薬を
だ 出しますから、はってください。

B さん： あのを、お風呂に 入っても

だいじょうぶ 大丈夫でしょうか。

い し 師： 今日はお風呂に 入らないでください。

らいしゅう また 来てください。



かつどう いりょうきかんまっぷ つく
■ 活動4-「医療機関マップ」を作ろう

(1)みんなで まちの 病院や 医院について 話しましょう。

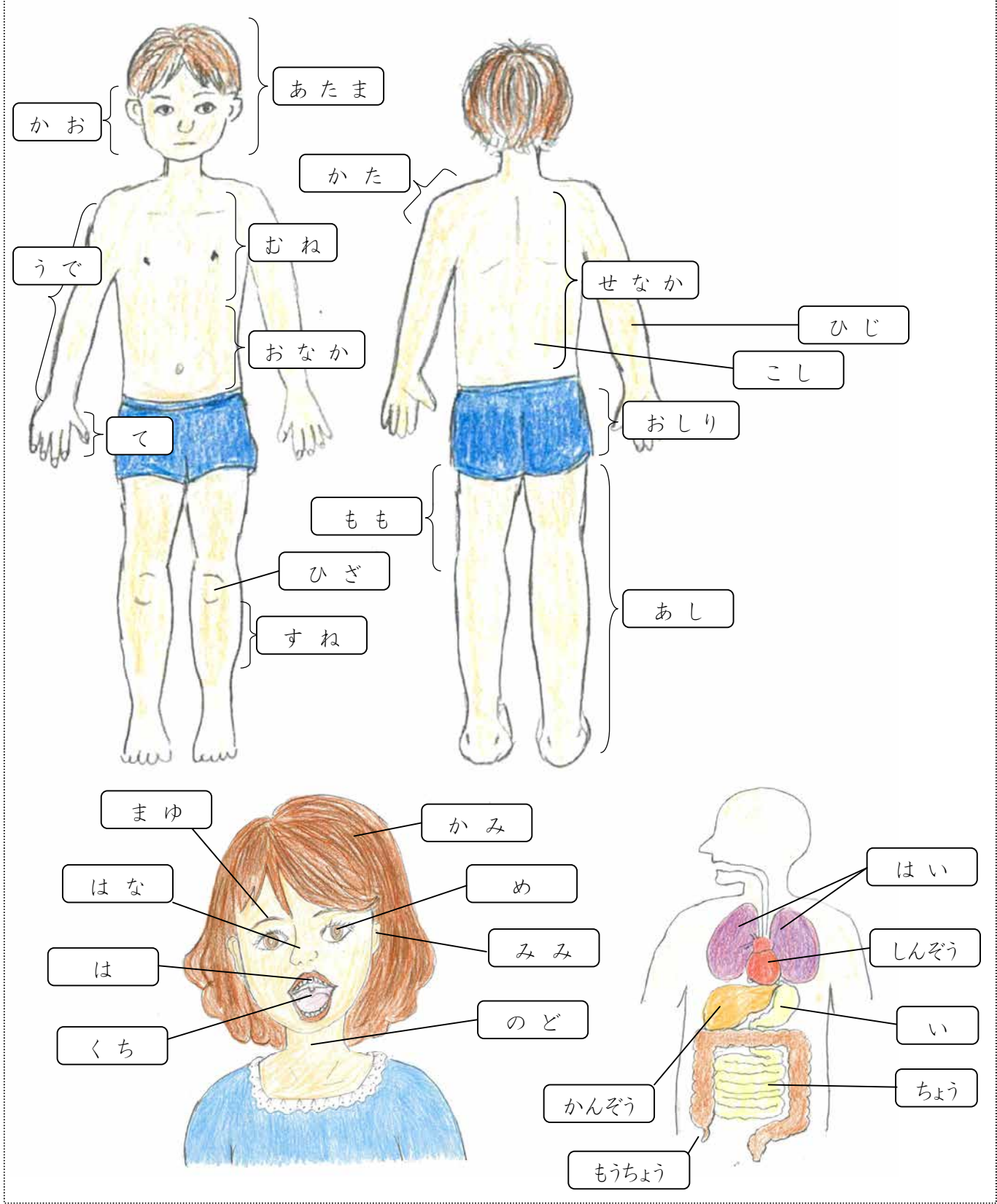
- ・ どの病院・医院に 行ったことが ありますか。
- ・ ことばの サポートがある 病院は どこですか。
- ・ 多言語医療問診票が 使える 病院は どこですか。

(2)教室の 人たちと 一緒に まちの 病院や 医院の 情報を 集めて、
地図を 作ってみましょう。



※NPO 法人国際交流ハーティ港南台(2001)『外国人のための多言語医療マップ』

◆ ^{ひょうげん}ことば・^{からだ}表現1-^{ぶ い}体の^{ないぞう}部位や^{めいしょう}内臓などの名称



◆ ことば・表現2－診療科の種類 / 症状

(1) 診療科の種類

- ・眼科(がんか)
- ・皮膚科(ひふか)
- ・外科(げか)
- ・脳神経外科(のうしんけいげか)
- ・産婦人科(さんふじんか)
- ・耳鼻咽喉科(じびいんこうか)
- ・内科(ないか)
- ・整形外科(せいけいげか)
- ・小児科(しょうにか)
- ・歯科(しか)

(2) 症状

- ・頭が痛い(あたまがいたい)
- ・歯が痛い(はがいたい)
- ・喉が痛い(のどがいたい)
- ・くしゃみが出る(くしゃみがでる)
- ・鼻水が出る(はなみずがでる)
- ・鼻つまり(はなつまり)
- ・鼻がムズムズする(はながむずむずする)
- ・花粉症(かふんしょう)
- ・やけど
- ・捻挫(ねんざ)
- ・下痢(げり)
- ・熱がある(ねつがある)
- ・腰を打った(こしをうった)
- ・寒気がする(さむけがする)
- ・目が赤い(めがあかい)
- ・発疹がある(はっしんがある)
- ・かゆい
- ・食欲がない(しょくよくがない)
- ・吐く(はく)
- ・嘔吐する(おうとをする)
- ・気分が悪い(きぶんがわるい)
- ・出血がある(しゅっけつがある)
- ・頭痛(ずつう)
- ・歯痛(しつう)
- ・咳が出る(せきがでる)
- ・鼻血が出る(はなちがでる)
- ・鼻がつまる(はながつまる)
- ・発熱(はつねつ)
- ・打撲した(たぶくした)
- ・ブツブツがある(ぶつぶつがある)
- ・もどす
- ・ムカムカする(むかむかする)
- ・めまいがする

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0102010)「初診受付で手続をする」
- (0103010)「医者診察を受ける」
- (0103120)「病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する」

教室活動の目標

- － 病気やけがのとき、医療機関で治療を受けることができる。

教室活動のねらい

- － 症状を伝えることができる。(活動1, 活動2, 活動3)
- － 医者診察, 指示が理解できる。(活動3)
- － 病気への対処法・生活上の注意を尋ねる。(活動3)
- － 病気への対処法・生活上の注意を理解できる。(活動3)
- － 地域での医療機関の活用について話し合うことができる。(活動4)

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の居住地の主要な病院の情報, 医療機関の種類
- － 外国人診察に評判が高い診療所の情報
- － 医療通訳サービスの情報
- － 多言語医療問診票, 診療科目
- － 受診の流れ, 医療保険制度など

準備する素材

- － 学習者の母語で書かれた問診票
- － 症状を表わす絵カード
- － おもちゃの聴診器, 喉を照らすライト, 白衣など診療場面用の小道具
- － 日本の医療に関する多言語情報(学習者の理解できる言語の翻訳)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・病気になったら…(p.8)

- ・「イラスト・写真シート」(p.8)を提示しながら、学習者に病気をした経験や、病院や医院で診察を受けた経験について尋ね、話してもらいます。どんな症状で、どの病院(医院)にかかったか、医者とどのようにコミュニケーションしたかなどを話してもらえるように引き出します。

< 問いかけ例 >

- 「ここはどこですか。何をしていますか。」
- 「どんなとき、病院に行きますか。」
- 「〇〇さんは、日本で病院に行ったことがありますか。」
- 「一人で行きましたか。」
- 「日本語でお医者さんと話をしましたか。」

体験・行動する

- 活動シート
- ・活動1－問診票を見てみよう(p.9～p.10)

- ・多言語医療問診票の紹介
- ① 事前に多言語医療問診票のホームページから、学習者の母語の問診票(内科, 小児科, 整形外科, 外科, 耳鼻科, 眼科, 皮膚科, 産婦人科, 脳神経外科, 歯科)をダウンロードし、配布できるように準備しておきます。

「多言語医療問診票」((NPO 法人国際交流ハーティ港南台)

<http://www.k-i-a.or.jp/medical/>

及び <http://www.mmjp.or.jp/konan-international-lounge/jmonshin/top.htm>

からダウンロードすることができます。(詳細は『カリキュラム案』p.113 参照)

- ② イラスト・写真シートで話を進めながら、「これを使ったことがありますか」と多言語医療問診票を提示し、学習者に配布します。

- ③ 内科，小児科，整形外科，外科，耳鼻科，眼科，皮膚科，産婦人科，脳神経外科，歯科の問診票をそれぞれ参照しながら，診療科の名前と意味を確認します。
- ④ 問診票はインターネットでダウンロードできることを伝え，URLを知らせておくといでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－何科に行きますか(p.11)

- ・「何科に行きますか」の活動シートを使って，症状の表現を確認します。
- ① 学習者に活動シートを配布します。
 - ② 指導者は活動シートの絵を指しながら，学習者に「どこへ行きますか？」と問いかけて，まずはかかるべき診療科を学習者に特定してもらうよう促します（指導者は活動シートの絵を拡大コピーして1枚ずつカード状にして，学習者に提示できるようにしておく，より進めやすいでしょう）。
 - ③ 学習者が診療科の問診票の多言語訳を参照しながら，該当する症状の表現を見つけたら，発音を確認しながら，絵と，症状の表現と，診療科の名称を線で結んでもらうようにします。
 - ④ 活動シートでのマッチングが終わったあと，カードを使ってカルタ形式で，症状の名前を言ってカードを取るゲームをしてもよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－病院で(p.12～13)

- ① 活動3の会話のデモンストレーションをします（指導者と学習者，あるいは，教室に地域からの協力者がいれば会話に参加してもらうとよいでしょう）。
- ② 学習者は2人1組のペアになり，会話例1・会話例2・会話例3を実演練習します。
- ③ 活動2の症状の表現の絵を拡大コピーして切り離し，絵カード状にしたものを指導者は準備しておきます。これらのカードから，学習者に1枚引いてもらいます。

④ カードを引いた学習者は、カードに示された症状に合わせて、会話例1、会話例2、会話例3を適宜アレンジして、実演します。

- ・ おもちゃの聴診器，喉を照らす豆ライトなどを準備して小道具として使用するとよいでしょう。
- ・ 学習者のレベルに応じ，内容は調整してください。日本語がほとんどできない学習者の場合は，多言語医療問診票を使って，最低限のことを伝えることができる方法を優先して示してください。
- ・ 学習者に，自分でどう表現したらよいかわからなかった症状，医師に言われたけれどよく理解できなかったことなどを聞いてもよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動4-「医療機関マップ」を作ろう(p.14)

教室に参加している学習者，指導者(および可能であれば協力者も含め)で，地域の病院や医院について情報を出し合い，地域の「医療機関マップ」の作成を試みてみます。

- ① 学習者に，行ったことのある病院・医院の名前を挙げてもらい，そのときの体験を語ってもらいながら，その機関の特徴や，多言語サポート状況等をリストアップしていきます。
- ② まちの地図にそれぞれの医療機関の場所を示し，適宜情報も加えたシートを作成します。この地図を改訂して充実させていくことを，教室全体のプロジェクトとしてもよいでしょう。日本人の協力者が外国人に対する医療サービスの状況を知り，状況の改善の方法について共に考え行動していくきっかけとしていくことも考えられます。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

- ・ことば・表現1-体の部位や内臓などの名称(p.15)
- ・ことば・表現2-診療科の種類/症状(p.16)

- ・ 体の部位や内臓の名称は診察時に，症状を訴える時に必要なことばです。絵を

見せて、学習者が必要なことばを与えるといいでしょう。ことばに慣れたら、次に、p.16の症状の表現とともに学習するといいでしょう。

- ・多言語医療問診票は診療科目ごとにあります。診療科目の名前と意味を確認させてください。症状によって、どの診療科を選ぶか考えさせて活動2を行います。
- ・問診票を見せて、学習者が分からないことばを聞いてきたら、意味とともに確認するとよいでしょう。

【参考情報】『日本語学習・生活ハンドブック』(文化庁)

医療機関

【医院・診療所・クリニック】

地域の小規模な病院。具合が悪くなったら、まずここに行きましょう。

【総合病院】

複数の診療科がある大きな病院。

受診の流れ

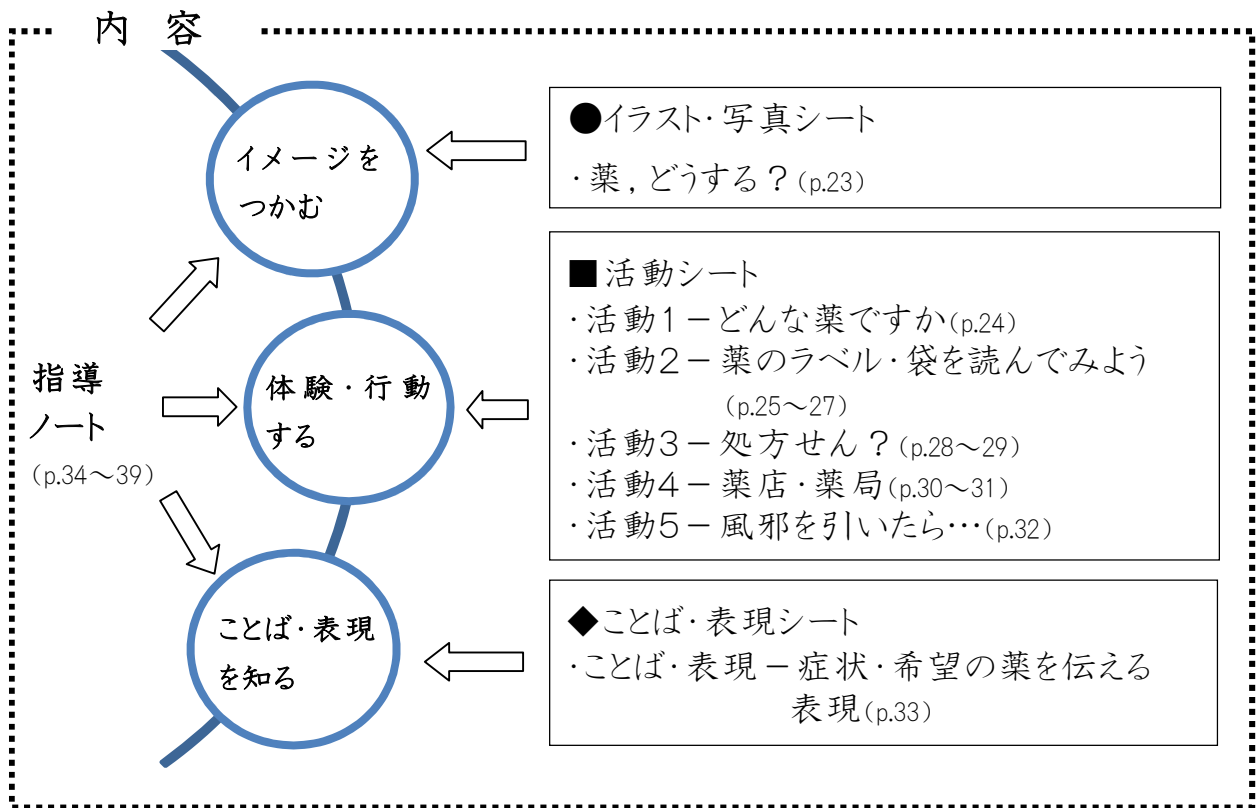
医療機関によって違いますので、大体の参考にしてください。歯科など予約制の医療機関もありますが、当日の受付順での診察が多いです。

	医院・診療所・クリニック	総合病院
初診のとき	①受付で保険証(→P.25)を出して、「初めて」だと言います。 ②問診票を書きます。分からないときは「日本語が分かりません」と言ってください。 ③待合室で名前が呼ばれるのを待ちます。 ④名前を呼ばれたら、診察室へ入って診察を受けます。	①総合受付で、診療申込書に必要事項を書いて、保険証と一緒に出します。 ②受付順に名前が呼ばれます。カルテを受け取って、受診科の受付にカルテを出して、受診科の近くで待ちます。 ③問診票を書きます。 ④名前が呼ばれたら、診察室へ入って診察を受けます。
再診のとき	①診察券(月が変わったら保険証も)を受付に出します。 ②待合室で名前が呼ばれるのを待ちます。	①直接、受診する科へ行って、診察券(月が変わったら保険証も)を出します。総合受付に再診受付機があるときは、それで受付します。 ②受診科の近くで名前が呼ばれるのを待ちます。
診察のあとで	①待合室に戻って待ちます。 ②名前を呼ばれたら、処方箋、診察券、保険証をもらって支払をします。 ③調剤薬局に行って処方箋を渡して薬をもらいます。薬代は診療費と別に払います。	①料金支払窓口(総合窓口と別のことがあります)で待ちます。 ②名前を呼ばれたら、処方箋、診察券、保険証をもらって支払をします。 ③調剤薬局に行って処方箋を渡して薬をもらいます。薬代は診療費と別に払います。

医療保険

	国民健康保険	健康保険
対象	日本に1年以上住む人	就労できる在留資格をもち会社などで働く人
手続	市区町村の役所でします	会社が手続をします
保険料	全額自己負担	源泉徴収 (50%は会社が負担します)
病気・けがのとき	本人と家族は3割の自己負担で治療が受けられます (3歳以上 → 2割 70歳以上 75歳未満 → 1割)	仕事以外の病気・けがは左と同じです 仕事中の病気・けがは労災の対象です(→P.29)
高額医療費制度	1か月の医療費の自己負担額が高額になったときに、申請するとその一部が後日払い戻されます	
そのほか	保険証が交付されます	

(02) 薬くすりをりよう利用する



取り上げる生活上の行為の事例

- (0201020)「医療機関で処方せんをもらい, 内容を確認する」
- (0202050)「症状を説明し, 薬を求める」
- (0203070)「薬剤師等の「効能, 用法, 注意」の説明を理解する」

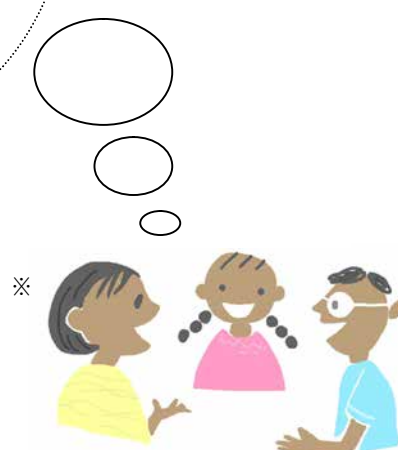
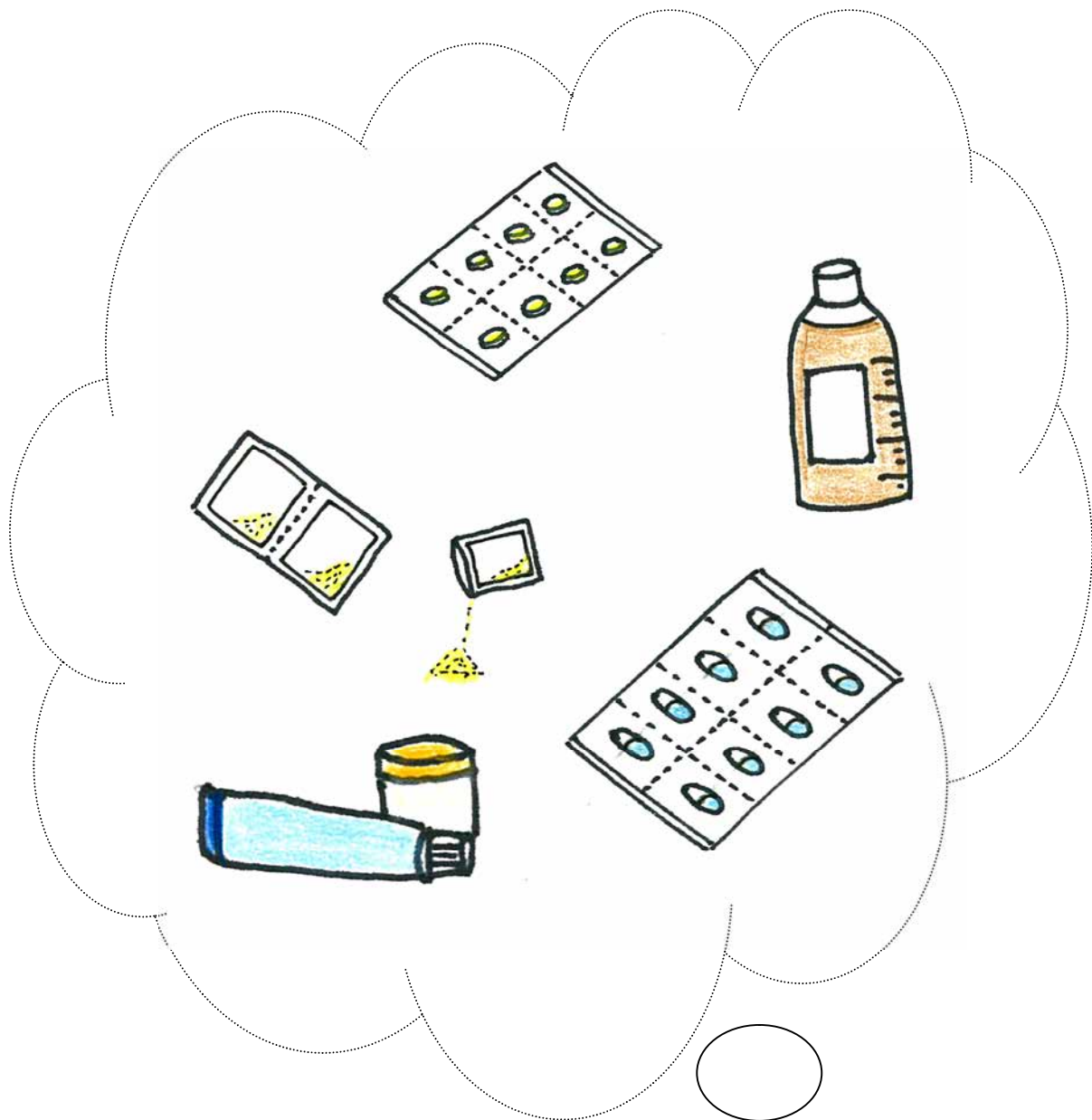
教室活動の目標

- ・薬の入手の方法を知り, 入手した薬の使用法等の情報を入手し理解できる

教室活動のねらい

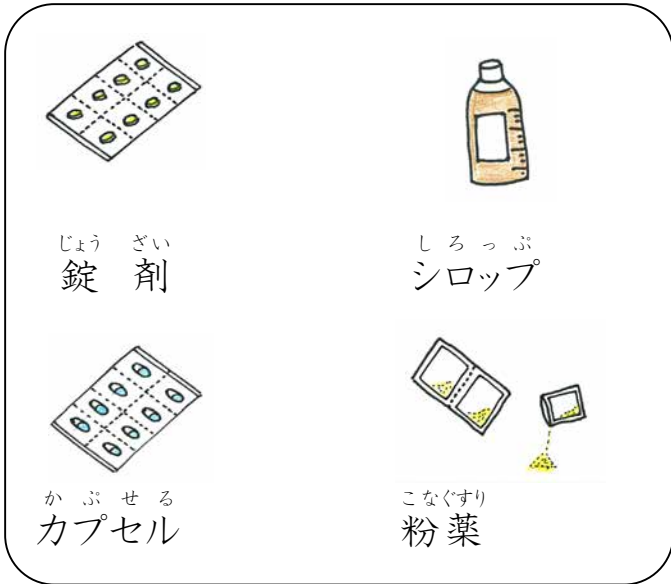
- ・処方せんが何であるかを理解し, 処方せんを受け取り, 指示を理解する
- ・どんな症状であるかを説明したり, 薬剤師等の質問に答えたりすることができる
- ・効能や用法についての説明を理解したり, 不明な点を質問したりすることができる
- ・薬の表示などが確認できる
- ・病気の対処法について情報収集・意見交換ができる

● くすり
薬, どうする?



■ 活動1-かつどうどんな薬くすりですか

()に ことばを い入れましょう



の くすり飲み薬

(のみます)



ぬ くすり塗り薬

(__ __ ・ます)



は くすり貼り薬

(__ __ ・ます)

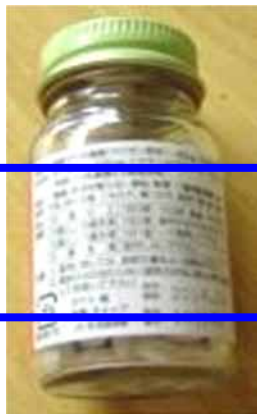
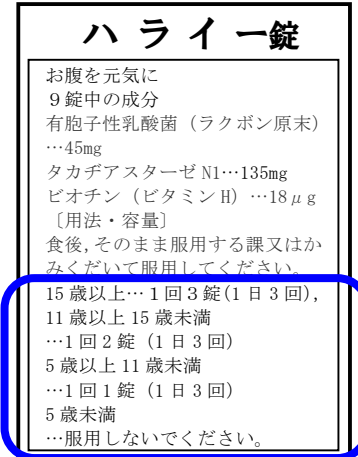
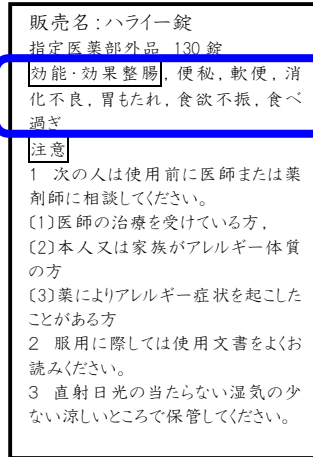
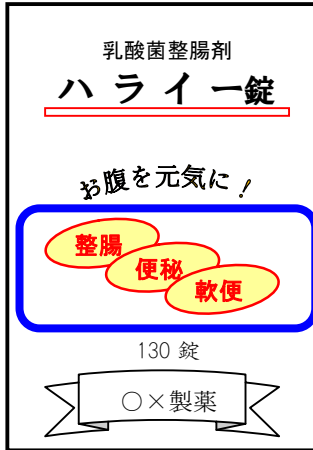


きゅうにゅうやく
吸入薬

(すいこみます)

■ 活動2 - 薬(くすり) の ラベル・袋(ふくろ) を 読(よ) んで み よ う

【A】 市販(しはん) の 薬(くすり)



効能・効果… 整腸(便通を整える)・便秘・軟便

用法・用量

ねんれい 年齢	いっかい ふくようりょう 1回 服用量	いちにち ふくようかいすう 1日 服用回数
じゅうごさい いじょう 15歳以上	さんじょう 3錠	さんかい 3回
じゅういっさい いじょうじゅうごさい みまん 11歳以上 15歳未満	にじょう 2錠	
ごさい いじょうじゅういっさい みまん 5歳以上 11歳未満	いちじょう 1錠	
ごさい い か 5歳以下	ふくよう 服用しないでください	

【A】の薬くすりについて

(1) どんなときつか, 使えらいますか。(①～④から選えらんで, ○を つけて ください)

- ① 頭あたまが 痛いたい とき
- ② お腹なかが 痛いたい とき
- ③ 鼻水はなみずが 出でる とき
- ④ かゆい とき



(2) どうやって 使つかいますか。

- ① 飲のみます
- ② 塗ぬります
- ③ 貼はります
- ④ 吸すい込こみます

(3) 1回いっかいに, いくつなんじょう(何錠)?



(4) 1日いちにちに, 何回なんかい?

- ① 1回いっかい
- ② 2回にかい
- ③ 3回さんかい
- ④ 4回よんかい

(5) いつ?

- ① 食前しょくぜん (ごはんを 食たべる 前まえ)
- ② 食中しょくちゅう (ごはんを 食たべている とき, ごはんと 一いっしょ緒しょに)
- ③ 食後しょくご (ごはんを 食たべた 後あと)
- ④ 食間しょっかん (ごはん と ごはんの 間あいだ)
- ⑤ いつでも いい

びょういん くすり
【B】病院でもらえる薬



ないふくやく
内服薬

じゅうよつかぶん
14日分

いちにちにかい
1日2回

あさ ゆうしょくご
朝・夕食後

いっかい
1回に

ふらるんかるすとじょう
プラレンカルスト錠

いちじょう
1錠

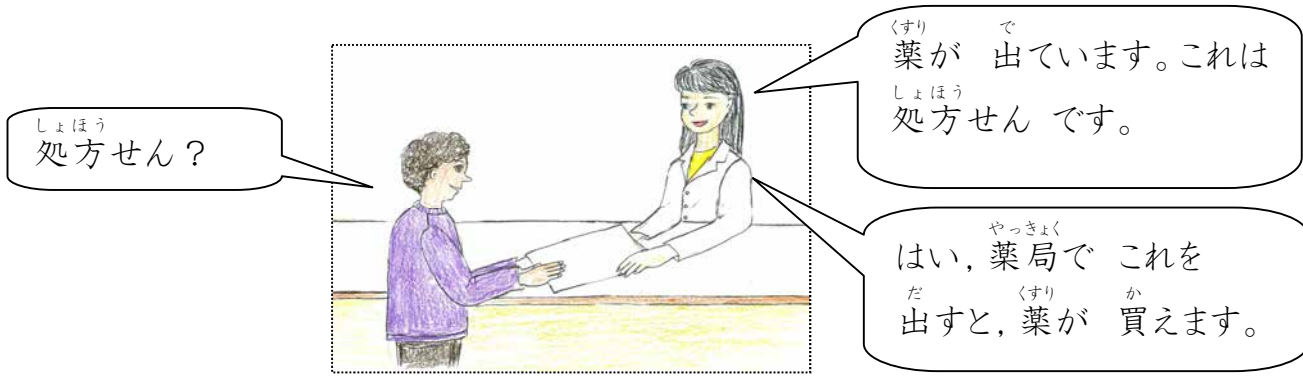


ゆにふいる じょう
ユニフィルLA錠

いちじょう
1錠

の
お飲みください

かつどう しょうほう
活動3-処方せん?



「処方せん」は どれですか。①? ②? ③?

①

診療請求・領収書

診療番号 120130-0060
 発行日 平成24年01月30日

患者番号 16713 氏名 様

1 医院
 TEL: 様

下記の通りご請求(領収)申し上げます。

合計請求額	1,010 円
保険適用	合計額 3,380 円
	負担額 1,010 円
保険適用外	負担額 0 円
	決定療費等 0 円
	負担額 0 円
	消費税(内期) 0 円
	消費税(外期) 0 円
	その他 負担額 0 円
	負担額 0 円
	消費税(内期) 0 円
	消費税(外期) 0 円
	前期末収金 0 円
今回未収金	1,010 円

②

1 / 1 ページ

診療券番号 16713 (この処方せんは、どの保険薬局でも有効です。)

処方せん

患者 氏名 性別 女 保険医療機関の所在地及び名称 障害母子 労災 自賠 生保 自費 3割 協会健保

生年月日 昭和 年02月28日 保険者番号 記号・番号 123

区分 被保険者 ○ 被扶養者 保険医療機関の所在地及び名称 電話番号

交付年月日 平成24年01月30日 郵通府県番号 14 点数表番号 1 医療機関コード

処方 1錠 14日分
 7.5g 7日分

・ ギザゲル錠5mg
 シングレア錠10mg
 【内服】 内服前1回

・ テオドール錠100mg
 ツムラ葛根湯加川きゅう辛夷エキス顆粒(医療用)
 【内服】 内服食後3回

【以下余白】

麻薬使用の場合 患者住所 麻薬施用者免許番号

後発医薬品への変更不可の場合、以下に署名
 保険医署名

③



「処方せん」をどこにもって行きますか。④？⑤？⑥？

④

やくてん
薬店
どらっぐすとあ
ドラッグストア

⑤

やっきょく
薬局
ほけんちょうざいやっきょく
(保険調剤薬局)

⑥

ほけんせんたー
保健センター

※ 府中市 <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/shisetu/fukushi/iryo/kyushiminiryoy/index.html>

■ 活動(かつどう)4－薬店(やくてん)・薬局(やっきょく)

(1) 会話例(かいわれい)1

やくてん
(薬店(やくてん)で)

A さん： きんにくつう くすり ほ
筋肉痛(きんにくつう)の薬(くすり)が欲しい(ほ)いんですが。

やっきょく ひと は くすり ぬ くすり
薬局(やっきょく)の人(ひと)： 貼り薬(はくすり)と塗り薬(ぬくすり)がありますが、
どちら(どちら)がいい(いい)ですか(ですか)。

A さん： は くすり
貼り薬(はくすり)を(を)ください(ください)。



(2) 会話例(かいわれい)2

やくてん
(薬店(やくてん)で)

やっきょく ひと
薬局(やっきょく)の人(ひと)： いらっしゃいませ(いらっしゃいませ)。
どう(どう)しましたか(しましたか)。

A さん： すみません
…お腹(なか)が痛い(いた)です(です)。

くすり ほ
薬(くすり)が欲しい(ほ)いです(です)。

やっきょく ひと しりょうさんじゅうさん ページ たげんご
薬局(やっきょく)の人(ひと)： (資料(しりょう)3 3 ページ(ページ)のような多言語(たげんご)
人体(じんたい)ボード、医薬品(いやくひん)説明(せつめい)ツール(ツール)を
利用(りよう)して症状(しょうじょう)を確認(かくにん)し、薬(くすり)
用法(ようほう)、効果(こうか)、注意(ちゅうい)事項(じこう)を説明(せつめい)する)

かいわれい
(3) 会話例3

やっきょく ほけんちょうさいやっきょく
(薬局(保険調剤薬局)で)

Aさん： (処方せんを 受付に 出して)
これ、お願いします。

やっきょく ひと
薬局の人： はい、お預かりします。

こちらの 番号札を お持ちください。

ごばん ばんごう
5番です。番号で お呼びします。

そちらで お待ちください。

.....

ごばん きゃくさま
5番の お客様。

Aさん： はい。

やっきょく ひと
薬局の人： Aさん ですね。

きょう で
今日は せきが 出ますか。

Aさん： はい。

やっきょく ひと
薬局の人： こちらが お薬です。

いちにちさんかい しょくご の
1日3回、食後に 飲んで ください。

Aさん： 食後？

やっきょく ひと
薬局の人： はい、食事の 後です。

くすり て ちょう も
お薬手帳は、お持ちですか。

くすり て ちょう は
このシールを お薬手帳に 貼って
ください。

かいけい きゅうひゃくはちじゅうえん
お会計、980円に なります。

Aさん： (お金を 払う)

やっきょく ひと
薬局の人： ありがとうございます。どうぞ お大事に。



■ 活動(かつどう)5 - 風邪(かぜ)を引(ひ)いたら...

あなたは、風邪(かぜ)を引(ひ)いたとき、どうしますか。

あなたの出身地(しゅっしんち) (国(くに), 地域(ちいき))の 人々(ひとびと)は、よく どのようなことを しますか。

A: あたたかくして、早く(はや)寝(ね)る

B: 牛肉(ぎゅうにく)を 食(た)べる

C: みかんの 皮(かわ)を 焼(や)いて 食(た)べる

D: しょうがを 食(た)べる



E: チキン(ちきん) スープ(すーぷ)を 飲(の)む

F: 蛇(へび)の スープ(すーぷ)を 飲(の)む

G: お祈(いの)りを する

F: _____

いろいろな人(ひと)に 聞(き)いて みましょう。

_____ さん  

_____ さん  

_____ さん  

いろいろな 方法(ほうほう)が ありますね! みんな ちがうように 見(み)えますが、

共通(きょうつう)していること(おな) (同じ(なん)こと)は 何(なん)でしょう?

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0201020)「医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する」
- (0202050)「症状を説明し、薬を求める」
- (0203070)「薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する」

教室活動の目標

- －薬の入手の方法を知り、入手した薬の使用法等の情報を入手し理解できる。

教室活動のねらい

- －処方せんが何であるかを理解し、処方せんを受け取り、指示を理解する。
(活動1)
- －どんな症状であるかを説明したり、薬剤師等の質問に答えたりすることができる。(活動4)
- －効能や用法についての説明を理解したり、不明な点を質問したりすることができる。(活動2, 活動3, 活動4)
- －薬の表示などが確認できる。(活動2, 活動3)
- －病気の対処法について情報収集・意見交換ができる。(活動4)

活動前に確認しておくこと

- －学習者の居住地の薬局・薬店の情報
- －薬事法上の、薬局・薬店の種類、機能等
- －都道府県・市町村の薬剤師会の情報(多言語対応情報等)

準備する素材

- －薬袋、処方薬の説明書、市販薬、お薬手帳等の実物
- －日本の医療・薬事の制度に関する多言語情報(学習者の理解できる言語の翻訳)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・薬, どうする?(p.23)

- ・「イラスト・写真シート」(p.23)を提示しながら, 学習者に普段どんな薬を使っているか, どのように入手するかを尋ね, 話してもらいます。指導者が薬の実物を持って来て示しながら, 自分の経験を語り, やり取りの中で学習者からの話を引き出してもよいでしょう。

< 問いかけ例 >

「これは何ですか。」

「〇〇さんは, どんな薬を使っていますか。」

「どんなとき, 使いますか。どうやって使いますか。」

「どこで薬を買いますか。」

体験・行動する

- 活動シート
- ・活動1—どんな薬ですか(p.24)

- ・薬の種類と形状による名称, 使用法と関連する表現を確認・整理します。
- ①学習者に活動シートを配布します。
- ②持参した薬品の実物をみせながら, 薬の形状による名称を紹介・確認します。

< 問いかけ例 >

「これは何ですか。錠剤ですか。カプセルですか。」

- ③持参した薬品の実物をみせながら, 使用法と関連する表現を紹介・確認します。

< 問いかけ例 >

「どうやって使いますか。塗りますか。貼りますか。飲みますか。」

④ 学習者は、活動シートの空欄に適切なことばを記入します。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－薬のラベル・袋を読んでもみよう(p.25～27)

- ・ 活動シート及び薬の実物を使って、ラベル等の表示を読み、効能や用法の情報を得る方法を身に付けます。
 - ① 学習者に活動シートを配布します。【A】は市販薬，【B】は病院等でもらえる薬です。
 - ② 指導者は活動シートの写真を指しながら、「何の薬だと思いますか」「どんなとき使いますか」と問いかけ、学習者に情報が書いてある箇所を見つけたり推測したりするように促します。
 - ③ 学習者が「お腹の薬です。」「お腹が痛いときに飲みます。」のように発言したら、「どこに書いてありますか。」と尋ね、学習者に示してもらいます。当該箇所を確認し(漢字と読み仮名を板書してもよいでしょう)、他の学習者と一緒に音読します。
 - ④ 「1回にいくつ(何錠)飲みますか。」「いつ飲みますか。」「1日に何回飲みますか。」などの問いかけもし、③と同じように表示箇所を確認し、音読します。適宜、活動シートを参照し、回答を選択してもらいながら進めます。
 - ⑤ 実際の教室活動では薬の実物を学習者に渡し、③④と同じように問いかけ、必要な情報を探し、確認する作業を進めます。薬の実物は、指導者が持参したものでもいいですし、あるいは事前に学習者に自宅にある薬を持って来るように伝えておいて、持ち寄ったものを使ってもいいでしょう。学習者が薬を持ち寄る場合、日本の薬に限らず、自国からのものについて、他の言語での表示の内容を日本語に言い換えて説明してもらうようにしても応用になるでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－処方せん？(p.28～29)

- ・ 「処方せん」が何か、処方せんをどこへ持っていけばいいかを、薬局・薬店の種別とともに理解し、関連することば・表現を身に付けるようにします。

- ① 学習者に活動シートを配布します。
- ② イラストと会話を確認し、写真の①～③のうちどれが「処方せん」か問いかけ、確認します。
- ③ 「処方せん」の写真の中で、どこに薬の情報が書いてあるか等も示すとよいでしょう。また、処方せんの使用期限として「受付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること」という記述があることも確認しておくといでしょう。
- ④ イラスト・写真(p.29)の④～⑥のうちどこに処方せんを持って行くか問いかけ、確認します。処方せんは「保険薬局(保険調剤薬局)」に持参し、提出する必要があること、一般の「薬店」(ドラッグストア等)では処方せんの受付がされないことも説明します。「保険」と「保健」の意味の違いも、学習者によっては説明しておくといいかも知れません。④の薬店(ドラッグストア)については、近隣の薬店/ドラッグストア(処方せんを受け付けない、調剤しない店)の写真を実際に撮影してきて、ワークシートのイラストと差し替えて使用すると、現実感が高まってよいかもしれません。

体験・行動する

■活動シート

・活動4－薬店・薬局(p.30～31)

- ・ 薬店・薬局で、一般薬品(「処方せん」必要なし)を購入する場合と、医師が発行した処方せんを持参して保険調剤薬局で購入する場合、それぞれの会話の流れを知り、必要に応じて使えるように練習します。
- ① 活動4の会話のデモンストレーションをします。(指導者と学習者、あるいは、教室に地域からの協力者がいれば会話に参加してもらうとい良いでしょう。)
 - ② 学習者は2人1組のペアになり、会話例1・会話例2・会話例3を実演練習します。
 - ③ 「医療機関を利用する」の活動2(p.11)や「ことば・表現」(p.16), 「薬を利用する」の活動2(p.26)の症状の表現の絵を拡大コピーして切り離し、絵カード状にしたものを、指導者は準備しておきます。これらのカードから1枚、学習者に引いてもらいます。
 - ④ カードを引いた学習者は、カードに示された症状に合わせて、会話例1・会話例2・会話例3を適宜アレンジして、実演します。

体験・行動する

■活動シート

・活動5－風邪を引いたら…(p.32)

- ① 活動4のシートを使って、学習者それぞれの風邪を引いたときの対処法について話し合います。
 - ② 自分の対処法について、シートのA～Gから選ぶか、Fに自由に書き込んでもらいます。
 - ③ 教室の他の学習者や地域からの支援者の人にも尋ねて、答えを書き込んでもらいます。
- ・ それぞれに異なる対処法があり、その多様性を認識すると同時に、共通点(人はよりよく生きるために助け合い、知恵を共有し、世代を超えて伝え合う)についても考えていけるといいでしょう。
 - ・ 活動5は文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』掲載の「だれの常識？」(p.46)をもとに構成したものです。ホームページからもとの記事の多言語版をダウンロードすることができるので、学習者の母語に合わせて提供するとより理解が深まるでしょう。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－症状・希望の薬を伝える表現(p.33)

- ・ 特に日本語能力が限られている学習者の場合は、「活動4」の会話例2を参考にし、「症状・希望の薬を伝える表現」(p.33)に掲載されている「人体図」「外国籍県民向け支援ツール」((財)神奈川県薬剤師会)をホームページからダウンロードして使用するとよいでしょう。(神奈川県内の薬局には、これらのマニュアルが置いてあることが多いようですが、県外の薬局を利用する際にも、利用者が自らこのマニュアルとツールをダウンロードして持参して、コミュニケーションの便宜のために活用することも可能と考えられます。)

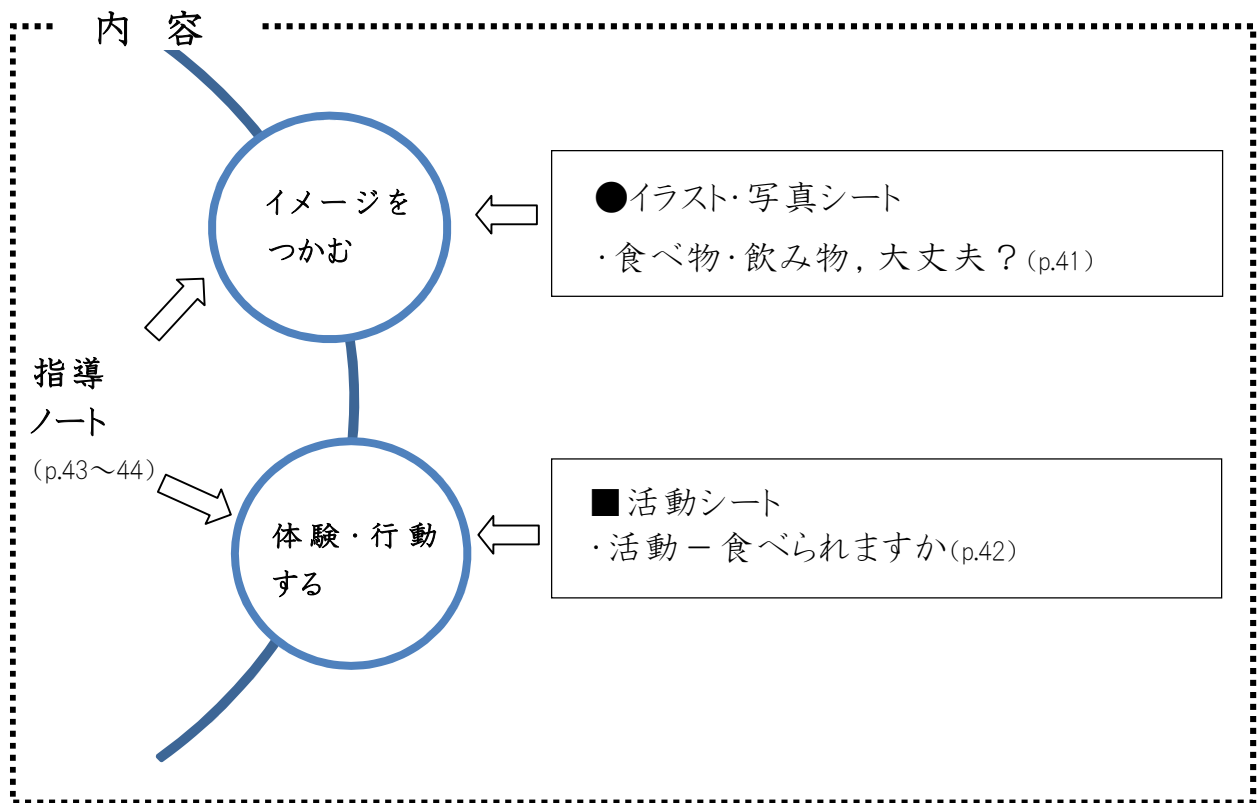
「外国籍県民向け支援ツール」((社)神奈川県薬剤師会)

<http://member.kpa.or.jp/download/gaikokuseki/>

【参考情報】

- ・ (社)神奈川県薬剤師会のホームページ(前ページ参照)には,薬の使用法や注意点の説明の多言語対応シートも掲載されています。「症状・希望の薬を伝える表現」と併せて活用するとよいでしょう。
- ・ 『病院・薬局で使う外国語会話集:薬局編(7言語)』(田辺三菱製薬)
<http://di.mt-pharma.co.jp/foreign/pharma/download.html>
- ・ 『多言語生活情報』「F.医療-3.薬局」((財)自治体国際化協会)
<http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/f/03.pdf>
薬局・調剤薬局・薬店の違いや,処方せんの制度についての説明が13言語で掲載されています。

(03) 健康に気を付ける



取り上げる生活上の行為の事例

(0302010)「食品や飲料水の安全情報を理解する」

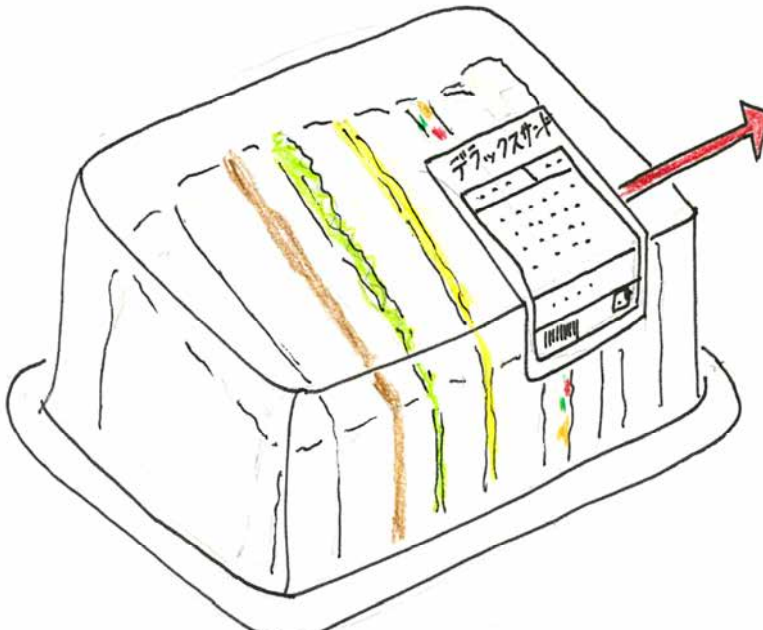
教室活動の目標

- ・食品や飲料水の安全について聞くことができる
- ・表示やラベルなどが確認できる

教室活動のねらい

- ・食品や飲料水の安全について聞くことができる
- ・表示やラベルなどが確認できる

た もの の もの だいじょうぶ
● 食べ物・飲み物, 大丈夫?



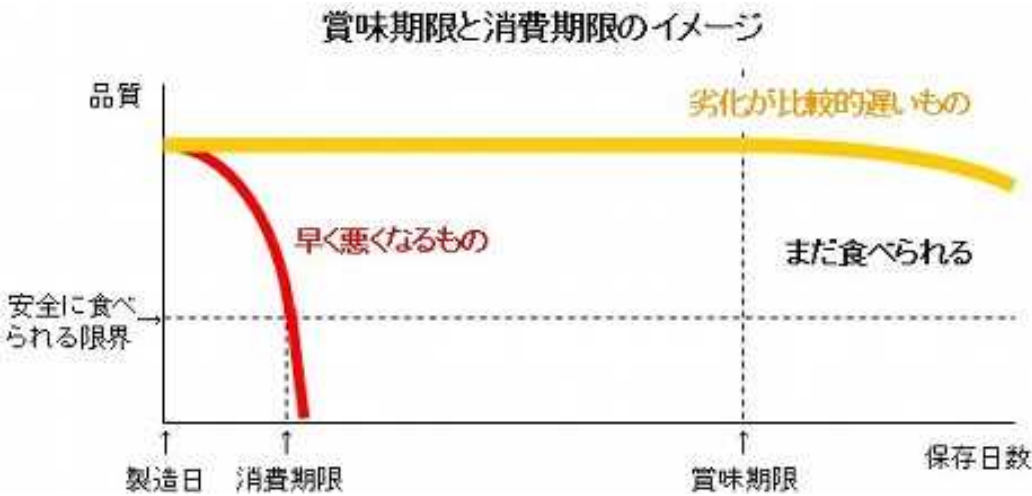
デラックスサンド	
名称	調理パン
値段	388 円
パン, レタス, トマト, ロースハム, きゅうり, ブラックペッパーチーズ, マスタードマーガリン, イーストフード, 乳化剤, 調味料 (アミノ酸等), 着色料 (赤色 102 号, カロチン色素) 香辛料, 香料, 保存料 (ソルビン酸)	
消費期限	12.1.24 15 時
製造年月日	12.1.24
内容量	1P
保存方法	直射日光, 高温多湿を避け保存ください。

活動(かつどう) - 食べられますか(た)

(1) 会話例(かいわれい)

①
 マリア: この漬物(つけもの)は、まだ食べられますか。
 よし子: 賞味期限(しょうみきげん)は昨日(きのう)ですが、大丈夫(だいじょうぶ)でしょう。
 マリア: そうですか。

②
 よし子: 消費期限(しょうひきげん)ではなく、賞味期限(しょうみきげん)だから、大丈夫(だいじょうぶ)でしょう。



※ 農林水産省ホームページ <http://www.maff.go.jp/j/jas/hyoji/kigen.html>

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0302010)「食品や飲料水の安全情報を理解する」

教室活動の目標

- －食品や飲料水の安全について聞いたり、表示やラベルなどを確認したりできる

教室活動のねらい

- －食品や飲料水の安全について聞いたり表示やラベルなどを確認したりできる
(活動)

活動前に確認しておくこと

- －食品等の安全について、現在、当該地域の人々にとって、関心が高まっていたり、情報提供・注意が必要と思われたりする事柄について、事実を確認しておく。また、詳細の情報を知りたいときの、問い合わせ先、参照ホームページなどを調べておき、知らせることができるようにしておく。

準備する素材

- －食品表示ラベル等の実物

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・ 食べ物・飲み物，大丈夫？(p.41)

- ・ イラスト・写真シート「食べ物・飲み物，大丈夫？」(p.41)を提示しながら，食品や飲料水等の安全について，日ごろ気になっていることなどを問いかけ，話してもらう。

体験・行動する

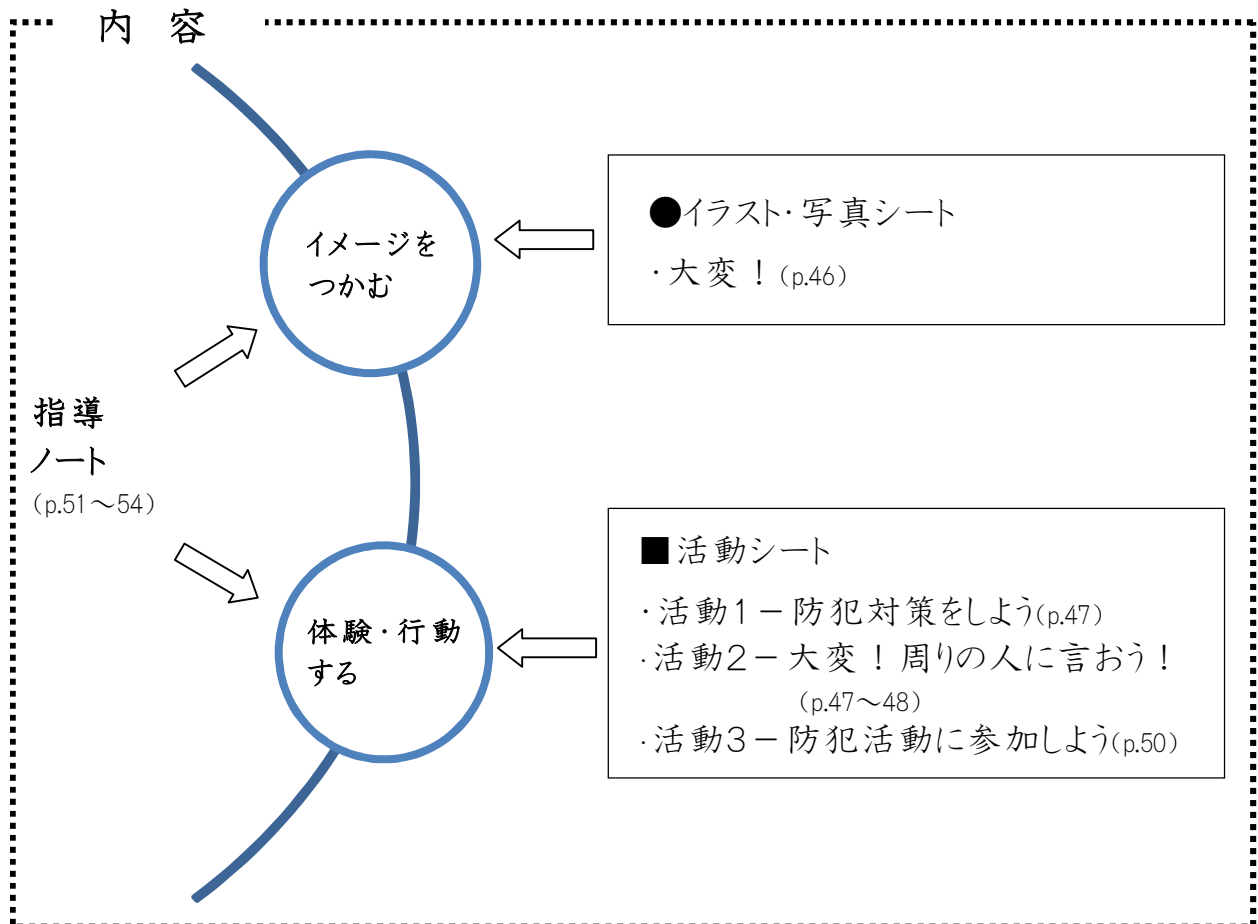
- 活動シート
- ・ 活動－食べられますか (p.42)

- ① 活動の会話のデモンストレーションをします(指導者と学習者で行います。教室に地域からの協力者がいる場合は，会話に参加してもらうとよいでしょう)。その際，実際に賞味期限が表示された食品のパッケージを持ってきて，小道具として使うと，より具体的なイメージを共有しやすいでしょう。
- ② 会話をきっかけに，「消費期限」と「賞味期限」の違いについて問いかけ，ことばの確認をします。
- ③ 食品の安全や衛生について，参加者の興味に応じてディスカッションに発展させます。

<例>

- ・ 食品の保存方法の知恵，食中毒を防ぐための工夫(台所の衛生管理)
- ・ 健康によい食べ物，放射線量の情報の見極め方 等。

(04) 事故に 備え, 対応する



取り上げる生活上の行為の事例

- (0402) 「防犯対策を行う」
- (0403) 「防犯に対処する」
- (0403040) 「近くの人に知らせる(事件等)」

教室活動の目標

- ・ 事件に遭遇したとき, 近くの人に知らせることができる
- ・ 防犯対策について理解し, 実践する

教室活動のねらい

- ・ 隣人や近くの人に, 事件について状況説明ができる
- ・ 防犯対策をすることができる
- ・ 地域の防犯活動に参加する

● たいへん
大変！



■ かつ どう ぼうはんたいさく
活動1－防犯対策を しよう！

した ばめん
下の 場面に あわないために、 どうしたらいいですか。

つき ページ しゃしん さんこう
次の ページの 写真も 参考にしましょう。

①



②



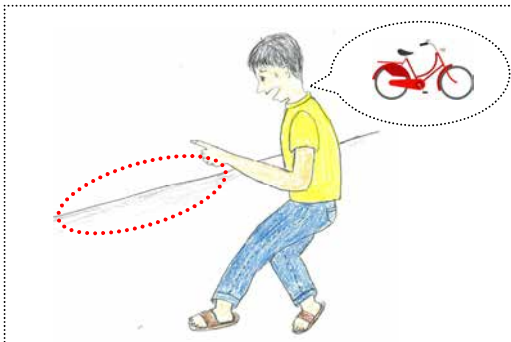
③



④



⑤





ぼうはんぶぎー
防犯ブザー



ぼうはんねっと
防犯ネット



ぼうはんとうろく
防犯登録



ほじょじょう
補助錠



せんきーらいと
センサーライト

■ かつどう たいへん まわ ひと い
活動2－大変！ 周りの人に言おう！

まわ ひと つた
周りの人に伝えましょう。

かいわれい
(1)会話例1

どろぼう
Aさん:泥棒！

かいわれい
(2)会話例2

たす
Aさん:助けて！

かいわれい
(3)会話例3

けいさつ でんわ ねが
Aさん:警察に電話,お願いします！

かいわれい
(4)会話例4

ひと お
Aさん:ちょっとあの人を追いかけてください。

つうこうにん
通行人:どうしたんですか。

ばっぐ と
Aさん:バッグを取られたんです。

■ ^{かつどう} ^{ぼうはんかつどう} ^{さんか}
活動3－防犯活動に 参加しよう

あなたの ^す 住んでいる ^{ちいき} 地域の ^{ぼうはんぼらんていあかつどう} 防犯ボランティア活動に ^{さんか} 参加してみましょう。



* 横浜市港区ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/minami/00seikatsu/11tiiki-bouhan/110006.html>

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0402)防犯対策を行う
- (0403)防犯に対処する
- (0403040)近くの人に知らせる(事件等)

教室活動の目標

- － 事件に遭遇したとき、近くの人に知らせることができる。
- － 防犯対策について理解し、実践する。

教室活動のねらい

- － 隣人や近くの人に、事件について状況説明ができる。(活動1)
 - － 防犯対策をすることができる。(活動2)
 - － 地域の防犯活動に参加することができる。(活動3)
- ・ あなたは、慣れない土地で犯罪にあったことがありますか。学習者が慣れない土地で犯罪にあったときのことを想像してみてください。犯罪にあったときは、とっさの的確な判断と対応が重要です。学習者が、犯罪にあっても対応ができる、大丈夫だと感じられるようになる活動をしてみましょう。また、犯罪の発生と地域の防犯は密接な関係があります。地域の警察と協力をして外国人向けの防犯教室を開いたり、地域に暮らす一員として地域の防犯ボランティアにいっしょに参加したりするなど、教室だけに留まらない活動もしてみましょう。その活動は、学習者が地域で安心して暮らせる場作りのきっかけとなることでしょう。

活動前に確認しておくこと

- － 学習者が居住する地域で最近発生している犯罪に関する情報

準備する素材

- － 防犯対策・対応に関する多言語情報
- － 防犯対策グッズ(防犯ブザーなど)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・大変！(p.46)

- ・「イラスト・写真シート」を使って、これまで犯罪にあった経験を共有しましょう。また、日本では犯罪にあった時にどうしたらいいのか、学習者が知っていることを引き出していきましょう。出てきたことばや表現(母語、日本語ともに)はメモをしておきましょう。日本語で知っておくといものは、日本語で何と言うか知る活動につなげていきましょう。
- ・学習者それぞれの経験や知っていることを共有していくことは、指導者や協力者を含めた教室の仲間作りにもつながります。教室の仲間が、緊急事態にあった時に助け合える仲間になる可能性があるのです。

< 問いかけ例 >

「これはどんな場面でしょうか。」

「あなたは、今までこのような場面にあったことがありますか。」

「そのとき、どうしましたか。どんな気持ちでしたか。」

「日本でこのような場面にあったとき、どうしたらいいでしょうか。知っていることを話しましょう。」

- ・ただし、過去の辛い経験を思い出し、話すことが学習者の負担となることもありますので、必要以上に深く、繰り返して質問するようなことはせず、学習者が話せること・話したいと思うことだけ話す雰囲気を作ることが大切です。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－防犯対策をしよう！(p.47)

- ・状況ごとに、防犯対策について理解する活動です。
- ・イラスト・写真シートに引き続き、イラストを見ながら、犯罪にあった経験、どう対応したか、犯罪にあわないためにどうしたらいいか自由に話してみましょう。その後、防犯に関する多言語情報を見て、どのように対策をしたらいいか確認しましょう。

そのとき、防犯対策グッズの実物も準備して、それらがどんな場面で効果があるのか、どうやって使うのか、どこで売っているのかも話してみましょう。

- ・ 防犯対策グッズを実際に店頭において手に取り、購入し、実際に使ってみるという活動もできます。店頭で学習者が使い方を尋ねる表現を日本語でできるようになっておくと、教室以外の場面でも、周りの人に聞くことができます。

< 会話例 >

学習者：どうやって使いますか。

指導者：ここを押すと、大きい音が出ます。

多言語情報例

例1) 滋賀県「なくそう犯罪」防犯マニュアル

- ・ 英語, 中国語, 韓国語, スペイン語, ポルトガル語)
- ・ <http://www.pref.shiga.jp/c/anzen/manual/index-1.html>
- ・ ひったくり, 空き巣, 盗難, 恐喝, 痴漢, 通り魔, ストーカーなどさまざまな犯罪への対策と対処, 連絡先について紹介されている。ホームページからダウンロードすることができる。

例2) 神奈川県防犯対策ガイド

- ・ 英語, 韓国朝鮮語, スペイン語, ポルトガル語, 中国語, 日本語
- ・ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f707/p8085.html>
- ・ 県内各地で配布しているほか, ホームページからダウンロードすることができる。

例3) 神奈川県警察 防犯心得

- ・ 英語, 中国語, 韓国語, スペイン語, ポルトガル語)
- ・ http://www.police.pref.kanagawa.jp/eng/e_mes/engd0001.htm#leaflet
- ・ ひったくり, 空き巣, 自転車盗難への防犯対策の説明がある。ホームページからダウンロードすることができる。

例4) 広島県警察 「快適な市民生活を送るために」

- ・ 英語, 中国語, ポルトガル語
- ・ <http://www.police.pref.hiroshima.lg.jp/002/kouhou/index.html>
- ・ 犯罪にあわないための方法, 犯罪にあったときの対処方法などが紹介されている。ホームページからダウンロードすることができる。

- ・ 学習者の国では, どのような犯罪が多いのか, 犯罪に対してどのような対策を取っているかなどについて話をしてみるのもいいでしょう。

- ・ 教材例に掲載した防犯対策グッズ(p.48)は以下のものです。
 - － 防犯ブザー, 防犯ネット, 自転車の防犯登録ステッカー, サッシ, 補助錠, センサーライト
- ・ 入門レベルの学習者は「泥棒!」「助けて!」などのことばが最低限言えればよいなど, 学習者の日本語のレベルに合わせて, ロールプレイの難易度を変えてみましょう。また, ロールプレイの際には, 行動面で気を付けること(例えば, 道を歩く時, 道路側にかばんを掛けて歩かない等)にも注意して, やってみるといいでしょう。
- ・ 場面は地域の犯罪発生状況, 学習者の生活状況・日本語のレベルなどに合わせたものを提示しましょう。例えば, 自転車に乗っている人からのひったくりが頻発している地域ではその場면을扱ったり, すぐ近くの人に助けを求められないような地域では 110 番に自分で通報をする場면을扱ったりすることもできます。
- ・ 近くに人がいなかった時どうするか, だれに連絡をするのかなどを確認しておく, 万一のとき安心です。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－大変! 周りの人に言おう!(p.49)

- ・ 犯罪にあった時に, 近くの人に助けを求めるロールプレイをしてみましょう。
- ・ 教材例に掲載されている場面以外に, 地域の犯罪発生状況に即した場面を取り入れたりするといいいでしょう。

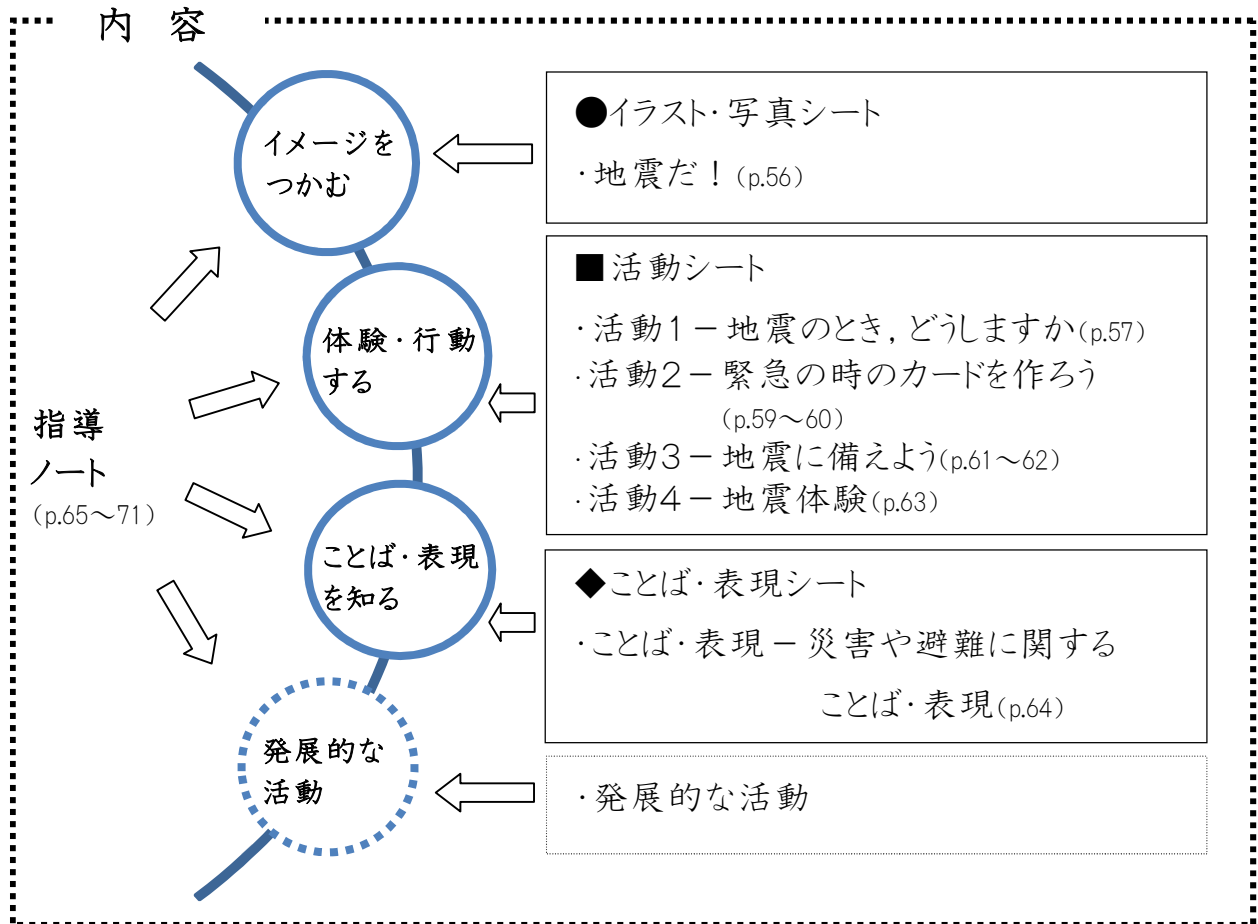
体験・行動する

■活動シート

・活動3－防犯活動に参加しよう(p.50)

- ・ 「活動3－防犯活動に参加しよう」は, 学習者の居住地に防犯活動をする団体があれば, いっしょに活動に参加してみる教室活動を組み込んでみましょう。地域で生活する一員として, ボランティアとして活動できるチャンスがあることを知るとともに, 活動を通して, 地域の人との交流が生まれ, 万一のときも安心です。

さいがい そな たいおう じしん
 (05) 災害に 備え, 対応する(地震)



取り上げる生活上の行為の事例

- (0501030)「避難場所・方法を理解する・人に聞く」
- (0502010)「地震について理解する」
- (0502020)「身を守る(地震発生時)」

教室活動の目標

- ・地震の時に行動できるようにする

教室活動のねらい

- ・避難場所や避難方法の注意書きを読んで理解できる
- ・身の守り方について説明を読んで理解できる
- ・地震に備えることができる

● じしん
地震だ！

※1



※2



※3



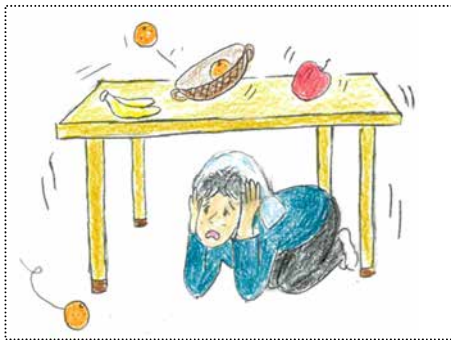
※1 水戸第一高等学校同窓会 知道会 <http://www.chidokai.jp/index.html>

※2 看板屋さんのブログ■ヤマシタ巧房■ <http://blogs.yahoo.co.jp/fpsm476/24332293.html>

※3 財団法人消防科学総合センター http://www.saigaichousa-db-isad.jp/drddb_photo/photoSearchResult.do

■ ^{かつどう} ^{じしん} 活動1－地震のとき、どうしますか

^{じしん}地震のとき、どうしたら いいですか。いいと ^{おも}思うものに ○を、よくないと ^{おも}思うものに ×をつけましょう。わからないときは、まわりの ^{ひと}人にも ^き聞いてみましょう。



まえの ページで かんが 考えたことは あ 合っていますか？

した よ を 読みながら ちえっく チェックしましょう。

日本語	English	中文	Português	Español
<p>1 地震について</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本は、地震が多い国です。 地震は突然起こります。 大きな揺れは、1分くらいで止まります。 大きな地震の後、何度も揺れ(余震)が続いて起きます。 地震が起こると、家具が倒れたり、照明器具が落ちてきますので、注意が必要です。 水、電気、ガスが止まったり、電話やインターネットが通じにくくなります。 <p>2 地震が発生する前にできること</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難カードを、いつも身に付けておきましょう。 非常持出品(水、食料、懐中電灯、軍手、タオル、下着、パスポート・外国人登録証・保険証・預金通帳・自動車免許証等のコピー、避難所マップ等)をリュックサックに入れておきましょう。 近くの避難所を家族で確認しておきましょう。 防災訓練に参加してみましょう。 <p>3 地震が発生したら…</p> <p>(1) 身を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> 机やテーブルの下にかくれましょう。 家具や照明器具から離れましょう。 ガスコンロやストーブ等の火を消しましょう。 ドアや窓を開けて、出口を作りましょう。 車を運転しているときは、人間に降りましょう。エンジンを止めて、鍵はつけておきましょう。 <p>(2) 避難するときは…</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな建物にいるときは、非常口に向かい、避難しましょう。 外は、ブロック塀、門、看板、建物の壁、ガラスが落ちてくる場合があるので、注意が必要です。 車は使わないようにしましょう。 非常持ち出し品を持参しましょう。 近くの避難所(食べ物、飲み物や情報があり、誰が行ってもOK)に行きましょう。 	<p>1 Earthquakes:</p> <ul style="list-style-type: none"> Japan has many earthquakes. Earthquakes can come without warning. Large tremors will stop after about 1 minute. After large earthquakes, smaller tremors (aftershocks) will continue. When an earthquake strikes, be careful of falling furniture or light fixtures. Water, electricity, and gas stoppages may occur, and phones and internet may become difficult to use. <p>2 Preparations for before and earthquake strikes.</p> <ul style="list-style-type: none"> Make sure your evacuation card is handy. Prepare an emergency kit in a sack that includes water, food, flashlight, gloves, towel, underwear, a map to the evacuation area, and copies of your passport, foreign registration card, insurance card, bank book, and driver's license. Confirm the location of the evacuation point with your family. Participate in disaster prevention drills. <p>3 In the event of an earthquake:</p> <p>(1) Protect yourself.</p> <ul style="list-style-type: none"> Hide under a table or desk. Get away from furniture and light fixtures that can fall. Turn off any stove and gas burners. Open a door or window to ensure you have an exit. If you are driving, pull off to the left-side of the road, turn off the engine, and leave the key in the ignition. <p>(2) During evacuation:</p> <ul style="list-style-type: none"> If you are in a large building, head towards the emergency exits and evacuate the building. There is a chance that block walls, gates, billboards, and building walls will fall, so be careful. Avoid using a car. Take emergency supplies with you. Go to the nearest evacuation point, a place that will have food, drinks and information, and everyone is welcome. 	<p>1 关于地震</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本是地震频多的国家。 地震会突然发生。 大的摇晃大约于1分钟后停止。 大地震发生后,余震会继续发生。 地震发生时,会发生家具倒下及照明器具落下的情况,必须注意。 水、电、煤气不通,电话及网络会难以使用。 <p>2 在地震发生前能够准备的事情</p> <ul style="list-style-type: none"> 请一直随身携带避难卡。 请预先在旅行包内放入非常时的携带品(水、食物、手电筒、劳动手套、毛巾、内衣、护照、外国人登记证、保险证、存折、汽车驾驶证等的复印件、避难场所地图等)。 请和家人预先确认附近的避难场所。 请尝试参加防灾训练。 <p>3 一旦地震发生时</p> <p>(1) 保护自身安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 请躲在桌下。 请远离家具和照明器具。 请熄灭煤气炉及取暖炉的火。 请打开门窗,形成出口。 正在开车时,请停在左侧,关掉引擎,钥匙继续挂着。 <p>(2) 避难时</p> <ul style="list-style-type: none"> 在大的建筑物里时,请向着非常出口,进行避难。 在外边时,倒塌墙壁、门、招牌板、建筑物的墙壁,玻璃有掉落的可能,必须注意。 请不要使用车辆。 请携带非常时期的随身携带品。 请前往附近的避难场所(有食物、饮料及信息,谁都可以进入) 	<p>1 Terremoto</p> <ul style="list-style-type: none"> O Japao é um país que frequentemente ocorrem terremotos. QOs terremotos ocorrem repentinamente. Os grandes abalos duram em torno de 1 minuto. Após os grandes abalos ocorrem os abalos secundários por várias vezes. Tome cuidado com móveis, lustres e lâmpadas que podem cair com o terremoto. A água, luz e gás podem parar e dificilmente o telefone e a internet funcionam. <p>2 Medidas preventivas</p> <ul style="list-style-type: none"> Mantenha sempre consigo este cartão de emergência. Deixe preparado uma mochila com produtos de primeira necessidade como: água, alimentos, lanterna, luva, toalha, moda de roupa, cópia do passaporte, gaiokujin, torokujin, cartão do seguro saúde, caderneta do banco, carteira de motorista e o mapa do local de refugio. Verifique antecipadamente junto com a família o local de refugio mais perto. Particpe de treinamentos para os casos de emergência. <p>3 Como agir em caso de terremoto</p> <p>(1) Proteja-se</p> <ul style="list-style-type: none"> Entre em baixo de mesas ou carteiras. Procure ficar longe de móveis, lustres e lâmpadas. Desligue gás e aquecedores. Abra portas e janelas para saída de emergência. Se estiver dirigindo, pare o carro no lado esquerdo, desligue o carro e deixe a chave na ignição. <p>(2) Refugio-se</p> <ul style="list-style-type: none"> Se estiver dentro de prédios procure a saída de emergência. Locais de extremo perigo são templos, castelos, muros de blocos, prédios altos, pois paredes e cascos de vidros podem cair sobre você. Não utilize o carro para refugiar-se. Leve consigo a mochila com objetos de primeira necessidade. Dirija-se ao refugio para abrigar-se. (No abrigo terá alimentos, bebidas e informações úteis. Todos, sem exceção, poderão abrigar-se nesses locais) 	<p>1 Terremotos</p> <ul style="list-style-type: none"> Japón es un país donde frecuentemente ocurren terremotos. Los terremotos ocurren repentinamente. Los temblores grandes duran alrededor de un minuto. Después de un terremoto grande, ocurren los temblores secundarios varias veces. Tenga cuidado con muebles, aparatos de alumbrado que pueden caerse por los temblores. El agua, luz, gas pueden pararse y el telefono e internet dificilmente funcionarán. <p>2 Medidas preventivas</p> <ul style="list-style-type: none"> Lleve la libreta de emergencia siempre consigo. Tenga preparada una mochila con artículos de primera necesidad como agua, alimentos, linterna, guantes de trabajo, toallas, ropa interior, fotocopias de pasaporte, gaiokujin, torokujin, tarjeta de seguro, libreta de banco, carné de conducir, y mapa del lugar de refugio. Confirme anticipadamente el lugar de refugio más cercano con su familia. Particpe en entrenamientos para los casos de emergencia. <p>3 Como comportarse en caso de terremotos</p> <p>(1) Protegerse</p> <ul style="list-style-type: none"> Protégase debajo de un escritorio o mesa. Procure alejarse de los muebles y los aparatos de alumbrado. Apague el gas y la estufa. Abra la puerta y las ventanas para la salida de emergencia. Si está manejando, estacione el carro al lado izquierdo, pare el motor y deje la llave dentro del carro antes de refugiarse. <p>(2) Para refugiarse</p> <ul style="list-style-type: none"> Si está dentro de un edificio grande, procure dirigirse a la salida de emergencia para refugiarse. Fuera de casa, tenga cuidado con muros de bloques de cemento, puertas, letreros, paredes y vidrios que pueden caerse. No utilice el carro para refugiarse. Lleve consigo la mochila con artículos de primera necesidad. Dirijase al lugar de refugio para abrigarse donde tendrá alimentos, bebidas, e informaciones. Todos, sin excepción, podrán abrigarse.

※栃木県産業労働観光部国際課

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/life/kokusai/tabunka/documents/1235973842433.pdf>

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/life/kokusai/tabunka/1235977471478.html>

■ かつ どう きんきゅう とき かーど つく
活動2-緊急の時のカードを作ろう

カードを 作りましょう。いつも 持っていてください。

地震・災害時のための避難カード
 Card for Disaster Evacuation
 地震発生時や災害時の避難カード
 Carte de emergency pour cas de séismes et désastres
 Libreta de emergencia para casos de sismos y desastres

平成 20 年 10 月発行
 国土交通省防災課 国際防災政策課
 Tsunami Protection Department of Safety, Labor
 and Tourism International Affairs Division
 〒 225-8501 東京都 品川区 1-1-20
 1-1-20 Kaseiwaki, Shinagawa-ku
 TEL 03-423-2196
 FAX 03-423-2198
<http://www.pref.tokyo.lg.jp>

日本語で記入して、いつも身につけてください
 Please fill out in Japanese and keep it with you.
 必ず携帯し、持ち歩きましょう
 Portez-la au poignolet et conservez-la toujours consigo.
 Llevala en el bolsillo y llevádsela siempre consigo.

氏名 Name 姓 Surname 名 Given name
住所 Address 町 Town 丁目 District 番 Number 号 Number
電話番号 Telephone 家 Home 携帯 Mobile
緊急連絡先 Emergency Contact 国内 Domestic 国外 Overseas
緊急連絡先 Emergency Contact 国内 Domestic 国外 Overseas
近所の避難場所 Nearby Place to Evacuate 避難所 Evacuation Place
近所の避難場所 Nearby Place to Evacuate 避難所 Evacuation Place

か
書きましょう。

日本語で記入して、いつも身につけていましょう

Please fill out in Japanese and keep it with you.

请用日语填写，并随身携带

Preencha em português e mantenha sempre consigo

Rellene en japonés y llévela siempre consigo

氏名 Name 姓名
Nome Nome completo

住所 Address 地址
Endereço Dirección

国籍 Nationality 国籍
Nacionalidade Nacionalidad

私のお話せる言葉 Languages I can speak.
我能说的语言
Idiomas que domina
Lenguas que domina

血液型 Blood-type 血型
Tipo de sangue Grupo sanguíneo

国内の緊急連絡先 Emergency contact in Japan 国内緊急联系人
Número de telefone do Japão para contato em casos de emergência
Número de teléfono del Japón para contacto en casos de emergencia

国外の緊急連絡先 Emergency contact abroad 国外緊急联系人
Número de telefone de seu país para contato em casos de emergência
Número de teléfono de su país para contacto en casos de emergencia

大使館の電話番号 Embassy Phone Number 大使馆电话号码
Número de telefone do Consulado
Número de teléfono del Consulado

近くの避難所 Nearest Evacuation Area 附近的避难场所
Local de refúgio mais perto
Lugar de refugio más cercano

※栃木県産業労働観光部国際課

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/life/kokusai/tabunka/documents/1235973842433.pdf>

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/life/kokusai/tabunka/1235977471478.html>

■ かつどう じしん そな
活動3－地震に 備えよう

ぼうさいようひん はな
(1) 防災用品について 話しましょう

- ① どんな ぼうさいようひん を みたことが ありますか。
- ② あなたが つか 使いたいと 思った おも ぼうさいようひん は なん 何ですか。



[]

ぼうさいぶくろ はな
(2) 防災袋について 話しましょう

- ① まわりのひと に 家に ぼうさいぶくろ ひじょうようもちだしぶくろ が あるか、きいて みましょう。また、ぼうさいぶくろ なかみ も きいてみしましょう。
- ② あなたのいえ の ぼうさいぶくろ なに を い 入れておきますか。



[]

(3) 消火器^{しょうかき}について 話^{はな}しましょう

① あなたの身^みの回^{まわ}りに 消火器^{しょうかき}が あります^あるか。どこに あります^あるか。



いえ
家 :

かいしゃ
会社 :

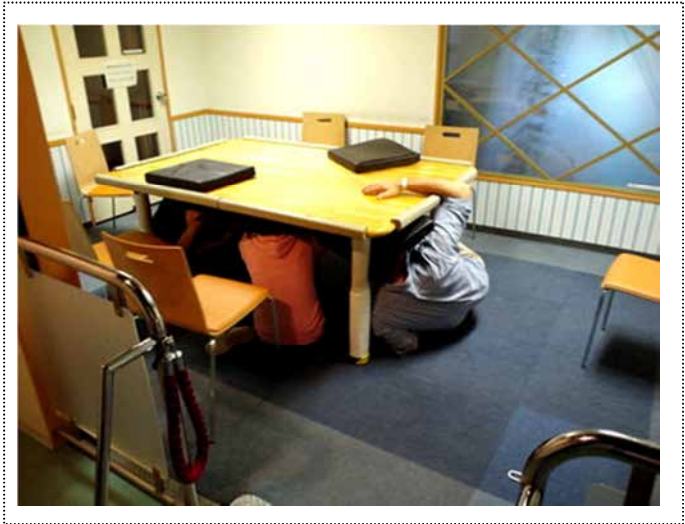
にほんごきょうしつ
日本語教室 :

まちのなか
中 :

② 消火器^{しょうかき}の 使^{つか}い方^{かた}を 確^{かく}認^{にん}しましょう。

■ 活動(かつどう)4 - 地震(じしん)体験(たいけん)

(1) 防災館(ぼうさいかん)に 行(い)って 地震(じしん)を 体験(たいけん)しよう



※1

(2) 地域(ちいき)の 防災訓練(ぼうさいくんれん)に 参加(さんか)しよう



※2

キーフレーズ

- 地震(じしん)!
- 助(たす)けて!
- 逃(に)げて!
- 急(いそ)いで!
- 大丈夫(だいじょうぶ)? / 大丈夫(だいじょうぶ)
- 危(あぶ)ない!

※1 高知県労連青年部 <http://fun.ap.teacup.com/seinenbu/>

※2 南足柄市 http://www.city.minamishigara.kanagawa.jp/kurashi/bouan/boutai/bousai_kunren.html

◆ ことば・表現 — 災害や 避難に 関する ことば・表現

- ・地震(じしん)
- ・緊急地震速報(きんきゅうじしんそくほう)
- ・余震(よしん)
- ・避難(ひなん)
- ・避難所(ひなんじょ)
- ・震度(しんど)
- ・避難場所(ひなんばしょ)
- ・津波(つなみ)



薬
(くすり)



水
(みず)



ラジオ
(らじお)



電池
(でんち)



マスク
(ますく)



懐中電灯
(かいちゅうでんとう)



タオル
(たおる)



乾パン
(かんぱん)

- ・地震だ!(じしんだ!)
- ・助けて!(たすけて!)
- ・逃げて!(にげて!)
- ・急いで!(いそいで!)
- ・危ない!(あぶない!)
- ・大丈夫? / 大丈夫。(だいじょうぶ? / だいじょうぶ。)
- ・危険(きけん)
- ・怪我(けが)
- ・病気(びょうき)
- ・ガスを止めて!(がすをとめて!)

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0501030)「避難場所・方法を理解する・人に聞く」

(0502010)「地震について理解する」

(0502020)「身を守る(地震発生時)」

教室活動の目標

－地震の時に行動できるようにする。

教室活動のねらい

－避難場所や避難方法の注意書きを読んで理解できる。(活動1, 活動2)

－身の守り方について説明を読んで理解できる。(活動1)

－地震に備えることができる。(活動2, 活動3, 活動4)

- ・日本は地震が多い国です。地震の少ない国から来た人にとって、突然の地震はどのようなものでしょうか。災害はいつ何時やってくるか分かりません。万一のときも、自分は落ち着いて安心して対応できるんだという自信を持てるような場を作っていけるといいでしょう。学習者が地域の一員として安心して暮らしていけるよう、地域の地震の避難訓練、外国人向け防災教室などの日程と組み合わせて教室活動を展開するなどの工夫ができるとよいでしょう。

活動前に確認しておくこと

－学習者の居住地域や職場・学校の避難場所

－近くの防災館の開館時間, 休館日, 交通

－地域の防災訓練の日程

(外国人向け防災訓練や防災教室がある自治体もあります)

準備する素材

－学習者の居住地域の自治体が発行している地震時の対応に関する多言語

情報

- 学習者の居住地域の自治体が発行している避難場所に関するパンフレット
- 非常時用携帯カード(学習者の自治体のものがあればそれを利用, なければ他自治体のものを利用してよい。または, 自作する。)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・地震だ!(p.56)

- ・「イラスト・写真シート」(p.56)を見ながら, 学習者のこれまでの地震の体験について話をします。学習者がどう対応したか, どんな気持ちになったのか, 話を引き出していきましょう。最近の地震の様子を報道しているテレビの映像を利用したり, 学習者が居住する地域の避難場所を示す看板の写真など学習者に身近で地域に合った素材を使ったりするといいいでしょう。

< 問いかけ例 >

「あなたの国ではよく地震がありますか。」

「地震を体験したことがありますか。そのとき, どうしましたか。どんな気持ちになりましたか。」

体験・行動する

■活動シート

・活動1-地震のとき, どうしますか(p.57~58)

- ・「活動1-地震のとき, どうしますか」(p.57~58)は, 地震発生時の適切な行動を知る活動です。それぞれのイラストの行動が適切かどうか考えた後, 多言語情報を見て確認します。学習者が一人で考えてみてもいいですし, 協力者といっしょに考えてみてもいいでしょう。それぞれの行動の理由についても確認できると, よりいいでしょう。また, イラストに載っていない行動や地域特有の行動(沿岸部では高台に避難する等)について話を発展させてもいいでしょう。適切な行動を知っていれば, 学習者は地震が起きたときもパニックにならず, 落ち着いて対応できる可能性が高くなるはずですよ。

- ・地震に関する多言語情報は多くの自治体や団体で作成されています。自治体によって、情報量、提供形態などが異なります。学習者の居住地のもの以外でも学習者に合うものがあれば大いに活用しましょう。

多言語情報例

例1) 東京都生活文化局 「地震から身を守るために」

- ・日本語・韓国語朝鮮語・英語・中国語(併記)
- ・<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/index3files/zisin.pdf>
- ・電車・バス・地下鉄に乗っているとき、地下街にいるときなど地震発生時にいる場所別に適切な対応が掲載されている。
- ・ホームページからパンフレットをダウンロードすることができる。

例2) 滋賀県 外国人向け地震対策シリーズ完成版

- ・日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語(大陸)・中国語(台湾)・ハングル・タガログ語)
- ・<http://www.s-i-a.or.jp/gaikokuseki/jisin/index.htm>
- ・発生時の対応だけでなく防災用品や消火器の使い方など情報が豊富で多岐に渡る。

例3) 文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

- ・日本語, 中国語, 韓国・朝鮮語, 英語, スペイン語, ポルトガル語
- ・http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/handbook/index.html
p.39 災害と緊急電話

体験・行動する

■活動シート

・活動2－緊急の時のカードを作ろう(p.59～60)

- ・非常時に携帯するカードを作成する活動です。カードには、学習者の個人情報や避難場所、連絡先などを記入しておきます。学習者の居住地の自治体が発行する非常用携帯カードがあれば、それを利用することができます。学習者の自治体で作成していない場合、他の自治体で作成したカードを利用することもできますし、学習者といっしょに自分たちで作ってみるのもいいでしょう。作成したら、小さく折りたたんで、普段から財布や手帳に入れておくようにしましょう。

多言語非常用カード例

例1) (財)栃木県国際交流協会 「地震・災害時のための避難カード」

- ・日本語・中国語・英語・ポルトガル語・スペイン語併記
- ・<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/life/kokusai/tabunka/documents/1235973842433.pdf>

例2) 東京都生活文化局「ヘルプカード」

- ・日本語・英語・中国語・韓国語朝鮮語)
- ・<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/index3files/ALLhelpC.pdf>

- ・ 避難場所については、学習者が住んでいる自治体が発行している避難場所のパンフレットを見ながら確認しましょう。一次的な避難所と広域避難所の両方がある地域もあります。事前に確認しておくといいでしょう。避難場所を学習者が知らない場合は、実際にいっしょに歩いて避難経路を確認するのも実用的な活動です。
- ・ 学習者の状況に応じて記入項目を変更したり増やしたりしましょう。

< 記入項目例 >

- ・ 家族の緊急連絡先(会社や学校など)
- ・ 家族との緊急集合場所
- ・ 近所の人との連絡先
- ・ 持病の名前・普段飲んでいる薬の名前
- ・ かかりつけの病院名・病院の連絡先 等

体験・行動する

■ 活動シート

・ 活動3－地震に備えよう(p.61～62)

- ・ ここでは、日常生活で地震にどんな備えができるのかを知ることを目的としています。
- － 防災用品について
- ・ ここでは、防災用品について話をします。防災用品の実物を持って来て話をするといいでしょう。学習者が見たことがあるか、使い方を知っているか、指導者や協

カ者の家ではどんなものを使っているか、学習者も使ってみたいかなど話を広げてみましょう。実際に、ホームセンターなどの防災用品売り場に行って、防災用品を手にしてみるのもいいでしょう。

－防災袋について

- ・ここでは防災袋について話をします。まず、「ことば・表現」の単語「薬」～「乾パン」（防災袋に入れておくもの）に慣れておくといいでしょう。協力者に自宅に防災袋の備えの有無やその中身について、インタビューをします。教材例には掲載していませんが、インタビュー時の記録用紙を作成しておくといいでしょう。

<表現例>

学習者：家に防災袋がありますか。

学習者：防災袋の中に何が入っていますか。

- ・インタビューをしたあと、自分なら防災袋にどんなものを入れておくかを考えて、記入します。その後、実際に、防災袋を準備して、物を用意するところまで行くと、より実践的です。

－消火器について

- ・ここでは消火器について話をします。地震の後、火災が発生することがありますが、ここでは消火器を使った初期消火について話をします。自分の身の回りのどこに消火器があるかを調べたり、使い方を確認したりします。街頭消火器の設置場所は、自治体のホームページなどで紹介されています。また、自治体に問い合わせ聞いておくともいいでしょう。（※街頭消火器が設置されていない自治体もあります。）

体験・行動する

■活動シート

・活動4－地震体験(p.63)

- ・「活動4－地震体験」の「(1)防災館に行って、地震を体験しましょう」(p.63)は、近くに防災館がある場合に、実際に防災館を訪問し、地震を疑似体験をする活動です。
- ・「活動4－地震体験」の「(2)地域の防災訓練に参加しましょう」(p.63)は、地域の地域防災訓練に参加する活動です。訓練にいっしょに参加することを教室活

動にぜひ組み込んでみましょう。地域で生活する一員という気持ちが生まれると、万一のときも安心です。

- ・ もし、防災訓練がなければ日本語教室として避難訓練を実施してみましょう。その際に必要になる表現を、確認しておきましょう。
- ・ 表現は「地震だ」「助けて」などの基本的な表現のほか、沿岸部か山間部か、また都会なのか農村なのか、学習者が住んでいる状況によって避難するときに必要な表現が違ってくる場合があります。
- ・ 例えば、沿岸部では「津波が来るよ！」「高台に逃げて！」ということばが言える、または聞き取れることが大切となります。学習者と話をしながら、地震のときにどんな表現やことばが必要になるかを話しながら、話題に出た表現を扱っていくことが大切です。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－災害や避難に関することば・表現(p.64)

- ・ 「地震」～「津波」は地震災害に関して知っていると役に立つことばです。「薬」～「乾パン」は防災袋に入れる代表的なものです。防災袋に入れるものを買ったときに行ったときに困らないよう、これらのことばに慣れておくといいでしょう。「地震だ！」～「ガスを止めて！」は避難時によく使う表現です。
- ・ 「薬」～「乾パン」のことばは「活動3」の「(2)防災袋について話しましょう」(p.61)で防災袋の活動をする前に、防災袋に入れるものの単語を確認しておくといいでしょう。
- ・ ゲームを取り入れて、ことばに慣れることもできます。下の例はカルタを応用したものです。「薬」～「乾パン」の表現もカルタを応用し、聞いて分かるようにできるといいでしょう。

<「薬」～「乾パン」のことばのゲーム例>

準備：防災袋に入れるものの絵カード

- ① 学習者数人でグループを作り、机の周りに座ります。
- ② 絵カードを机の上にはらばらに置きます。
- ③ 指導者が絵カードの単語を一つ言います。学習者は該当する単語カードを取ります。一番早く取れた人がそのカードをもらいます。これを机の上のカードがなくなるまでやります。
- ④ 机の上のカードがなくなったら終わりです。一番カードをたくさん持ってい

る人が勝ちです。

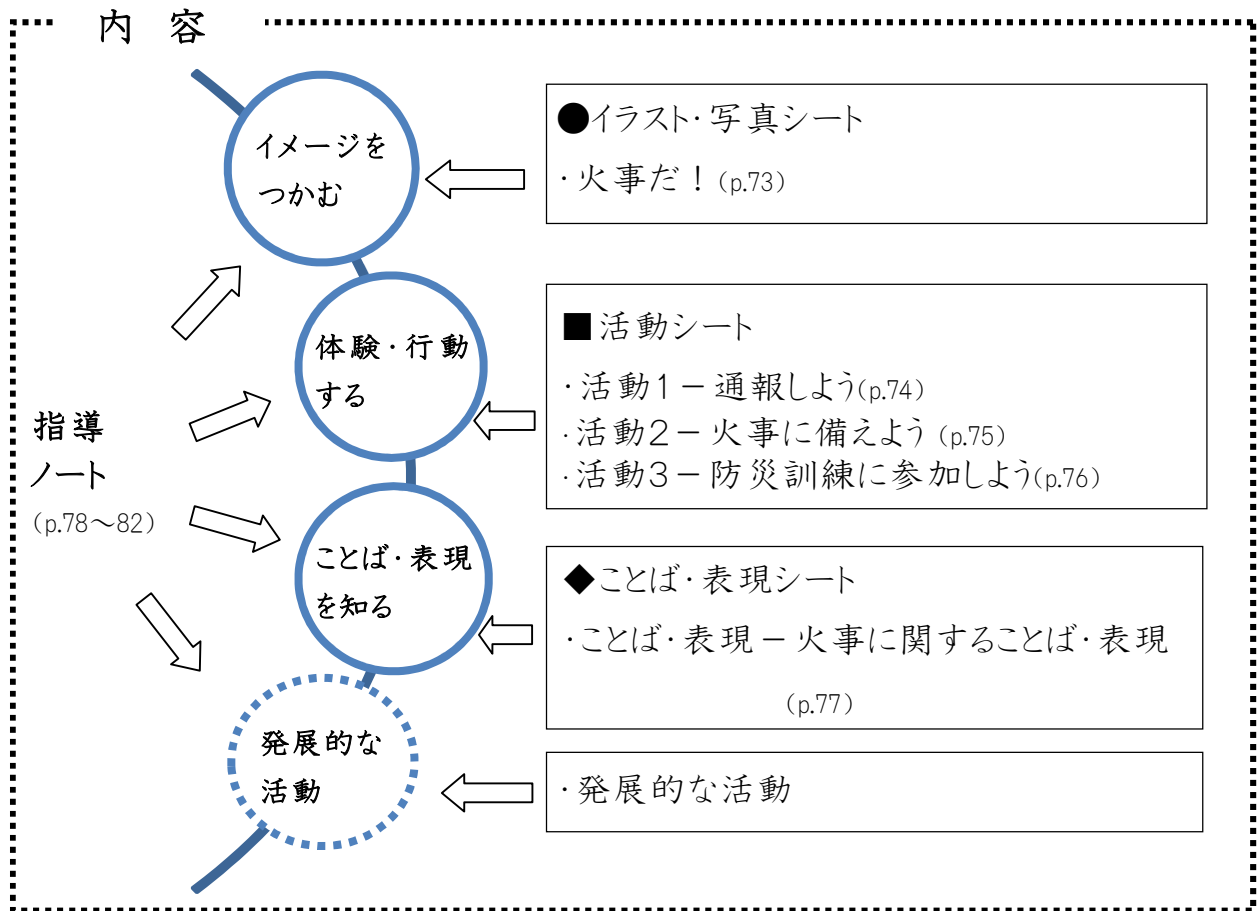
発展的な活動

- ・ 学習者の地震に関する知識やニーズによっては、より発展的な活動も考えられます。

<例>

- ・ 災害伝言板の使い方を知る。
- ・ テレビやラジオのニュースから震度や津波の情報を得る。
- ・ 学習者の居住自治体の防災無線を聞いて、情報(「津波」「高台に逃げてください」「地すべり」「余震」など)を聞き取る。

さいがい そな たいおう かじ
 (05) 災害に 備え, 対応する(火事)



取り上げる生活上の行為の事例

- (0504050)「消防・救急(119番)や警察(110番)に電話する(火災等)」
- (0502020)「身を守る」

教室活動の目標

- ・火災発生時に, 消防・救急(119番)に電話をする
- ・身を守る

教室活動のねらい

- ・緊急時の電話番号が分かる
- ・消防に電話をかけて, 火事の発生場所と状況, 自分の名前と電話番号を伝えることができる
- ・火災に備えることができる

● か じ
火 事 だ !



※ 佐野いくお市議のブログ <http://snipesano.exblog.jp/9610688/>

■ ^{かつどう} ^{つうほう}
活動1 - 通報しよう

- ^{かじ} 火事です。 ^{しょうぼうしょ} 消防署に ^{でんわ} 電話しましょう。



(1) 会話例

^{しょうぼうしょいん} ^{ひゃくじゅうきゅうばん} ^{しょうぼうしょ} ^{かじ} ^{きゅうきゅう}
消防署員: 119番, 消防署です。 火事ですか, 救急ですか。

^{かじ}
Aさん: 火事です。

^{しょうぼうしょいん} ^{ばしょ}
消防署員: 場所は どこですか。

^{やましたちやういちの} ^の ^の ^{よん} ^あ ^ぼ ^ー ^と ^{さん} ^{ぜろ} ^{いち}
Aさん: 山下町1-2-4 さくらアパート301です。

^{やましたゆうびんきょく} ^{とな}
山下郵便局の 隣りです。

^{しょうぼうしょいん} ^{なに} ^ひ ^で
消防署員: 何から 火が 出ているですか。

^{だいどころ} ^ひ ^で
Aさん: 台所から 火が 出ているです。

^{しょうぼうしょいん} ^わ ^な ^{まえ} ^{でん} ^わ ^{ばん} ^{ごう}
消防署員: 分かりました。 あなたの 名前と 電話番号を

^{おし}
教えてください。

^だ ^に ^{える} ^{でん} ^わ ^{ぜろ} ^{きゅう} ^{ぜろ} ^の ^{いち} ^に ^{さん} ^{よん} ^の ^ご ^ろ ^{しち} ^{はち}
Aさん: ダニエルです。 電話は 090-1234-5678です。

■ かつどう かじ そな
活動2－火事に 備えよう

○ した のものを みたことが ありますか。



しょうかき は あなたの 身の回りの どこに ありますか。

しょうかき の つかい方を かくにん 確認しましょう。



まち で しょうかき を 見つめましょう。 どこに ありますか。



あなたの いえ に かせいほうちき が ありますか。



火事の 時の ひなんけいろ を かくにん 確認しましょう。

あなたの くに にも うえ のものが ありますか。 ほかに、火事を防ぐ ための ものが ありますか。

■ かつどう ぼうさいくんれん さんか
活動3－防災訓練に 参加しよう

○ あなたの まち ぼうさいくんれん さんか
あなたの町の防災訓練に参加しましょう。



※ くまぶろ http://blog.kumapapa.jp/2005/09/post_7613.html
<http://blog.kumapapa.jp/>

◆ ことば・表現 - 火事に 関する ことば・表現

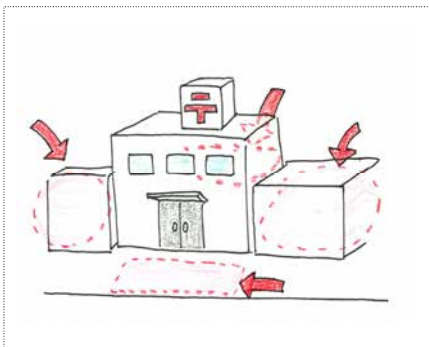
(1)



(2) ××市××町1-2-3 ○○アパート205

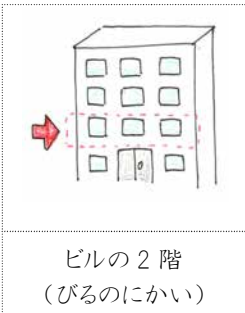
まちいちょうめ にじゅうさんばん ち
××町1丁目23番地

(3)



- ① 郵便局の となり
- ② 郵便局の 前
- ③ 郵便局の 後ろ
- ④ 郵便局の 近く

(4) (台所)から 火が 出ている / (台所)が 燃えています



指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0504050)「消防・救急(119番)や警察(110番)に電話する(火災等)」

(0502020)「身を守る」

教室活動の目標

- －火災発生時に、消防・救急(119番)に電話をする。
- －身を守る。

教室活動のねらい

- －緊急時の電話番号が分かる。
 - －消防に電話をかけて、火事の発生場所と状況、自分の名前と電話番号を伝えることができる。(活動1)
 - －火災に備えることができる。(活動2, 3)
- ・さまざまな緊急事態の中でも火事を取りあげました。海外の知らない土地で火事に遭遇した場合、母国にいるとき以上に不安になったり焦ったりするものです。例えば、火事を通報しようにも、電話は相手の顔が見えず、余計に不安を感じることでしょう。でも、最低限のことが伝えられればいいのです。これが言えるから万一のときも、落ち着いて行動できるぞと安心を感じられるような教室活動を考えてみましょう。また、地域の防災訓練の時期にこのトピックを扱う工夫をすることにより、地域の一員として安心して暮らせることにつながるでしょう。

活動前に確認しておくこと

- －街頭消火器の設置場所
- －避難経路
- －防災訓練の日程

準備する素材

- 緊急時の通報先が分かる多言語情報

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・火事だ！(p.73)

- ・「イラスト・写真シート」(p.73)の火事の写真をしながら、学習者がこれまで火事に遭遇した経験や遭遇しそうになった経験について話します。それから、日本で遭遇したときにどうすればいいか、現在の学習者の知っている知識やことばを引き出していきましょう。学習者から出てきたピックに関係することば(日本語, 母語とも)はシートに書き留めながら話しましょう。

< 問いかけ例 >

「これはどんな場面でしょうか。」

「火事になったこと、火事になりそうになったこと、火事を見つけたことがありますか。」

「そのとき、どうしましたか。」

「消防署に火事を通報するとき、あなたの国では何番に通報しますか。日本では何番に通報したらいいでしょうか。」

「通報したとき、消防署員に何をどう伝えますか。」

- ・ 多言語情報を利用して、火災時の緊急電話番号、伝える内容、公衆電話での電話のかけ方を確認しましょう。このとき、同時に重篤な怪我、交通事故、救急など緊急事態の電話番号先も確認しておくといいいでしょう。日本では火災と救急は同じ番号ですが、国によっては異なることもあります。
- ・ 近くに公衆電話がある場合、また携帯や固定電話から電話ができない場合に備え、公衆電話からの緊急電話番号のかけ方も確認しておくといいいでしょう。そのとき、実際の公衆電話を見て確認するか、公衆電話の写真を用意するといいいでしょう。

多言語情報例

例1)文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

p.40-41 緊急電話

例2)財団法人自治体国際化協会『多言語生活情報』

緊急・災害時

<http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/p/index.html>

体験・行動する

■活動シート

・活動1－通報しよう(p.74)

- ・「活動1－通報しよう」(p.74)は、火事に遭遇したときに消防署に通報をするという活動です。火災発生場所は、学習者が居住圏内の具体的な場所を取りあげるといいでしょう。
- ・学習者の日本語のレベルに合わせて、取り上げる場面を限定したり、取り上げる表現についても「これだけ言えれば、何とか通報ができる」「これが言えれば、状況をやや詳細に通報できる」など段階を持たせたりして工夫してください。例えば、「活動1－通報しよう」(p.74)では①自宅で起きた火事を通報する場面と②外に出ているときに火事を発見して通報する場合を提示しましたが、学習者の日本語のレベルによっては①のみ扱うこともできます。取り上げる表現も火災発生場所と自分の名前と電話番号を単語レベルで言えればいいと考えることもできます。
- ・学習者の日本語のレベルによっては、ロールプレイをするとき、消防署に通報するだけでなく、周りの人に火事を伝える行動、通報をお願いする行動も入れられるといいでしょう。また、複雑な状況(例えば、火災を発見したが住所が分からない)のとき、どう対応するか話してみるのもいいでしょう。

<周りの人に火事を伝える表現の例>

火事だ！／火事！逃げて！

<通報をお願いする表現の例>

あそこで火事です。消防に電話をお願いします。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－火事に備えよう(p.75)

- ・「活動2－火事に備えよう」(p.75)は、身近にどんな防災設備があるかを知る活動です。消火器や火災報知機の実物を手にして、使い方を確認したり、自宅、職場、日本語教室の消火器の設置場所や避難経路を確認します。
- ・防災設備について学習者の母国ではどうなっているのか話をしてもおもしろいでしょう。
- ・街頭消火器の設置場所については、自治体のホームページなどで紹介されています。また、自治体に問い合わせることもできます。(街頭消火器は設置されていない自治体もあります。)

体験・行動する

■活動シート

・活動3－防災訓練に参加しよう(p.76)

- ・「活動3－防災訓練に参加しよう」(P.76)は、地域の防災訓練に地域の一員として参加する活動です。訓練にいっしょに参加することを教室活動に組み込んでみましょう。地域で生活する一員という気持ちがあると、万一のときも安心です。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－火事に関することば・表現(p.77)

- ・「イラスト・写真シート」の話の中で出てきたことばや表現について、「ことば・表現シート」を使って確認しましょう。話の中で出てこなかったことばや表現は必要に応じて確認をしてください。

発展的な活動

- ・学習者の日本語のレベルやニーズによっては、救急や警察への通報など火災以外の緊急事態を同時に扱うなど、異なる生活行為を組み合わせた教室活動

も考えられます。

<活動例>

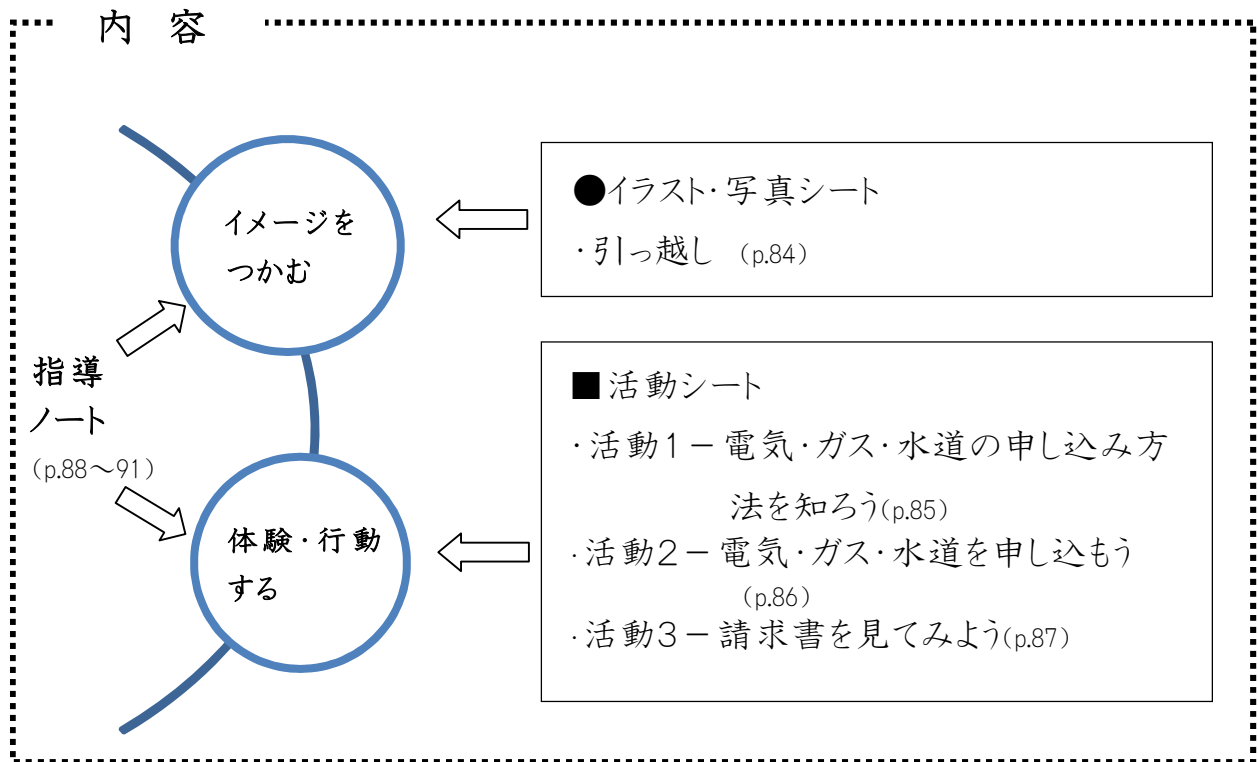
① 緊急事態がわかるイラストを提示して場面を確認する。また、自分がこのような経験をしたことがあるか、自分が経験した緊急事態について話す。

- 例)
- ・おなかを押さえて倒れている人
 - ・車と自転車の交通事故の場面
 - ・火事
 - ・路上でのひったくり

② それぞれの緊急事態を通報する場合、通報先とその電話番号について話す。そのとき、自分の国の通報先、電話番号についても話す。

③ 各場面での通報のロールプレイをする。

(07) 住居を管理する



取り上げる生活上の行為の事例

- (0701010)「電気・水道・ガス等の開始手続きについて理解する」
- (0701040)「電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する」
- (0701090)「電気・水道・ガス等の申し込みをする」
- (0703030)「電気・水道・ガスの請求書を理解する」

教室活動の目標

- ・電気・水道・ガスの開始手続きについて理解する
- ・電気・水道・ガスの申し込みができる
- ・電気・水道・ガスの請求書を理解する

教室活動のねらい

- ・電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する
- ・電話で開始に必要な事項を伝えて、申し込みをすることができる
- ・請求書兼領収書の見方を理解する

● ひ こ
引っ越し



※パソコン大好きママの子育て奮闘記 <http://tyakityaki.seesaa.net/article/114035447.html>

■ 活動(かつどう)1 - 電気(でんき)・ガス(がす)・水道(すいどう)の 申し込(もうこ)み 方法(ほうほう)を 知(し)ろう

(1) 下(した)の 物(もの)を 見(み)たこと(こと)が あり(あ)りますか。 下(した)の 写(しゃ)真(しん)と 関(かん)係(けい)する こと(こと)ば(ば)を 選(えら)びま(ま)しょう。



でんき
電気

がす
ガス

すいどう
水道

(2) 引(ひ)っ越(こ)しの 時(とき), 新(あた)ら 家(いえ)の 電(でん)気(き)・ガ(が)ス(す)・水(すい)道(どう)の 申(もう)込(こ)みは どう(どう)し(し)ま(ま)すか。 いつ(いつ), ど(ど)こ(こ)に 連(れん)絡(らく)し(し)ま(ま)すか。 多(た)言(げん)語(ご)情(じょう)報(ほう)を 見(み)な(な)が(が)ら, メ(め)モ(も)し(し)ま(ま)しょう。

でんき 電気	いつ	
	でんわばんごう 電話番号	
がす ガス	いつ	
	でんわばんごう 電話番号	
すいどう 水道	いつ	
	でんわばんごう 電話番号	

■ 活動2－電気・ガス・水道を 申し込もう

あたらしい いえ がす もう こ
新しい 家の ガスの 申し込みをしましょう。

(※Aさん－学習者 Bさん－ガス会社の人)

Aさん: ひっこしを するんですが、 がすの 申し込みを お願いします。

Bさん: わかりました。 お名前、 ご住所を お願いします。

Aさん: はい。 名前は ××です。住所は 横浜市西区山上町

いちのいちのいちきどうこーぽにまるいち
1-1-1 佐藤コーポ201です。

Bさん: いつ 開栓しますか。

Aさん: じゅうがついついち ねが
10月1日、 お願いします。

Bさん: わかりました。 たちあ ひつよう ごぜん ごご
立会いが 必要ですが、 午前と 午後
どちらが いいですか。

Aさん: ごぜん ねが
午前、 お願いします。



指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0701010)「電気・水道・ガス等の開始手続きについて理解する」
- (0701040)「電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する」
- (0701090)「電気・水道・ガス等の申し込みをする」
- (0703030)「電気・水道・ガスの請求書を理解する」

教室活動の目標

- －電気・水道・ガスの開始手続きについて理解する。(活動1, 2)
- －電気・水道・ガスの申し込みができる。(活動2)
- －電気・水道・ガスの請求書を理解する。(活動3)

教室活動のねらい

- －電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する。
 - －電話で開始に必要な事項を伝えて、申し込みをすることができる。
 - －請求書兼領収書の見方を理解する。
- ・ 生活をする上で、電気・ガス・水道は欠かすことができません。その手続き方法は、国によって異なります。海外での生活において、その国の手続きの仕組みを理解し、実際に手続きをするということは、不安に感じるものです。教室で疑似的に体験し、学習者が安心できるような活動をしてみましょう。

活動前に確認しておくこと

- －学習者の居住地の、電気・ガス・水道の申し込み方法

準備する素材

- 学習者の居住地や引っ越し先の、電気・ガス・水道の申し込みに関する多言語情報
- 学習者の居住地の、電気・ガス・水道の請求書兼領収書

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・ 引っ越し(p.84)

- ・ 「イラスト・写真シート」(P.84)の写真を見ながら、母国や日本での引っ越しの経験について話をしましょう。引っ越しのときの習慣や手続きについて、国や地域によって異なることでしょう。話の中で出てきた言葉(母語・日本語)をメモし、必要な語彙は日本語でどう言えばよいのか確認しましょう。

< 問いかけ例 >

- 「あなたは引っ越したことがありますか。」
- 「引っ越す前にやることは何ですか。」
- 「引っ越した後にやることは何ですか。」
- 「引っ越しに関して、あなたの国ではどんな習慣がありますか。」

体験・行動する

- 活動シート
- ・ 活動1 - 電気・水道・ガスの申し込み方法を知ろう(p.85)

- ・ 活動1「電気・水道・ガスの申し込み方法を知ろう」の(1)では、学習者が今住んでいる家にあるメーターがそれぞれ何のメーターか知っているかどうかを確認します。また、ことばも導入します。写真を見ながら、次のようなことを話してもいいでしょう。

< 問いかけ例 >

「あなたの家にこれ(メーターやブレーカー)がありますか。」

「何のメーターですか。」

「日本で新しい部屋に住む時, その部屋の電気・ガス・水道はどこに申し込みますか。いつ申し込みますか。」

「あなたの国ではどうですか。」

- ・ 活動1「電気・水道・ガスの申し込み方法を知ろう」の(2)では, 引っ越しの際の, 電気・ガス・水道の申し込み方法について知る活動です。いつ, どこに, 何を連絡するのかを, 一般的な多言語情報や学習者が居住する地域の多言語情報を利用して確認し, メモをしましょう。

多言語情報例

例1) 多言語生活情報((財)自治体国際化協会)

- ・ 中国語, 英語, 韓国語, スペイン語, ポルトガル語, タガログ語, ドイツ語, フランス語, ベトナム語, ロシア語, タイ語, インドネシア語
- ・ <http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/index.html>
- ・ 電気・ガス・水道の申し込みについて, 一般的な手続きの流れが書かれている。

例2) 大阪市「エンジョイオオサカ」

- ・ 英語, 中国語, 韓国語・朝鮮語, スペイン語, ポルトガル語
- ・ <http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000023766.html>
- ・ 申し込み方法のほか, 請求書の見方(活動3で参考に関連)についても書かれている。

例3) 横浜市「生活ガイド」

- ・ <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/koho/lifeguide/>
- ・ 横浜市の電気・ガス・水道の申し込みの方法が書かれている。

体験・行動する

■ 活動シート

・ 活動2－電気・ガス・水道を申し込もう(p.86)

- ・ 活動2「電気・ガス・水道の申し込み方法を知ろう」は, 電話で電気・ガス・水道の申し込みをする活動です。教材例では紙面の関係上, ガスのみを例にあげて

います。ガスは郵送での申し込みはできず、電話やネットで開栓を申し込みをした上で、開栓時に立会いが必要な地域が多く、学習者にとっては、一番複雑な手続きです。

- ・ 電気や水道は、地域によっては、電話以外に、新居においてある「使用開始のお知らせ」の紙に必要な事項を記入し、郵送するだけでよい地域もあります。学習者の日本語のレベルや希望に応じて、どちらで対応したいかを本人に聞いて教室活動を組み立てることもできるでしょう。郵送の場合は、ロールプレイではなく、実際に記入してみてください。

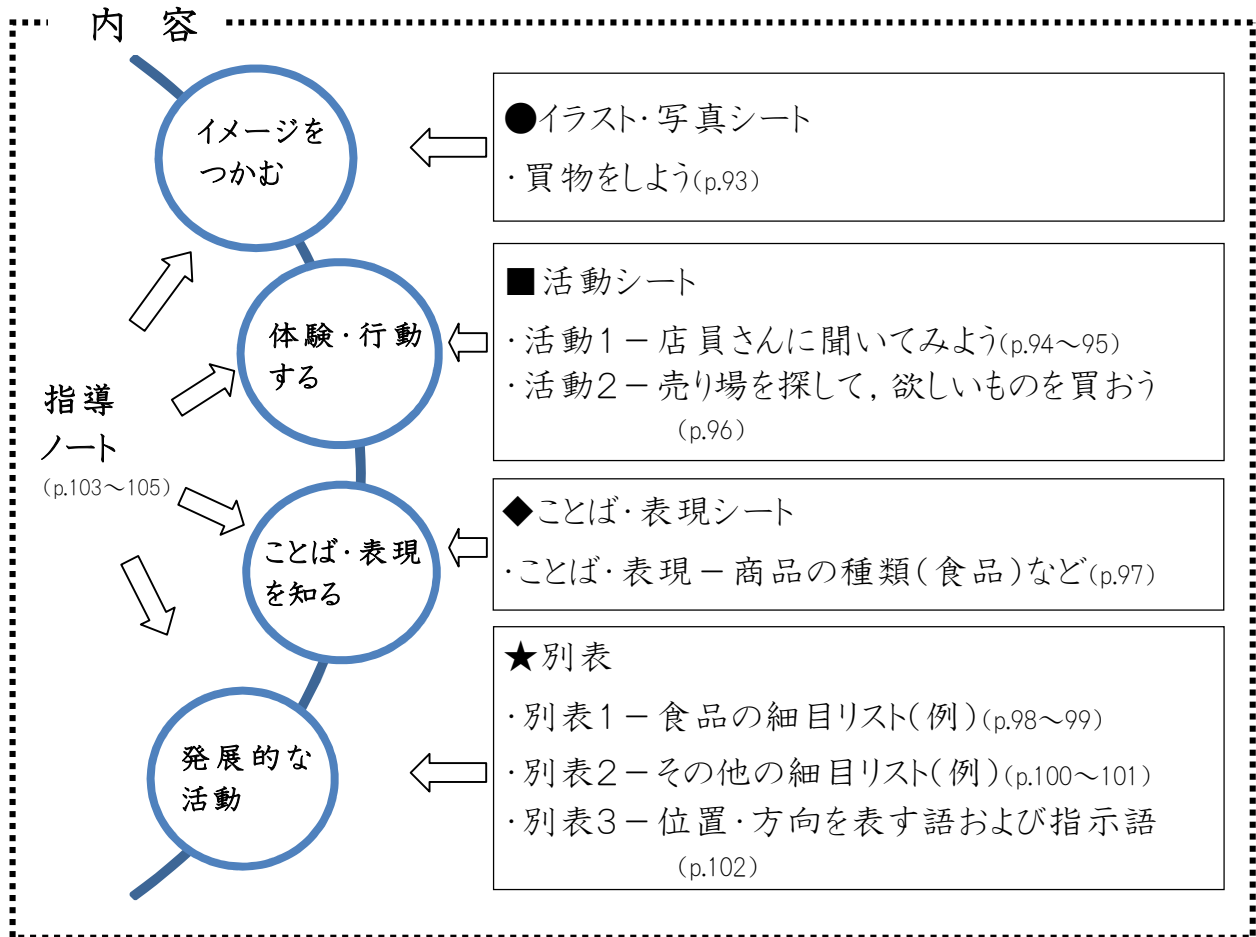
体験・行動する

■活動シート

・活動3－請求書を見てみよう(p.87)

- ・ 活動3「請求書を見てみよう」は、検針票や請求書の見方を理解する活動です。水道を例にしましたが、電気やガスでも同じようにやってみましょう。地域によって、検針票、請求書の様式は異なりますので、学習者の地域のものを見て話しましょう。
- ・ 電力会社、ガス会社、水道局の中には、検針票、請求書の見方に関する資料を多言語で準備しているところがあります。ホームページからダウンロードできる場合もあれば、窓口で配布している場合もあります。事前に問い合わせてみるといいでしょう。
- ・ 電気やガスや水道を1か月にどれくらい使っているか、主に何に使っているのか、どのように節約をしているかなどについて話をふくらませてもおもしろいでしょう。

ぶっぴん こうにゅう さーびす りよう
 (08) 物品購入・サービスを利用する



取り上げる生活上の行為の事例

- (0801060)「店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す」
- (0801050)「デパート, スーパーマーケット, コンビニ, 電器店, 書店等で買物をする」
- (0801080)「売り場を尋ねる」

教室活動の目標

- ・店内の表示を見たりして, 店員に尋ねて欲しいものの場所を探す

教室活動のねらい

- ・買いたい物がどこにあるか聞くことができる
- ・商品名を言うことができる

● かいもの
買物をしよう

※1



※2



※3



※1 Supermarket Sales | Flickr - Photo Sharing!

※2 Supermarket in Japan | Flickr - Photo Sharing!

※3 Nagano supermarket | Flickr - Photo Sharing!

<http://www.flickr.com/photos/bycolley/1786473070/>

<http://www.flickr.com/photos/tamaiyuya/5694616767/>

<http://www.flickr.com/photos/frozenjames/511976065/>

■ ^{かつ どう} ^{てん いん} ^き
活動1－店員さんに 聞いてみよう

(1) 会話例1 「牛乳は どこですか」
^{ぎゅうにゆう}

^{がくしゅうしゃ}
学習者 : あのう、すみません。

^{てん いん}
店 員 : はい。

^{がくしゅうしゃ} ^{ぎゅうにゆう}
学習者 : ○○(牛乳) どこですか。

^{てん いん} ^{ぎゅうにゆう}
店 員 : ○○(牛乳)は あちらです。

^{がくしゅうしゃ}
学習者 : ああ、そうですか。どうも ありがとう。

(2) 会話例2 「すみません、みかんは ありますか」

^{がくしゅうしゃ}
学習者 : すみません、○○(りんご) ありますか。

^{てん いん} ^{もう わけ} ^{きょう} ^{う き}
店 員 : 申し訳 ありません。今日は 売り切れてしまったんです。

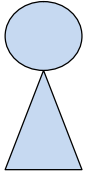
^{がくしゅうしゃ}
学習者 : そうですか。じゃ、△△(みかん)は ありますか。

^{てん いん}
店 員 : こちらに ございます。

^{がくしゅうしゃ}
学習者 : どうも。

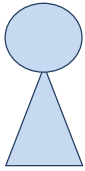
はな
ろーるぶれい
○ 話してみよう(ロールプレイ)

ろーるぶれい
(1)ロールプレイ 1



Aさん

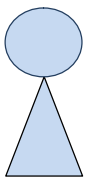
- 店員です。客の質問に答えてください。



Bさん

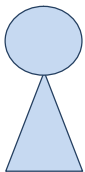
- ○○を 買いたいです。店員に ○○の 場所を 尋ねて、
ほしい ものを 探してください。

ろーるぶれい
(2)ロールプレイ 2



Aさん

- 店員です。○○は 売り切れしました。△△は あります。
客の 質問に 答えてください。

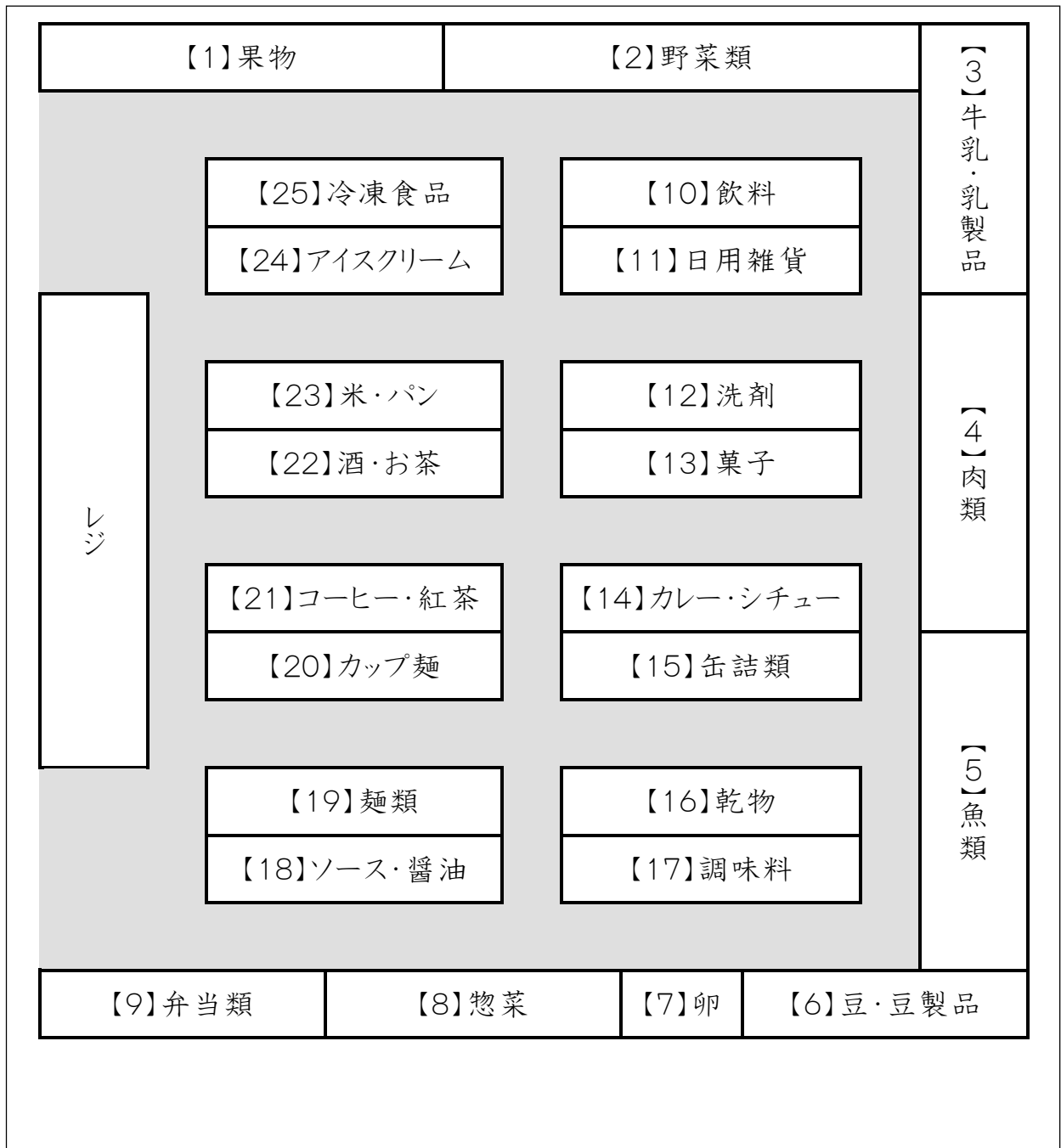


Bさん

- ○○を 買いたいです。お店に ○○が あるかどうか、
店員に 尋ねてください。ない場合は、△△を 買いたいです。
店員に △△の 場所を 尋ねてください。

■ 活動2 - 売^うり場^ばを 探^{さが}して, 欲^かしい 物^{もの}を 買^かおう

○「すみません, 野菜^{やさい}は どこですか」



◆ ことば・表現 - 商品の種類(食品)など

				
※1	※2	※2	※2	※2
果物 (くだもの)	野菜 (やさい)	肉 (にく)	魚 (さかな)	卵 (たまご)
				
	※2	※2	※2	
豆腐 (とうふ)	米 (こめ)	パン (ぱん)	麺 (めん)	牛乳 (ぎゅうにゅう)
				
			※3	
ジュース (じゅーす)	お茶 (おちゃ)	コーヒー (こーひー)	酒 (さけ)	調味料 (ちょうみりょう)
				
缶詰 (かんづめ)	冷凍食品 (れいとうしょくひん)	惣菜 (そうざい)	弁当 (べんとう)	レジ (れじ)

※1 いろいろなフルーツ(果物)-著作権フリーの画像 & 写真 <http://royaltyfreeimages.sblo.jp/article/45193052.html>
 ※2 無料DTP素材【素材ページ】食材・料理の著作権フリー写真 <http://www.sojai-page.com/index.html>
 ※3 有楽町の居酒屋#2 生ビール - 著作権フリー商用可! 無料画像の写真素材 ♪ラブフリーフォト <http://lovefreephoto.blog110.fc2.com/blog-entry-1478.html>

べっぴょう しょくひん さいもく りすと れい
★ 別表1－食品の細目リスト(例)

くだもの かこうひん
果物・加工品

いちご
おれんじ
オレンジ
かき
きうい
キウイ
くり
さくらんぼ
すいか
なし
ばいなっぶる
パイナップル
ばなな
バナナ
びわ
ぶどう
みかん
めろん
メロン
もも
らいち
ライチ
りんご
れもん
レモン
じゃむ
ジャム

やさい
野菜

えだまめ
えんどう
かぶ
かぼちゃ
かりふらわー
カリフラワー
きくらげ

きぬさや
きゃべつ
キャベツ
きゅうり
こまつな
さつまいも
さといも
しいたけ
じゃがいも
しょうが
せろり
セロリ
だいこん
たけのこ
たまねぎ
ちんげんさい
チンゲンサイ
とうがらし
とうがん
とうもろこし
とまと
トマト
なす
にんじん
にんにく
ニンニク
ねぎ
はくさい
びーまん
ピーマン
ぶろっこりー
ブロッコリー
ほうれんそう
もやし
れたす
レタス
れんこん

にく かこうひん
肉・加工品

ぎゅうにく
牛肉
とりにく
鶏肉
ぶたにく
豚肉
らむにく
ラム肉
そーせーじ
ソーセージ
はむ
ハム
べーこん
ベーコン

ぎょかいりい かいさんぶつ
魚介類・海産物

あじ
いわし
かつお
かれい
こい
さけノしゃけ
さば
さんま
たい
たら
まぐろ
いか
えび
かに
たこ
さしみ
刺身
あさり
しじみ

はまぐり
こんぶ
昆布
のり
わかめ

こくもつ かこうひん
穀物・加工品

あずき
小豆
こめ
米
だいず
大豆
びーなっつ
ピーナッツ
らっかせい
落花生
かたくりこ
片栗粉
こむぎこ
小麦粉
とうふ
豆腐
ぱん
パン
うどん
すばげってい
スパゲッティ
そば
はるさめ
春雨
びーふん
ビーフン
らーめん
ラーメン

の もの さけ
飲み物・酒

うーろんちゃ
ウーロン茶
お茶
こうちゃ
紅茶
じゃすみんちゃ
ジャスミン茶
りよくちゃ
緑茶

ぎゅうにゅう みるく
牛乳／ミルク
こーひー
コーヒー
こーら
コーラ
じゅーす
ジュース
ういききー
ウイスキー
しょうこうしゅ
紹興酒
しょうちゅう
焼酎
にほんしゅ
日本酒
びーる
ビール
わいん
ワイン

ちょうみりょう こうしんりょう
調味料・香辛料

あぶら
油
あぶら
ごま油
さらだあぶら
サラダ油
ばたー
バター
まーがりん
マーガリン
らーど
ラード
あじもと
味の素
さとう
砂糖
しお
塩
しょうゆ
醤油
す
酢
みそ
味噌
からし
からし
こしょう
胡椒

さんしょう
山椒
はっかく
八角
おいすたーそーす
オイスターソース
けちゃっぷ
ケチャップ
そーす
ソース
ちりそーす
チリソース
まよねーず
マヨネーズ
じゅうそう
重曹
どらいーすと
ドライイースト

かし にゅうせいひん
菓子・乳製品

あめきやんでいー
飴・キャンディー
がむ
ガム
くっきー
クッキー
せんべい
ちょこれーと
チョコレート
びすけっと
ビスケット
ほてとちっぷ
ポテトチップ
だんご
まんじゅう
ようかん
あいすくりーむ
アイスクリーム
けーき
ケーキ
そふとくりーむ
ソフトクリーム
ちーず
チーズ
よーぐると
ヨーグルト

★ 別表2-その他の細目リスト(例)

でんき せいひん
電気製品

れいぞうこ
冷蔵庫
せんたくき
洗濯機
かんそうき
乾燥機
そうじき
掃除機
しょつきあらき
食器洗い機
すいはんジャー
炊飯ジャー
でんきゆわほっと
電気湯沸かしポット
おーぶんれんじ
オーブンレンジ
でんしれんじ
電子レンジ
とーすたー
トースター
ほっとぶれーと
ホットプレート
みきさー
ミキサー
じゅーさー
ジューサー
えあこん
エアコン
くーらー
クーラー
せんふうき
扇風機
かしつき
加湿器
じょしつき
除湿機
すとーぶ
ストーブ
ひーたー
ヒーター
でんき
電気こたつ
でんきかーべつと
電気カーペット
でんきもうふ
電気毛布
ふとんかんそうき
布団乾燥機
てれび
テレビ

びでおでつき
ビデオデッキ
びでおかめら
ビデオカメラ
でじたるかめら
デジタルカメラ
でいぶいでいぶれーやー
DVDプレーヤー
しーでいーらじかせ
CDラジカセ
らじお
ラジオ
らじかせ
ラジカセ
えむびーすりー
MP3
おーでいお
オーディオ
ばそこん
パソコン
けいたいでんわ
携帯電話
ふあつくす
ファックス
どらいやー
ドライヤー
へあーあいろん
ヘアーアイロン
しゅーばー
シェーバー
でんどうはぶらし
電動歯ブラシ
じょうすいき
浄水器
くうきせいじょうき
空気清浄器
けいこうとう
蛍光灯
こんせんと
コンセント
でんち
電池

いるい そうしよくひん くつ
衣類・装飾品・靴

すーつ
スーツ
つーびーす
ツーピース
わんびーす
ワンピース

すかーと
スカート
ずぼん
ズボン
ばんつ
パンツ
じーんず
ジーンズ
わいしゃつ
ワイシャツ
ぶらうす
ブラウス
こーと
コート
おーばー
オーバー
じゃんぱー
ジャンパー
かーでいがん
カーディガン
ちょつき ベすと
チョッキ/ベスト
ぶれざー
ブレザー
せーたー
セーター
とれーなー
トレーナー
ていしゃつ
Tシャツ
きもの
着物
ちやいなどれす
チャイナドレス
ねまき ぱじゃま
寝間着/パジャマ
ずぼんした ももひき
ズボン下/股引
らんにんぐ
ランニング
ぶりーふ
ブリーフ
ぶらじゃー
ブラジャー
すりっふ
スリッパ
べちこーと
ペチコート
ばんていー
パンティー
すとっきんぐ
ストッキング

くつした そっくす
靴下 / ソックス

あさ
麻

もめん
木綿

こっとん
コットン

うーる
ウール

ほりうれたん
ポリウレタン

ほりえすてる
ポリエステル

れーよん
レーヨン

あくりる
アクリル

しるく きぬ
シルク / 絹

あんごら
アンゴラ

かしみや
カシミア

びろーど
ビロード

れざー
レザー

ないろん
ナイロン

にと
ニット

でにむ
デニム

れーす
レース

べると
ベルト

ぼうし
帽子

べれーぼう
ベレー帽

さんぐらす
サングラス

ねくたい
ネクタイ

すかーふ
スカーフ

まふらー
マフラー

りぼん
リボン

いやりんぐ
イヤリング

ねっくれす
ネックレス

ぶろーち
ブローチ

べんだんと
ペンダント

ほけっと
ポケット

ほたん
ボタン

ふあすなー じっばー
ファスナー / ジッパー /

ちゃっく
チャック

うんどうぐつ
運動靴

すにーかー
スニーカー

ながぐつ
長靴

ぶーつ
ブーツ

さんだる
サンダル

すりっば
スリッパ

はいひーる
ハイヒール

げた
下駄

にちようひん ざっか
日用品・雑貨

ほうちよう
包丁

いた
まな板

がすほんべ
ガスボンベ

ふらいばん
フライパン

あるみ
アルミ

らっぷ
ラップ

さら
皿

ちゃわん
茶碗

はし
箸

すぶーん
スプーン

ふおーく
フォーク

ないふ
ナイフ

こっぷ
コップ

おたま

めんぼう
綿棒

つまようじ

つめき
爪切り

はいざら
灰皿

といれっとペーパ
トイレットペーパー

たおる
タオル

て
手ぬぐい

かがみ
鏡

はぶらし
歯ブラシ

はみがこ
歯磨き粉

さっちゆうざい
殺虫剤

ふうとう
封筒

ぼーるペン
ボールペン

のり

はさみ

めがね
メガネ

そふあー
ソファ

いす
椅子

かさ
傘

さいふ
財布

かばん
カバン

たばこ

らいたー
ライター

めざ どけい
目覚まし時計

★ 別表3-位置・方向を表す語 および 指示語

い ち ほうこう
位置・方向

うえ
上
した
下
ひだり
左
みぎ
右
まえ
前
うし
後ろ
むかい
向かい
むこう
向こう
うちがわ
内側
そとがわ
外側
なか
中
あいだ
間
うら
裏
よこ
横

となり
隣
そば
まなか
真ん中
おく
奥
まっすぐ
つあ
突き当たり
かど
角
～から～番目
いちばん
一番
～かい
～階
ちか
地下
おくじょう
屋上
ひがし
東
にし
西
みなみ
南
きた
北

しじし
指示詞

これ
それ
あれ
どれ
この…
その…
あの…
どの…
ここ
そこ
あそこ
どこ
こちら/こっち
そちら/そっち
あちら/あっち
どちら/どっち

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0801060)「店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す」

(0801050)「デパート, スーパーマーケット, コンビニ, 電器店, 書店等で
買物をする」

(0801080)「売り場を尋ねる」

教室活動の目標

－店内の表示を見たりして, 店員に尋ねて欲しいものの場所を探す。

教室活動のねらい

- －買いたい物がどこにあるか聞くことができる。(活動1, 2)
- －商品名を言うことができる。(活動1, 2)

- ・買物は, 誰もが経験する行為の一つでしょう。学習者によってニーズや興味・関心は様々かもしれませんが, 食料品など日常生活に不可欠な物品の購入は誰もが経験するはずです。あまり行き慣れていない商店に行ったり, 買い慣れていない商品を買ったりする場合には, 欲しいものが店内のどこにあるか, すぐに分からないことも多いのではないのでしょうか。ここでは, その探し方を練習してみましょう。

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・買物をしよう (p.93)

- ・最初にイラスト・写真「買物をしよう」(p.93)を学習者と一緒に見ながら, 日本語または学習者の母語などで, 以下のようなやり取りをしてみましょう。

<例>

「これは何ですか。ここで何をしますか。(地域の)どこにありますか。」

「よく買物をしますか。家族の中では誰が買物しますか。いつもどこで買物しますか。何を買いますか。高いですか、安いですか。」

「買物のとき、日本語を使いますか。また、店員の日本語はわかりますか。」

「買いたい物がお店の中のどこにあるか、すぐにわかりますか。売り場が分からないときは、どうしますか。」

「買いたい物がお店にないときは、どうしますか。」

- ・ このようなやり取りを通じて、学習者が日常生活の中でどのような買物をしているか、また、その実際の場面で日本語をどの程度理解または使用しているかについて把握できるでしょう。学習者自身の買い物の場面に関する知識が活性化されるだけでなく、指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きっと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－店員さんに聞いてみよう(p.94～95)

- ・ 「活動1」の会話例(1)「牛乳はどこですか」や会話例(2)「すみません、みかんはありますか」を使ってキーフレーズを確認し、学習者の日本語レベルや地域の状況などに応じて適宜調整・工夫を加えた上で、ロールプレイを行います。
- ・ 会話ではキーフレーズに限らず、買物場面でよく使われる表現を取り上げてください。学習者の日本語レベルに合わせ、「これだけ言えれば、何とか必要なものを探ることができる」、「これが言えれば、スムーズに必要なものを探ることができる」、「これが言えれば、他の商品と比較等を行いながら必要なものを探す(選ぶ)ことができる」というように、取り上げる表現を工夫しましょう。
- ・ 学習者がよく耳にするけれども十分に理解できない表現などを取り扱ってもよいでしょう。必要に応じて、「別表3 位置・方向を表す語および指示語」(p.102)なども参照してください。
- ・ ロールプレイに際しては、ことば・表現「商品の種類(食品)など」(p.97)にある写真・イラストをコピーして切り離し、それを学習者に提示して、ロールプレイを開始してもらう方法もあります。そうすることで、語彙表現の確認・定着練習にもなります。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－売り場を探して、欲しいものを買おう(p.96)

- ・「活動2－売り場を探して、欲しいものを買おう」(p.96)の店内見取り図「すみません、野菜はどこですか」は、様々なスキニング(※特定の情報を得るために、情報のある箇所を探して拾う読み方)に使うことができます。音声または文字で提示された食品の分類や細目が何番の売り場にあるか答えたり、反対に売り場の番号から食品の分類や細目を答えたりすることが可能です。あるいは「活動1」と組み合わせると店員役がスキニングを行い、ロールプレイの会話内容に反映させるというやや高度な活動もできるはずです。
- ・食品の分類が導入済みであれば、工夫次第で細目語彙の紹介(導入)や定着(復習)にも使えるでしょう。

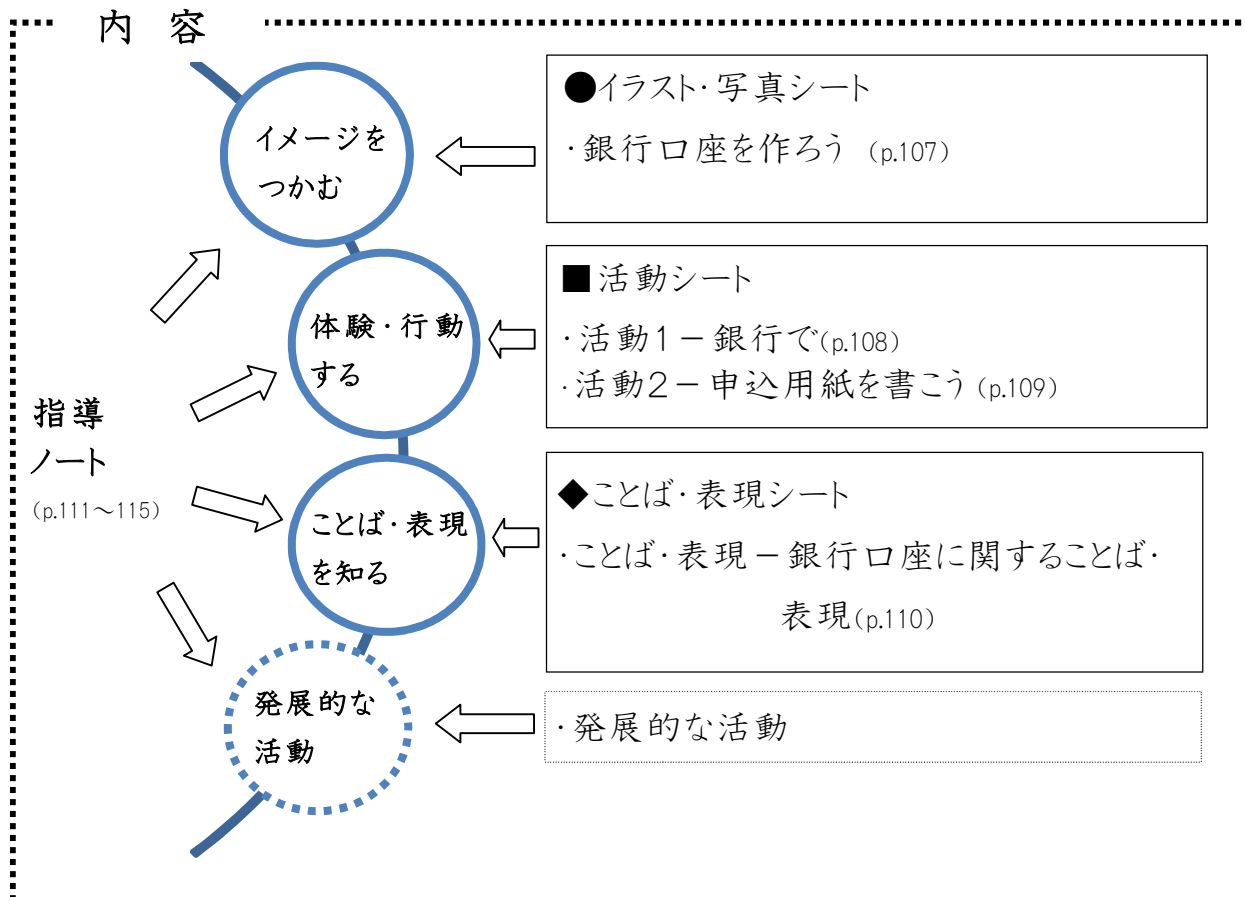
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－商品の種類(食品)など(p.97)

- ・「ことば・表現－商品の種類(食品)など」(p.97)は、学習者が実際の買物場面などでよく目にする基礎的な単語を並べてあります。「活動1」や「活動2」を行う前に、ことばや表現の読みと意味を確認するとよいでしょう。
- ・ここでは学習者に最も身近と思われる「食品」の分類を中心とした単語を取り扱っていますが、学習者の使える語彙量や関心の度合いによっては、「別表1－食品の細目リスト(例)」(p.98～99)、「別表2－その他の細目リスト(例)」(p.100～101)にある単語などを確認しておくのも一つの方法です。

きんゆう きかん りよう
 (09) 金融機関を 利用する



取り上げる生活上の行為の事例

(0901050)「申込みをする」

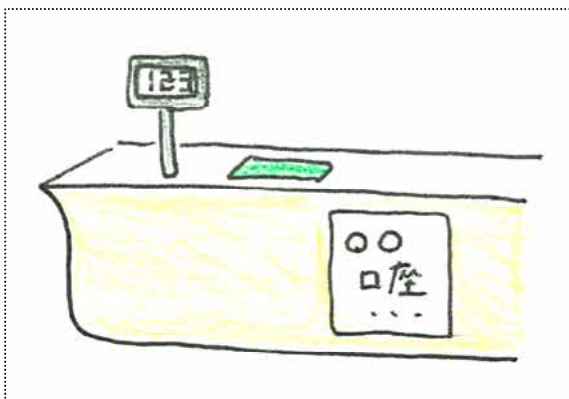
教室活動の目標

- ・銀行口座を開設する

教室活動のねらい

- ・口座開設の意思を伝えることができる
- ・係員の説明を聞いて理解することができる
- ・口座の申込用紙に必要事項を記入することができる

ぎんこうこうぎ つく
● 銀行口座を 作ろう



■ ^{かつどう} ^{ぎんこう}
活動1－銀行で

^{かいわ れい} ^{まどぐち}
(1)会話例 (窓口で)

Aさん：^{こうぎ} ^{つく}
口座を 作りたんですが。

^{ぎんこう} ^{ひと} ^{きにゆう} ^{いんかん} ^{ほんにん} ^{かくにん}
銀行の人:これに 記入してください。印鑑と 本人を 確認できるものを
^も
持っていますか。

Aさん:はい、^も
持っています。

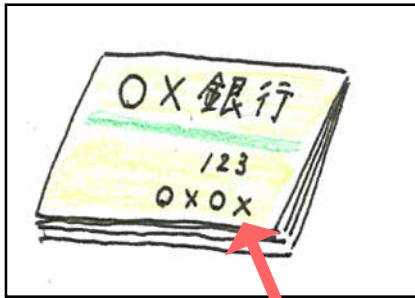
Aさん:^{いんかん}
印鑑は ありません。
^{さいん}
サインでも いいですか。

^{ぎんこう} ^{ひと} ^{だいじょうぶ}
銀行の人:大丈夫です。

^{ぎんこう} ^{ひと}
銀行の人:すみません。
^{いんかん} ^{ひつよう}
印鑑が必要
です。

◆ ことば・表現 - 銀行口座に 関する ことば・表現

通帳(つうちょう)



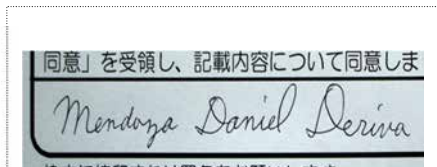
キャッシュカード(きゃっしゅかーど)



口座番号(こうざばんごう)



印鑑
(いんかん)



サイン
(さいん)



ATM(えーていーえむ)

- ・銀行(ぎんこう)
- ・口座(こうざ)
- ・普通預金(ふつうよきん)
- ・暗証番号(あんしょうばんごう)

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0901050)「申込みをする」

教室活動の目標

－ 銀行口座を開設する。

教室活動のねらい

- － 口座開設の意思を伝えることができる。(活動1)
- － 係員の説明を聞いて理解することができる。(活動1, 2)
- － 口座の申込用紙に必要事項を記入することができる。(活動2)

・ 銀行口座を開設すると、預金や送金、勤務先からの給料受け取り、家賃や公共料金やクレジットカードなどの支払いなどのサービスを受けることができます。また、キャッシュカードがあれば、ATMで24時間現金を預けたり引き出したりすることができます。「銀行口座がなかったら…」、「ATMが使えなかったら…」、生活がどれほど不便になるか想像してみてください。口座を作ることが学習者の生活を一步便利にします。金融機関によって口座開設の条件や方法が異なりますが、学習者のニーズに合い、実生活のサポートとなるような教室活動を考えてみてください。

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の居住地近くや勤務先近くの銀行(または学習者が開設を希望する銀行)の口座開設の条件と手続き、開設に必要なもの
- － 印鑑がなくてもサインで口座が開設できる銀行の情報

準備する素材

- － 学習者の居住地近くや勤務先近くの銀行(または学習者が開設を希望する

- 銀行)の口座開設申込用紙,その他必要な書類
- 通帳,キャッシュカード,印鑑書留で届いた郵便物の封筒等の実物
 - 銀行口座開設に関する多言語情報(各自治体が発行しているもの,銀行がホームページ上で公開しているものなど)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・銀行口座を 作ろう(p.107)

- ・「イラスト・写真シート」(P.107)を見ながら,日本の銀行窓口の営業時間や銀行口座でできることについて話をしましょう。その際,母国と比較しながら話を進めるといいでしょう。
- ・ここで,口座を開設するときに必要な物も確認しておくといいいでしょう。そのとき,母国と比較しながら進めると話題が広がります。日本の多くの銀行では印鑑が必要になりますが,日本以外の国ではサインで開設することの方が一般的です。印鑑の文化について話が広がるかもしれません。
- ・口座開設時の主な手続きや持ち物については,多言語情報を利用して確認してもいいでしょう。
- ・銀行によっては口座開設まで6か月以上日本に滞在していないと口座開設ができない銀行もあります。事前に確認をしておくといいいでしょう。
- ・学習者が印鑑を持っていない場合,サインで口座開設ができる銀行を探るか,印鑑を作って口座を開設することになります。学習者が前者を選択した場合,サインで口座開設ができるか銀行に問い合わせることを活動として加えてもいいでしょう。後者を選択した場合,印鑑を注文することを教室活動として加えることもできます。

< 問いかけ例 >

「ここはどこでしょうか。」

「日本の銀行は何曜日から何曜日まで,何時から何時まであいていると思いますか。あなたの国ではどうですか。」

「銀行の口座があると,どんなことができますか。」

「(通帳と印鑑の写真を見て)これは何でしょうか。いつ使うものでしょうか。あなたの国にもありますか。」

「(あなたが口座をつくりたい)銀行で口座を作るとき、何を持っていきますか。」

多言語情報例

例1)文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

- ・日本語, 中国語, 韓国・朝鮮語, 英語, スペイン語, ポルトガル語
- ・p.67 お金と銀行
- ・http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/handbook/index.html

例2)(財)自治体国際化協会「多言語生活情報」

- ・英語, 中国語, 韓国・朝鮮語, スペイン語, ポルトガル語, タガログ語, ベトナム語, ドイツ語, タイ語, フランス語, インドネシア語, ロシア語
- ・その他の届出 印鑑
- ・<http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/d/05-1.pdf>

体験・行動する

■活動シート

・活動1－銀行で (p.108)

- ・「活動1－銀行で」(p.108)では, 銀行の人に口座を作りたいという意思を伝えます。また, 印鑑がない場合, サインでもいいかを確認します。
- ・学習者が印鑑を持っていない場合, 事前に電話で銀行にサインで口座開設ができるかを確認する活動も考えられます。ただし, 初級の学習者の場合は, 電話で聞くより窓口で相手の顔を見ながら聞くほうが理解しやすいでしょう。

< 会話例 >

銀行の人: はい, ××銀行××支店でございます。

A さ ん : すみません。サインで口座を作ることができますか。

銀行の人: はい, 大丈夫です。/ 申し訳ありません。

- ・電話の場合は, すべてが聞き取れなくても「大丈夫」「申し訳ありません」などの肯定か否定かを示すキーワードを聞き取れるようにしておく, 安心して電話ができるでしょう。
- ・日本の銀行の窓口では, 順番待ちの紙をもらって待つなど, 銀行の習慣についても, 母国と比較しながら話ができるといいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－申込用紙を 書こう(p.109)

- ・ 実際の申込用紙を利用して、必要事項を記入してみましょう。申込用紙は、銀行によって異なります。できるだけ、学習者が開設を希望する銀行の申込用紙を準備しておくといいいでしょう。
- ・ 銀行の窓口で記入するときに、書く内容や書き方を銀行の人に尋ねる表現も言えるようにしておくといいいでしょう。

<例>

「ここに何を書きますか。」

「どう書きますか。」

- ・ キャッシュカード用の暗証番号について、どんな番号が安全か、どんな番号が安全ではないかを、みんなで話してみるのもおもしろいでしょう。
- ・ キャッシュカードは、申込みをした場で通帳と一緒にもらえる銀行もありますが、申込み後1～2週間後に簡易書留で郵送する銀行も多いです。簡易書留には受け取りのサインが必要です。書留の実物を見せて、サインが必要なことが分かるようにしておくといいいでしょう。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－銀行口座に関することば・表現(p.110)

- ・ 銀行口座を開設するときに必要なことばです。実物を手にして話すと理解しやすいでしょう。

発展的な活動

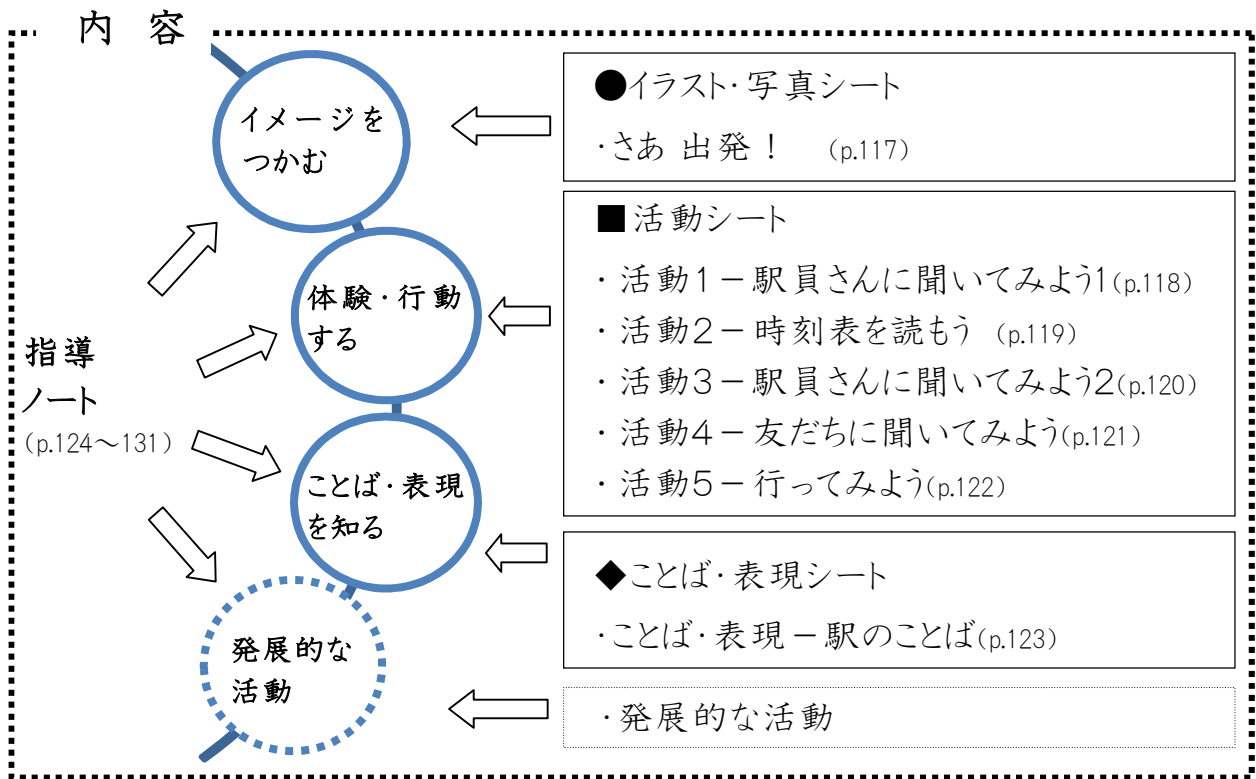
- ・ 銀行によって口座開設の条件や手続きが異なります。たとえば、口座開設時に印鑑が必要な銀行もあればサインでもいい銀行もあります。またインターネットで口座開設の申込みができる銀行も増えています(英語の口座開設申込用紙を準

備している銀行もあります)。学習者のニーズに沿ってより個別的, 発展的な活動も考えられます。

<例>

- ・印鑑を注文する活動
- ・インターネットで口座開設の申込みをする活動
 - …インターネット上で申込用紙に記入し, 申込用紙をプリントアウトして銀行に郵送する活動
 - …インターネット上で申込用紙を郵送してもらい, 申込用紙に記入をして銀行に郵送する活動
- ・クレジットカード機能付きキャッシュカードを申込む活動
- ・ネットバンキングを同時に申込む活動

でんしゃ ばす ひこうき ふねとう りょう
(10) 電車, バス, 飛行機, 船等を利用する



取り上げる生活上の行為の事例

(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」

(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」

教室活動の目標

- ・公共の交通機関(電車, バス, 飛行機, 船等)を利用して, 目的地に行くことができるようになる

教室活動のねらい

- ・目的地へ行く交通機関の発車時刻や所要時間を聞くことができる
- ・時間や発車時刻を理解することができる
- ・駅名, 行き先などの駅の表示が理解できる
- ・目的地への行き方を質問することができる
- ・目的地への行き方の説明を理解することができる
- ・目的地への行き方を説明することができる
- ・駅名, 行き先などの駅の表示が理解できる

イメージ(いめーじ)をつかむ

でんしゃ ばす ひこうき ふねどう りよう
(10) 電車, バス, 飛行機, 船等を利用する

● さあ ^{しゅっぱつ} 出発!

(A)



(B)



■ 活動1－駅員さんに 聞いてみよう 1

かいわ れい
(1) 会話例1

Aさん : すみません。〇〇行きは、何時に 出ますか。

えきいん さん じ にじゅうふん で
駅員 : 3時20分に 出ます。

Aさん : 何番線 ですか。

えきいん ごばん せん
駅員 : あ, 5番線 ですよ。

Aさん : そうですか。〇〇まで、どれぐらい かかりますか。

えきいん よんじゅうごふん
駅員 : 45分くらい です。

はつ わ れんしゅう
(2) 発話練習

Aさん



えきいん の でんしゃ
駅員さんに あなたの 乗りたい電車に
ついて 聞いてください。

しつもん こた
Aさんの 質問に 答えてください。

■ 活動2-時刻表を 読もう

(1) バスの 時刻表を 見て, 質問に 答えてください。

	平日	土曜・日祝
	中田町駅	中田町駅
6	35 49	33 48
7	00 10 20 27 34 41 48 54	03 11 19 27 35 43 51 59
8	00 06 12 18 24 30 36 42 48 54	07 15 23 31 39 47 55
9	00 06 12 19 26 33 40 47 54	03 11 19 28 36 44 52
10	01 08 15 24 33 42 53	00 08 16 24 32 42 52
11	04 14 26 37 47 57	02 12 22 32 42 52
12	07 17 27 37 47 57	02 12 22 32 42 52
13	07 18 29 40 51	02 12 22 32 42 52
14	02 13 24 35 46 57	02 12 22 32 42 52
15	08 20 30 41 52	02 12 22 32 42 52
16	03 13 23 31 39 47 54	02 12 22 32 42 52
17	01 08 16 23 31 38 45 52 59	02 12 20 28 36 44 52 59
18	06 13 20 27 34 42 50 58	07 15 23 31 39 47 55
19	05 14 24 34 44 54	03 11 23 35 48 59
20	04 14 24 34 44 54	13 26 39 53
21	04 14 25 37 49	06 21 36 56
22	02 12 25 38 54	16 36 56
23	07 20	

- ① 土曜日の 始発は 何時ですか。
- ② 平日の 最終バスは 何時ですか。
- ③ 土曜の 昼の バスは 何分おきに 来ますか。
- ④ 平日に バスが 一番 たくさん 来るのは 何時台ですか。
- ⑤ 日曜日, あなたは バス停に 10時10分に 着きました。何時の バスの 乗れますか。

(2) 実際の 時刻表を 見ながら, 友だち, または 日本人と 質問しあいましょ
う。

■ 活動3－駅員さんに 聞いてみよう 2

(1) 会話例1

Aさん: すみません。〇〇へ 行きたいんですけど, どうやって 行ったら
いいですか。

駅員: 〇〇ですか。この電車に 乗って, 新宿で, 丸の内線に
の 乗りかえてください。3つ目の 駅です。

(2) 発話練習

(ここは 駅の プラットホームです。駅員さんに 声を かけて, 聞いてください。)

Aさん



行きたい駅までの 行き方を, 駅員
さんを 呼びとめて, 聞いてください。

Aさんの 質問に 答えてください。

Aさんの 発話を 十分に 練習したあと, 体を 動かして 練習してみましょう。
駅員さん役を 一人 決めて, あとの人は Aさん(聞く人)役に なってください。
駅員さんを 呼びとめて, 順番に 聞いてください。

■ 活動4 - 友だちに 聞いてみよう

(1) 友だちに 行き方を 聞いてください。

○Aさん

友だちの 家や 仕事場について
行き方を 聞いてください。

○Bさん

駅から 駅まで どうやって 行くか
説明してください。

(2) あなたは どこに 行ってみたい ですか。行き方を 聞いて メモしてください。

行きたいところ []

行きたいところ []

■ ^{かつどう} ^い 活動5 - 行ってみよう

(1) ^{ろせんず} ^み ^{はな} 路線図を見て話しましょう。

① ^{おお} ^{えき} ^の ^か ^{えきめい} ^{かんじ} ^よ 大きな駅や 乗り換えの 駅名を 漢字で 読んでみましょう。

② ^の ^か ^{えき} ^い ^{かた} ^{かんが} 乗り換えて 行く 駅までの 行き方を 考えてみましょう。

・ ^い ^{かた} ^{かんが} どのような 行き方が ありますか。いくつでも 考えてください。

・ ^{いちばんはや} どうやって いけば 一番早い ですか。

・ ^{いちばん やす} ^い ^{かた} 一番 安い 行き方は どれですか。

(2) あなたの ^{ばしょ} ^{しょうかい} おすすめの 場所を 紹介してください。

^{もよ} ^{えき} 最寄りの 駅は ^い ^{かた} どこ ですか。どうやって 行きますか。

^{おすすめの} ^{ばしょ} ^{場所}	^{もよ} ^{えき} ^{最寄り駅}	^い ^{かた} ^{行き方}

◆ ことば・表現 - 駅のことば



運転手
(うんてんしゅ)



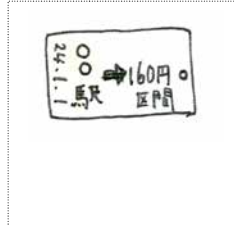
改札口
(かいさつぐち)



プラットフォーム
(ぷらっとほーむ)



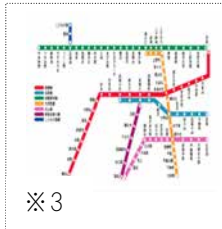
～番線
(ばんせん)



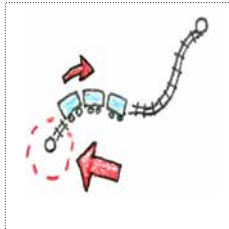
切符
(きっぷ)



券売機
(けんばいき)



路線図
(ろせんず)



始発
(しはつ)



終点
(しゅうてん)



新幹線
(しんかんせん)

※1 著作権フリー商用可！無料画像の写真素材 ♪ラブフリーフォト <http://lovefreephoto.blog110.fc2.com/>
※2 東京写真素材 <http://hk1.jp/t/eki/>
※3 TOKYU SECURITY <http://www.tokyu-security.co.jp/kids/anobject/>

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」

(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」

- ・ 外国で交通機関を使って初めての場所に行くときは、目的地に着くまで不安なものです。しかし、途中で分からなくなったときに、自分から誰かに尋ね、さらにその先に進んでいけるような力が付けば行動範囲も広がることでしょう。できるだけ学習者の生活圏に沿った交通機関を取り上げ、最寄りの交通機関の時刻表や路線図なども用意して、学習者と一緒に出かけるつもりでスタートしてみませんか。
- ・ ここでは(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」と(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」の二つの生活上の行為の事例について、それぞれ教室活動の展開例を示しました。それぞれの生活上の行為の事例は、活動1と2、活動3～5というまとまりに対応していますが、活動1から5まで連続性があり、最後の活動5は全体の仕上げとなっています。

(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」

教室活動の目標

- － 公共の交通機関(電車、バス、飛行機、船等)を利用して、目的地に行くことができるようになる。

教室活動のねらい

- － 目的地へ行く交通機関の発車時刻や所要時間を聞くことができる。(活動1)
- － 時間や発車時刻を理解することができる。(活動1)
- － 駅名、行き先などの駅の表示が理解できる。(活動2)

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の生活圏における交通機関の状況
- － 時刻表や路線図の入手方法に関する情報

準備する素材

- 学習者の生活圏における交通機関の案内図・路線図
- 時刻表(駅やバス案内所に置いてあるもの, インターネットでダウンロードできるもの等)
- 乗り物の写真・絵が掲載されている本

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・ さあ 出発! (p.117)

- ・ 「イラスト・写真シート」(p.117)の(A)を見せて, 写真がどんな場所か, またどこに行くときに, このような場所に行ったかなど話してもらいます。学習者にどこかに行ったときの思い出を話してもらい, それを教室活動の参加者の間で共有することから始めると, 楽しくスタートできるかもしれません。また写真にあるような電光掲示板に書いてあることや, 電車のホームは「～番線」で示されることなども, ここで確認しておきましょう。ここでは電車とバスを取り上げています。

< 問いかけ例 >

- 「ここ(A)はどこでしょう。この(電光掲示板の)下には何があるでしょうか。」
- 「これには何が書いてありますか。」
- 「あなたがよく使う乗り物は何ですか。どこからどこまで乗りますか。」
- 「時間はどのくらいかかりますか。」
- 「電車やバスに乗るとき, 分からないことがありましたか。そのときどうしましたか。」

- ・ 日本語が分からないゼロ初級の学習者には, ここで覚えてほしい「駅」「改札口」「時刻」など基本的な単語を提示しながら質問の簡単な答えを引き出し, ここで何を勉強するか理解してもらいましょう。「(場所)から(場所)まで」「(～時間/～分)かかる」などの表現は, 日常的に出てくるので, ここで使えるようにしておくといでしょう。
- ・ 少し話せる学習者であれば, 日本と自国との違い(発着時刻の正確さ, ホームでの電車の待ち方)などを話してもらおうとおもしろいかもしれません。最後に, 乗った

い電車が分からなかったときどうしたか、自分ならどうするか、など話し合ってみましょう。外国に行かれた支援者の方々の体験談なども交えて進めると発話が活発になるかもしれません。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－駅員さんに聞いてみよう1(p.118)

- ・「会話例」では、発車時刻、何番線か、目的地までどのくらい時間がかかるかを聞く基本パターンが示してあります。「何時に出ますか」「何番線ですか」「どのくらいかかりますか」の表現が聞きたいときにすぐ出てくると便利です。ここでは上記三つの情報が盛り込んでありますが、ゼロ初級の学習者には、一つずつ別々に聞くやり取りで練習してみましょう。
- ・発話練習では学習者に「Aさん」の役を演じてもらい、はじめは指導者または支援者が駅員になって、繰り返しやり取りを行ってください。その際、会話例から少し離れた表現も盛り込みながら受け答えを行うと、実際の場面で戸惑うことが少なくなるかもしれません。慣れてきたら、学習者同士ペアで練習してみるとよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－時刻表を読もう(p.119)

- ・国によっては、時刻表の見方に馴染みのない学習者もいることでしょう。ここに示した時刻表を見ながら読みとり方を理解してもらいます。
- ・「始発」「最終」「終点」「～分おき」「～時台」は交通機関を利用するときによく使われることばです。ここではその意味が理解できるようにしておきましょう。活動シートにある質問のほかにも、この時刻表を見ながら、自由に質問をしてみてください。
- ・電車の駅やバスの案内所で、小型の時刻表がもらえます。地域の列車やバスの時刻表を人数分用意しておき、それを使って上記のような質問をしてみてください。実際の情報を扱うことで、生活に役立ち、学習意欲も増すのではないのでしょうか。

多言語情報例

例1)文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

p.73「交通機関～乗りこなして行動範囲を広げよう～」

(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」

教室活動の目標

- －公共の交通機関(電車, バス, 飛行機, 船等)を利用して, 目的地に行くことができるようになる。

教室活動のねらい

- －目的地への行き方を質問することができる。(活動3, 活動4)
- －目的地への行き方の説明を理解することができる。(活動3, 活動4)
- －目的地への行き方を説明することができる。(活動4, 活動5)
- －駅名, 行き先などの駅の表示が理解できる。(活動5)

活動前に確認しておくこと

- －学習者の生活圏における交通機関の状況
- －時刻表や路線図の入手方法に関する情報

準備する素材

- －学習者の生活圏における交通機関の案内図・路線図
- －時刻表(駅やバス案内所に置いてあるもの, インターネットでダウンロードできるもの等)
- －身近な交通機関で用いるICカード(Suica, ICOCA等), 回数券等

イメージをつかむ

●イラスト・写真

・さあ 出発!(p.117)

- ・「イラスト・写真シート」(p.117)の(B)を見せて, 男性が駅員さんに何を聞いているのか推測してもらいましょう。「路線図」が示してあるので行き方を聞いているのですが, 正解を当てることよりも, 自由に発話してもらうことを意識するとよいでしょう。ここで「路線図」「乗車券」「券売機」などのことばも提示しておくといよいでしょう。身近な

交通機関の路線図を用意し、路線図の見方についても確認しておいてください。同時に、切符の買い方やカード乗車券(Suica,ICOCA 等)の使い方を確認したり、説明したりしておくとい良いでしょう。また、「～で電車(バス)を降りる」「～で電車(バス)に乗る」「～で乗りかえる」などの言い方にここで慣れてもらいます。

- ・最寄りの駅から指導者や支援者の自宅までの経路、あるいは学習者に有用な場所までの経路を例にとって示すとよいでしょう。「～で～線に乗る」「～で～線に乗って～で乗りかえる」などの言い方もよく使われるので、レベルに応じて練習してください。初心者も聞いて理解できるようにしておくとい良いでしょう。

< 問いかけ例 >

「男の人は何を話していますか。考えてみましょう。」

→ 答えの例 「～はどうやっていきますか。」 「きっぷを落としました。」

「～までどのくらいかかりますか。」など。

「あなたの職場や友だちの家はどこにありますか。電車やバスで行きますか。どこ(駅の名前)で電車(バス)に乗りますか。」

「どこで電車を降りますか。」

「乗り換えがありますか。どこで、何に乗り換えますか。」

「駅やバス停で、駅員さんや運転手さんに何か聞いたことがありますか。」

体験・行動する

■活動シート

・活動3－駅員さんに聞いてみよう2(p.120)

- ・< 会話例 >では基本的に、「目的地への行き方を質問することができる」「目的地への行き方の説明を理解することができる」ことを目的としています。生活圏内の交通機関に置き換えて、練習してみるとよいでしょう。学習者の日本語レベルに応じて、表現は適宜変えてください。
- ・< 発話練習 >では、始めにAさん役を学習者、駅員役を指導者が担当し、路線図を示して、学習者に視覚的に経路を確認してもらいながらやり取りしてはどうでしょうか。駅員の発話は必ずしもこのパターンだけではなく、少しずつ変えて聞かせるのもいいでしょう。初心者ではない学習者の場合は、駅員役にチャレンジしてもらってもいいかもしれません。「～で電車を降りる」「～で電車に乗る」「～で乗りかえる」の表現がスムーズに出てくるようになれば、話題が広がります。

- ・ 路線図は、実際の路線図を拡大したもののほかに、学習者によっては、ローマ字表記も添えた路線図を作成しておくとう理解しやすいでしょう。
- ・ インターネットからダウンロードしたり、乗り物が描かれている絵本からプラットホームの写真を拡大コピーして貼ったり、駅のホームのざわめきを録音しておいて流したりなど場面をできるだけ再現すると、楽しくできるのではないのでしょうか。

体験・行動する

■活動シート

・活動4－友だちに聞いてみよう(p.121)

- ・ 目的地の行き方が自由に尋ねられると、それだけ行動範囲が広がります。ここでは身近な話題として、友だちの家や友だちの仕事場までの行き方、行ってみたいところが聞けるようになることを目的としています。指導者、または支援者とやり取りをして正しく発話できているか確認しておくといいでしょう。そのあとで、複数の友だちとやり取りをしたり、ペアワークを行うなどして練習してください。
- ・ 初心者の場合には聞く側のAさん役をしてもらい、相手の言うことが理解できるようになればいいでしょう。やはりここでも路線図があると理解の助けになります。
- ・ 余力のある学習者には、たとえば「友だちにおすすめの場所を聞いて、行き方を尋ねてください。」のようなタスクを課し、短い会話にチャレンジしてもらうのも一案です。
- ・ 学習者に実際に行ってみたいところを質問してもらいます。例えば「自国の料理の材料が売っている店はどこか、どうやって行ったらいいか」など本当に知りたい情報が求められるかもしれません。初心者の場合、メモは必ずしも日本語で書く必要はありません。生活に有用な情報はどんどん聞いてもらい、吸収していったほうがいいものです。

体験・行動する

■活動シート

・活動5－行ってみよう(p.122)

- ・ ここでは、生活圏内の交通機関の主な駅の名前を覚え、自信をもって乗り降りすることができるようになることを目的としています。指導者はあらかじめ、もよりの交通機関(学習者が利用しそうな電車やバスなど)の簡単な路線図を用意しておいてください。学習者が一緒に見られる大きいサイズのものが便利でしょう。

- ・ 学習者から知っている駅名を挙げてもらい、それが路線図のどこにあるか探してもらうことから始めてはどうでしょうか。大きな駅や乗換駅を中心に名前を確認していき、そのほか必要な駅名も漢字を見てわかるようにしておきましょう。また、行き方が何通りかある乗換駅を取り上げ、学習者に、どうやってそこまで行くか、またどうやって行くのが一番早いかなど経路を説明してもらいましょう。私鉄やJR、あるいはバスでそれぞれ値段も違ってくるので、どれが一番安く行けるかも皆で意見交換するとよいでしょう。日本語初心者は、ここで主要な駅名の漢字が分かるようにしておく、安心して乗り降りすることができます。
- ・ それぞれの学習者に、公園やスポーツセンター、安くておいしいレストランなどお勧めの場所を紹介してもらうことで、目的地までの経路を説明する練習になるほか、学習者同士、生活上の有用な情報を共有することができるでしょう。日本語初心者は、ここでは聞いて分かることを目標にするとよいでしょう。

【参考情報】

○鉄道

地下鉄、JR、私鉄など様々な鉄道があります。切符は自動券売機で買ったり、窓口で買ったりします。行き先までの料金は路線図で調べます。小学生は半額、6歳未満の幼児は大人一人につき二人まで無料になります。一日乗車券や定期券など割安な切符もあります。定期券とプリペイドカードの機能をもったICカードを利用することもできます。

○バス

バスには、料金が均一のバスと、乗車距離によって料金が変わるバスがあります。均一料金のバスは、一般的に乗るときに運転席横の料金箱にお金を入れます。乗車距離によって料金が変わるバスでは、乗るときに整理券をとり、降りるときに運賃表で整理券の番号の料金を確認して、料金箱に入れます。バスにも一日乗車券や定期券、プリペイドカードがあります。

自分が降りるバス停がアナウンスされたら、座席近くのボタンを押して降りることを知らせます。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

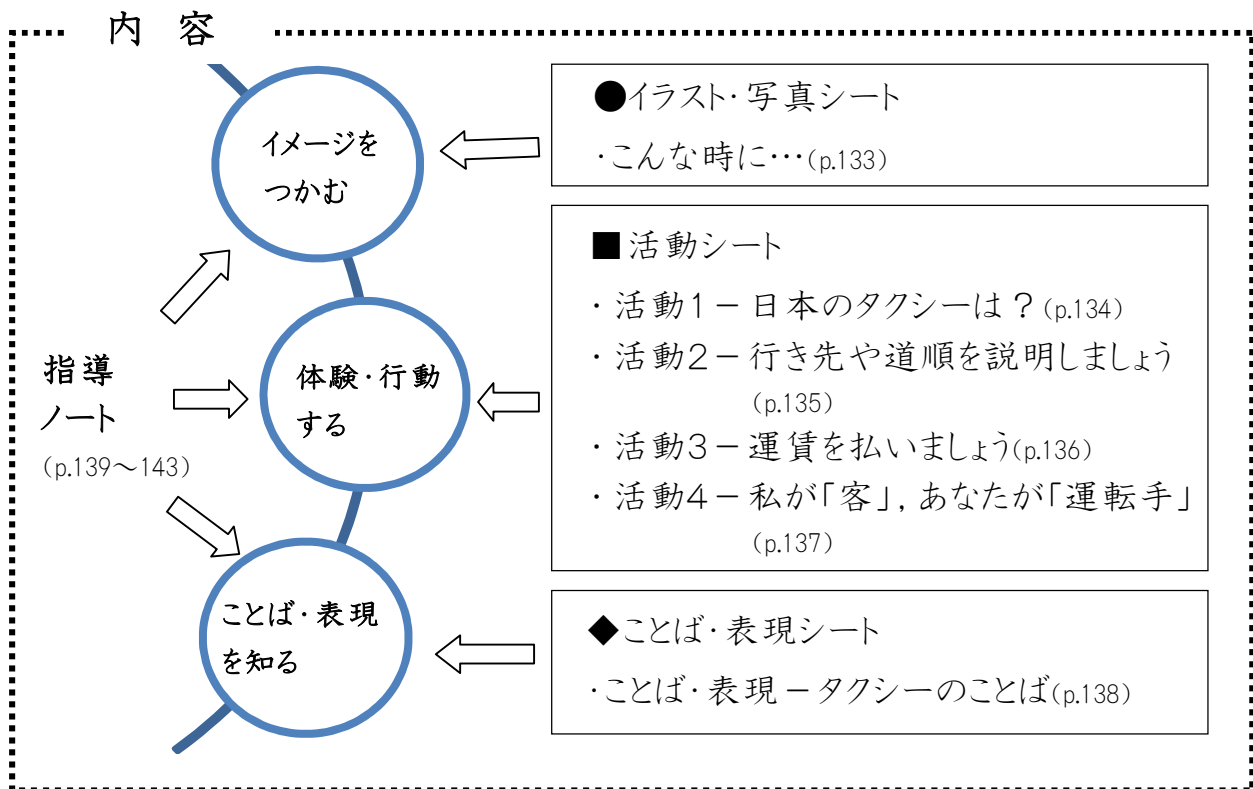
・ことば・表現－駅のことば(p.123)

- ・ 「①イメージをつかむ」で出てきた単語，あるいはよく使われそうな単語については，「ことば・表現シート」で確認しましょう。また場合に応じて必要な単語を導入してください。
- ・ 「改札口」や「特急」「急行」「自由席」など，駅や列車では特に漢字を見て意味が分からないと困ることが多いものです。初級者でも漢字を見てすぐ意味が分かるようにしておくといよいでしょう。
- ・ 図書館で乗り物の写真絵本など借りてきて，それを見せながら語彙を増やしていくのも楽しいものです。

発展的な活動

- ・ 車内放送や構内放送を聞き取るのは外国人にとって，なかなか難しいものです。決まり文句も多いので，ポイントだけでも聞き取ればかなり助かることでしょう。学習者の身近な交通機関に実際に指導者が乗って車内放送を録音し，教室でそれを聞かせてポイントを聞き取る練習をしたり，書き起こして穴あき問題を作成し，その部分を聞き取る練習をしたりなど，学習者の日本語レベルによっていろいろ工夫してみてもいいのではないでしょうか。

たくしー りよう
 (11) タクシーを 利用する



取り上げる生活上の行為の事例

- (1101070)「道路でタクシーを止める」
- (1102040)「行き先を告げる」
- (1103060)「運賃を聞き取り, 支払う」

教室活動の目標

- ・タクシーを利用して目的地に行く

教室活動のねらい

- ・日本のタクシーについて知る
- ・手を挙げてタクシーを止めたり, タクシー乗り場で乗ったりできる
- ・目的地を伝えてそこに行ってもらおうよう依頼できる
- ・タクシーメーターの運賃を読み取ることができる
- ・支払いに必要な運転手とのやり取りができる

● こんな ^{とき} 時に…



活動1 - 日本の タクシーは？

(1) 「日本の タクシーは あなたの 国の タクシーと 同じですか。 違いますか。」 みんなで 話し合っ て みましょ う。

日本の タクシーとは ちが
う 乗り物 が ありま すか。
どんな 乗り物 ですか。

運転手 は 男性 ですか、
女性 ですか。
制服 を 着て いますか。

※



タクシーの 運賃 は
どのように 決ま りますか。
どうやっ て 知 りますか。

あなたの 国の タクシー 運賃
は、最初 は いくら ですか。
その金額 で、例え ば どん な
品物 が 買え ますか。

■ 活動2－行き先(い き さき)や道順(みちじゆん)を説明(せつめい)しましょう

(1) 会話例1 (かいわれい)

(行き先(い き さき)を告(つ)げる)

A さん: ○○駅(えき)まで願(ねが)いします。

運転手(うんてんしゆ): はい、分(わ)かりました。

(2) 会話例2 (かいわれい)

(目的地(もく てき ち)まで道順(みちじゆん)を案内(あんない)する)

A さん: 山田町(やまだ ちょう)2丁目(にちようめ)まで願(ねが)いします。○○小(しょう)学(がっ こう)校(こう)のとなりの
アパ(あ)ーと

運転手(うんてんしゆ): はい、分(わ)かりました。

(20分(にじゅうぶんご)後(ご))

A さん: つぎの角(かど)を右(みぎ)に曲(ま)がってください。

運転手(うんてんしゆ): はい、あそこ(あそこ)です(す)ね。わ(わ)かりました。

(タクシー(たくしー)が曲(ま)がる)

A さん: そのま(ま)ま、ま(ま)っすぐ行(い)って(い)ください。左(ひだり)の小(しょう)学(がっ こう)校(こう)の
とな(とな)りです(す)。

運転手(うんてんしゆ): このへ(へ)んでいい(いい)です(す)か。

A さん: はい、どうも(どうも)。こ(こ)こで(で)お(お)り(り)ます(ます)。

■ 活動3－運賃(うんちん)を払(はら)いましょう

かいわ れい
(1) 会話例1

うんちん き と はら
(運賃(うんちん)を 聞き取(き)って 払(はら)う)

うん てん しゅ きゅうひやくななじゅうえん
運転手(うんてんしゅ): 970円(きゅうひやくななじゅうえん) です。

A さん: はい。

(はい。1,000円(せんえん)で 願(ねが)いします。)

うん てん しゅ
運転手(うんてんしゅ): はい、ありがとう(ご)ございました。

(はい、30円(さんじゅうえん)の おつり(おつり)です。ありがとう(ご)ございました。)

A さん: どうも(お世話(せわ)さま でした)。

かいわ れい
(2) 会話例2

うんちんめーたー み し はら
(運賃メーター(うんちんめーたー)を 見(み)て 支払(し はら)う)

A さん: 1,500円(せんごひゃくえん)ですね?

じゃあ、2,000円(にせんえん)で 願(ねが)いします。

うん てん しゅ
運転手(うんてんしゅ): はい、そう(そう)すると、500円(ごひゃくえん)の お返(かえ)しに なります。

ありがとう(ご)ございます。

お忘れ物(わす もの)の ない(ない)ように どうぞ。

A さん: はい。お世話(せわ)さま でした。

■ 活動4－私が「客」、あなたが「運転手」

(1) 道路で タクシーを 止めて, タクシーに 乗ってください。

① 道路で 手を 上げると, タクシーが 止まりました。

[Aさん]

の 乗るときに 声をかけてください。

運転手
[運転手]

返事をしてください。

② タクシーに 乗ってください。

[Aさん]

行き先を言ってください。

運転手
[運転手]

返事をしてください。

③ 目的地に 着きました。運賃を 払ってください。

[Aさん]

運賃を払ってください。

運転手
[運転手]

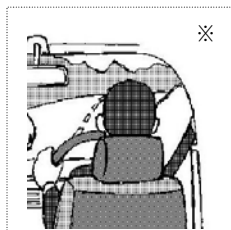
運賃を言ってください。

④ お礼を 言って, タクシーを 降りてください。

◆ ^{ひょうげん} ^{た く し ー} ことば・表現 - タクシーの ことば



タクシー乗り場
(た く し ー の り ば)



運転手
(うんてんしゅ)



空車
(くうしゃ)



運賃メーター
(うんちんめーたー)



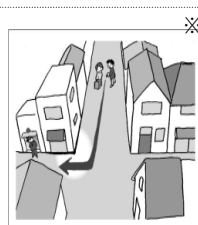
助手席
(じょしゅせき)



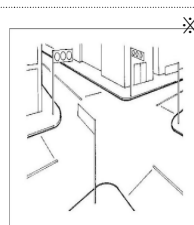
ハンドル
(はんどる)



シートベルト
(しーとべると)



角
(かど)



交差点
(こうさてん)



信号機
(しんごうき)

- ・運賃(うんちん)
- ・おつり
- ・行き先(いきさき)
- ・一方通行(いっぽうつうこう)
- ・右折(うせつ)
- ・右/左に 曲がる(みぎ/ひだりに まがる)
- ・角を 曲がる(かどを まがる)
- ・料金(りょうきん)
- ・釣り銭(つりせん)
- ・目的地(もくてきち)
- ・進入禁止(しんにゅうきんし)
- ・左折(させつ)
- ・まっすぐ いく

※みんなの教材サイト <https://minnanokyozai.jp/kyozai/illustration/list/ja/render.do>

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (1101070) 「道路でタクシーを止める」
- (1102040) 「行き先を告げる」
- (1103060) 「運賃を聞き取り, 支払う」

教室活動の目標

- －タクシーを利用して目的地に行く。

教室活動のねらい

- －日本のタクシーについて知る。(活動1)
 - －手を挙げてタクシーを止めたり, タクシー乗り場で乗ったりできる。(活動2～4)
 - －目的地を伝えてそこに行ってもらおうよう依頼できる。(活動2～4)
 - －タクシーメーターの運賃を読み取ることができる。(活動2～4)
 - －支払いに必要な運転手とのやりとりができる。(活動2～4)
- ・ 学習者が日本でタクシーを利用するのは少々勇気がいることかもしれません。目的地まで電車やバスでは行きにくいとき, 荷物が多いとき, 急ぐとき, または緊急のときに備えてタクシーを利用できる自信があれば心強いでしょう。
 - ・ ここでは, タクシーに代わる自国の乗り物をお互いに紹介し合うことで, タクシーのイメージを学習者に引き寄せ, 同時にお互いの文化の違いを尊重し認め合う活動から入ることを提案しています。自国と比較しながら始めると, 学習に入りやすくなると思います。

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・こんな時に…(p.133)

- ・ イラスト・写真シート「こんな時に…」(p.133)を見せて, 日本のタクシーに乗ったこ

とがあるか、どんなときにタクシーに乗りたいか、など質問(質問例参照)をしながら、学習者が話し合うことから始めてみましょう。

日本の車は左側通行であること、運転席は右ハンドル、ドアは自動で開閉、乗るときは後ろの席に乗り、人数が多くなるときは助手席にも乗るなど、日本のタクシー事情も同時に伝えるといいでしょう。都会では道路を「空車」で走っているタクシーが手を挙げて呼べば利用できること、駅前などに「タクシー乗り場」があること、電話をかけてタクシーを呼ぶことなど、タクシーの利用法も説明が必要でしょう。

そのほか、シートベルトをすること、運賃メーターのこと(初乗り運賃は決まっています、あとは一定の距離や経過時間ごとにプラスされることなど)、深夜料金があること、タクシーを呼んだときはその分の料金がかかること、一方、通常サイズのトランクやベビーカー程度の荷物なら別料金はかからないことなども話しておくといでしょう。

< 質問例 >

「日本で、タクシーに乗ったことがありますか。」

「どんなときにタクシーに乗りたいですか。」

「日本でタクシーに乗りたいとき、どうしますか。」

(タクシー乗り場で乗る / 道路で車をひろう→手をあげる)

「あなたの国ではタクシーに乗るときどうしますか。」

「あなたの国のタクシー運賃はどのように決まっていますか。」

「タクシーに乗るとき、何か困ったことがありましたか。」

体験・行動する

■ 活動シート

・活動1－日本のタクシーは？(p.134)

- ・ 国によって、タクシーに相当するいろいろな乗り物があるようです。ここでは日本のタクシーの利用のしかたに入る前に、自国の(タクシーがわりの)乗り物について紹介しましょう。イラストの質問例も参考にして話し合うことが、自国と日本の違いをお互いの国の事情を理解する手がかりとなるでしょう。
- ・ 日本に来て間もない学習者には、絵を描いてもらったり、その絵を使ってこちらから「大きいですか、小さいですか」「男の人ですか、女の人ですか」など簡単な質問をしたり、「運転手」「ハンドル」などの語彙を提示するなどして参加できるようにするとよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－行き先や道順を説明しましょう (p.135)

- ・会話例1「行き先を告げる」(p.135)では、行き先をはっきり言えるようになることが大切です。ここでは学習者の行きたい場所を入れて、「～までお願いします」の言い方を十分に練習してください。
- ・行き先がどうしても通じないときは、あらかじめ紙に書いておいてそれを見せるということも確実な手段です。公の場所ではないところは、住所を書いておくと安心です。
- ・会話例2「目的地まで案内する」(p.135)では、自宅まで帰る場合など、近くが目印になる場所(公共の建物や神社など)も一緒に告げたり、目的地に近くなったときには、「右に曲がってください」「まっすぐ行ってください」などの表現を使って説明できるようになることを練習します。
- ・応用練習として、道を示した大き目の地図を用意しておき、指導者が目的地に向かって車を地図上で動かし、学習者がその車に乗っていると仮定して、道案内をするのもよい練習になります。(但し、会話例2まで行うかどうかは、学習者の日本語レベルに応じて判断してください。)

体験・行動する

■活動シート

・活動3－運賃を払いましょう(p.136)

- ・会話例1「運賃を聞き取って払う」(p.136)では、運転手が「〇〇円です」「〇〇円になります」と言うのを聞き取って支払うことを扱います。おつりのあるときのやり取りも、一つのつながりとして扱うといいでしょう。また、客のことは「ありがとう」「お世話さま」「どうも」など簡単なお礼の表現まで扱うのが適切でしょう。
- ・会話例2「運賃メーターを見て支払う」(p.136)では、運賃メーターを取り上げています。実際には、運賃メーターに運賃が表示されるのが普通ですから、運転手のことばの聞き取りに頼らなくても大丈夫です。会話例2は、運転手のことばを待たずに、客が自分で運賃を読み取って支払いを始める場合の例です。おつりのやり取りや最後のお礼などは、会話例1と共通する内容です。

体験・行動する

■活動シート

・活動4－私が「客」、あなたが「運転手」(p.137)

- ・活動3まででは、学習者は「客」の立場での表現を試しました。それを踏まえて、ここでは、学習者が運転手の立場や表現も経験できるようなロールプレイを取り入れてみましょう。
- ・p.137には、道路でタクシーを止めて乗る一連のロールプレイが示してあります。ここでは実際に動いてやってみてください。
- ・いすを縦に二つ並べてタクシーの運転手と乗客の座席にしてはどうでしょう。運転手役は帽子をかぶって紙皿をハンドルに見立てて運転の動作を行うなどして、できるだけ雰囲気作りをすると楽しくできるでしょう。乗るときの声がけは「お願いします」が一番使いやすいくでしょう。このロールプレイでは行き先を告げるだけになっていますが、学習者の日本語レベルに応じて会話例2のような場面も入れるとよいでしょう。運賃を払うのもおもちゃのお金を使用するなどして実際にやり取りをしてみてください。実際のタクシーに臆することなく乗れることを目標として意識していきたいものです。

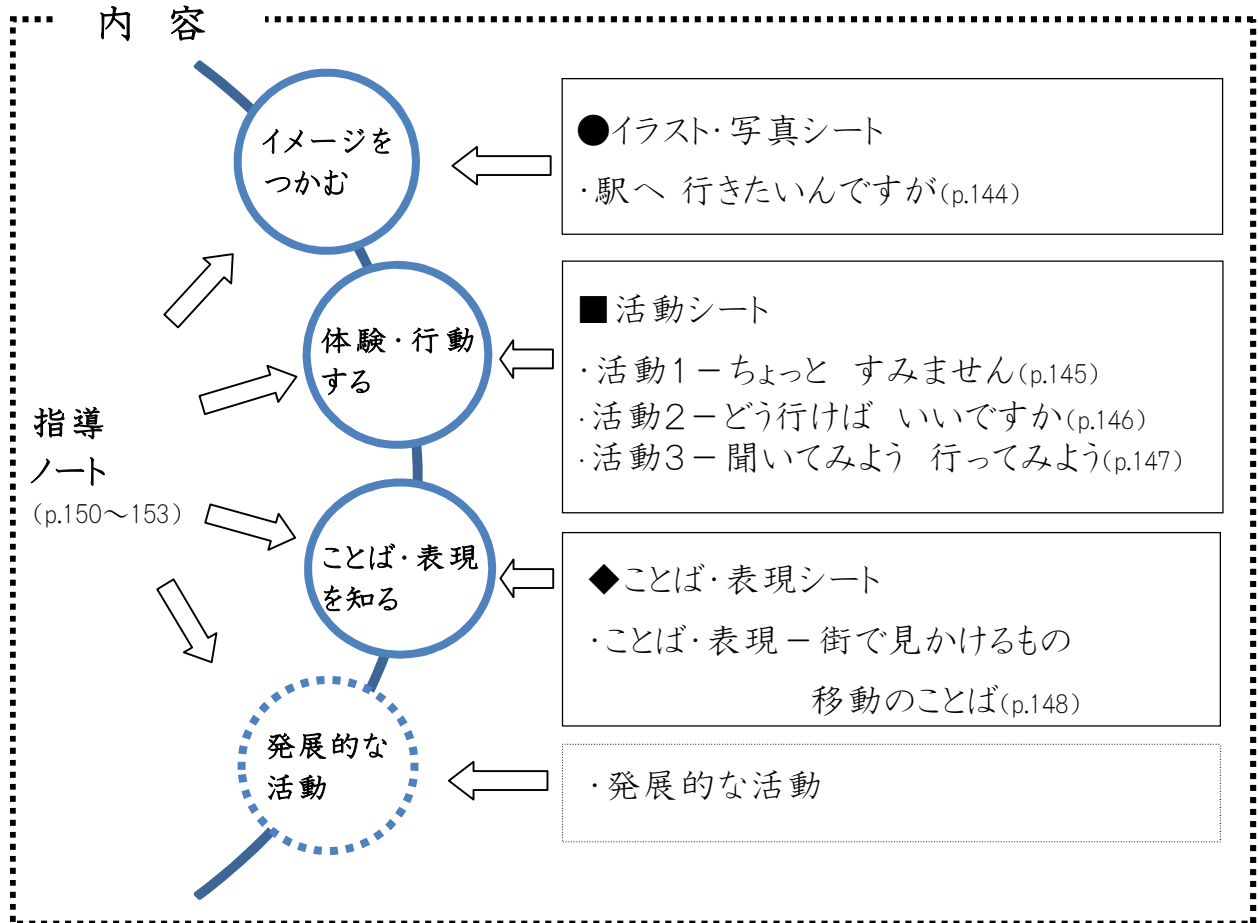
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－タクシーのことば(p.138)

- ・「タクシーに乗る」という生活上の行為で用いられることばや表現は、他に比べてそれほど多くもなく複雑でもないと言えるでしょう。導入で見た「こんな時に…」のイラスト・写真(p.133)や、「活動1－日本のタクシーは？」から「活動4－私が「客」、あなたが「運転手」」までで扱うことばや表現で、基本的な範囲はカバーできると思われます。
- ・p.138にイラスト・写真を添えて挙げた単語や表現を活動の中で具体的に使う練習やロールプレイを心掛けましょう。
- ・そうした中で留意したいのは、タクシーを利用する際に頻繁に使いそうなことばです。たとえば「〇〇までお願いします」「まっすぐに行ってください」「〇〇(右/左)に曲がってください」「そこで止まってください」などの言い回しや、「信号」「交差点」「シートベルト」「空車」などの単語を取り立てて扱うことが必要になります。

とほ いどう (12) 徒歩で 移動する



取り上げる生活上の行為の事例

(1204040)「目的地までの道を尋ねる」

教室活動の目標

・分からない場所を人に聞いて目的地に行く

教室活動のねらい

- ・人を呼び止めることができる
- ・目的地までの道を尋ねることができる
- ・説明内容を聞いて理解することができる

● えき い 駅へ 行きたいんですが



■ ^{かつ どう} 活動1 - ちょっと すみません

^{かいわれい} (1) 会話例1

A さん : あ, すみません。郵便局(ゆうびんきょく)は どう行けば いいですか。

通行人(つうこうにん) : ああ, 郵便局(ゆうびんきょく)は つぎの角(かど)を 右(みぎ)に まがって, まっすぐ
100メートルくらい行くと 左(ひだり)に ありますよ。

A さん : そうですか。ありがとうございます。

^{かいわれい} (2) 会話例2

A さん : ちょっと すみません。〇〇病院(びょういん)に 行きたいんですが,
どう行けば いいですか。

通行人(つうこうにん) : あ, 〇〇病院(びょういん)ですか。あの ふたつめの信号(しんごう)を 左(ひだり)に
まがって, つぎの角(かど)を 右(みぎ)に まがると すぐに ありますよ。

A さん : ふたつめの信号(しんごう)ですね。

通行人(つうこうにん) : そうです。あの信号(しんごう)の つぎの信号(しんごう)です。

A さん : 分かりました。ありがとうございます。

■ ^{かつ どう} ^い 活動2- どう行けば いいですか

^{はつ われんしゅう}
(1) 発話練習

Aさん

^{つうこうにん}
通行人

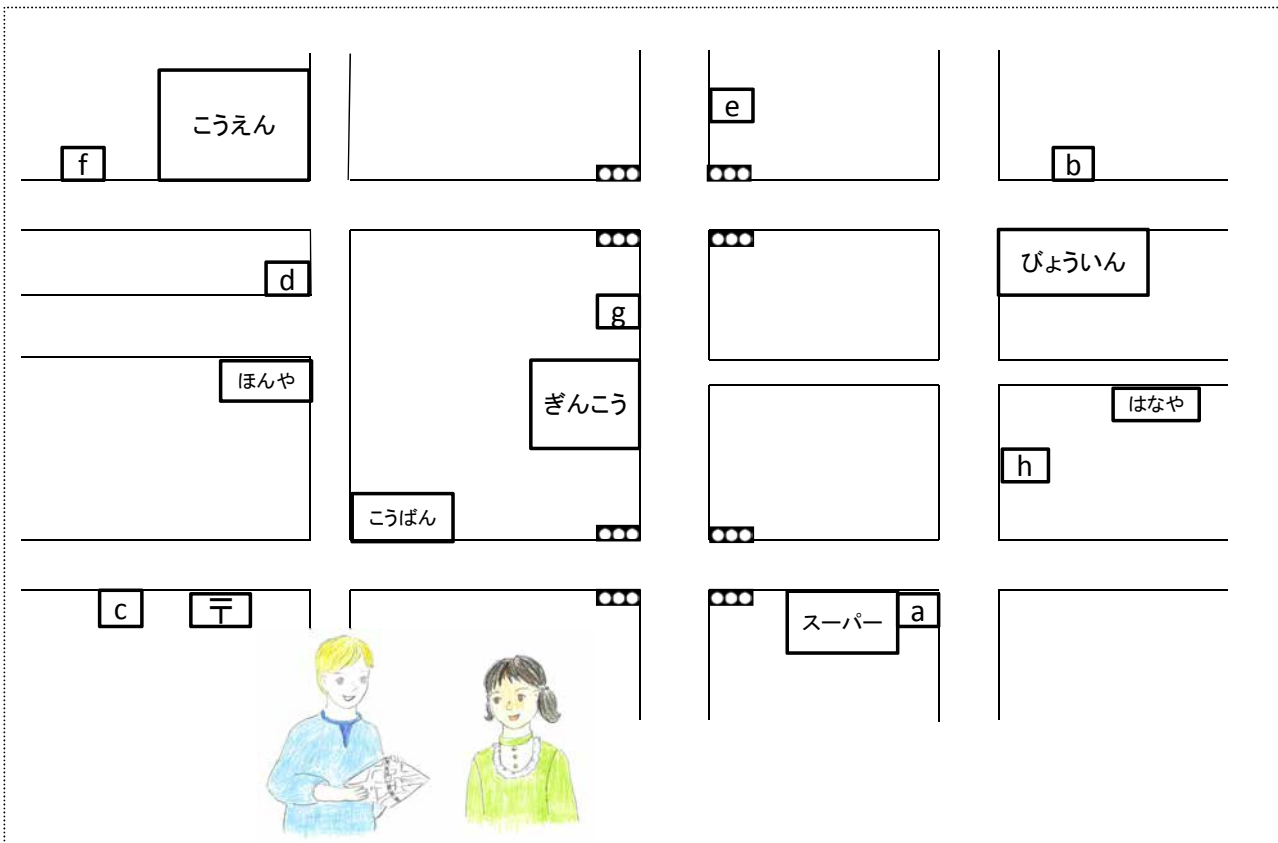
^{もくてきち} 目的地が ^{どこに} どのに ^{あるのか} あるのか ^わ 分かり
ません。

^{ある} 歩いている人に、^き 聞いてください。

^{もくてきち} (目的地は「^{しょうがっこう}〇〇小学校」,「^{くすりや}薬屋」
^{じぶん} ^{かんが} など自分で考えてください。)

^{もくてきち} 目的地まで ^{どうやって} どうやって ^い 行くか、
Aさんに ^{おし} 教えてあげてください。

^{もくてきち} (目的地の位置は、^{いち} 小文字アルフ
^あ ^{べつと} アベットのどれかを ^{こころ} ^{なか} 心の中で
^き 決めてください。)



参考 : <https://minnanokyozai.jp/kyozai/illustration/list/ja/render.do>

■ 活動(かつどう)3 - 聞いて(き)みよう 行って(い)みよう

(1) あなたは、つぎの 目的地(もくてきち)の 場所(ばしょ)が 分かり(わ)ません。

行き方(いかた)を 聞いて(き)ください。

①

②

③

④

⑤

(2) 実際(じっさい)に 目的地(もくてきち)まで 行って(い)みましょう。

(3) 町(まち)を 歩(ある)いている 人(ひと)に、行(い)きたい 場所(ばしょ)の 道順(みちじゆん)を 聞いて(き)みましょう。

◆ ^{ひょうげん}ことば・表現 - 街で見かけるもの 移動のことば

 ※			
道路 (どうろ)	横断歩道 (おうだんほどう)	信号機 (しんごうき)	歩道橋 (ほどうきょう)
	 ※	 ※	
橋 (はし)	交差点 (こうさてん)	角 (かど)	交番 (こうばん)
			 ※
郵便局 (ゆうびんきょく)	学校 (がっこう)	病院 (びょういん)	公園 (こうえん)

- ・図書館(としょかん)
- ・銀行(ぎんこう)
- ・警察署(けいさつしょ)
- ・市役所/区役所 (しやくしょ/くやくしょ)
- ・神社 (じんじゃ)
- ・寺(てら)
- ・角(かど)を 曲がる(まがる)
- ・右/左(みぎ/ひだり)に 曲がる(まがる)
- ・横断歩道/橋/交差点 (おうだんほどう/はし/こうさてん)を わたる

※みんなの教材サイト <https://minnanokyozaai.jp/kyozai/illustration/list/ja/render.do>

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(1204040)「目的地までの道を尋ねる」

教室活動の目標

－分からない場所を人に聞いて目的地に行く。

教室活動のねらい

- －人を呼び止めることができる。(活動1, 活動2, 活動3)
 - －目的地までの道を尋ねることができる。(活動1, 活動2, 活動3)
 - －説明内容を聞いて理解することができる。(活動1, 活動2, 活動3)
- ・ 海外の知らない土地で、目的の場所が分からないのは、とても心細いものです。不自由な日本語で道を聞くのは、少し勇気がいることかもしれません。しかし、失敗は成功のもと、思い切ってやってみれば、案外うまくいくものです。分からなければ何度でもやってみればよいのです。そのこと自体で学習者の日本語は伸びていくもの。道を聞いて、生きた日本語学習を！そのように学習者の背中を押してみてはいかがでしょうか。

活動前に確認しておくこと

－日本語教室のある地域あるいは学習者の生活圏内にある店や施設などの位置を調べておく。

準備する素材

- －会話練習で使用するための大きく簡単に書いた町の地図(仮想でよい)
- －授業の展開に応じて、学習場所周辺の簡単な地図の拡大コピーなど
- －学習場所のある地域の店や駅・停留所、施設などの写真

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

駅へ行きたいんですが (p.144)

- ・ 「イラスト・写真シート」(p.144)を見ながら、学習者から出てくることばに耳を傾けてください。「車、信号、ここは〇〇？」など、学習者から出てきたことばを拾いながら、信号、横断歩道、交番などの語彙を確認するとともに、この道路を見ている場所はどこだと思うか(※写真は歩道橋から撮りました)、日本では車はどちら側通行か、皆さんの国ではどうか、などと質問を広げていきます。学習者の日本語レベルに応じて、「はい」、「いいえ」で答えられる形にするなど適宜変えてみてください。

< 問いかけ例 >

「日本で道に迷ったことがありますか。」

「もしあれば、そのとき、どうしましたか。」

「知らない人に話しかけると、何と言いますか。」

- ・ さらに指導者が、写真上で歩いていく動きを手で示し、「角を曲がる」、「横断歩道を渡る」「まっすぐ行く」などの表現を、学習者からも引き出しながら、導入、あるいは確認しておきましょう。
- ・ 道案内の表現を聞いて理解できるようにするため、以下のように実際に学習者に動いて体で覚えてもらう方法もあります。

< 例 >

- ・ 広いスペースに、新聞紙を敷いて、角や交差点を含んだ道を作ります。
- ・ 指導者または支援者が「次の角を左に曲がってください。」「まっすぐ行って二つ目の角を右に曲がってください。」など指示を出し、学習者は新聞紙上をその通りに動いて、体感します。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－ちょっとすみません (p.145)

- ・ 会話例1(p.145)は、道を尋ねるときの基本的なやり取りを示しています。ここで、切り出し方、尋ね方、お礼のことばが発話できるようにしておきましょう。尋ねる言い方は、いろいろありますが、学習者が一番覚えやすく発話しやすい形でまず練習してください。ここでは相手の説明を聞いて理解できることを目指します。大きく簡単に書いた街の地図(病院、学校、郵便局など目印になるポイントもいくつか入れて)を用意し、始めはそれを示して、学習者に目で確認してもらいながら、説明をいろいろと変えて、やり取りをするとよいでしょう。
- ・ 会話例2(p.145)は、聞き返して確認する場面が入っています。分からなかったり、よく聞こえなかったりした場合は、臆することなく聞き返せるようにしたいものです。学習者が聞き取りに慣れてきたら、意図的に聞き取りにくい言葉を入れたり、スピードを速くするなどして、聞き返しの練習ができるように工夫してみてください。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－どう行けば いいですか (p.146)

- ・ Aさん役の学習者に、自分で考えた目的地(学校、図書館、映画館など)を会話に入れて、経路を尋ねてもらいます。相手役の指導者または地域の支援者が、その目的地の位置を、頭の中でアルファベットのどれかに設定して、そこまでの経路を説明します。学習者は目的地を目指して道をたどります。
- ・ 指導者のほか協力者が複数いる場合は、学習者と1対1で、また指導者一人の場合は、学習者の一人にAさん役をしてもらい、学習者それぞれが指導者の説明にそって、目的地にたどり着く、などやり方を工夫してみてください。道順説明がある程度できる学習者がいれば、学習者同士でやり取りしてもよいでしょう。その際は指導者または協力者のフォローが必要かもしれません。但し、ここではあくまで、聞いて分かることを目指します。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－聞いてみよう 行ってみよう (p.147)

・ あらかじめ、学習場所周辺の特定の店や施設など(学習者が知らない場所が望ましい)を調べておき、シートの にその場所名を入れておきます。学習者には、その場所を目的地として尋ねてもらいましょう。指導者または地域の協力者が道順を説明し、学習者はそれをメモしておきます。メモは自国語で構いません。

()には学習者が実際に行きたいところを入れてもらい、同様に尋ねてもらいます。学習者が行きたいところについて指導者、協力者が仮に知らなかったとしても、知っている学習者がいれば、指導者や協力者が学習者同士のやり取りをフォローする形で関われば、学習者同士の情報交換の場になることでしょう。

- ・ その後、実際に町に出て、ここで得た情報を頼りに目的地まで歩いてみます。
- ・ 道順の説明は、人によって経路も表現もさまざまです。時間の余裕のありそうな日本人に、思い切って声をかけて尋ねてみるのも、実地の練習になります。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－街で見かけるもの 移動のことば (p.148)

- ・ ここでは、家から一步外に出て街を歩くと目につく交通関連の語彙や生活に欠かせない施設の語彙、移動の表現を取り上げています。道順を説明するときには、目印となる施設や建物の語彙が欠かせません。また道を尋ねる側もこれらの語彙を知らなくては理解できません。ここにあるものはほんのわずかにすぎないので、街中で目につくものはどんどん覚えて自分のものにしてほしいところです。
- ・ 道順説明でよく出てくる「ひとつめ、ふたつめ」「1本目、2本目」などの言い方も紹介しておくといでしょう。
- ・ 学習者と街に出て、移動の表現(「角を曲がる」「交差点をわたる」など)を発話しながら、ことば集めをするのも楽しいものです。

発展的な活動

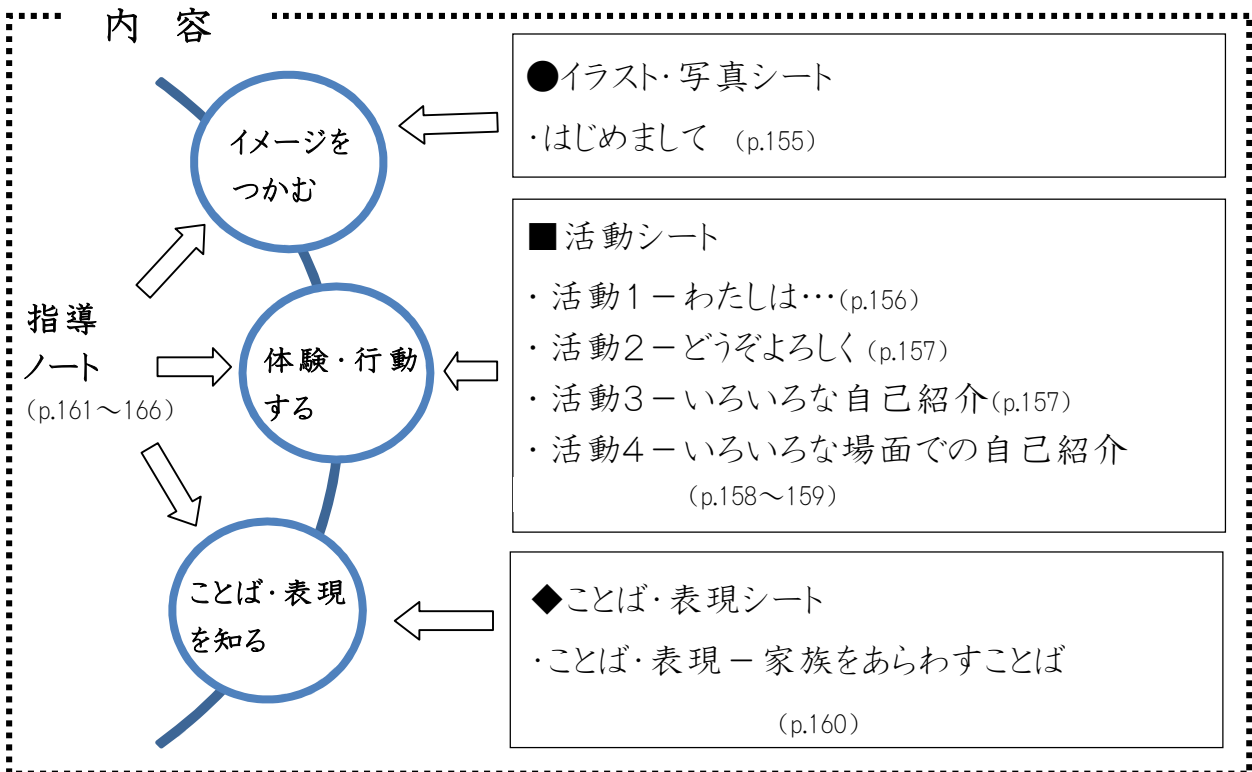
- ・ ここでは基本的に、道順は聞いて分かるようになることを目標としていますが、余裕があれば、その上の段階として、道順を説明することにもチャレンジしてみましょう

う。

例1) 学習場所周辺の学習者がよく知っているような店や施設の写真を提示して、そこまでの経路を説明してもらう。

例2) 自宅の最寄り駅から自宅までの経路を説明してもらう。

ひと つ あ
(31) 人と付き合う



取り上げる生活上の行為の事例

- (3102010)「自己紹介の仕方を理解する」
- (3102020)「相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する」
- (3102050)「仕事上の公的な自己紹介をする」
- (3102070)「私的な場面で自己紹介をする」
- (3101130)「人間関係のきっかけを作る挨拶をする」

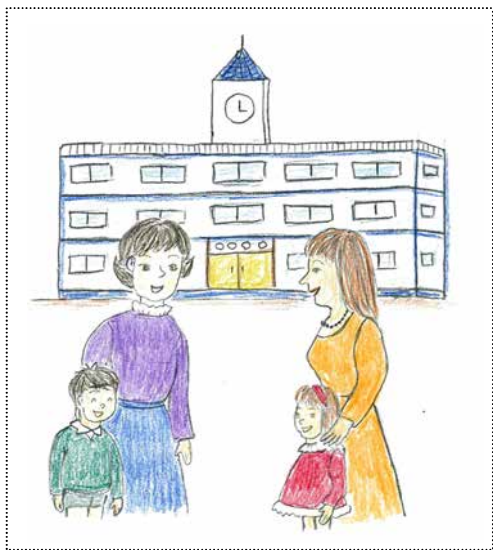
教室活動の目標

- ・自己紹介をすることができる

教室活動のねらい

- ・自分の基本的な情報を伝え、初対面の人と人間関係を築く基礎を作る
- ・挨拶の種類を選択できる
- ・場面に応じた表現を選択することができる
- ・相手の立場に合わせた表現ができる
- ・敬語・丁寧体を適切に利用できる

● はじめまして



■ ^{かつどう}活動1 - わたしは…

^{なふだ} ^{つく}
名札を 作ろう



■ かつどう
活動2-どうぞ よろしく

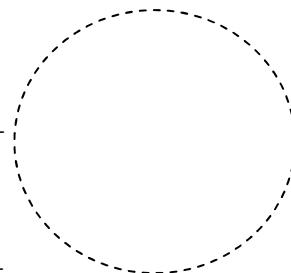
どうぞ よろしく!

【1】名前(なまえ):

Name/姓名/이름 :

なまえの意味(いみ)

翻訳(ほんやく): _____



【2】出身(しゅっしん):

Home country/town / 出身地/ 출신지:

【3】家族(かぞく):

Family/ 家族/ 가족:

ひとり ふたり さんにん よにん ごにん ろくにん ななにん

1人, 2人, 3人, 4人, 5人, 6人, 7人

【4】すんでいるところ:

Place of residence/居住地/거주지:

【5】趣味(しゅみ):

Hobbies/ 爱好 / 취미:

【6】仕事(しごと):

Occupation / 工作/ 직업:

かいわれい
(3) 会話例3

こ ようちえん ほごしゃ
(子どもの 幼稚園で(ほかの保護者に))

へれん くみ たかはしジャスティン はは
へレン: はじめまして。ひまわり組の 高橋ジャスティンの 母
です。

たかはし へれん もう
高橋へレンと 申します。
どうぞ よろしくおねがいします。



かいわれい
(4) 会話例4

おな まんしょん じゅうにん えれべーターなどで あ
(同じ マンションの 住人に エレベーターなどで 会って,
しょたいめん あいさつ ばめん
初対面の 挨拶をする 場面で)

ちょう ごうしつ ちょう もう
チョウ: こんにちは。702号室の チョウと申します。

どうぞ よろしくおねがいします。



かいわれい
(5) 会話例5

ひ こ となり いえ ひと あいさつ ばめん
(引っ越しをして、隣の 家の 人に 挨拶を する 場面)

Aさん: ごめんください。隣に 引っ越してきた 木村です。

どうぞ よろしくおねがいします。

Bさん: 鈴木です。こちらこそ、どうぞよろしく。

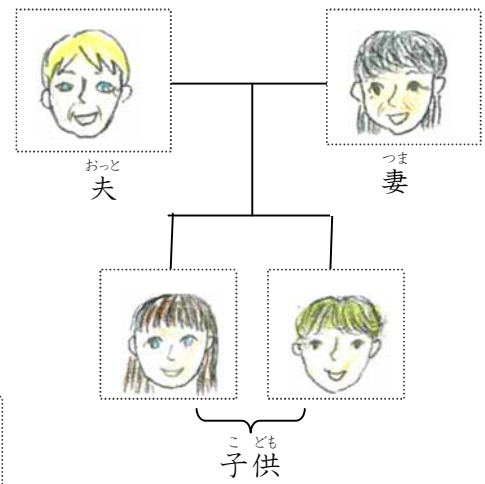
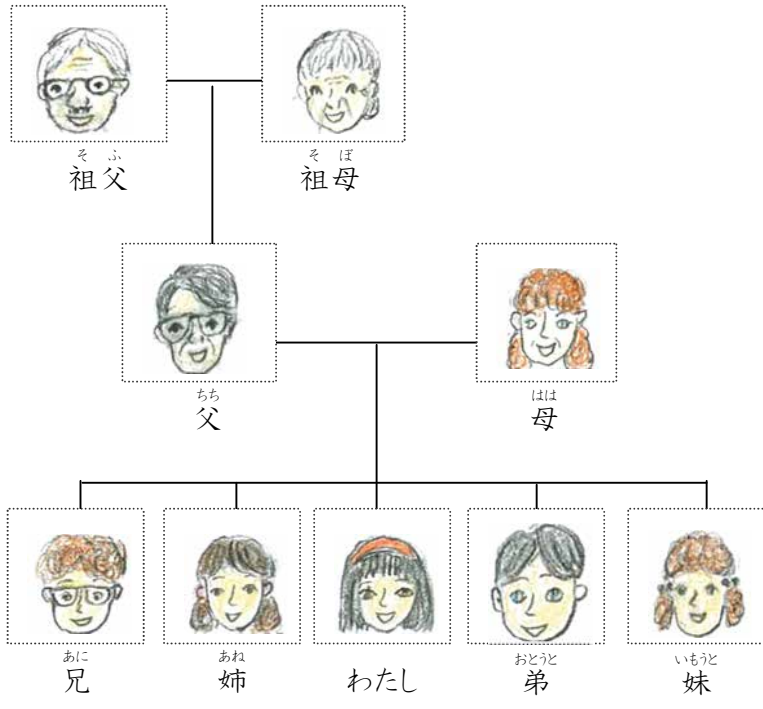
(AさんからBさんに菓子折を渡す)

Bさん: まあ、どうもすみません。

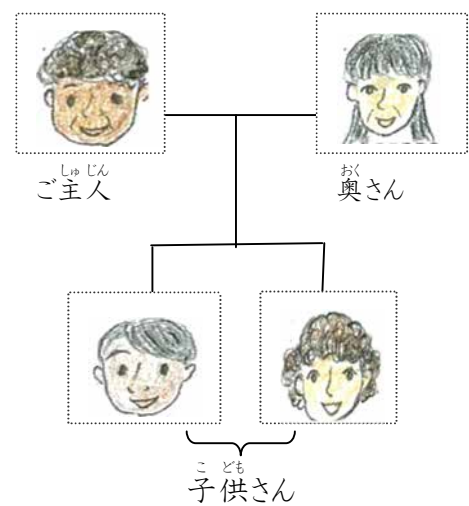
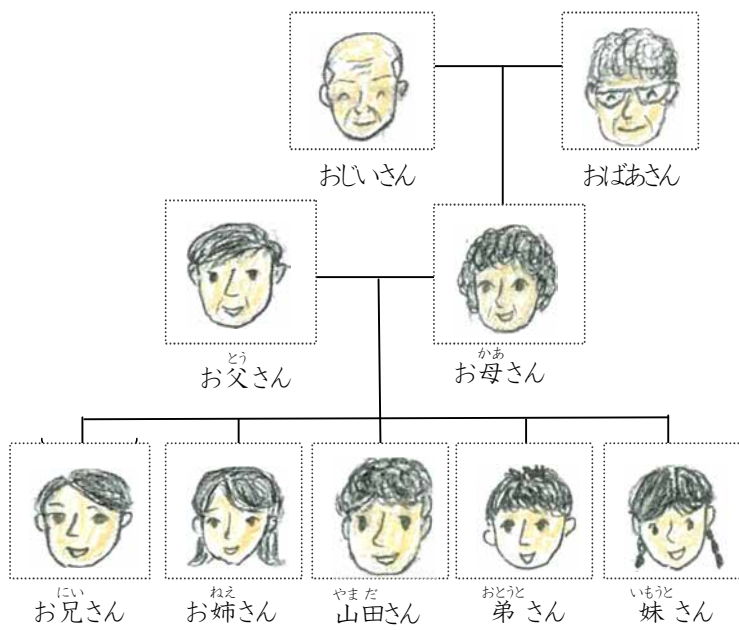


◆ ^{ひょうげん}ことば・表現—家族を あらわす ことば

(1)わたしの ^{かぞく}家族



(2)山田さんの ^{かぞく}ご家族



指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (3102010)「自己紹介の仕方を理解する」
- (3102020)「相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する」
- (3102050)「仕事上の公的な自己紹介をする」
- (3102070)「私的な場面で自己紹介をする」
- (3101130)「人間関係のきっかけを作る挨拶をする」

教室活動の目標

- －自己紹介をすることができる。

教室活動のねらい

- －自分の基本的な情報を伝え、初対面の人と人間関係を築く基礎を作る。
 - －挨拶の種類を選択できる。
 - －場面に応じた表現を選択することができる。
 - －相手の立場に合わせた表現ができる。
 - －敬語・丁寧体を適切に利用できる。
- ・自己紹介は、自分の基本的な情報を伝え、初対面の人との人間関係の基礎を作るものです。自分自身のことを表現し、自身の社会参加の第一歩でもあります。場面や相手に応じた自己紹介の「型」を紹介するだけでなく、やり取りの中で、その人らしい自己紹介ができるように、一緒に考え、新しい形を作っていくこともよいでしょう。

活動前に確認しておくこと

- －学習者の名前(姓と名がある場合の順序、母語での表記、日本語での発音等)の把握
- －学習者の出身地、現在住んでいるところの地名の把握

準備する素材

- －「イラスト・写真」の拡大コピー(あらかじめ黒板等に掲示)
- －世界地図、日本地図、地域の地図(あらかじめ黒板等に掲示か、必要に応じて掲示)

－首からさげる名札(学習者の名前を書いておく)と机に置く名札にするA4用紙

イメージをつかむ

● イラスト・写真シート ・はじめまして(p.155)

- ・ 初回のクラスであれば、自己紹介の文脈は自然に認識されるので必ずしも必要ありませんが、「自己紹介」という概念を可視化するために、イラスト・写真シート(p.155)の拡大コピーをあらかじめ黒板等に掲示しておくといでしょう。
- ・ 初回のクラスで、学習者の多くが日本語のほとんどできない人の場合、「名乗り」(わたしは、〇〇です。)の導入から行う必要があります。
- ・ その場合は、名札(首からさげるものでも、机に置くものを手に持ってでもかまいません)を掲げて行います。まず、指導者が、自分の名札を示し、自分の胸を手で指して、「わたしは、〇〇〇〇です。」と言います。次に指導者は学習者一人一人について、その名札を読むようにして、「この人は、〇〇〇〇さんです。」と言い、「わたしは、〇〇〇〇です。」と言わせるように促します。その学習者に向かって手で「どうぞ」と促しながら、必要なら「わたしは……？」と言葉を添えます。「わたしは、〇〇〇〇です。」と言えたら、大きくうなずいて「いいですね」などと褒めてください。自分の名前に「さん」を付けて、「わたしは、〇〇〇〇さんです。」という学習者もいると思います。「さん」を取って、「わたしは、〇〇〇〇です。」と言い換えて、学習者にまねをさせます。この活動を全員で行います。恐らく、かなり時間がかかると思います。その場合、以下の活動は、可能な範囲で行います。

< 問いかけ例 > (※「イラスト・写真」の拡大コピーを指して)

「ここは、どこですか。」

「これは、誰ですか。」

「あなたの国では、初めて会った人とどんな挨拶をしますか。」

「日本で、初めてあった人とどんな挨拶をしましたか。」

「自己紹介はできますか。」

- ・ ここでは、以上が済んでいる学習者の場合として次の活動に進みます。

体験・行動する

■活動シート

活動1－わたしは…(p.156)

- ・ 指導者は、学習者の名前を呼んで確認しながら、学習者一人ひとりの名前を書いた名札を配布します。指導者から始めて、学習者が自分の名札を示しながら「○○○○です。」と名前をはっきり発音します。仮名がある程度書ける学習者が多ければ、自分の名前を発音しながら仮名で書く練習をします。必要に応じて指導者や協力者がフォローしてください。仮名が書けない学習者が多ければ次の活動に移ります。
- ・ 次に、156ページの写真を参照しながら、A4用紙を四つに折って、一つの面を重ねて三角柱を寝かした形のネームプレートを作ります。学習者は、三角柱を一度開いて、一つの面にカタカナ又はひらがなで自分の名前を書きます。50音図(ひらがな・カタカナ)も黒板等に掲示しておき、適宜、音と文字の参照ができるようにしておきましょう。

仮名が書けない場合は一面に母語で書いてもらって、指導者や協力者が、その発音を聞いて、別の面に仮名で書きます。

学習者が書き終わったら、指導者は自分の名札を指で指し示し、自分の名前を言います。それに倣って、学習者が一人ずつ自分の名前を言っていくように促します。

次に、地図を指し示しながら、出身地についても言い方を確認します(正確な文になっていなくても、まずは固有名詞のレベルで確認ができることを目指し、余裕がある人には文の形でも確認できるように提示するとよいでしょう。)

<やり取りの例>

指導者:「出身は？」(※地図のいろいろなところを指しながら聞く)

学習者:(※地図中にある自分の出身国や地域を指差す)「ちゅ…」

指導者:「ちゅうごく」

学習者:(リピート)「ちゅうごく」

指導者:「ちゅうごく の… ペキン? シャンハイ?」

学習者:「あ… ダイレン」

指導者:「ダイレンですね。ちゅうごく の ダイレン。出身は 中国の
大連です」

体験・行動する

■活動シート

活動2—どうぞよろしく(p.157)

- ・ 指導者は活動2「どうぞよろしく」(p.157)を配布します。また、指導者自身がワークシートに記入したのもコピーして配布します。
- ・ 指導者は学習者に「どうぞよろしく」の表現の確認をした後、ワークシートに「【1】名前」と「【2】出身」「【3】家族」「【4】すんでいるところ」を、ひらがなとカタカナを用いて記入してもらいます。
- ・ ごく初期のクラスの場合は、仮名の読みの練習・確認をするステップを入れてもよいでしょう。学習者がひらがな・カタカナが書けない場合は、アルファベット等を用いて書いてもらって指導者が仮名で併記する形で書き込んで示したり、学習者が発した音を聞いたりしてワークシートに指導者が書き込んで示してもよいでしょう。
- ・ ワークシートのそのほかの項目(【5】、【6】)は「より熟達した行動へ」の活動4で利用します。学習者に応じて利用してください。全ての項目について学習者の母語訳は適宜増減してください。
- ・ 指導者は「わたしは〇〇です」「出身は〇〇です」の表現形式を使って、自分のことを述べるモデルを示します。続いて学習者が一人ずつ言っていきます。
- ・ 同様に「家族は〇〇人です」「〇〇に住んでいます」についても行います。
- ・ 全員が終わったら、指導者は、「はじめまして、どうぞよろしくお願いします」の意味の確認をし、動作と一緒に「はじめまして、どうぞよろしくお願いします」「こちらこそ、よろしくお願いします」の表現練習をします。協力者がいる場合は、始めに指導者と協力者がモデルを示すとよいでしょう。協力者がいない場合は、この挨拶表現に慣れていそうな学習者を相手にモデルを示します。その後で、学習者と指導者、学習者同士で動作をしながら初対面の挨拶の練習をします。
- ・ 最後に、クラス(クラス人数が多い場合は、グループ)全体に向けて、自己紹介の挨拶をします。一人ひとりが、「はじめまして、わたしは〇〇〇〇です。出身は〇〇〇です。家族は〇にんです。〇〇に住んでいます。よろしくお願いします」と言って仕上げとします。

体験・行動する

■活動シート

活動3－活動シート「どうぞ よろしく」で協力者との交流活動(p.157)

- ・ 日本語話者(日本人,または日本語でのコミュニケーション力のある外国人)に,協力者として教室に参加してもらい,活動2で学習した表現を使って,実際に自己紹介を行い,また協力者と学習者がペア,あるいは一人対二人か三人で,写真を見せ合いながら対話を行います。協力者に,自分の写真(出身地,家族,趣味があらわれているものなど)を持って来てもらうように,指導者は前もって連絡しておきます。
- ・ 活動2までを初回の授業で終え,活動3を次の回で行うことが考えられるので,その場合は,初回の活動の最後に学習者にも「次回は写真を持って来てください」ということを伝えておくと,より活動が進めやすくなるでしょう。
- ・ 指導者は,学習者と協力者をペア,または小グループに分けます(協力者一人に対して学習者1～3人程度が望ましいが,協力者の人数によって適宜調整してください)。それぞれのペア又はグループで,メンバー同士で自己紹介をしてもらいます。まずは,活動2で学習した表現を使用して,一通り自己紹介ができれば,それぞれに持って来た写真を見せ合いながら,会話を進めるようにします。指導者は学習者と協力者との対話が円滑に展開しているかどうかを見守りながら目配りし,話が進まなくなっているペア/グループにおいては,対話を活性化させるための問いかけを指導者が投げかけるなどし,意思疎通がうまくいくように手助けをします。ただし,学習者側の日本語力によって,表現可能なことを全部使い果たしているようなグループが出たら,全ての協力者が一斉に別のグループへ移動することをお願いします。

体験・行動する

■活動シート

活動4－いろいろな自己紹介(p.158～159)

- ・ 名前,出身,居住地,趣味,仕事,家族などの中から,学習者の日本語能力,場面や相手に応じて必要な項目,好きな項目を選んで自己紹介ができるようにします。

- ・ 活動シート3「いろいろな自己紹介」に示されている 例1～例5の場面別の例について、指導者は協力者と共に実演し、学習者にそれを観察してもらいます。指導者は「ここはどこでしょうか」「これはだれですか」等、各場面のイラスト等を指しながら質問し、場面や状況の違いについて気付いたことを言ってもらいます。
- ・ ビデオ機器が使える環境であれば、多様な自己紹介(初対面の挨拶)場面のビデオを見せて、さらに観察を促すのもいいでしょう。観察した場面の中で、自分が実際に遭遇しそうな場面を学習者に選んでもらい、例を参考にしながら自分なりの自己紹介をシミュレーションしてみます。

< 参考となるビデオ >

例1)スリーエーネットワーク『みんなの日本語I 会話ビデオ』「第1課」「第2課」

例2)国際交流基金『WEB版エリンが挑戦！日本語できます』

- ・ 第1課「はじめてのあいさつー教室」

(※基本スキット, 応用スキット, 大切な表現, やってみよう(名刺交換), いろいろな使い方)

・ <https://www.erin.ne.jp/jp/>

例3)国際日本語普及協会『ようこそ！さくら小学校へ～みんななかまで～』

「1. はじめてのあいさつ ①校長室で ②教室で」

「2. 学校生活と仲間たち ⑧運動会」(保護者とのあいさつ)

例4)国際日本語普及協会『Japanese for Busy People I: The video』Lesson 1

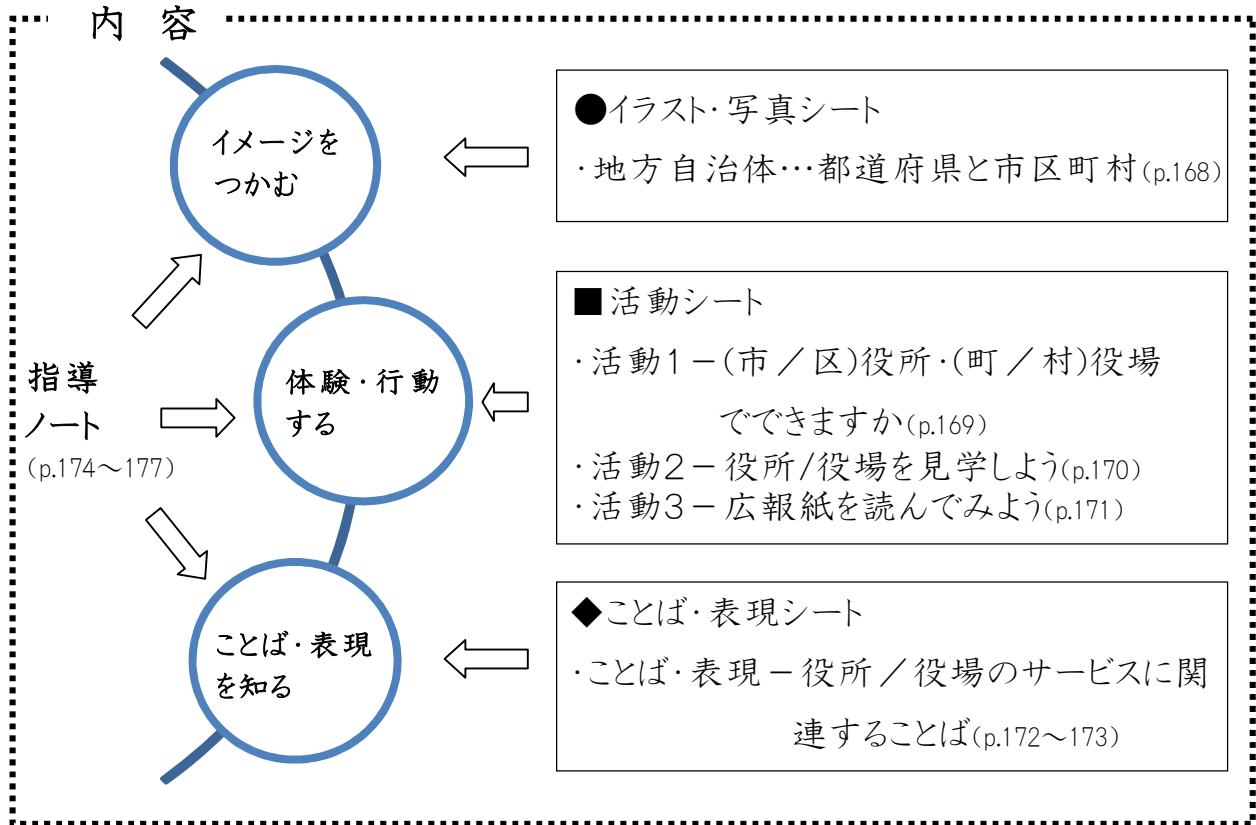
< 社会文化情報 > (指導者, 協力者の参考資料として)

・ 文化審議会国語分科会『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案について』

- ・ p.96 「社会・文化的情報 3102010 自己紹介の仕方を理解する」
- ・ p.97 「社会・文化的情報 3102020 相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する」

じゅうみん て つ づ き

(33) 住民としての 手続をする



取り上げる生活上の行為の事例

- (3301020)「各種手続の種類や内容について理解する」
- (3301080)「役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる」

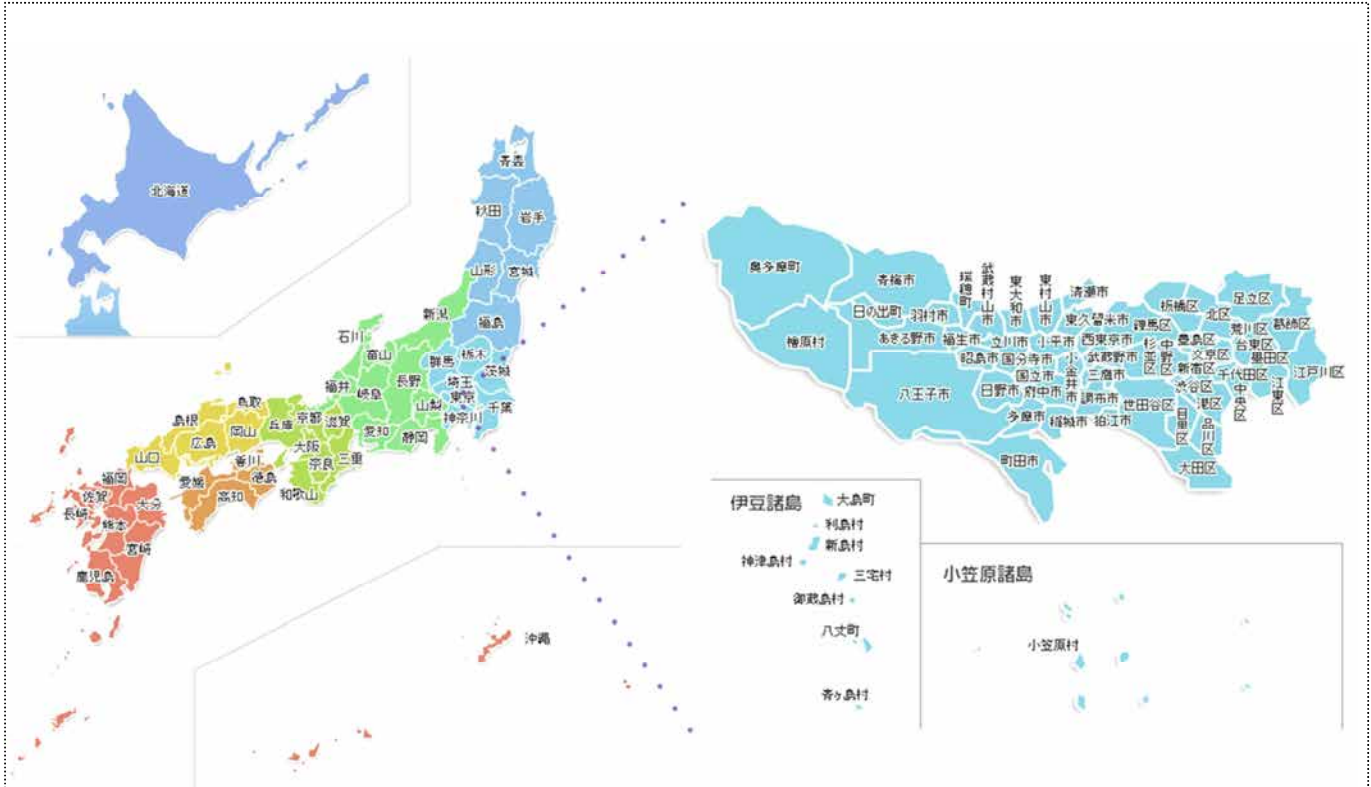
教室活動の目標

- ・自治体への届出・手続や受けられるサービスを知り、利用できる

教室活動のねらい

- ・市区町村の役所・役場でできること/できないことを知る
- ・役所・役場にはどのような窓口があるかを理解する
- ・自治体の広報紙から、必要または有益な情報を得る

ちほうじちたい とどうふけん しゅくちょうそん
● 地方自治体…都道府県 と 市区町村



※財団法人 地方自治情報センター(LASDEC)「全国自治体マップ検索」,「東京都」
<https://www.lasdec.or.jp/cms/1,0,69.html> <https://www.lasdec.or.jp/cms/1,634,69,150.html>



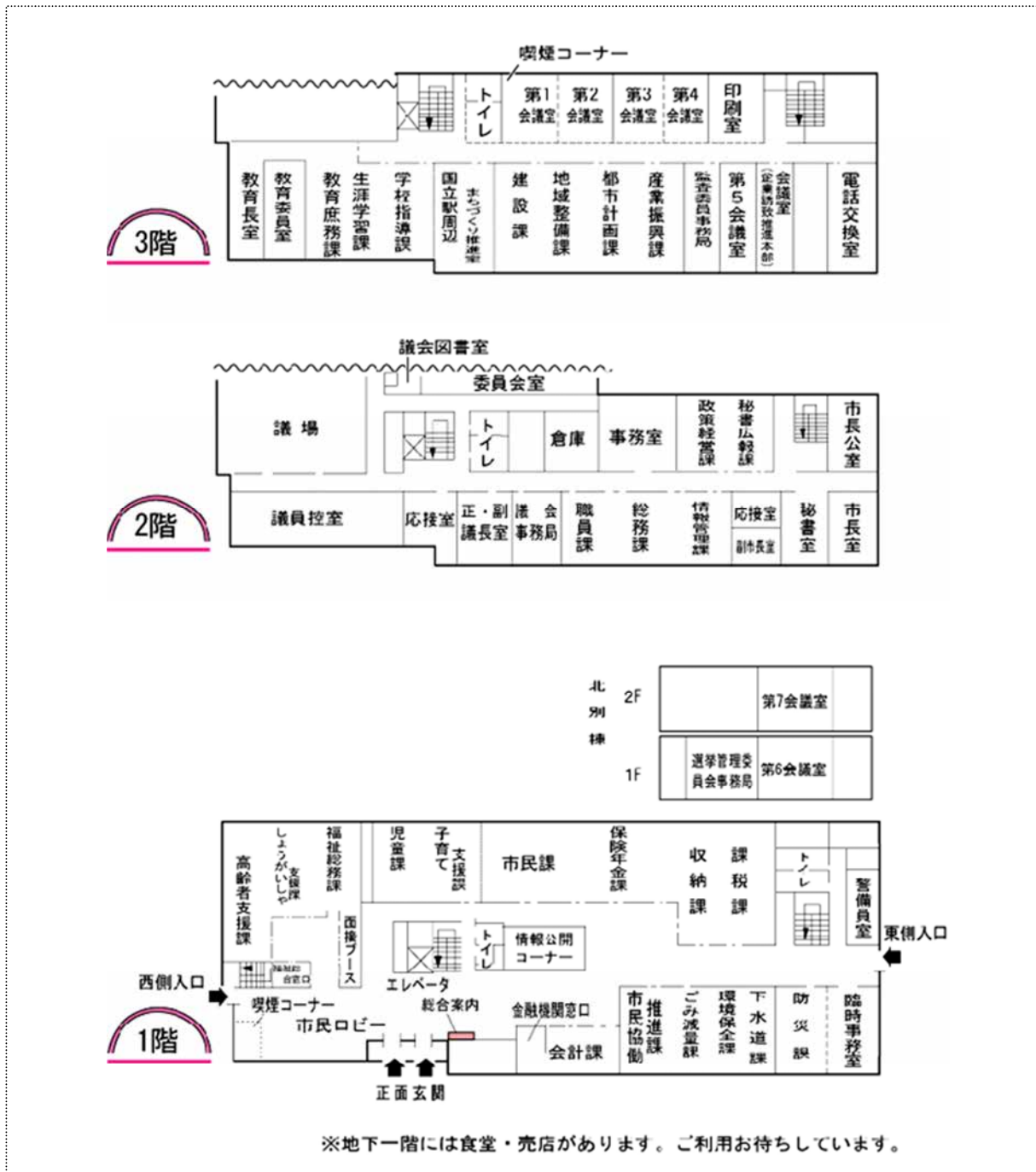
■ 活動1 - (市 / 区) 役所・(町 / 村) 役場でできますか

○ みなさんが住んでいる市 / 区 / 町 / 村の役所 / 役場で、次のことはできますか。みなさんの国では、どうでしたか。

- () ① 乳児・幼児の健康診査
- () ② 成人病の検診
- () ③ 国民健康保険への加入
- () ④ 生活保護の受給
- () ⑤ 公営住宅への入居申請
- () ⑥ 家屋の改築
- () ⑦ 銀行口座の開設
- () ⑧ 国民年金への加入
- () ⑨ 税金の納入
- () ⑩ 自動車運転免許の取得
- () ⑪ 幼稚園・保育所への入園・入所
- () ⑫ 小学校・中学校への編入学
- () ⑬ 大学・専門学校への入学
- () ⑭ 求職, 就職, 転職, 退職
- () ⑮ 在留資格の変更, 在留期限の更新, 再入国許可申請
- () ⑯ 婚姻届, 離婚届
- () ⑰ 出生届, 死亡届
- () ⑱ 住民登録
- () ⑲ 印鑑登録
- () ⑳ 電話機の設置

■ かつどう やくしょ やくば けんがく
活動2－役所／役場を見学しよう

○ すみません、××はどこですか。



※国立市公式ホームページ 市役所庁内案内図 (更新日 平成 22 年 8 月 19 日)
http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/shisetsu/s_city/001226.html

活動3 - 広報紙を 読んでみよう

○ 何が書いてありますか。

今号の主な記事	
国立市市税賦課徴収条例の改正について…	2
国立市の財政を考える秋(後編)……………	3
外国人住民の方の手続きが変更にな…	4
くにたちイタリアフェア2011、 クリーン多摩川国立のつどい……………	5
児童虐待防止推進月間、子ども手当…	6
ごみ分別表の有料広告を募集……………	7
農業展、国立ようこそプロジェクト…	8

市報 **くにたち** No.1001 平成23年/2011年11月5日 (4)

外国人住民の方の手続きが変更になります

(平成24年7月ごろの予定)

「住民基本台帳法の一部を改正する法律」(平成21年7月15日公布)の施行に伴い、平成24年7月ごろ(出入国管理及び難民認定法等改正法の施行の日)の予定で、外国人の方も住民基本台帳の適用対象となります。変更される主な内容は左記のとおりです。

◆外国人登録法は廃止となります。
なお、外国人登録法は廃止となります。外国人住民の方にも住民票が作成されるようになります。

◆外国人住民の方にも住民票が作成されるようになります。
日本人と同様に、外国人住民の方にも住民票が作成されます。(法改正後は、外国人住民と日本人住民の複数国籍の同一世帯は、住民票と一緒に記載されます)

◆対象者①④のいずれかに該当する方
基本的には、適法に3カ月を超えて在留する外国人の方で、住所を有する方が対象です。(観光などの短期滞在者を除く)

① 中长期滞在者(在留カード交付対象者)
② 特別永住者
③ 一時庇護許可者または仮滞在許可者
④ 出生による経過滞在者または国籍喪失による経過滞在者

◆転出届が必要になります
外国人登録法では転出地での手続きは必要ありませんでしたが、住民基本台帳法改正後は、日本人と同様に転出地の市区町村に転出届をして転出証明書の交付を受け、転入先の市区町村へ転入届をすることになります。

◆外国人登録証明書がなくなります
改正後もしばらくは現在の外国人登録証明書は有効ですが、左記のとおり順次切り替えていきます。

◆特別永住者の方：現在お持ちの外国人登録証明書の有効期限まで有効。更新時に特別永住者証明書に切り替え。管轄の市区町村にて交付します。

◆永住者の方：改正後3年以内に入国管理局で手続きを行い、在留カードに切り替えます。

・右記以外の方：改正後の在留期間の更新時、または在留資格の変更時に入国管理局で在留カードに切り替えます。
詳しくは、外国人在留総合インフォメーションセンター(☎0570-013904)へお問い合わせください。
※受付時間は、平日の午前8時30分～午後5時15分
問い合わせ 市民課記録係

開催
国立市を主催し、スポーツ
役所西側
オープン
下記へ、午後5時参加無料)者支援係

を 推

※市報くにたち 平成23年11月5日号(第1001号) 1面・4面より

◆ ことば・表現－役所／役場のサービスのことば

- ・窓口(まどぐち)
- ・届出(とどけで)
- ・受付(うけつけ)
- ・紛失(ふんしつ)
- ・未加入(みかにゅう)
- ・納付(のうふ)
- ・滞納(たいのう)
- ・期限(きげん)
- ・転入届(てんにゅう とどけ)
- ・転出届(てんしゅつ とどけ)
- ・住民基本台帳カード(じゅうみん きほん だいちょう かーど)
- ・住民票(じゅうみんひょう) ・写し(うつし)
- ・印鑑登録(いんかん とうろく)
- ・印鑑証明書(いんかん しょうめいしょ)
- ・戸籍(こせき) ・出生届(しゅっしょう とどけ)
- ・死亡届(しぼう とどけ) ・婚姻届(こんいん とどけ)
- ・離婚届(りこん とどけ)
- ・全部事項証明書(ぜんぶ じこう しょうめいしょ)／謄本(とうほん)
- ・個人事項証明書(こじん じこう しょうめいしょ)／抄本(しょうほん)
- ・税金(ぜいきん) ・所得税(しょとく ぜい)
- ・住民税(じゅうみん ぜい) ・固定資産税(こてい しきん ぜい)
- ・自動車税(じどうしゃ ぜい) ・消費税(しょうひ ぜい)
- ・年金(ねんきん) ・国民年金(こくみん ねんきん)
- ・厚生年金(こうせい ねんきん)
- ・健康保険(けんこう ほけん) ・国民健康保険(こくみん けんこう ほけん)
- ・介護保険(かいご ほけん)
- ・医療費助成(いりょうひ じょせい) ・健康診断(けんこう しんだん)
- ・予防接種(よぼう せっしゅ) ・母子健康手帳(ぼし けんこう てちょう)
- ・児童手当(じどう てあて) ・児童扶養手当(じどう ふよう てあて)
- ・ひとり親家庭(ひとり おや かてい)
- ・母子家庭(ぼし かてい)

- ・父子家庭(ふし かてい)
- ・高齡者(こうれいしゃ)
- ・民生委員(みんせい いいん)
- ・生活保護(せいかつ ほご)
- ・障害者(しょうがいしゃ)
- ・児童委員(じどう いいん)
- ・公営住宅(こうえい じゅうたく)

- ・幼稚園(ようちえん)
- ・保育所(ほいくしょ)／保育園(ほいくえん)
- ・入園(にゅうえん)／入所(にゅうしょ)
- ・小学校(しょうがっこう)
- ・中学校(ちゅうがっこう)
- ・高校(こうこう)
- ・入学(にゅうがく)／編入学(へんにゅうがく)
- ・転校(てんこう)／転入学(てんにゅうがく)

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(3301020)「各種手続の種類や内容について理解する」

(3301080)「役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる」

教室活動の目標

－自治体への届出・手続や受けられるサービスを知り、利用できる。

教室活動のねらい

－市区町村の役所・役場でできること／できないことを知る。

－役所・役場にはどのような窓口があるかを理解する。

－自治体の広報紙から、必要または有益な情報を得る。

- ・ 「生活者としての外国人」がその地域の住民として暮らしていく場合、さまざまな手続をしたり行政サービスを受けたりすることになり、都道府県や市区町村といった地方自治体との接点が生まれるはずですが、法令上必ず行わなければならない手続もありますし、(義務ではないにせよ)生活するうえで有益なサービスもあります。それらは日本語以外の言語で対応できるものも少しずつ増えてきましたので、そういった多言語でのサービスがあることを知っているだけでも生活行動の幅が変わってくるのではないのでしょうか。
- ・ (1)役所・役場の窓口で日本語でのやり取りができるようになるのももちろん素晴らしいことですが、それ以上に、まずは(2)役所・役場の窓口で何らかの目標行動を達成できること、そしてそのために必要な(3)知識・情報を(母語または日本語で)得ておくことを目指したいものです。ここでは、そうした教室活動を展開してみましょう。

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・地方自治体…都道府県と市区町村(p.168)

- ・最初にイラスト・写真「地方自治体…都道府県と市区町村」(p.168)を学習者と一緒に見ながら、日本語または学習者の母語などで、以下のようなやり取りを試みましょう。

<やり取りの例>

「これは何ですか。日本の地図ですね。都道府県に分かれています。日本に都道府県はいくつありますか。いくつ知っていますか。みなさんは、どの都道府県に住んでいますか。」

「みなさんが住んでいる都道府県には、市区町村がいくつありますか。いくつ知っていますか。みなさんは、どの市区町村に住んでいますか。よく買い物をする店や病院、職場なども、同じ市区町村にありますか。」

「下の写真はどこですか。何をするとところですか。行ったことはありますか。いつ行きましたか。そこで何をしましたか。どうでしたか。」

- ・このようなやり取りを通じて、日本の地方自治体は都道府県と市区町村の2層制(政令指定都市などの場合は3層制)であることを理解しつつ、より身近な自治体としての市区町村の役所/役場と学習者との間で、どのような接点があるかを考えることができるでしょう。学習者自身が持っている行政に関するイメージが整理され、さらに活性化されるだけでなく、指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きっと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1-(市/区)役所・(町/村)役場でできますか(p.169)

- ・「活動1」(p.169)は、市区町村の役所/役場で「できること」と「できないこと」の判別を行う教室活動です。辞書を引くことがスムーズにできる学習者なら日本語のシートのみでも可能ですが、ここでは辞書を使うことが目的ではないので、辞書がうまく使えない学習者の場合にはあらかじめ母語に置き換えたシートでやって

みるといいでしょう。丸数字の左にある「()」は、○×を(予想して)記入するのに使えます。

- ・ 学習者の出身が多様である場合、あるいは日本人の協力者が参加できる場合には、それぞれの事項が出身ではどこでできるかを話し合い、相互理解につなげることもできるでしょう。

体験・行動する

■ 活動シート

・活動2－役所/役場を見学しよう(p. 170)

- ・ 「活動2」(p.170)は、実際に地元の役所/役場を見学し、役所/役場で何ができるかを知る教室活動です。このシートには例として国立市役所(東京都)の庁内案内図を掲載していますが、こうした案内図が入手できる場合には事前または事後に目を通して、どこの課で何ができるかやり取りをする展開も可能です。
- ・ 実際の見学に際しては、次のような課題を与えることもできるでしょう。

<課題の例>

- 1) 役所/役場は何時から何時まで開いていますか。休みはいつですか。
 - 2) 住民登録はどこでできますか。
 - 3) 地域の日本語教室についての情報はどこで教えてもらえますか。
 - 4) ゴミの出し方についてのパンフレットはありますか。
 - 5) 広報紙はもらえますか。
- ・ また、後述の「活動3」を先に行い、そこで学習者から出た疑問点を所管の窓口で質問してみるという方法もあります。学習者の生活上のニーズを勘案して、課題をいろいろとアレンジしてみましょう。
 - ・ 安全管理などの観点から、役所/役場の見学には事前に申請が必要な場合もあります。特に、役所/役場の職員に活動の協力者となってもらう場合には、活動の趣旨を含めて事前にきちんと連絡しておきたいところです。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－広報紙を読んでみよう(p. 171)

- ・「活動3」(p.171)は、地元自治体の広報紙を読み取る練習です。このシートには例として一つの記事を取り上げていますが、一つの記事をじっくり読み込むことよりは、むしろ最初に広報紙全体の構成にざっと目を通し、必要または有益な情報がどの辺りにあるか把握することから始める方が、実際の生活場面で行う行動に即して、より自然でしょう。
- ・日本人の協力者がいる場合には、必ずしも学習者自身が全てを読み込む必要はありません。学習者が分からない点を協力者に尋ねる形や、協力者が学習者の家族構成や日常生活でのニーズ・困難な面を知る仲であれば、やり取りをする中で協力者の側から広報紙の内容を紹介する形なども可能です。

ことば・表現を知る

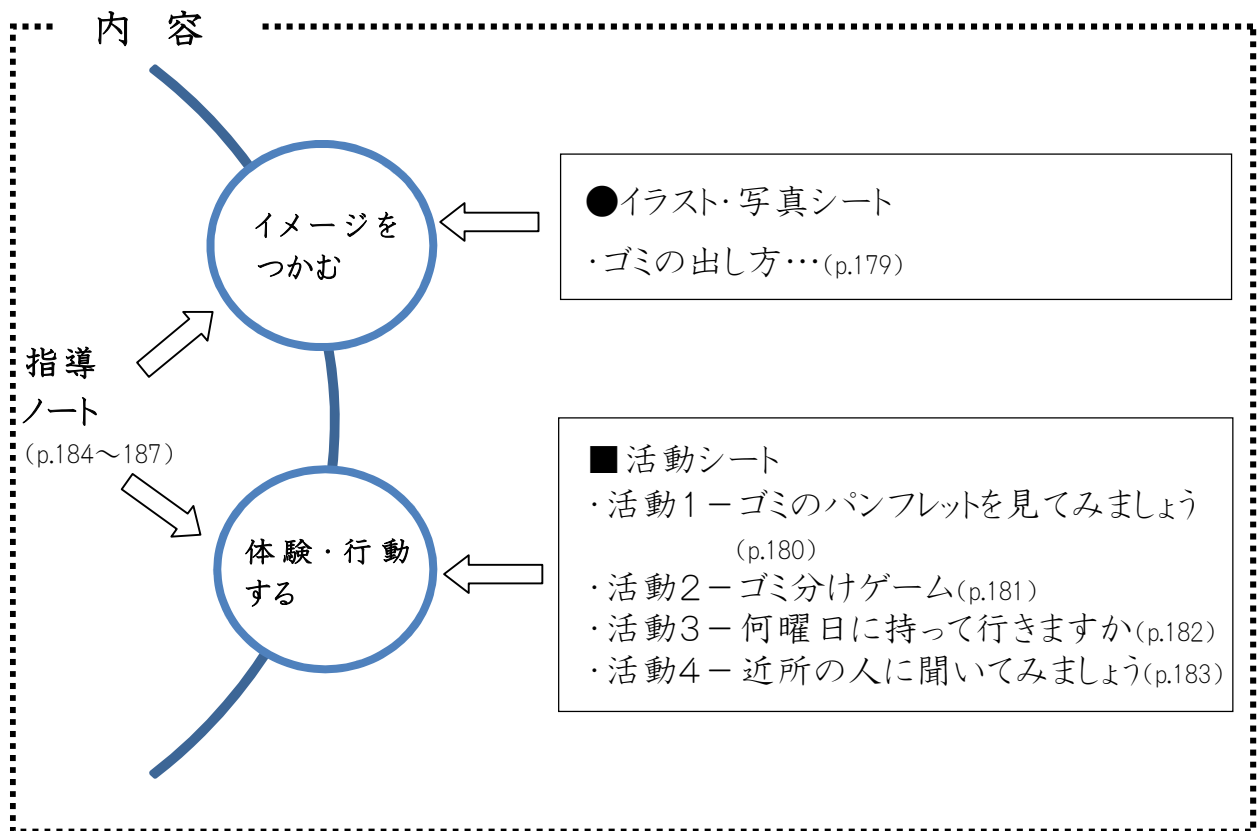
◆ことば・表現シート

・ことば・表現－役所／役場のサービスに関連することば(p. 172～173)

- ・「ことば・表現－役所／役場のサービスに関連することば」(p.172～173)は、役所／役場におけるサービスの種類や手続に際して見かける単語を並べてあります。学習者のニーズに応じて適宜確認してください。

じゅうみん まな一まも

(34) 住民としてのマナーを守る



取り上げる生活上の行為の事例

(3401040)「居住地域のゴミ出しについて地域の公共機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する」

(340180)「居住地域のゴミの出しの方法について隣人に質問する」

教室活動の目標

・ゴミ出しの仕方等，住民として地域のルールについての情報を入手・理解する方法を身につける

教室活動のねらい

・生活情報パンフレット，広報，町内の掲示などを読んで，ゴミ出しの仕方を理解することができる

・分からないことを隣人等に質問して確認することができる

ごみ だ かた
● ゴミの 出し方

収集日の朝8時までに、ごみ集積場に出してください。 収集曜日は、ごみ集積場の表示で確認して記入してください。 **ごみと資源物の分け方・出し方**

分別区分と排出方法	収集曜日	主な対象物
燃やすごみ 半透明の袋に入れて出してください。(半透明の袋に入れてふた付き容器で出すこともできます。)	曜日	<ul style="list-style-type: none"> 台所のごみ ※水を良く切る ビデオテープ(CD等)、おもちゃ、洗器、使い捨てライターなどのプラスチック製品 小型家電製品(電話機、炊飯器など) ※主にプラスチックでできている50cm未満のもの リサイクルに支障をきたす紙 汚れた紙、ヨーグルト、アイスクリームの紙製容器、紙、内側がアルミ貼りの紙バック
燃えないごみ 購入時の紙や新聞紙などで包み、品目を表示して出してください。	曜日	<ul style="list-style-type: none"> ◆箱や新聞紙などに包んで品目を表示して出してください。 ガラス類 陶器類 蛍光灯、電球 化粧品、薬品(飲み薬を除く)のびん プラスチック製のキャップはプラスチック製容器包装へ
スプレー缶 中身を出し切り、半透明の袋に入れて出してください。(スプレー缶は必ず中身を空にして出してください。)	曜日	<ul style="list-style-type: none"> スプレー缶(ヘアスプレー、殺虫剤、カートリッジ式ガスボンベなど) ◆穴開けは不要 ※火気のない安全な場所で中身を必ず出しきってください。 プラスチック製のキャップはプラスチック製容器包装へ
乾電池 半透明の袋に入れて出してください。(乾電池は必ず中身を空にして出してください。)	曜日	<ul style="list-style-type: none"> ◆筒型の乾電池 マンガン乾電池・アルカリ乾電池・リチウム一次電池 乾電池に出してはいけないもの ボタン電池や充電式電池 → 回収ボックスへ(わからないときは販売店や資源循環局事務所に相談ください)
プラスチック製容器包装 容器を軽くすすぐなどして汚れを落としてから、半透明の袋に入れて出してください。	曜日	<ul style="list-style-type: none"> ◆プラスチック製容器包装のマーク(♻️)のある品目は、すべてが対象となります。 ボトル類: シャンプー・洗剤など チューブ類: マヨネーズ・歯みがき粉など カップ・パック類: プリン・ヨーグルト・コンビーフなどの弁当容器など トレイ類: 生鮮食品のトレイ ネット類: 野菜や果物が入っていたネット キャップ類: ペットボトル・スプレー缶などのプラスチック製のキャップ ポリ袋・ラップ類: レジ袋・スナック菓子などの包み 緩衝材類: 家電製品などを梱包している発泡スチロール製の緩衝材 <p>●容器包装とは? 商品を入れたもの(容器)や、包んだもの(包装)であって、中身の商品を取り出した(使った)後不要となるものをいいます。</p> <p>◆プラスチック製容器包装に出してはいけないもの -プラスチック製品 -ビデオテープ(CD等)、おもちゃ、洗器類、使い捨てライターなど → 燃やすごみへ</p> <p>Qプラスチック製容器包装の汚れはどれくらい落とせばいいの? Aマヨネーズなどのチューブ類は全部絞り出して出してください。水洗いする必要はありません。トレイ・カップ・ボトル類などは、なるべく食器洗いの残り水などを活用して軽くすすぐか汚れをふきとってください。</p>
缶・びん・ペットボトル ふたを外して(ペットボトルはラベルも外す)中身をすすぎ、半透明の袋に、缶・びん・ペットボトルをまとめて入れて出してください。	曜日	<ul style="list-style-type: none"> ◆食べ物や飲み物が入っていた缶とガラスびん ◆飲み物、酒、酢、みりん、しょうゆなどが入っていた♻️の表示のあるペットボトル 缶 びん ペットボトル キャップ・ラベルは外してプラスチック製容器包装へ ペットボトルはつぶす <p>缶・びん・ペットボトルに出してはいけないもの -ベンキ缶(小容量金属缶) -化粧品や薬品(飲み薬を除く)のびん → 燃やすごみへ</p>
小さな金属類 釘などの鋭利なものを以外は袋に入れて出してください。	曜日	<ul style="list-style-type: none"> ◆30cm未満の金属製品 (主なもの) なべ、やかん、トースター、ペンキ缶、刃物類、かさの骨、ワイヤーハンガー、炊飯器の内釜など ※なべなどは取っ手を含めずに直径で測ります。 ※刃物など危険なものは厚紙などに包み、品名を表示してください。 <p>金属以外の部分が多く含まれているものや、かさの骨・ビニールは燃やすごみへ</p>
古紙 原目ごとにまとめ、ひもでしばるなどして出してください。(その他の紙は、紙袋又は半透明の袋に入れて出してください。)	曜日	<ul style="list-style-type: none"> ◆自治会・町内会・子ども会などで実施している「資源集団回収」に優先的に出してください。 新聞 雑誌 段ボール 紙バック(内側がアルミ貼りのもの → 燃やすごみへ) 洗って切って、開いて乾かしてひもでしばってください。 ◆品目ごとにまとめて、ひもでしばる その他の紙: 包装紙、パンフレット、メモ用紙、シュレッダーした紙、おもちゃなどの紙類、レシート、紙袋、紙を糊いた紙など <p>古紙 洗濯して乾かしてから半透明の袋に入れてください。 衣類・シーツ・毛布・カーテン 汚れたもの、破れたもの、わたが入っているものは燃やすごみへ</p>
古布 半透明の袋に入れて出してください。	曜日	<ul style="list-style-type: none"> ◆古紙に出してはいけないもの → 燃やすごみへ(下記以外の紙類はすべて「その他の紙」に出してください) 汚れた紙(ビザの箱、ハンバーガーの包装紙など)、銀紙、内側がアルミ貼りの紙バック、裏カーボン紙、除染紙(アイロンプリント紙など)、感熱発熱紙(点字などに使用する加熱すると盛り上がる紙)、ヨーグルト・アイスクリームの紙製容器、カップ類の紙製容器、洗剤の紙製容器、石鹸の個別包装紙 ◆雨に濡れるとカビ発生の原因となり、リユースができませんので、次の収集日に必ず、資源回収ボックス等をご利用ください。
粗大ごみ 粗大ごみの無料の集積場(粗大ごみ集積場)を貼付して、指定された日の曜日に、申し込みの欄に記入した場所へ朝8時までに持参してください。	申込制 無料	<ul style="list-style-type: none"> ◆金属製品で30cm以上のもの、それ以外(プラスチック製品、木製品など)で50cm以上のものを対象とします。 ※お申し込み先は裏面をご覧ください。 ※テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・エアコン・洗濯機・衣類乾燥機は粗大ごみとして収集しません。→その製品を購入したお店または新しく購入したお店に引き取ってもらうてください。 →購入したお店が不明な場合は、横浜資源リサイクル推進協議会(下記のいずれか)へご連絡ください。 0120-014-353 0120-632-515 0120-045-669 ※パソコンは、粗大ごみとして収集しません。 →パソコンメーカーが回収しますので、直接メーカーにお申し込みください。自作などメーカーがない場合は、パソコン3R推進協会(☎03-5282-7685)にお問い合わせください。 ※50cm未満の主にプラスチックでできている小型家電製品(ラジカセ・プリンターなど)は燃やすごみへ。

粗大ごみ受付センター ☎

※横浜市資源循環局『ゴミと資源の分け方・出し方:リーフレット』平成23年4月発行, pp.2-3
http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-data/pamph/wakedashi/pdf/leaflet.pdf

■ ^{かつどう} ^{ごみ} ^{ばんふれっと} ^み
活動1-ゴミのパンフレットを 見てみましょう

あなたの まちの ^{ごみ} ゴミの ^だ ^{かた} 出し方の ^{ばんふれっと} ^み パンフレットを 見てみましょう。

【〇〇語】(あなたの ^ご ことば)の ^{ばんふれっと} パンフレット がありますか。あったら、

【日本語】の ^{にほんご} ^{ばんふれっと} ^み パンフレットと いっしょに見てみましょう。

ことばの ^{いみ} ^{かくにん} 意味を 確認しましょう。

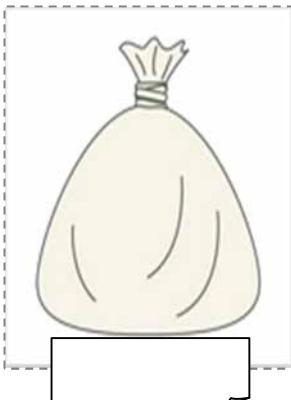
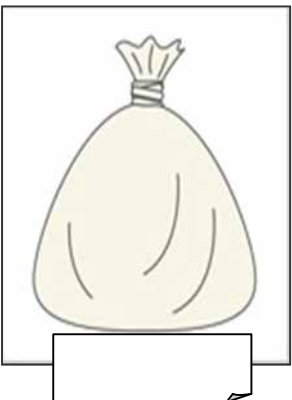
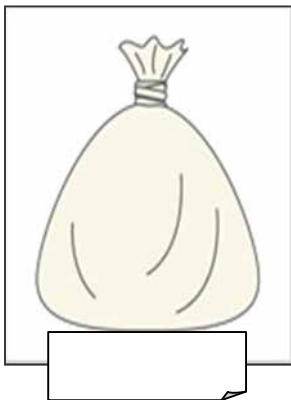
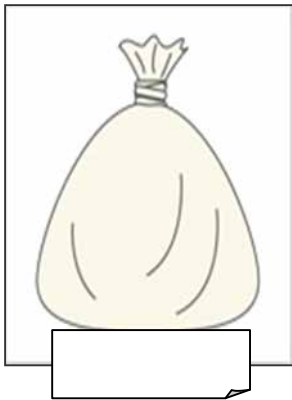
* ^{ごみ} ^だ ^{かた} ^る ^ー ^る ゴミの出し方のルールや ^{じちたい} ^{しくちやうそん} ことばは 自治体(市区町村)によってちがいます。

にほんご 日本語	いみ 意味(あなたの ことばで)	れい 例
も 燃やすごみ かねん (可燃ごみ)		
も 燃えないごみ ふねん (不燃ごみ)		
ぶらすちっくほうそう プラスチック包装 ようき 容器		
かん 缶		
びん		
べっとぼとる ペットボトル		
こし 古紙		
そだいごみ 粗大ゴミ		

かっどう ごみわ げーむ
■ 活動2-ゴミ分け ゲーム



※ <http://free-illustrator.com/sozai/37trash/031.jpg>



■ **活動3** - 何曜日(なんようび)に 持って(もって)行きますか



①～⑦のゴミは、いつ 出 (だ) しますか。
 した (した) かれん (カレンダー) 下の (なか) のA～Dの中 (なか) から (から) 選 (えら) びましょ (う)。



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 A	4 B C	5	6 D	7 A	8
9	10 A	11 B	12	13 D	14 A	15
16	17 A	18 B C	19	20 D	21 A	22
23	24 A	25 B	26	27 D	28 A	29
30	31 A	32	33	34	35	

あなたの (あなた) 住 (す) んで (る) いる (る) 所 (ところ) の (の) 掲 (けい) 示 (じ) 板 (ばん) (ゴミ出しの スケジュール) の (の) 写 (しゃ) 真 (しん) と (と) 撮 (と) っ (も) 持 (も) っ (て) 来 (き) まし (よ) う。ほ (ほか) の (の) 人 (ひと) の (の) 写 (しゃ) 真 (しん) と (と) くら (くら) べ (べ) て (て) み (み) ま (ま) し (し) ょ (よ) う。

■ 活動4-近所の人に聞いてみましょう

かいわれい
(1) 会話例1

Aさん：すみません、^{ごみ}ゴミはどこに
^だ出せばいいですか。

Bさん：あの^{かど}角の^{ごみすてーしょん}ゴミステーションに、
^{あさ}朝8時ごろまでに^お置いて
おけばいいですよ。
ええっと、^も燃える^{ごみ}ゴミと^も燃えない
^{ごみ}ゴミに^わ分けてからね。^だ出す^ひ日が
^{ちが}違うから、^き気を^つ付けて。

Aさん：はい。



指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(3401040)「居住地域のゴミ出しについて地域の公共機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する」

(340180)「居住地域のゴミの出しの方法について隣人に質問する」

教室活動の目標

- － ゴミ出しの仕方等，住民として地域のルールについての情報を入手・理解する方法を身につける。

教室活動のねらい

- － 生活情報パンフレット，広報，町内の掲示などを読んで，ゴミ出しの仕方を理解することができる。
- － 分からないことを隣人等に質問して確認することができる。

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の居住地域のゴミの分別方法，出し方のルール
- － 学習者の居住地域のゴミ収集日
- － ゴミの分別や回収方法，リサイクル等について，行政の職員と協働でのワークショップが可能かどうか

準備する素材

- － 学習者の居住地域のゴミの分別方法，出し方のルールについてのパンフレット等。日本語と共に，できるだけ学習者の使える言語のものを準備し，日本語と対照させることができるようにする。
- － 学習者の居住地域のゴミ収集所の掲示板の写真
- － ゴミのサンプル または イラスト（分別の実体験用）

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・ゴミの出し方…(p.179)

- ・「イラスト・写真シート」(p.179)のゴミの出し方のパンフレットの例，又は，できれば自分たちの地域でのパンフレットの実物を提示しながら，このパンフレットにはどのようなことが書いてあるか，問いかけ，推測してもらいます。学習者に，普段，どのようにゴミを出しているか(何曜日にゴミを出すか，どこに持っていくか，どのように分別するかなど)を尋ね，話してもらうようにします。

< 問いかけ例 >

「これは何ですか。」

「どんなことが 書いてあると思いますか。」

「〇〇さんの ところでは 何曜日に ゴミを 出しますか。」

「どこに ゴミを 持って行きますか。」

体験・行動する

- 活動シート
- ・活動1－ゴミのパンフレットを見てみましょう(p.180)

- ① 学習者の住む地域のゴミ出しに関する日本語版のパンフレットと学習者の言語の翻訳版でのパンフレットがあれば，それぞれ学習者に配布します。
- ② 日本語版と翻訳版を照らし合わせながら，ゴミの分別に関する主要なことばの意味を確認します。学習者の言語の翻訳版が無い場合は，イラストや実物等を活用しながら，指導者とのやり取りの中で，意味が理解できるように促します。p.180の表に，学習者の言語で，ことばの意味を記入させます。

体験・行動する

■活動シート

・活動2ーゴミ分けゲーム(p.181)

- ・ 自分たちの住む地域のルールに従って(パンフレット等から入手した情報に基づいて), ゴミ分けの練習をします。
 - ① 分別用の箱や袋を準備します。当該地域のルールに基づいて, 「燃やすゴミ」「燃えないゴミ」「びん・かん」「プラスチック」などラベルを付けておきます。
 - ② クラスを2つのチームに分けます(人数によってチームの数は調整)
 - ③ パンフレットで確認した内容に従って, イラスト(記号をつける, 又はカード状に切り分ける)や実物をそれぞれの箱や袋に分別して入れます。
 - ④ それぞれのチームの分別の結果を確認します。
- ・ 自治体の行政職員でゴミの捨て方などを担当している人にもあらかじめ連絡を取って参加してもらい, 審判をしてもらったり, 分別に迷うものについて解説してもらうのもいいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動3ー何曜日に持って行きますか(p.182)

- ・ ゴミ集積所(ゴミステーション)の掲示を見て, 何曜日にどの種類のゴミを出すのかを読み取れるようにします。
 - ① 学習者に活動シートを配布します。
 - ② まずは, シートに掲載した写真を見て, 右のイラストのごみの回収日はいつか(何曜日か)を, 学習者に考えて記入してもらいます。
 - ③ 学習者に, 自分の住まいの近くの集積所の写真を, 次回までに撮ってくる(携帯メールなどで)か, または, 書き写してくるよう伝えます。
 - ④ 次の回で, 学習者が持参した写真(またはイラスト)を, 互いに見せ合い, それぞれの地区での, 回収日の違い, 掲示の仕方等についての違いを話し合いながら比べ, 発表すると面白いでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動4－近所の人に 聞いてみましょう(p.183)

- ・ ゴミを持っていく場所が分からない時に、近所の人に尋ねる会話を、確認します。また、自分が他の人に尋ねられたときに、答えられるようになることも目指します。

- ① 活動4の会話を指導者と学習者で実演をします。協力者がいる場合は、協力者にも参加してもらおうとよいでしょう。
- ② 学習者は2人1組でペアになり、会話の練習をします。「Bさん」の役になった人は、自分の地区でのごみの捨て方を、相手に説明してみます。

【参考情報】

- 1) 経済産業省 3R政策ホーム(経済産業省が提供するゴミのイラスト素材集)

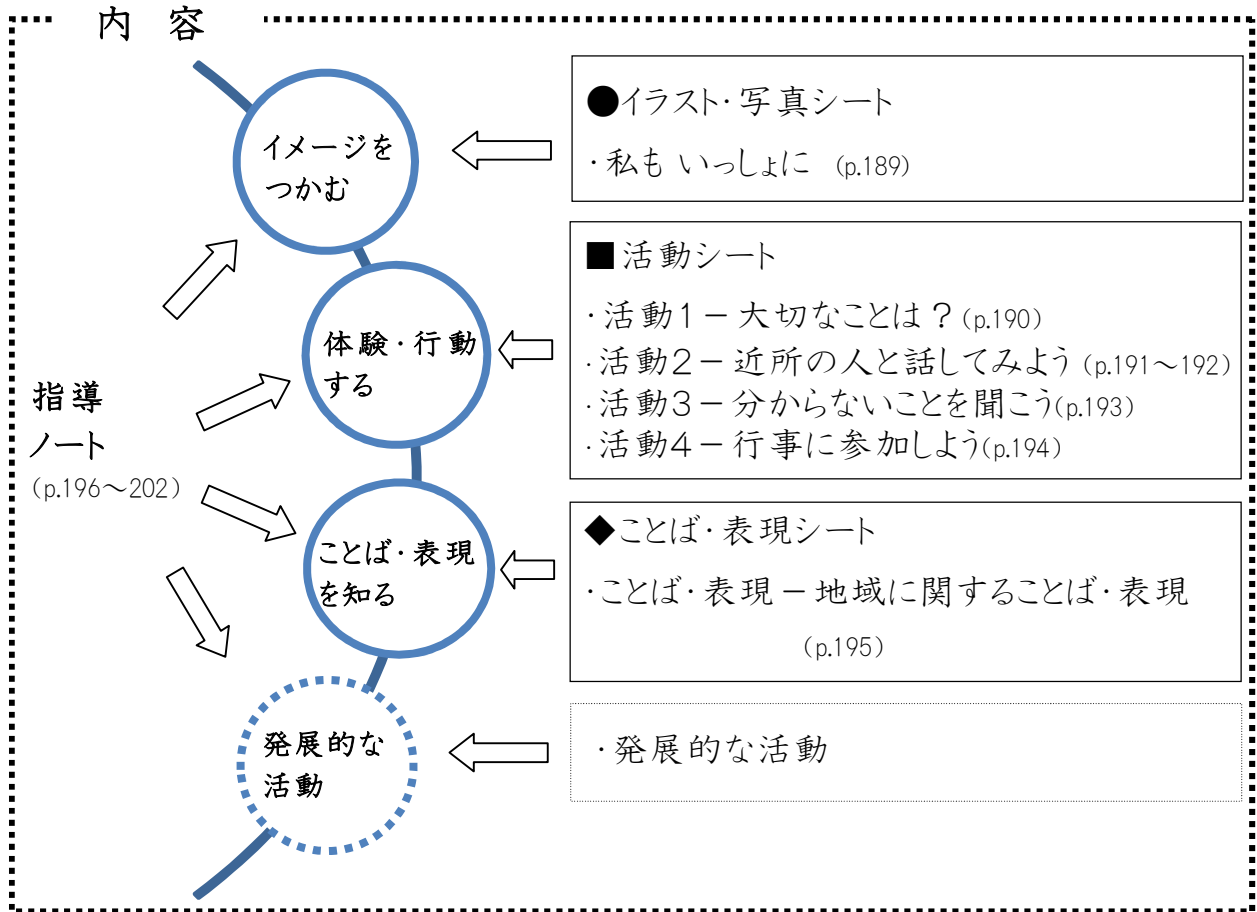
・<http://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/illust/index.html>

- 2) ゴミ収集日お知らせサービス 53cal(ゴミカレ) :

・全国主要都市のゴミ収集日をカレンダーで確認できます(学習者の居住地区での収集日を確認するのに役立ちます)

・www.53cal.jp/

ち い き し ゃ か い さ ん か
(35) 地域社会に参加する



取り上げる生活上の行為の事例

(3501050)「自治会の会員になる」

(3501100)「行事に参加する」

教室活動の目標

・地域社会に参加して住民とつながりをもつ

教室活動のねらい

- ・自治会参加の意思を伝えることができる
- ・参加の方法について質問することができる
- ・行事について情報を得ることができる
- ・行事を通じてほかの会員と交流できる

● わたし 私も いっしょに

※1



※2



※2



※2



※2



※2



※1 門前自治会 http://genki365.net/gnkh03/mypage/mypage_sheet.php?id=74720

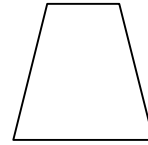
※2 北馬込1町目町会 <http://www.geocities.jp/kitamagome1/>

■ 活動1 - 大切なことは？

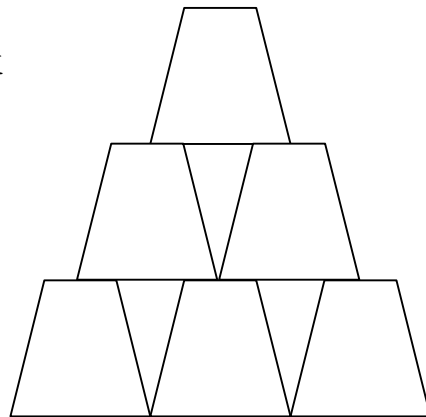
1. 近所きんじよの人ひとと つながりを もつことは、どんな点てんで いいと 思いおもいますか。
話し合はな あって みましょう。

2. 人と 人が つながるには、まず コミュニケーションたいせつが 大切たいせつです。
では、コミュニケーションには、どんなことたいせつが 大切たいせつだと 思いおもいますか。

(1) 一人ひとり、6つずつ 考えかんがて、右みぎの 形かたちの
6枚まいのカードかーどに 書かいてください。
(絵えを 描かいても いいです。)



(2) 一番いちばん 大切たいせつだと 思おもうことを 上うへにして、
大切たいせつな 順じゆんに、右みぎのようみぎな ピラミッド型びらみどがたに
ならべて ください。



(3) 自分じぶんで 作つくったものと、友だちともの ものを くらべて みましょう。
なぜ、それが 一番いちばん 大切たいせつなのか、なぜ その順じゆんばん番ばんなのか、話し合はな あって
みしょう。

■ 活動2－近所の人と話してみよう

かいわれい
(1)会話例1

こがい はな じちかい はい つた
(戸外で話す(自治会に入りたいことを伝える))

Aさん :おはようございます。

にほんじん
日本人 :おはようございます。

Aさん :今日は さむいですね。

にほんじん
日本人 :そうですねえ,ほんとに。もう 11月ですものね。

Aさん :あのう…ちょっと 聞いてもいいですか。

にほんじん
日本人 :ええ,どうぞ。

Aさん :あのう 自治会に 入りたいんですが…。

にほんじん
日本人 :ああ,自治会ね。いろいろな 行事も あるし,ぜひ入ると

いいですよ。じゃあ,どうしたらいいか 自治会の

やくいん
役員さんに ちょっときいてみますね。

Aさん :はい,お願いします。

じゃあ,失礼します。

(2) 会話例2

^{りょうり つく}
(料理を作ってもっていく)

^{びんぽーん}
(ピンポン)

A さん : ごめんください。

^{にほんじん}
日本人 : あら, Aさん, こんにちは。

A さん : こんにちは。

あのう, これ, ^{くに} 国の ^{りょうり} 料理です。たくさん ^{つく} 作りましたから どうぞ。

^{にほんじん}
日本人 : わあー, いいんですか。おいしそう。ありがとうございます。
いただきます。

A さん : ちょっと ^た くらい かもしれませんが, 食べてみてください。

それじゃ, ^{しつれい} 失礼します。

^{きんじょ ひと}
1. 近所の人と どんなことを ^{はな} 話したいですか。

また, どんなことを ^き 聞きたいですか。

^{かいわれい} ^{れんしゅう}
2. 会話例1, 2を 練習した あと, あなたが ^{はな} 話したいことを ^{はな} 話してみましょ
う。

■ 活動3 - 一分からないことを聞こう

(1)どんなことが書いてありますか。

盆踊りのお知らせ

〇〇町会長 山田一郎

暑中お見舞い申し上げます。
盆踊りを下記のとおり、盛大に開催いたします。
皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。



■ 日時 8月23日(土) 8月24日(日)
午後 7時~9時

■ 場所 大森八幡神社

*小雨決行

* 盆踊りの講習会を、8月21日(木)午後7時より、
大森八幡神社にて行ないます。

(2) 会話例

Aさん : すみません。

(「しょうけっこう」を指して) これは何という意味ですか。

近所の人 : ああ、それは「しょうけっこう」と読んで、「少しの雨でもやります」

という意味ですよ。

Aさん : あ、そうですか。ありがとうございました。

■ 活動4－行事に参加しよう

(1) あなたの町で、いつ、どんな行事がありますか。

① 町に出で、掲示板を見てください。

市役所などで、多言語情報誌や地域のお知らせをもらって
きましょう。

② 行事について書いてあれば、協力者と一っしょに読んでみましょ
う。

③ 自治会では、1年間にどんな行事があるか 日本人に聞いて
みましょう。

④ 協力者と一っしょにインターネットで調べてみましょう。

(2) 行事に参加して、日本人と話してみましょ。

(3) 参加して、どうだったか、みんなで話しあいましょ。

◆ ことば・表現 — 地域に かん する ことば・表現



防災訓練
(ぼうさいくんれん)



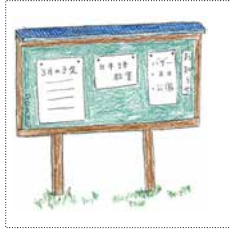
バザー
(ばざー)



清掃
(せいそう)



盆踊り
(ぼんおどり)



掲示板
(けいじばん)



回覧板
(かいらんばん)



商店街
(しょうてんがい)



集会所
(しゅうかいじょ)

- ・自治会(じちかい)
- ・自治会長(じちかいちょう)
- ・役員(やくいん)
- ・会費(かいひ)
- ・行事(ぎょうじ)
- ・お知らせ(おしらせ)
- ・世帯(せたい)

- ・町会(ちょうかい)
- ・町会長(ちょうかいちょう)
- ・会員(かいいん)
- ・会報(かいほう)
- ・親睦(しんぼく)
- ・申込書(もうしこみしょ)
- ・世帯主(せたいぬし)

- ・入会(にゅうかい)する
- ・活動(かつどう)する
- ・準備(じゅんび)する
- ・開催(かいさい)する
- ・中止(ちゅうし)する

- ・参加(さんか)する
- ・協力(きょうりょく)する
- ・交流(こうりゅう)する
- ・延期(えんき)する

- ・小雨決行(しょううけっこう)

- ・雨天順延(うてんじゅんえん)

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(3501050)「自治会の会員になる」

(3501100)「行事に参加する」

教室活動の目標

－ 地域社会に参加して住民とつながりをもつ。

教室活動のねらい

- － 自治会参加の意思を伝えることができる。(活動2)
 - － 参加の方法について質問することができる。(活動2))
 - － 行事について情報を得ることができる。(活動3 活動4)
 - － 行事を通じてほかの会員と交流できる。(活動4)
-
- ・ 日本に来て間もない外国人にとって、日本社会に溶け込むきっかけは見つけにくいものです。長年日本に住んでいる外国人でも、人によっては同じかもしれません。自治会に入って、災害に備えて防災訓練に参加したり、夏祭りや町会のバザーなどに協力したりすることで、多くの住民とつながることができるでしょう。ここでは、そのための足掛かりを提示しています。また自治会主催のほかにも、商店街や地域の学校主催の催し、区や市が主催するフェスティバルなど、様々な地域の取り組みをここで紹介しておく、よいでしょう。
 - ・ 地域によって、多言語での生活情報の冊子や災害対策の冊子を発行しているところが増えています。そのようなものがあれば、地域の出張所などに置いてあるので、学習者に配布し、何がどこに書いてあるかを皆で確認しながら一度目を通しておくと、役に立つでしょう。

活動前に確認しておくこと

- 地域の自治会の活動内容
- 地域の防災訓練などの日程
(外国人向け防災訓練や防災教室がある自治体もあります)
- 自治会主催以外の地域の催し

準備する素材

- 学習者の居住地の自治体が発行している地域の多言語情報誌など
- (もしあれば)地域の自治会入会申込書
- 地域のお知らせ情報(街の掲示板のお知らせや回覧板のお知らせなど)
- 活動1で使用する台形のカード(画用紙または厚紙で、学習者一人につき6枚ずつ)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
私も いっしょに (p.189)

- ・ 「イラスト・写真シート」(p.189)を見せて、それぞれ、何をしているのか、見たことがあるか、どんな人たちが参加していると思うかなど聞いてみましょう。服装や周りの様子などから、季節を想像してもらってもいいかもしれません。ほんの一部ではありますが、年間を通していろいろな活動があることが見えてきます。しばらく、「イラスト・写真シート」(p.189)について、やり取りした後で、これが自治会または町会(町内会)の活動であることを伝えてください。そして、学習者が地域の人たちと現在どのような関係にあるか、話してもらいましょう。さらに可能であれば、自国の町で自治会のような組織があるか、または住民同士のつながりはどのようになっているかなどについて聞いてみてはいかがでしょうか。

< 問いかけ例 >

「近所の人に挨拶しますか」

「近所の人と話しますか。どんなときに話しますか。何を話しますか。」

「あなたの町で盆踊りやバザーなど見たことがありますか」

「町の盆踊りやお祭り，防災訓練に参加したことがありますか」

「あなたの国では町会がありますか。」

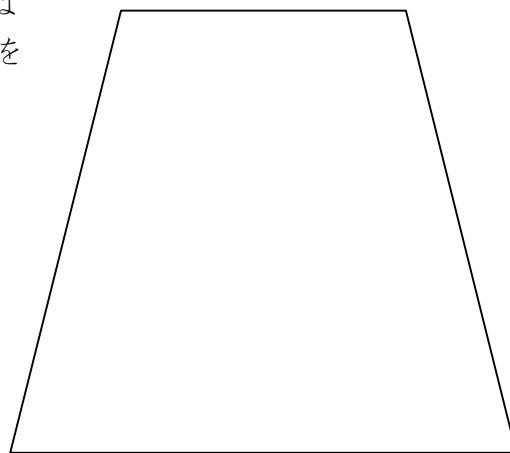
「あなたの国では町でどんなことをしますか。」

体験・行動する

■活動シート

・活動1－大切なことは？ (p.190)

- ・ここではまず，地域住民とつながることによって，どんないい点があるかを考えることで地域社会への参加の動機付けを行います。近所の人と知り合いになっておくと，日常生活でのちょっとしたやり取りで，住みやすい環境作りができるとともに，防犯や，いざというときにも心強いものです。また地域住民との絆は，地震など災害が起こった時の物心両面での支えにもつながります。
- ・地域住民とよりよい関係を築くためのイメージトレーニングとして，個々に何が大切かを考えてもらいます。完成したら，ほかの学習者のものとは比べ，簡単な意見交換をすることで，コミュニケーションで大切なことを意識してもらうことを目的としています。もちろん，日本語初級者にとって，カードに思っていることを書くことは難しいでしょう。「笑顔(smile)」，「ゆっくり(slow)」，「はっきり(clear)」，「目を見る」など簡単な言葉，あるいは絵でも構いません。意見交換と言っても，自分が大切だと考えていることが身振り手振りでも伝えられればそれでよいでしょう。指導者や協力者もいっしょに参加するつもりで進めてください。
- ・学習者一人につき6枚ずつ，画用紙または厚紙で作成した台形のカード(右図参考)を配布してください。並べ方など示すために，一組余分に作成しておくといよいでしょう。



体験・行動する

■活動シート

・活動2－近所の人と話してみよう(p.191～192)

- ・ここでは、近所の人とのちょっとした会話の場面を提示しています。ゴミ出しのときと相手の家に自国の料理を持って行ったときの会話がありますが、このほかにも、店や駅で会ったとき、回覧板を回す時など、会話の場面はいくつもあるので、様々な場面を設定して、会話を練習してみてください。
- ・会話例1では、自治会参加の意思を伝えています。この後の流れとして、自治会役員の人を訪ねてきて、簡単に自治会の説明(会費など)をし、学習者は申込書の記入を求められて記入する、その際、分からない部分を聞く、そのほかに聞きたいことを質問する、などのタスクが考えられます。必要に応じて、会話練習を行ってください。自治会の入会方法は地域によって様々で、自治会の役員や町会長に直接連絡すればそれでよいということもあるようです。申込書を記入する場合も、フォームは一定ではありません。ただ、基本的な住所、氏名、電話番号、日付はいつでも書けるように、しておきたいものです。一例として以下のフォームをあげておきますので、ここで練習しておくといでしょう。

自治会加入申込書

平成 年 月 日

自治区長 殿

世帯主氏名			
住所			
電話番号		世帯の 人数	人

自治会に加入したいので、申し込みます。

この申込書では、日付は元号で書くようになっています。西暦のほか、元号でも書けるようにしておくといいでしょう。自治会は世帯単位で入るところが多く、その場合は世帯主、世帯人数を書くようになっています。「世帯」という語彙も、押さえておいてください。地域の自治会の加入申込書がもし手に入れば(インターネットからダウンロードできるようになっているものもあります。), 実際にそれに記入してみるとよいでしょう。

- ・ 自治会は、地域住民の自主的な意思に基づき、地域を快適で住みよくするために結成された任意の団体で、コミュニティ作りの中心的な存在です。加入は強制ではないとはいえ、ゴミの収集や防犯パトロールなどその地域に住む限り、多くの恩恵にあずかっています。

- ・ 学習者がその地域住民とつながりを持つことが日本社会で生活していく第一歩であり、自治会加入はその足掛かりとなります。

- ・ 会話例2では相手の家を訪問する場面を提示しています。自国の料理を持って行くほかに、果物や食材など、自国からたくさん送られてきたり、友だちからもらったりしたものをお裾分けする場面なども考えられます。また、分からないことを聞くために隣の家を訪ねることもあるかもしれません。訪問時の挨拶、話題、終わりの挨拶の流れがスムーズにいくように、必要と思われる場面をいくつか設定して、練習してみてください。

多言語情報例

文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

p.61 自治会

体験・行動する

■活動シート

・活動3ー分分からないことを聞こう (p.193)

- ・ 町の情報は、チラシやポスター、回覧板など、書かれたものが中心です。ここでは、それらを見て分からないことを臆することなく聞けるようにすることを目指しています。
- ・ 「盆踊りのお知らせ」を見て、学習者にまず何が書いてあるか推測してもらいましょう。学習者が分かるのは恐らく、日付と時間の部分くらいではないでしょうか。漢字

が分からなくても、例えば、これは開催場所だということが分かれば、それも有用な情報収集です。

- ・ 会話例では、「これは、何という意味ですか」というフレーズがポイントです。ただ、この発話が難しい、あるいは覚えられないという学習者には、指差して「これは何ですか」と質問できれば、十分です。聞かれた日本人は、読み方や意味を話してくれるでしょう。分からないことを聞いて、とにかくそれが分かるようになることが大切です。この「盆踊りのお知らせ」を使って、指導者または協力者が相手になって、学習者に分からないところを質問してもらってください。
- ・ 日本語が分からないゼロ初級に近い学習者には辞書で内容を示してあげるとよいでしょう。
- ・ 実際の地域の「お知らせ」を持参して、皆で、どんなことが書かれているか推測した上で、分からないことばを質問してもらうのも有用でしょう。推測することも一つのトレーニングとなります。

体験・行動する

■ 活動シート

・活動4－行事に参加しよう (p.194)

- ・ (1)は、町でどのような行事があるのか、指導者または協力者と一緒に調べることで、地域の行事に興味を持ってもらい、身近に感じてもらうことがねらいです。町に出る時も指導者または協力者が同行してください。掲示板にはこのような情報があるなど実地で説明できるよい機会となるでしょう。(前もって下見をしておくといいかもかもしれません。)市役所や出張所などにどのような情報誌が置いてあるか、多言語情報誌はあるかなども前もって調べておくといよいでしょう。
- ・ 指導者や協力者が所属している自治会についての行事を年間で把握しておき、自分の体験や行事の様子など伝えてあげるとよいでしょう。年間を通して大体どのような行事があるか、学習者が知っておくのも大切です。
- ・ 町や区、市の行事はインターネットでも調べられることが多くなっています。自治会についても載せているところがあるようです。学習者にとって、日本語でネット検索を試みるよい機会となりますので、ぜひともここで一緒にやってみてください。

・ (2)で実際に行事に参加する際、どのような行事でも構いませんが、できれば防災訓練や清掃ボランティアなど、日本人とコミュニケーションする場面が多くある行事の方が地域住民とつながりを持ちやすいでしょう。学習者が一人で参加するのが心細いようであれば、友だちといっしょに参加することを勧めてみましょう。外国人の方の参加は地域住民に大いに歓迎されるに違いありません。そこで日本人とコミュニケーションして、お互いに知り合いになれば、学習者も大いに自信が持てるのではないのでしょうか。とにかく参加したことで、大きな第一歩を踏み出したと言えるでしょう。

・ (3)は全ての学習者が一通り行事の参加を体験してから行います。いつ、どこで、どんな行事に参加したか、そこで何をしたか、日本人とどんなことを話したか、参加してどう思ったかなど、話し合うとよいでしょう。学習者の日本語レベルに応じて(初心者レベルの学習者であれば、絵を描いたり、身振り手振りを取り入れるなど)、適宜対応してください。同じ外国人として、地域とつながりを持つヒントがお互いに得られるのではないのでしょうか。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－地域に関することば・表現(p.195)

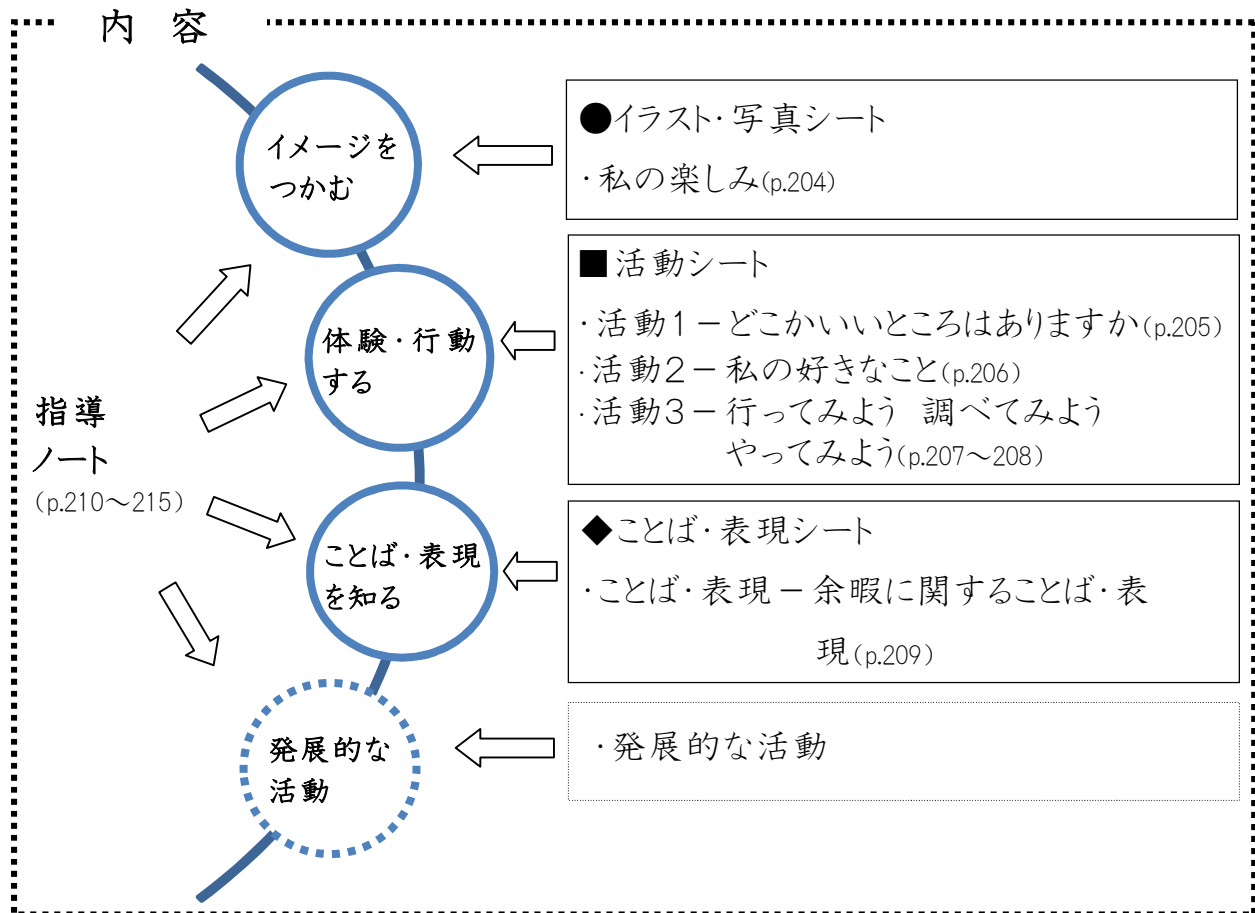
・ ここでは自治会(町会)の行事に関することば、お知らせなど印刷物によく出てくることばや表現を中心に取り上げています。ほかにも授業中の学習者との会話や印刷物などで出てきたことばなどもよく使われるものはここで学習しておきましょう。「～する」といように最後が「する」で終わる動詞が多く出てくるのも特徴です。

発展的な活動

・ 活動4では、地域の行事に参加して、地域住民とつながりを持つことを目指しました。地域住民とつながりが持てたら、今度はさらに一歩進んで、行事に積極的に関わってみることを勧めてみてはいかがでしょうか。(例えば、バザーのときに国の料理を作って売ったり、盆踊りの会場作りをしたりなど。)

・ 地域住民との様々な交流は、学習者の日本での生活を豊かにしてくれることでしょ

よ か たの
(44) 余暇を楽しむ



取り上げる生活上の行為の事例

- (4401010)「余暇を過ごす場所や利用方法を知る」
- (4401070)「適当な人からアドバイスをもらう」
- (4402080)「同僚や周囲の人からの口コミ情報を得る」
- (4403030)「公共施設の利用方法を尋ねる」

教室活動の目標

- ・情報を得て、余暇を楽しむ

教室活動のねらい

- ・外出や余暇の計画について人に相談できる
- ・知人の話から必要な情報を取ることができる
- ・地域の公共施設で、自分の希望を伝え、説明の内容を理解することができる

● わたし たの
私の楽しみ



※つづき交流ステーション地域活動・サークル紹介 <http://www.city-yokohama-tsuzuki.net/station/marblestar/chiiki/topindex.html>

■ ^{かつどう}活動1-どこか いいところは ありますか

(1) ^{やす}休みの日に ^ひどんなところに ^い行ったか、どこが ^{とも}よかったか、友だちと ^{はな}話し合(あ)いましょう。

(2) ^{にほんじん}日本人に ^{きぼう}あなたの希望(きぼう)を ^い言って、いいところを ^{おし}教えてもらって ^{ください}。

(3) 会話例(かいわれい)

Aさん：こんどの^{やす}休みに ^{とも}友だちと ^で出かけたいです。

^{しず}静かなところで、どこか いいところは ありますか。

^{にほんじん}日本人：○○庭園(ていえん)は どうか。 ^{みどり}緑も ^{おお}たくさんあるし、^{いけ}大きな池も ^{ひと}ありますよ。 ^{すく}人も 少ないですから ^{のんびり}のんびり できますよ。

Aさん：いいですね。どこに ありますか。

^{にほんじん}日本人：△△駅(えき)の ^{すぐそば}すぐそばにあります。



■ ^{かつどう} ^{わたし} ^す
活動2ー私の好きなこと

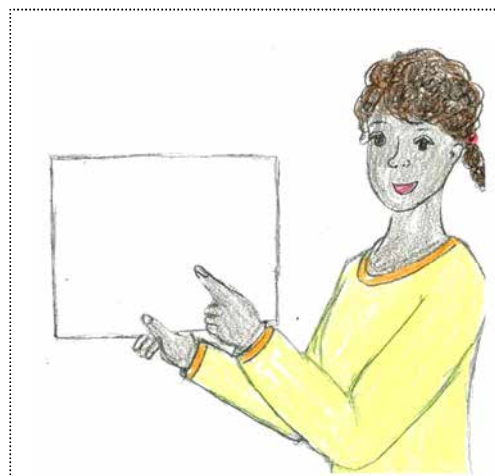
(1) ^す好きなこと, ^{しゅみ}趣味を, ^{とも}友だちと ^き聞きあいましょう。

(2) ^{じぶん}自分の ^す好きなことを ^{しょうかい}紹介しましょう。

^{まえ}前に やっていたこと でも OKです。 ^{しゃしん}写真や, ^{しなもの}品物を もってきて,

みんなに 見せながら, ^{はな}話してみましよう。 ^え絵を ^か描いて

^{はな}話してもいいです。



■ 活動(かつどう)3 - 行(い)ってみよう 調(しら)べてみよう やってみよう

(1)

- ① 市民会館(しみんかいかん)、公民館(こうみんかん)、スポーツセンター、図書館(としょかん)など、あなたが 行(い)って
 みたいところに 行(い)って、そこで どんないことが できるか 聞(き)いたり、資料(しりょう)を
 集(あつ)めたり してみましょう。開館時間(かいかんじかん)や、休(やす)みの日(ひ) なども 調(しら)べましょう。

- ② それぞれ 調(しら)べてきた ことを、発(はっぴょう)表(びょう)しあいましょう。

発(はっぴょう)表(びょう)例(れい)

私(わたし)は、〇〇スポーツセンターに 行(い)きました。

利用(りよう)時間(じかん)は 午前(ごぜん)9時(じ)から 午後(ごご)10時(じ)まで です。

休(やす)みの日(ひ)は 年(ねん)末(まつ)年(ねん)始(し) です。

トレーニングルームで トレーニングマシンを 使(つか)うことが できます。

1回(かい) 330円(えん) です。

〇〇スポーツセンターは 駅(えき)の 近(ちか)く ですから、とても 便(べん)利(り) です。

③ もらってきた ^{しりょう}資料や ^{ちらし}チラシを ^み見せ合^あって、^に日本人協^り力者^{よくしゃ}と
いっしょに、さらに ^あどんなこと^ががあるか、^あどんなこと^がができるか、
^{しら}調べてみましょう。



(2) ^い行ってみたい ^{ところ}ところ、^{さんか}参加^{して}みたい ^{ところ}ところ、^やってみたい ^{こと}ことを、
^{じっこう}ぜひ ^た実行^{して}みましょう。^{とも}友^{だち}と ^{いっしょ}いっしょに ^{けいかく}計^画を ^た立て^るのも
いいでしょう。

◆ ^{ひょうげん}ことば・^{よか}表現 - ^{よか}余暇に ^{かん}関する ^{ひょうげん}ことば・^{ひょうげん}表現



図書館
(としょかん)



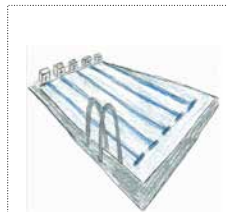
公民館
(こうみんかん)



体育館
(たいいくかん)



運動場
(うんどうじょう)



プール
(ぷーる)



公園
(こうえん)



神社・寺
(じんじゃ・てら)



温泉
(おんせん)

- ・卓球(たっきゅう)
- ・サッカー(さっかー)
- ・バドミントン(ばどみんとん)
- ・ダンス(だんす)
- ・ハイキング(はいきんぐ)
- ・料理(りょうり)
- ・釣り(つり)
- ・読書(どくしょ)
- ・園芸(えんげい)
- ・動物園(どうぶつえん)
- ・美術館(びじゅつかん)
- ・遊園地(ゆうえんち)
- ・開館(かいかん)
- ・休館(きゅうかん)
- ・休日(きゅうじつ)
- ・年末年始(ねんまつねんし)
- ・入会(にゅうかい)
- ・申し込み(もうしこみ)
- ・入館料(にゅうかんりょう)
- ・バレーボール(ばれーぼーる)
- ・テニス(てにす)
- ・エアロビクス(えあろびくす)
- ・カラオケ(からおけ)
- ・ピクニック(びくにつく)
- ・生け花(いけばな)
- ・映画(えいが)
- ・音楽(おんがく)
- ・買い物(かいもの)
- ・水族館(すいぞくかん)
- ・博物館(はくぶつかん)
- ・庭園(ていえん)
- ・閉館(へいかん)
- ・利用時間(りようじかん)
- ・祝日(しゅくじつ)
- ・会員(かいいん)
- ・退会(たいかい)
- ・入場料(にゅうじょうりょう)

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (4401010)「余暇を過ごす場所や利用方法を知る」
- (4401070)「適当な人からアドバイスをもらう」
- (4402080)「同僚や周囲の人からの口コミ情報を得る」
- (4403030)「公共施設の利用方法を尋ねる」

教室活動の目標

- －情報を得て、余暇を楽しむ

教室活動のねらい

- －外出や余暇の計画について人に相談できる。(活動1)
 - －知人の話から必要な情報を取ることができる。(活動1, 活動2, 活動3)
 - －地域の公共施設で、自分の希望を伝え、説明の内容を理解することができる。(活動3)
- ・ 学習者たちは余暇をどのように過ごしているでしょうか。仕事で疲れて一日中寝たり、掃除やたまった洗濯をしたりして、自分の楽しみを持つ余裕などないかもしれません。ここでは余暇をテーマとして取り上げ、世界を広げることを提案します。

活動前に確認しておくこと

- －休みの日などに気軽に行ける場所、観光地
- －公民館や市民会館などで行われている講座や活動
- －公共の施設(図書館, 公民館, スポーツセンターなど)の利用方法

準備する素材

- －地域の催しやサークル, 講座などが掲載されている情報誌や広報紙など
- －指導者や協力者の趣味を紹介する写真や実物など
- －公共の施設の案内や場所が分かる簡単な地図及び図書館カードの実物など

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・私の楽しみ (p.204)

- ・ イラスト・写真シートを見せる前に、学習者に休みの日はどのように過ごしているか聞いてみましょう。また、指導者や協力者も自分の休日の過ごし方を話してみるのもいいでしょう。指導者や協力者の話に合わせて、学習者からも自然に話が出てくることでしょう。
- ・ 次に「イラスト・写真シート」(p.204)を見せて、これは何か、何をしているところか、このような経験があるかなど聞いてみましょう。また、ほかにどんなことをしたことがあるか、どんなことが好きか、どんなことをしてみたいかなど、話してもらいましょう。

< 問いかけ例 >

- 「休みの日は何をしますか」
- 「休みの日にどこに行きましたか」
- 「何をするのが好きですか」
- 「時間があったら、何をしたいですか」

体験・行動する

- 活動シート
- ・活動1ーどこかいいところがありますか (p.205)

- (1) まず、始めに学習者それぞれに、休みの日にどこへ行ったことがあるか、どこが良かったか、思い出してもらいます。学習者同士ペアになり、お互いに行ったところ、良かったところを聞き合います。公園でも外国食材の店でも何でも構いません。できるだけたくさん出してもらい、学習者同士共有するといいでしょう。
- (2) ここでは、自分の希望を伝えて、身近な日本人にお勧めの場所を聞くという会話を提示しています。近くのちょっとした憩いの場所や穴場などはやはり地域の人がよく知っています。このような問いかけは、挨拶などで顔見知りになった日本人と話すきっかけにもなることでしょう。会話例を練習したあとは、指導者または協力者が近所の人役になって、学習者の希望に沿った場所を答えてあげてください。会

話例では、Aさんが「静かなところで」と希望を出していますが、学習者の希望によって、「空気のいいところ」「自然があるところ」「買い物ができるところ」など表現を変えて練習するといいいでしょう。

- ・ 少し話せる学習者同士であれば、会話例でペアワークしたあと、さらに自由に会話を続けてみるのもいいでしょう。おもしろい展開になるかもしれません。
- ・ この会話例では、近場を取り上げていますが、このほかにも遊園地や動物園、水族館、博物館など、また少し足を延ばして日帰り温泉旅行なども写真を見せながら紹介しておいてはいかがでしょうか。学習者から多くの発話が期待でき、また「入場料」や「入館料」「休館日」「交通費」などのことばを覚えるいい機会ともなるでしょう。
- ・ 人を介して情報を得るほかに、地域によっては、出張所や市役所などに多言語の情報誌や、国際交流イベントなどのチラシが置いてあるところもあります。それらを実際に教室で見せても大いに役立つでしょう。また観光案内所によっては、外国人向けの多言語のパンフレットを用意しているところもあります。出張所や市役所、観光案内所などに行って、多言語の冊子やパンフレット、チラシなどをもらってくるというタスクを課し、教室で持ち寄ったものをみんなで読んでみるのも楽しいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－私の好きなこと(p.206)

- (1) 学習者同士あるいは協力者も含めて、お互いに趣味、または好きなことを聞きます。できれば、好きな理由も聞くとよいでしょう。趣味や好きなことについて話し合うことで、互いに親近感を持ち、理解が深まることでしょう。ここでは「趣味は何ですか。」「どうして〇〇が好きですか。」など質問できるようにしておきましょう。
- (2) このタスクでは、学習者が前もって品物や写真を準備しておきます。したがって数日前の予告が必要となります。

- ・ここでは、品物あるいは写真などを見せながら、自分の好きなこと、趣味を皆に紹介します。紹介すると言っても、品物あるいは写真があるので、そんなに難しいことではありません。例えば、楽器であれば、「これは～です」「音がきれいです」など発話して、楽器を鳴らせばそれだけで聞いている方は楽しいものです。学習者の日本語レベルが高ければ、それだけ詳しい説明ができることでしょう。今、特に趣味などないというのであれば、昔好きだったこと、やっていたことでも構いません。皆に向けて発表する前に、個別に少し練習時間を取ってください。それぞれの学習者に、これがあればもっと分かりやすい、覚えておく便利な語彙・表現を、ここで個々に覚えてもらいましょう。そして、発表時に皆で共有するとよいでしょう。実物や写真を見ることで、自分もやってみたくなるかもしれません。共感や質問など活発な発話が期待されますので、そこでも大いに日本語の語彙や表現を広げてください。
- ・学習者が発表する前に、まず指導者や協力者が、自分の趣味などを、写真や実物(楽器や作品など)を見せながら、紹介してみるとよいでしょう。学習者が大いに興味を持つとともに、発表の実際が分かり、スムーズに進めることができるのではないのでしょうか。また発話も大いに広がることでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－行ってみよう 調べてみよう やってみよう (p.207～208)

- ・地域には市民(区民)会館、公民館、スポーツセンター、体育館、運動場、図書館など、さまざまな公共施設があります。ここでは、それぞれの学習者が、自分が行ってみたいところに実際に足をのばし、そこでどんなことができるのかを、開館時間や閉館時刻、休館日なども含めて調べてくるタスクを提示しています。これは基本的に学習者だけで行うことを想定しています。指導者はあらかじめ、各場所の情報を調べておいてください。
- ・出発前に、学習者は自分の調べたいこと、聞きたいことをあらかじめメモ(自国語でも構いません)しておくといよいでしょう。職員の人に話を切り出す、質問をする、お礼を言う、などの流れも簡単に練習しておきましょう。(開館/閉館時刻など、その場に明記してあるものは聞く必要はありません。)

以下に例を示します。

＜「話の切り出し方」の表現の例＞

「ちょっとすみません。」

＜質問の例＞

「ここにはどんなサークルがありますか。」

「ここで、どんなスポーツができますか。」

「初めてでも大丈夫ですか。」

「本は何冊借りられますか。」

＜お礼の表現の例＞

「ありがとうございました」

- ・ 時間があれば、図書館の利用については、指導者または協力者が地域の図書館に同行して一緒に見て回るとよいでしょう。公共施設を利用する手始めとして、図書館カードを発行してもらい、本やCDを借りてみるということをタスクにしてはいかがでしょうか。図書館カードの発行には申込書の記入も必要です。それも含めて、そこで本が何冊借りられるか、どのくらいの期間借りられるかなど、自分でやり取りして聞いてくるというのも、自信につながるでしょう。
- ・ 調べてきたことを発表し合い、学習者同士、情報を共有します。発表例に示した基本的な情報のほか、感想なども入れて発表してもらうといいでしょう。
- ・ 学習者がもってきた資料を皆で読んでみましょう。日本語で書かれた情報を読み取るのは難しいと思いますが、まず、学習者にできるだけ推測してもらい、その後で、大切な部分をピックアップして内容を取っていく作業に入ってみてください。始めはなかなか推測することも大変かもしれませんが、よく出てくる語彙や表現（漢字が読めなくても、目にするだけでも）に慣れていけば、少しずつ見当がつくようになってくるのではないのでしょうか。
- ・ あらかじめ指導者または協力者が手に入れておいた資料（学習者に有用だと思われるもの、例えば国際交流会のチラシ、日本語教室の案内など）もここでいっしょに読み、情報提供の機会にするとよいでしょう。

- ・ここでは、公共施設を実際に見て情報を取って来るということに重点を置いていますが、パソコンが準備できれば、その後で、指導者または協力者が学習者と一緒にインターネットで検索して、調べてみるのもよいでしょう。
- ・学習者が行ってみたい、してみたい、始めてみたいことがあったら、背中を押してあげましょう。そして、学習者が体験してきたら、どうだったか、ぜひ聞いてみましょう。皆で聞き合えば、互いにいい刺激になり、世界が広がることでしょう。

多言語情報例

例)文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

P.63～65 「2. カレンダーと年中行事」

P.75～77 「5. 国際交流協会～知る・出会う・学ぶチャンスがそこにある」

P.79～81 「6 公共施設・公共サービス～上手に利用して、楽しく過ごそう」

P.95～113 「2 日本語学習の場所」「インターネットサイトの案内」

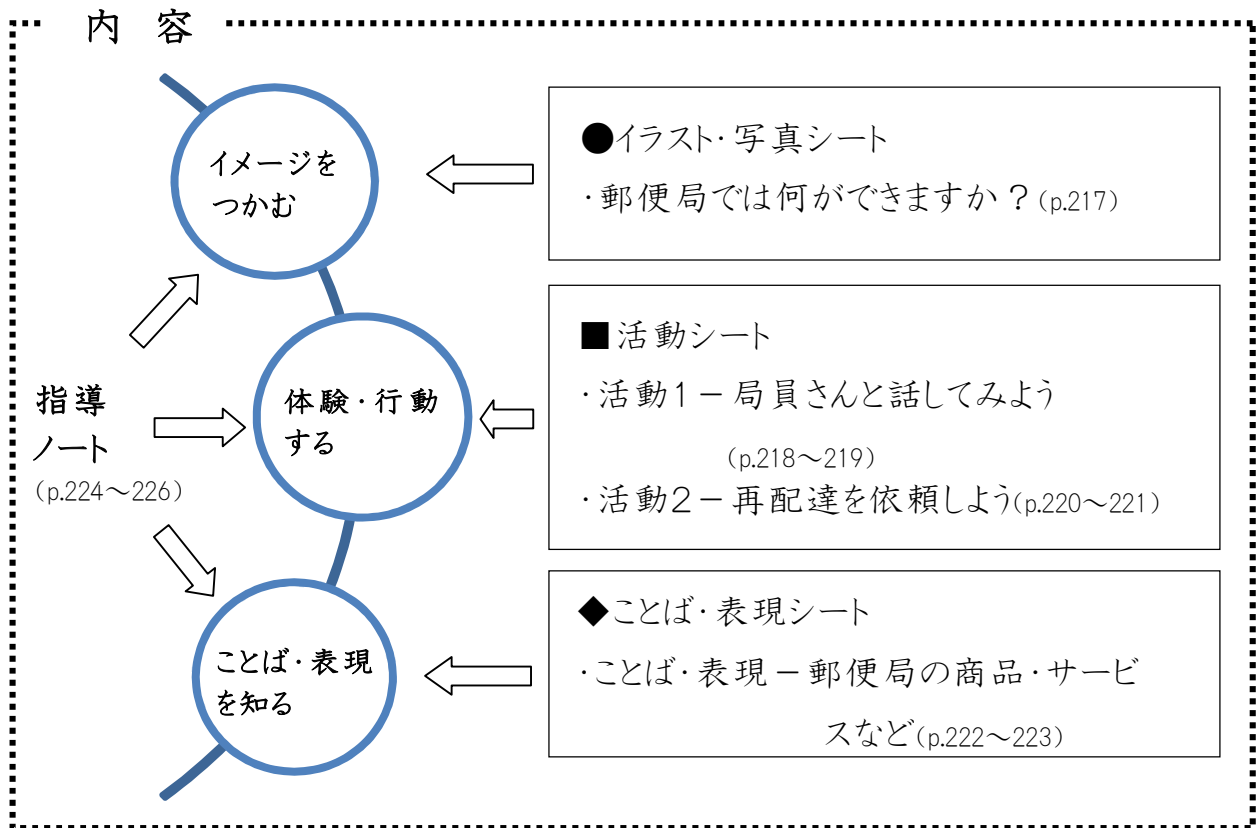
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－余暇に関することば・表現(p.209)

- ・余暇に関することばは幅広く際限がないので、ここでは施設の名前、趣味の内容、余暇を利用して行ける場所、施設利用に関することばを中心に取り上げています。これ以外にも、チラシやパンフレットなどからよく使われるものは取り上げて、覚えるようにするとよいでしょう。

ゆうびん たくはいびん りょう
(45) 郵便・宅配便を利用する



取り上げる生活上の行為の事例

- (4501020)「郵便局のシステムを理解する」
- (4501100)「手紙や葉書を書いて送る」
- (4501120)「不在配達通知に対応する」

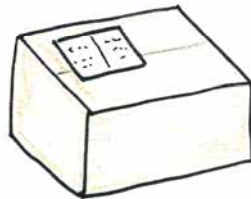
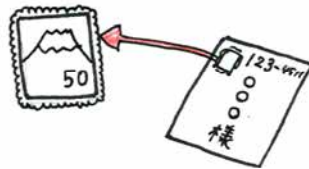
教室活動の目標

- ・郵便局のサービスを知り、必要に応じて利用することができる

教室活動のねらい

- ・切手やはがきなどを買うことができる
- ・手紙や小包などを送ることができる
- ・不在配達通知に対応することができる

● ゆうびんきょくに なに 郵便局では 何が できますか



■ 活動1－局員さんと話してみよう

(1) 会話例1

(「これ、^{ねが}お願いします。」)

学習者^{がくしゅうしゃ} : すみません。これ、^{ねが}お願いします。

局員^{きょくいん} : 航空便^{こうくうびん}ですね。^{おも}(重さを量る) ^{はか}90円^{えん}です。

学習者^{がくしゅうしゃ} : 90円^{えん}ですね。はい。^{はら}(払う)

(2) 会話例2

(「～ ください。」)

学習者^{がくしゅうしゃ} : すみません、^{えんきつて}80円切手^{まい} 10枚 ください。

局員^{きょくいん} : ^{えんきつて}80円切手^{まい} 10枚 ですね。

学習者^{がくしゅうしゃ} : はい。

局員^{きょくいん} : ^{えん}800円に なります。

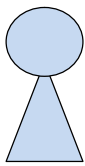
学習者^{がくしゅうしゃ} : はい。^{えんさつ}(1000円札を出す)

局員^{きょくいん} : ^{えん}1000円 ^{あず}お預かりします。

^{えん}200円の ^{かえ}お返し^{わた}です。(渡す) ありがとうございます。

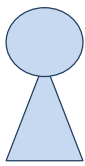
はな
(3) 話してみよう(ロールプレイ)

ろーるぶれい
① ロールプレイ 1



Aさん

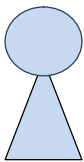
- ^{きょくいん} 局員です。^{まどぐち} 窓口で ^{きゃく} 客の ^{ちゅうもん} 注文を ^う 受けてください。



Bさん

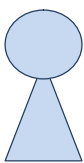
- ○○を ^{やす} (安く/^{はや} 速く) ^{おく} 送りたいです。^{まどぐち} 窓口で ^{きょくいん} 局員に ^{ちゅうもん} 注文してください。

ろーるぶれい
② ロールプレイ 2



Aさん

- ^{きょくいん} 局員です。^{まどぐち} 窓口で ^{きゃく} 客の ^{ちゅうもん} 注文を ^う 受けてください。



Bさん

- ○○を ^{まい} △枚 ^か 買いたいです。^{まどぐち} 窓口で ^{きょくいん} 局員に ^{ちゅうもん} 注文してください。

■ かつどう さいはいたつ いらい
活動2 - 再配達を依頼しよう



「すみません、ご不在連絡票って何ですか。」

速 達

1 8 6 - 8 7 9 9

通信事務郵便
(依頼信) **国立支店 郵便課 行**

(1) インターネットによる受付
<http://www.post.japanpost.jp/>
 携帯電話からのご登録は右のQRコードから……→

※携帯電話でのご登録はご自宅への再配達に限ります。
 ご自宅以外への再配達をご希望の場合は、パソコンまたはお電話でのご登録ください。

(2) 24時間自動受付 (一部ご利用になれない電話機があります。)

0800-0800-888 (無料) ※おかけ間違いのないようご注意ください。

携帯電話からのご連絡は **0503-155-3917 (有料)** ※おかけ間違いのないようご注意ください。

自動音声に従って、プッシュボタンを押してください。

① お客様の郵便番号・種類番号
(裏面 **※7**に記載の9ケタをご入力)

② お客様の電話番号 (市外局番からご入力)

③ 追跡番号 (お問い合わせ番号)
(裏面 **※1**に記載の11~12ケタ番号をご入力)

④ ご希望の配達月日 例: 3月5日 → **[0305]** 4ケタでご入力

⑤ ご希望の配達時間帯
 下表を参考に、該当の番号1ケタをご入力

番号	ご希望の配達時間帯		受付時間
1	午前中	9時~12時	~当日8:00まで
2	午後①	12時~14時	~当日11:00まで
3	午後②	14時~17時	~当日13:00まで
4	夕 方	17時~19時	~当日16:00まで
5	夜 間	19時~21時	~当日18:00まで
0	時間帯希望なし		~当日18:00まで

※ ご自宅以外への再配達をご希望の場合は、上記(1)または以下の(3)、(4)の方法でのご登録ください。

(3) 郵便又はファックスによる再配達受付
 裏面に必要事項をご記入の上、この通知書をポストに投函又はファックスにより送信 (042-574-1355) してください。
(ただし、お届けまたは窓口でのお渡しは、投函日又はファックス送信日の翌日以降となります。)

(4) コールセンター受付 (電話受付時間8:00~21:00)

080-050-03-181 (無料) ※おかけ間違いのないようご注意ください。

携帯電話からのご連絡 **0570-00-3181 (有料)** ※おかけ間違いのないようご注意ください。

番号	ご希望の配達時間帯		受付時間
1	午前中	9時~12時	~前日21:00まで
2	午後①	12時~14時	~当日11:00まで
3	午後②	14時~17時	~当日13:00まで
4	夕 方	17時~19時	~当日16:00まで
5	夜 間	19時~21時	~当日19:00まで
0	時間帯希望なし		~当日19:00まで

(5) 当支店のゆうゆう窓口でのお受取り (7:00~20:00)
 配達日当日は事前に042-572-3801へご連絡ください。
(配達担当者が持ち出している場合があります。)

★支店による電話受付
 (8:00~20:00、但し当日再配達希望は19:00まで)
なお、お越しになる際は、アこの通知書、イ印鑑、ウご本人様と確認できる証明資料(免許証、健康保険証など)をお持ちください。

Call us for redelivery (English) 0570-046-111 8.00am-10.00pm Monday to Friday,
 9.00am-10.00pm Saturday and Sunday

ひょうげん ゆうびんきょく しょうひん さーびす
◆ ことば・表現－郵便局の 商品・サービス など

				
切手 (きって)	手紙／封書 (てがみ／ふうしょ)	葉書 (はがき)	書留 (かきとめ)	速達 (そくたつ)

				
郵便書簡 (ゆうびんしょかん)	レターパック (れたーぱっく)	ゆうパック (ゆうぱっく)	ゆうメール (ゆうめーる)	小包 (こづつみ)

	※1 	※1  + 	※1  	
EMS (いーえむえす)	航空便 (こううびん)	SAL便 (さるびん)	船便 (ふなびん)	航空書簡 (こううしょかん)

- ・郵便(ゆうびん)
- ・貯金(ちよきん)
- ・保険(ほけん)
- ・記念切手(きねんきって)
- ・往復はがき(おうふくはがき)
- ・エコーはがき(えこーはがき)
- ・絵入りはがき(えいりはがき)
- ・年賀はがき(ねんがはがき)
- ・かもめ～る
- ・宅配便(たくはいびん)
- ・宅急便(たっきゅうびん)
- ・配達(はいたつ)
- ・再配達(さいはいたつ)
- ・不在(ふざい)
- ・通知(つうち)
- ・連絡票(れんらくひょう)
- ・ポスト(ぽすと)

・暑中・残暑見舞はがき(しよちゆう・ざんしよみまいはがき)

・(記念切手)^{きねんきって}ありますか。

・(往復はがき)^{おうふく}ください。

・これ、^{ねが}お願いします。

・^{はや}速く^{おく}送りたいです。

・どのくらい かかりますか。

・(船便)^{ふなびん}では どのくらい かかりますか。

・何日^{なんにち}くらい かかりますか。

・^{おそ}遅くても いいです。

・^{やす}安く^{おく}送りたいです。

・いくらですか。

・(SAL便)^{さるびん}では いくらですか。

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(4501020)「郵便局のシステムを理解する」

(4501100)「手紙や葉書を書いて送る」

(4501120)「不在配達通知に対応する」

教室活動の目標

－ 郵便局のサービスを知り、必要に応じて利用することができる。

教室活動のねらい

- － 切手やはがきなどを買うことができる。
- － 手紙や小包などを送ることができる。
- － 不在配達通知に対応することができる。

- ・ 近年は電子メールやインターネット回線を利用した無料電話の普及など情報通信手段が大きく変わりつつあり、郵便を利用する機会は少なくなっているかもしれませんが、例えば求職の際に履歴書や職務経歴書を郵送したり、お世話になった人や出身の知り合いなどに手紙や小包を送ったりする場合もあるでしょう。また、自分自身では送らなくても、誰かが送ってきたものを受け取る可能性もあります。そのようなときに、どう対応すればいいでしょうか。ここでは、そうした場面での行動を練習してみましょう。

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・郵便局では何ができますか(p.217)

- ・ 最初にイラスト・写真「郵便局では何ができますか」(p.217)を学習者と一緒に見ながら、日本語または学習者の母語などで、以下のようなやり取りをしてみましょう。

＜やり取りの例＞

「これは何ですか。ここで何ができますか。(地域の)どこにありますか。」

「よく利用しますか。家族の中では誰が利用しますか。どんなときに利用しますか。出身ではどうでしたか。」

「利用するとき、日本語を使いますか。また、局員の日本語はわかりますか。」

- ・このようなやり取りを通じて、学習者が日常生活の中で郵便局をどの程度利用しているか、またその実際場面で日本語をどの程度理解または使用しているかについて把握できるでしょう。学習者自身が持つ郵便等に関するイメージが構造化され、活性化されるだけでなく、指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きつと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－局員さんと話してみよう(p.218～219)

- ・「活動1」の会話例(1)や会話例(2)を使ってキーフレーズを確認し、学習者の日本語レベルや地域の状況などに応じて適宜アレンジした上で、ロールプレイを行います。
- ・会話例(1)は手紙や小包などを送るときの表現ですが、切手やはがきなどを買うときにも広く応用することができます。買いたいものを日本語でうまく言えない段階の学習者に用件のメモを渡し、窓口でたった一言「これ、お願いします。」と言ってメモを提示すれば、意図は局員にも通じますから、必要なものを買ってくるという行動を達成することができるはずです。生活者としての学習者にとって、より重要なのは、日本語を正確に発話することではなく、目標行動を達成することです。現段階での日本語レベルに応じて、実生活に役立つ練習を工夫してください。
- ・会話例(2)は切手やはがきなどを買うときの表現です。学習者のニーズなども勘案して、よく使う語彙を取り上げましょう。
- ・ロールプレイに際しては、ことば・表現「郵便局の商品・サービスなど」(p.222)にある写真・イラストをコピーして切り離し、それらを示すことでロールプレイを始める方法もあります。そうすることで、語彙表現の確認・定着練習にもなります。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－再配達を依頼しよう(p.220～221)

- ・「活動2」(p.220～221)の不在配達通知／ご不在連絡票は、まず写真を見て、いろいろとやり取りをしましょう。

＜やり取りの例＞

「これは何ですか。どこに入っていましたか。どうして入っていましたか。これをもらったとき、どうすればいいですか。」

- ・ これを受け取ったときにどうすればいいかは、写真の中にある URL や電話・FAX 番号、時間などを読み取ることで、ある程度類推できるかもしれません。さまざまな選択肢があることを一つ一つ確認しつつ、自分ならどの方法を選ぶか、学習者自身に考えてもらった上で、必要な行動を練習していきましょう。

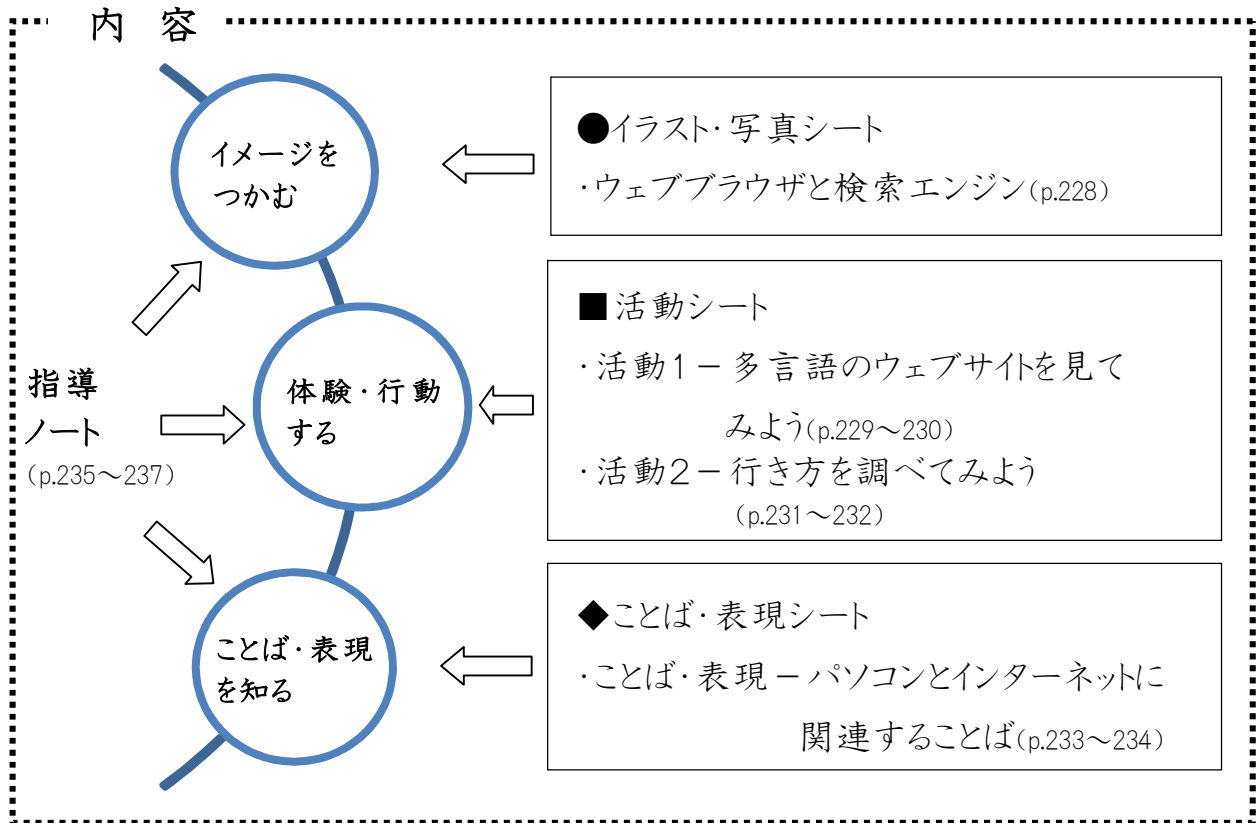
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－郵便局の商品・サービスなど(p.222～223)

- ・ 「ことば・表現－郵便局の商品・サービスなど」(p.222～223)は、郵便局で取り扱っている商品やサービスに関連する単語、さらにはそれらを利用する際によく使う表現などを並べてあります。「活動1」を行う前に、読みと意味を確認するとよいでしょう。
- ・ 国際郵便に関する説明(<http://www.post.japanpost.jp/int/index.html>)は、日本語だけでなく英語・中国語・韓国語・ポルトガル語に切り替えることもできます(2011年10月現在)。学習者は、母語または理解可能な言語で詳しい情報を入手することができれば、郵便サービスをより上手に活用するようになるかもしれません。

インターネット 利用
(46) インターネットを利用する



取り上げる生活上の行為の事例

(4602040)「インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する」

教室活動の目標

・インターネットを通じて、必要な情報を得る

教室活動のねらい

- ・インターネットの操作に慣れる
- ・インターネットを利用する際に注意すべきことを知る
- ・検索エンジンを使って、必要な情報を探す

● ウェブ ブラウザ と 検索エンジン



※1



※2



※1 <http://www.google.co.jp/> ※2 <http://www.yahoo.co.jp/>

活動1 - 多言語のウェブサイトを見てみよう

(1) 例1: ニュース



※NHK WORLD English <http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/>

Select language		
Arabic	Hindi	Russian
Bengali	Indonesian	Spanish
Burmese	Japanese	Swahili
Chinese	Korean	Thai
English	Persian	Urdu
French	Portuguese	Vietnamese

(2)例2: 自治体ホームページ



※小田原市公式ホームページ～市民の力で未来を拓く希望のまち～
http://www.city.odawara.kanagawa.jp/

言語を選択	エストニア語	スウェーデン語	フィンランド語	マレー語
アイスランド語	オランダ語	セルビア語	フランス語	ラトビア語
アイルランド語	カタロニア語	タイ語	ブルガリア語	リトアニア語
アフリカンス語	ガリシア語	タガログ語	ベトナム語	ルーマニア語
アラビア語	ギリシャ語	チェコ語	ヘブライ語	ロシア語
アルバニア語	クレオール語(ハイチ)	デンマーク語	ベラルーシ語	英語
イタリア語	クロアチア語	ドイツ語	ペルシア語	韓国語
イディッシュ語	スウェーデン語	トルコ語	ポーランド語	中国語(簡体)
インドネシア語	スペイン語	ノルウェー語	ポルトガル語	中国語(繁体)
ウェールズ語	スロバキア語	ハンガリー語	マケドニア語	
ウクライナ語	スロベニア語	ヒンディー語	マルタ語	

■ 活動2－行き方を調べてみよう

(1) 小田原(おだわら)から NHKスタジオパーク(えぬえっちけーすたじおぱーく)への行き方(い かた)を調べてみよう(しら)

○ NHKスタジオパーク(えぬえっちけーすたじおぱーく)

① 何時(なんじ)から何時(なんじ)まで開(あ)いていますか。

② 休み(やす)はいつですか。

③ 入場料(にゅうじょうりょう)はいくらですか。

④ 最寄り駅(もよえき)はどこですか。最寄り駅(もよえき)からどうやって行(い)きますか。

最寄り駅(もよえき)からどのくらいかかりますか。

◆ ^{ひょうげん} ^{ぱそこん} ^{いんたーねっと}
ことば・表現－パソコンとインターネット

- ・マウス(まうす)
- ・クリック(くりっく)
- ・ダブルクリック(だぶる くりっく)
- ・右クリック(みぎ くりっく)
- ・ドラッグ(どらっく)
- ・カーソル(かーそる)
- ・アイコン(あいこん)
- ・ウィンドウ(ういんどう)
- ・開く(ひらく)
- ・閉じる(とじる)
- ・キーボード(キーぼーど)
- ・Esc キー(えすけーぶ きー)
- ・半角/全角キー
(はんかく/ぜんかく きー)
- ・英数キー(えいすう きー)
- ・矢印キー(やじるし きー)
- ・スペースキー(すぺーす きー)
- ・Enter キー(えんたー きー)
- ・BackSpace キー
(ばっく すぺーす きー)
- ・Delete キー(でりーと きー)
- ・Shift キー(しふと きー)
- ・IME(あいえむいー)
- ・言語バー(げんご ばー)
- ・入力モード(にゅうりよく もーど)
- ・ローマ字入力
(ろーまじ にゅうりよく)
- ・かな入力(かな にゅうりよく)
- ・文字エンコーディング
(もじ えんこーでいんぐ)
- ・文字コード(もじ こーど)
- ・文字セット(もじ せっと)
- ・文字化け(もじばけ)
- ・インターネット(いんたーねっと)
- ・サイト(さいと)/ウェブサイト(うぇぶ さいと)
- ・ウェブページ(うぇぶ ページ)/ホームページ(ほーむ ページ)
- ・トップページ(とっぷ ページ)
- ・ポータルサイト(ぽーたる さいと)
- ・検索エンジン(けんさく えんじん)/サーチエンジン(さーち えんじん)
- ・ウェブブラウザ(うぇぶ ぶらうざ)
- ・URL(ゆーあーるえる)/ホームページアドレス(ほーむページ あどれす)
- ・アドレスバー(あどれす ばー)
- ・メニューバー(めにゅー ばー)
- ・お気に入り(おきにいり)/ブックマーク(ぶっく まーく)
- ・タブ(たぶ)

- ・ウェブメール(うぇぶ めーる)
- ・オンラインゲーム
(おんらいん げーむ)
- ・オンラインショッピング
(おんらいん しょっぴんぐ)
- ・チャット(ちゃっと)
- ・ブログ(ぶろぐ)
- ・画像(がぞう)
- ・動画(どうが)

- ・アクセス(あくせす)
- ・リンク(りんく)
- ・ログアウト(ろぐ あうと)
- ・ログイン(ろぐ いん)
- ・GIF(じふ)
- ・JPEG(じえいぺぐ)
- ・MP3(えむぴーすりー)
- ・PDF(ぴーでいーえふ)

- ・ウイルス(ういるす)
- ・ソフトウェア(そふとうえあ)
／ソフト(そふと)
- ・セキュリティソフト
(せきゅりていー そふと)
- ・フリーソフト(ふりー そふと)
- ・メールソフト(めーる そふと)
- ・ワープロソフト(わーぷろ そふと)
- ・修正プログラム
(しゅうせい ふろぐらむ)
- ・アップデート(あっぷでーと)
- ・インストール(いんすとーる)
- ・ダウンロード(だうんろーど)
- ・サイズ(さいず)
- ・バージョン(ばーじょん)
- ・ファイル(ふぁいる)
- ・フォルダ(ふおるだ)

- ・キャンセル(きゃんせる)
- ・コピー(こぴー)
- ・コピー & ペースト
(こぴー あんど ペーすと)
- ・印刷(いんさつ)
- ・決定(けってい)
- ・検索(けんさく)
- ・更新(こうしん)
- ・削除(さくじょ)
- ・作成(さくせい)
- ・実行(じっこう)
- ・終了(しゅうりょう)
- ・接続(せつぞく)
- ・選択(せんたく)
- ・挿入(そうにゅう)
- ・登録(とうろく)
- ・入力(にゅうりょく)
- ・変換(へんかん)
- ・保存(ほぞん)

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(4602040)「インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する」

教室活動の目標

－インターネットを通じて、必要な情報を得る

教室活動のねらい

- －インターネットの操作に慣れる
- －インターネットを利用する際に注意すべきことを知る
- －検索エンジンを使って、必要な情報を探す

- ・ インターネットは、現代では欠かせない情報媒体になりつつありますが、使いこなしている人とそうでない人の格差は開く一方かもしれません。学習者の中にも、母語なら使えるけど日本語ではまだという人もいるでしょうし、母語でも日本語でも難しいという人もいるでしょう。インターネットはおろか、パソコンにすら触ったことがない学習者もいるのではないのでしょうか。パソコンに触ったことのない学習者なら、まずはパソコンの電源の投入／切断(ON/OFF)やマウスの操作から始まり、日本語(あるいは母語)でのキーボード入力方法を知る必要があります。その上で、インターネットの使い方を学ぶことになるはずです。

このように学習者の状況は千差万別です。この教材例では基本的なパソコン操作ができる段階の学習者を想定していますが、利用経験や生活上のニーズなどに応じて、ステップを考えながら教室活動を進めていきたいところです。

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・ウェブブラウザと検索エンジン(p.228)

- ・ 最初にイラスト・写真シート「ウェブブラウザと検索エンジン」(p.228)を学習者と一

緒に見ながら、日本語または学習者の母語などで、以下のようなやり取りをしてみましょ。

＜やり取りの例＞

「これは何ですか。ウェブブラウザのアイコンと、検索エンジンのトップページですね。みなさんは、インターネットをよく使いますか(使ったことがありますか)。どんなときに、どんな目的で使いますか。日本語のウェブサイトも利用しますか。」

- ・このようなやり取りを通じて、学習者のインターネット習熟度(あるいはパソコンスキル)が見えてくるでしょう。指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きっと役に立つはずですよ。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－多言語のウェブサイトを見てみよう(p.229～230)

- ・「活動1」(p.229～230)は、母語などでの利用を含めてインターネットそのものにあまりなじみのない学習者を対象とした教室活動です。例1ではニュースを、例2では自治体ホームページを、それぞれ多言語ウェブサイトの例として取り上げています。インターネットではどんなことができるかというイメージをつかんで今後の学習の動機づけを図るとともに、ウェブブラウザの基本的な使い方を身に付けることが主なねらいです。
- ・ただし、例2のように機械翻訳にリンクしているサイトの場合、自動的に生成される訳文は必ずしも完璧でないことに留意する必要があります。インターネット上の情報を鵜呑みにしないなど、メディアリテラシーの涵養にも配慮しましょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－行き方を調べてみよう(p. 231～232)

- ・「活動2 行き方を調べてみよう」(p.231～232)は、実際の生活場面にも応用可

能な、より実践的な利用練習です。ここでは小田原から NHK スタジオパークまでの行き方を調べるということを例題として掲げていますが、交通機関を利用してどこかに出かける教室活動がある場合など、そうした事前準備の一環としてインターネット検索を利用すれば、学習者の意欲向上にもつながるものと思われます。検索課題として、より現実味のある事例で試してみることをお勧めします。

- ・ 目的地があらかじめ決まっている場合の課題設定はさほど難しくはないはずですが、目的地が決まっていない場合は課題の自由度が高くなり、その分情報量も増大してプロセスが複雑になるでしょう。インターネットにも日本語にもかなり習熟していないと、学習者は何を調べていいか分からなくなってしまう恐れもあります。学習者のスキルに応じた課題の設定に際しては、何を調べる課題なのかという目標を明確化することが重要です。
- ・ 路線検索 / 乗換案内にはさまざまなサイトがあります。一概にどれがいいということもありませんので、前もって指導者の側でいろいろと比べてみてください。なお、インターネットに慣れ親しんでいる学習者なら、さまざまな路線検索サイトで試した結果を見比べて、それらの良し悪しを判断することも可能かもしれません。

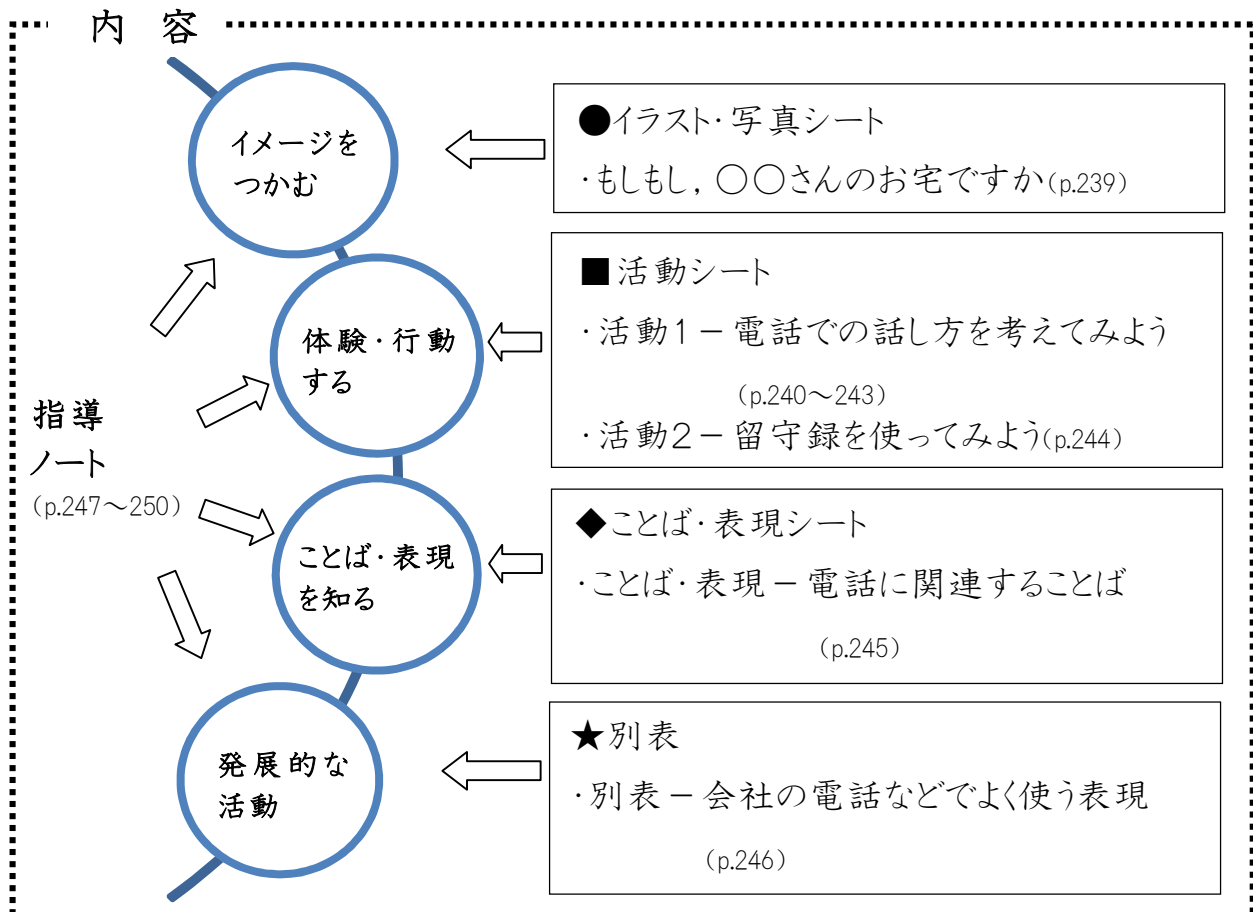
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－パソコンとインターネットに関連することば(p. 233～234)

- ・ 「ことば・表現－パソコンとインターネットに関連することば」(p.233～234)は、インターネット検索やその前提となるパソコンの基本操作に関わる単語を並べてあります。学習者のパソコンスキルに応じて適宜確認してください。

でんわ ふぁくしむり りょう
(47) 電話・ファクシミリを 利用する



取り上げる生活上の行為の事例

- (4701100)「電話を掛ける」
- (4702070)「応答する」

教室活動の目標

- ・日本語の電話表現に慣れる

教室活動のねらい

- ・相手を呼び出してもらうことができる
- ・適切な電話の受け答えができる
- ・電話の取次ぎ, 伝言の受け方に関する表現を知っている

● もしもし、〇〇さんのお宅^{たく}ですか



■ 活動1－電話での話し方を考えてみよう

(1) 会話例1

(まちが でんわ ばあい)
(間違い 電話の 場合)

Aさん : もしも、〇〇さんの お宅たくですか。

Bさん : いいえ、違ちがいます。

Aさん :

(2) 会話例2

(ほんにん ばあい)
(本人の 場合)

Aさん : もしも、〇〇さんの お宅たくですか。

Bさん : はい、そうです。

Aさん : △△と 申もうしますが、〇〇さん お願ねがいします。

Bさん : はい、私わたしです。

(3) 会話例3

(ざいたく ばあい)
(在宅の 場合)

Aさん : もしも、〇〇さんの お宅たくですか。

Bさん : はい、そうです。

Aさん : △△と 申もうしますが、〇〇さん お願ねがいします。

Bさん : はい、ちよまっと お待まちください。《〇〇さんよを 呼よびます。》

Cさん : お待またせしました。〇〇です。

かいわれい
(4) 会話例4

るす ばあい
(留守の場合)

Aさん : もしもし、〇〇さんの お宅たくですか。

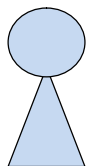
Bさん : はい、そうです。

Aさん : △△と 申しもうますが、〇〇さん お願ねがいします。

Bさん : すみません、今いま いません。

Aさん : 。

はな
(5)話してみよう(ロールプレイ)

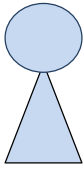


Aさん①

- ・ ○○さんに ^{ようじ}用事が ^あります。電話を ^か掛けて
ください。
- ・ ○○さんが ^{いえ}家に ^いない ^{とき}は、^{かえ}帰る ^{じかん}時間を
^き聞いた ^{あと}後で、^かまた ^{なお}掛け直すと ^{つた}伝えてください。

Aさん②

- ・ ○○さんに ^{ようじ}用事が ^あります。電話を ^か掛けて
ください。
- ・ ○○さんが ^{いえ}家に ^いない ^{とき}は、^{かえ}帰る ^{じかん}時間を
^き聞いた ^{あと}後で ^{かえ}帰ったら ^{でんわ}電話を ^{つた}くださいと ^{つた}伝えて
ください。



Bさん①

・ 電話が 掛かってきました。電話に 出てください。

私の 家に ○○という人は 住んでいません。

Bさん②

・ 電話が 掛かってきました。電話に 出てください。

私は ○○です。

Bさん③

・ 電話が 掛かってきました。電話に 出てください。

家族の ○○は 今 いません。△時ごろ 帰ります。

・ 帰ったら 電話を くださいと 依頼されたら、相手の

名前と 電話番号を 聞いて、メモしてください。

Bさん④

・ 電話が 掛かってきました。電話に 出てください。

家族の ○○は 今 いません。いつ 帰るか

分かりません。

・ 帰ったら 電話を くださいと 依頼されたら、相手の

名前と 電話番号を 聞いて、メモしてください。

■ 活動2－留守録を 使ってみよう

(1)留守番 電話に メッセージを 残す(録音する) / 聞く(再生する)

ただ今、留守にしております。

電話の方は、ピーという音の後に、お名前とご用件をお話してください。

ファクシミリをご利用の方は、送信してください。

《ピー》

<メッセージ>

◆ ことば・表現－電話^{ひょうげん}に 関連^{でんわ}する ことば^{かんれん}

				
電話 (でんわ)	公衆電話 (こうしゅうでんわ)	携帯電話(けい たいでんわ)	PHS (びーえいちえす)	ファクシミリ (ふあくしむり)

- ・電話を 掛けます(でんわを かけます)
- ・電話に 出ます(でんわに 出ます)
- ・電話を 切ります(でんわを きります)

- ・電源(でんげん)
- ・マナーモード(まなーもーど)
- ・呼び出し音(よびだしおん)
- ・話し中(はなしちゅう)
- ・保留(ほりゅう)
- ・受話器(じゅわき)
- ・外線(がいせん)
- ・内線(ないせん)
- ・留守番電話(るすばんでんわ)
- ・留守録(るすろく)
- ・メッセージ(めっせーじ)
- ・伝言(でんごん)
- ・間違い電話(まちがいでんわ)

★ 別表 べっびょう 会社の かいしゃ 電話などで でんわ よく つか 使う ひょうげん 表現

- ・もしもし
- ・はい、～です
- ・私わたしは ～と もう 申まうします
- ・いつも せわ お世話せわに なってなります
- ・～さんさんを ねが 願ねがいします
- ・失礼しつれいですが、どどちら様さまででしょうか
- ・少々 しょうしょう お待まちちくください
- ・お電話 でんわ かわかわりました、～です
- ・申し訳もうわけ ありありません
- ・ただ今 いま 外がい出しゅつ中ちゆうです
- ・席せきを はず 外はずしてしておおりります
- ・他ほかの でんわ 電話でんわに で 出でてておおりります
- ・来客らいきゃく中ちゆうです
- ・会議かいぎ中ちゆうです
- ・お休やすみを いただだいていておおりります
- ・～時じごろ もど 戻もどる よてい 予よ定ていです
- ・～時じごろ お 終おわる よてい 予よ定ていです
- ・こちらこちらから か 掛かけなお直なおします
- ・また でんわ お電話でんわ いたしします
- ・伝言でんごんを ねが 願ねがいいでききますか
- ・それそれでは しつれい 失しつれい礼れいいたたします

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(4701100)「電話を掛ける」

(4702070)「応答する」

教室活動の目標

－日本語の電話表現に慣れる。

教室活動のねらい

- －相手を呼び出してもらうことができる。
 - －適切な電話の受け答えができる。
 - －電話の取次ぎ、伝言の受け方に関する表現を知っている。
- ・ 外国語で電話するのは、なかなか容易なことではありません。文字や(非言語的な)ジェスチャー・しぐさ・表情などの視覚的な情報が全く伝わらず、音声だけでやり取りしなければならないからです。したがって、学習者が電話しようとする相手は、母語が通じる人ばかりになってしまうかもしれません。しかし、そういう人に電話する場合でも、間違い電話を掛けてしまうこともあるでしょうし、相手の家族の中には母語が異なる人もいて、その人が電話に出ることもあるでしょう。そのような場面に遭遇しても困らないよう、適切に対応するための最低限の日本語表現を理解し、実際に聞いたり話したりできるように練習しておく必要があるはずです。ここでは、そうした表現を学びましょう。

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・もしも、〇〇さんのお宅ですか(p.239)

- ・最初にイラスト・写真シート「もしも、〇〇さんのお宅ですか」(p.239)を学習者と

一緒に見ながら、日本語または学習者の母語などで、以下のようなやり取りを試みましょう。

＜やり取りの例＞

「これは何ですか。」

「よく電話をしますか。誰と話しますか。どんなことを話しますか。週に何回電話をしますか。一回何分ぐらい話しますか。」

「電話するとき、日本語で話しますか。母語で話しますか。」

「電話で何か困った経験はありますか。」

- ・このようなやり取りを通じて、学習者が日常生活の中で電話をどのように使っているか、また、実際の場面で日本語をどの程度理解または使用しているかについて把握できるでしょう。
- ・学習者自身が持つ電話でのやり取りに関するイメージが整理され、さらに活性化されるだけでなく、指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きっと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－電話での話し方を考えてみよう(p.240～243)

- ・「活動1」の会話例(1)「間違い電話の場合」、会話例(2)「本人の場合」、会話例(3)「在宅の場合」、会話例(4)「留守の場合」を使ってキーフレーズを確認し、学習者の日本語レベルや地域の状況などに応じて適宜工夫を加えた上で、ロールプレイを行います。
- ・なお、これらの会話例のうち、(1)「間違い電話の場合」と(4)「留守の場合」については、続きの展開部分が空白になっています。この場面で何を言ったらいいかを学習者と一緒に考えることで、それぞれの個人の背景にある異文化の発見につながるかもしれません。

＜(1)の続きの例＞

Aさん:「あのう、そちらは××-××××-××××ですか。」

Bさん:「いいえ、××-××××-△×××です。」

Aさん:「ああっ、すみません、間違えました。」

<(4)の続きの例①>

Aさん:「何時ごろお帰りですか。」

Bさん:「〜ごろ帰ります。」

Aさん:「じゃ, また(その頃)電話します。」

Bさん:「よろしく願います。失礼します。」

<(4)の続きの例②>

Aさん:「何時ごろお帰りですか。」

Bさん:「すみません, ちょっと分かりません。」

Aさん:「じゃ, お帰りになったら, お電話いただけますか。」

Bさん:「すみません, お名前もう一度願います。」

Aさん:「△△です。」

Bさん:「△△さんですね。お電話番号願います。」

Aさん:「××-××××-××××です。」

Bさん:「××-××××-××××ですね。」

Aさん:「じゃ, よろしく願います。」

Bさん:「わかりました。失礼します。」

- ・ ロールプレイに際しては, (おもちゃまたは本物の)受話器を渡し, それを持ちながら練習すると, 実際に電話で話している気分を醸し出すことができます。また, コードレス電話の親機と子機(あるいは携帯電話など)を用意し, 壁を隔てた隣の教室から電話を掛けるなど, お互いの顔が見えない状況を作り出して練習すれば, より現実の場面に近いロールプレイになるはずです。
- ・ 教室で何度か練習した後, 可能であれば実際の電話回線を利用して練習することを検討してください。特に公衆電話は, プッシュボタンが意外に硬くて押し間違いが少なくないことや, 受話器の音量を調節できること, 市外の場合は遠距離になるにつれて同じ料金で掛けられる時間が短くなること, さらに10円硬貨を複数枚入れたときはおつりが出るのに100円硬貨ではおつりが出ないことなど, 実際に利用してみないと実感できないことがいくつかあります。屋外に出かける活動の機会があれば, 公衆電話から教室のスタッフに現在地を報告するタスクを組み込んでみるのも一つの方法です。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－留守録を使ってみよう(p.244)

- ・ 活動2「留守録を使ってみよう」(p.244)の「留守番電話にメッセージを残す(録音する)／聞く(再生する)」は、三つの意味で練習になります。

第一には、相手に伝えるべき情報を制限時間の中で要領よく話さなければならぬため、話す内容を事前に整理しておくことです。内容は、学習者自身が考え出すとより深い練習になりますが、学習者の状況によっては(ロールプレイクードのような形で)母語または日本語である程度の方向性を示してもいいでしょう。

第二には、短い制限時間の中で実際に発話することです。相手が聞き取れるような声量・速度・明瞭さで話すことが必要になります。

そして第三には、(自分または他人が)残したメッセージを再生し、聞いて内容を理解できるか試すことです。学習者自身がメッセージを残した場合はフィードバック(振り返り)に使うことができますし、あるいは日本語母語話者が残したメッセージを聞き取る練習としても応用できるでしょう。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－電話に関連することば(p.245)

- ・ 「ことば・表現－電話に関することば」(p.245)は、電話を掛ける／受けるという行為の中でよく目にする基礎的な単語を並べてあります。必要に応じて適宜確認してください。
- ・ すでに会社の中で働いていたり、近い将来に働く予定があったりして、電話利用場面が家庭内に限らない学習者もいるかもしれません。そうした場合を想定して、別表「会社の電話などでよく使う表現」(p.246)を用意しました。初級程度の学習者にはハードルの高い表現ばかりですから、学習者にとって今すぐ必要性がないときは無理に導入しない方がよいですが、①耳で聞いたときに意味が分かる、②電話会話の中で実際に言える、の二段階で練習を進めるとよいです。

3.1 教材例集を作成する際に活用及び参考にした資料・ホームページ等

1 健康・安全に暮らす(7～71ページ)			
01 健康を保つ(7～44ページ)			
(01) 医療機関で治療を受ける(7～21ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
9～10ページ	多言語医療問診票(NPO 法人国際交流ハーティ港南台/(財)かながわ国際交流財団)	http://www.mmjp.or.jp/konan-international-lounge/jmonshin/top.htm http://www.k-i-a.or.jp/medical	多言語医療問診票を掲載。
21ページ	『日本語学習・生活ハンドブック』(文化庁)	http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/handbook/index.html	医療機関, 受診の流れ, 医療保険に関する情報を掲載。
(02) 薬を利用する(22～39ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
23ページ	みんなの教材サイト(独立行政法人国際交流基金)	http://minnanokyozai.jp/kyozai/home/ja/render.do;jsessionid=1B04D13F1CF223E2F57CF8A47712FD42	イラスト掲載
29ページ	保健センター(府中市)	http://www.city.fuchu.tokyo.jp/shisetu/fukushi/iryo/kyushiminiryo/index.html	保健センターの概観を掲載。
33ページ	『外国籍県民向け支援ツール』((社)神奈川県薬剤師会)	http://member.kpa.or.jp/download/gaikokuseki/	症状, 希望の薬に関する図を掲載。
(03) 健康に気を付ける(40～44ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
42ページ	農林水産省ホームページ	http://www.maff.go.jp/j/jas/hyoji/kigen.html	画像(図)を転載。
02 安全を守る(45～82ページ)			
(04) 事故に備え, 対応する(45～54ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
50ページ	横浜市南区	http://www.city.yokohama.lg.jp/minami/00seika/tsu/11tiiki-bouhan/110006.html	画像(写真)を転載。
(05) 災害に備え, 対応する(地震)(55～71ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
56ページ	水戸第一高校同窓会 知道会	http://www.chidokai.jp/index.html	画像(写真)を転載。
56ページ	看板屋さんのブログ■ヤマシタ巧房■	http://blogs.yahoo.co.jp/fpsbm476/24332293.html	画像(写真)を転載。
56ページ	財団法人消防科学総合センター	http://www.saigaichousa-db-isad.jp/drdsdb_photo/photoSearchResult.do	画像(写真)を転載。
58～60ページ	栃木県産業労働観光部 国際課	http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/life/kokusai/tabunka/documents/1235973842433.pdf http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/life/kokusai/tabunka/1235977471478.html	図を掲載。
63ページ	高知県労連青年部	http://fun.ap.teacup.com/seinenbu/	画像(写真)を転載。

63ページ	南足柄市	http://www.city.minamishigara.kanagawa.jp/kurashi/bouan/boutai/bousai_kunren.html	画像(写真)を転載。
(05)災害に備え、対応する(火事)(72～82ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
73ページ	佐野いくお市議のブログ	http://snipesano.exblog.jp/9610688/	画像(写真)を転載。
76ページ	くまぶろ	http://blog.kumapapa.jp/2005/09/post_7613.html	画像(写真)を転載。
II 住居を確保・維持する(83～91ページ)			
04 住環境を整える(83～91ページ)			
(07)住居を管理する(83～91ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
84ページ	パソコン大好きママの子育て奮闘記	http://tyakityaki.seesaa.net/article/114035447.html	画像(写真)を転載。
III 消費活動を行う(92～115ページ)			
05 物品購入・サービスを利用する(92～105ページ)			
(08)物品購入・サービスを利用する(92～105ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
93ページ	Supermarket Sales Flickr - Photo Sharing!	http://www.flickr.com/photos/bycolley/1786473070/	画像(写真)を転載。
93ページ	Supermarket in Japan Flickr - Photo Sharing!	http://www.flickr.com/photos/tamaiyuya/5694616767/	画像(写真)を転載。
93ページ	Nagano supermarket Flickr - Photo Sharing!	http://www.flickr.com/photos/frozenjames/511976065/	画像(写真)を転載。
97ページ	いろいろなフルーツ(果物) - 著作権フリーの画像&写真集	http://royaltyfreeimages.sblo.jp/article/45193052.html	画像(写真)を転載。
97ページ	無料DTP素材【素材ページ】食材・料理の著作権フリー写真	http://www.sozaipage.com/index.html	画像(写真)を転載。
97ページ	有楽町の居酒屋#2 生ビール - 著作権フリー商用可! 無料画像の写真素材♪ラブフリーフォト	http://lovefreephoto.blog110.fc2.com/blog-entry-1478.html	画像(写真)を転載。
全般	『新・日本の生活とことば - 1「消費生活」上・下』	公益財団法人中国残留孤児援護基金 ＜出版教材＞	教室活動の方法や生活場面での語彙・表現などを参照。
06 お金を管理する(106～115ページ)			
(09)金融機関を利用する(106～115ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
-	-	-	-

Ⅳ 目的地に移動する(116～153ページ)

07 公共交通機関を利用する(116～143ページ)

(10) 電車、バス、飛行機、船等を利用する(116～131ページ)

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
123ページ	著作権フリー商用可！無料画像の写真素材♪ラブフリーフォト	http://lovefreephoto.blog110.fc2.com/	画像(写真)を転載。
123ページ	東京写真素材	http://hk1.jp/t/eki/	画像(写真)を転載。
123ページ	TOKYU SECURITY	http://www.tokyu-security.co.jp/kids/anobject/	画像(写真)を転載。

(11) タクシーを利用する(132～143ページ)

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
134, 138ページ	みんなの教材サイト(独立行政法人国際交流基金)	http://minnanokyozaikai.jp/kyozai/home/ja/render.do;jsessionid=1B04D13F1CF223E2F57CF8A47712FD42	イラスト掲載

08 自力で移動する(144～153ページ)

(12) 徒歩で移動する(144～153ページ)

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
149ページ	みんなの教材サイト(独立行政法人国際交流基金)	https://minnanokyozaikai.jp/kyozai/illustration/list/ja/render.do	イラストの掲載。

Ⅶ 人とかかわる(154～167ページ)

14 他者との関係を円滑にする(154～167ページ)

(31) 人と付き合う(154～167ページ)

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
-	-	-	-

Ⅷ 社会の一員となる(168～203ページ)

15 地域・社会のルール・マナーを守る(168～188ページ)

(33) 住民としての手続きをする(168～178ページ)

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
168ページ	財団法人地方自治情報センター(LASDEC)「全国自治体マップ検索」,「東京都」	https://www.lasdec.or.jp/cms/1,0,69.html https://www.lasdec.or.jp/cms/1,634,69,150.html	画像(イラスト)を転載。
170ページ	国立市公式ホームページ「市役所庁内案内図」	http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/shisetsu/s_city/001226.html	画像(イラスト)を転載。
171ページ	市報くにたち 平成23年11月5日号(第1001号) 1面・4面	国立市役所企画部<紙媒体広報紙>	画像(記事)を転載。
全般	麻生晴一郎・郭雅坤『暮らしの日本語 指さし会話帳 ③中国語版』	情報センター出版局<書籍>	生活場面での語彙・表現などを参照。

(34)住民としてのマナーを守る(179～188ページ)

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
179ページ	横浜市	http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-data/pamph/wakedashi/pdf/leaflet.pdf	画像(イラスト)を転載。
181, 182ページ	経済産業省 3R政策ホームページ	http://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/illust/index.html	画像(イラスト)を転載。

16 地域社会に参加する(189～203ページ)**(35)地域社会に参加する(189～203ページ)**

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
189ページ	門前自治会	http://genki365.net/gnkh03/mypage/mypage_sheet.php?id=74720	画像(写真)を転載。
189ページ	北馬込1丁目町会	http://www.geocities.jp/kitamagome1/	画像(写真)を転載。

IX 自身を豊かにする(204～216ページ)**20 余暇を楽しむ(204～216ページ)****(44)余暇を楽しむ(204～216ページ)**

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
204ページ	つづき交流ステーション地域活動・サークル紹介	http://www.city-yokohama-tsuzuki.net/station/marblestar/chiiki/topindex.html	画像(写真)を転載。

X 情報を収集・発信する(217～250ページ)**21 通信する(217～250ページ)****(45)郵便・宅配便を利用する(217～227ページ)**

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
223ページ	著作権フリーのイラスト集	http://my.reset.jp/~comcom/sozai/kisou/link218.htm	画像(イラスト)を転載。
全般	ゆうびんホームページ - 日本郵便	http://www.post.japanpost.jp/index.html	郵便局の商品・サービスについて参照。

(46)インターネットを利用する(228～238ページ)

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
229ページ	Google	http://www.google.co.jp/	画像(スクリーンショット)を転載。
229ページ	Yahoo! JAPAN	http://www.yahoo.co.jp/	画像(スクリーンショット)を転載。
231ページ	小田原市公式ホームページ～市民の力で未来を拓く希望のまち～	http://www.city.odawara.kanagawa.jp/	画像(スクリーンショット)を転載。
全般	深澤のぞみ・濱田美和・後藤寛樹・深川美帆『日本語でできる!外国人のためのパソコンのきほん』	スリーエーネットワーク<書籍>	生活場面での語彙・表現などを参照。

(47)電話・ファクシミリを利用する(239～250ページ)

該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
-	-	-	-

73.2 生活上の行為の事例と能力記述

ここではカリキュラム案で取り扱っている生活上の行為の事例と、それに対する能力記述のリストを掲載しています。なお、ここで取り上げている能力記述はカリキュラム案で取り上げたものよりも詳細なものになっています。

「能力記述¹」とは、できるようになることが期待される具体的な行動達成目標のことであり、それぞれの「生活上の行為」に複数の能力記述を記載しています。

学習者にとっては、能力記述の一覧により、自分ができること・できないことを具体的に把握することができ、自分の日本語学習の状況を確認し、具体的に目標を立てる目安として活用することができます。

また、指導者にとっては、「日本語で何ができれば生活上の行為ができるようになるのか」について知ることができ、具体的に教室活動の組立について考えることが可能になります。

ここでは、「生活上の行為を行う上で必要な知識や情報に関する理解」や、うまく日本語を使って生活上の行為を行うことができない場合に行うコミュニケーションの工夫も能力記述のリストに入れてあります。いずれも実際に日本で生活を行う上では欠かすことができないものです。

これら能力記述のリストを基に、学習者と指導者が能力記述を参考に共に学習の記録を付けることが行動・体験中心の評価につながります。また、共通のツールを基に指導者・学習者が共に学習の軌跡を振り返り、今後のプランについてコミュニケーションを行うことが、学習者のニーズや状況・地域の状況に合った日本語教育を各地で作り出していく上で大切です。

能力記述のリストの活用

①学習者にとって

- ・自分ができること・できないことを具体的に確認することができる。
- ・自分の現在の状況に合わせて具体的な目標を立てることができる。

②指導者にとって

- ・日本語で何ができれば生活上の行為ができるようになるのか確認できる。
- ・教室活動の組立について考えることができる。

③学習者・指導者にとって

- ・能力記述を活用した記録・評価を参考に、学習の軌跡を振り返ったり、今後のプランについて検討したりすることができる。

⋮

¹ 「能力記述」という用語は「キャンドゥーステートメント(Can-do-statements)」の訳として用いています。

※「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案で取り上げた能力記述に追記を行っている。

大分類		
中分類		
小分類		
事例1(上位項目)		能力記述
事例2(下位項目)		
健康・安全に暮らす		
01 健康を保つ		
(01) ● 医療機関で治療を受ける		
0101 適切な医療機関の選択をする		
0101060 ★ 隣人に容態を伝えて助言を求める	・体の名称が分かる ・症状の名称が分かる ・隣人に症状を伝えることができる ・内科、歯科など診療科の名称が分かる ・隣人に適切な診療科、医療機関の助言を求めることができる ・隣人に適切な医療機関の所在を聞くことができる	
0102 問診票に記入する		
0102010 ★ 初診受付で手続をする	・初診であることを伝えることができる ・自身の保険証の内容が理解できる ・保険証についての質問が理解できる ・問診票の記載事項が理解できる ・問診票などに住所、氏名、症状などを記入することができる ・「受付→待合室→診察室→待合室→会計」といった受診の行動の流れが理解できる	
0103 医者の説明・指示を理解し、応答する		
0103010 ★ 医者の診察を受ける	・症状を伝えることができる ・症状が始まった時期を伝えることができる ・症状の程度を伝えることができる ・医者の診察、指示が理解できる ・注射、レントゲンなどの医療機器の名称が分かる	
0103120 ★ 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する	・病気への対処法・生活上の注意を尋ねる ・病気への対処法・生活上の注意を理解できる ・医療機関の診療曜日、診療時間が分かる ・次回の予約の方法が分かる	
(02) ● 薬を利用する		
0201 処方せんを持って薬局へ行く		
0201020 ★ 医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する	・処方せんが何であるかを理解できる ・処方せんを受け取り、指示を理解できる ・薬局の場所を尋ねることができる	
0202 薬局・薬店を利用する		
0202050 ★ 症状を説明し、薬を求める	・どんな症状があるかを説明することができる ・症状がいつからあるかを説明することができる ・薬剤師等の質問に答えることができる ・どんな薬が欲しいか伝えることができる ・薬のラベルなどを確認することができる ・症状が始まった時期を伝えることができる ・症状の程度を伝えることができる ・「おくすり手帳」が分かる ・自身の「おくすり手帳」を持参して提示することができる ・自身のアレルギーについて伝えることができる	

0203 薬の説明を理解し、適切に利用する	0203070 ★ 薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・効能や用法についての説明を理解できる ・不明な点について質問することができる ・薬の表示などが確認ができる ・効能についての説明を理解できる ・副作用についての説明を理解できる ・服用時の注意事項を確認できる ・服用後の注意事項を確認できる
-----------------------	-----------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(03) ● 健康に気を付ける

0301 病気を予防する	0301090 ★ 流行性の病気についての情報を理解し適切に対処する	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における季節ごとの流行性の病気について分かる ・流行性の病気の予防方法を聞くことができる ・回覧板や掲示を読んで理解できる ・学校からのお便りを読んで理解できる ・ニュースを聞いて情報を理解できる ・流行性の病気についてインターネットを使って調べることができる ・日本において特に流行する病気について、基礎的な予防方法が分かる ・流行性の病気の予防方法が、母国と日本では異なる可能性があることが分かる ・手洗いうがい等、日本で習慣化されている予防法について分かる
--------------	------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

0302 衛生管理をする	0302010 ★ 食品や飲料水の安全情報を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・食品や飲料水の安全について聞くことができる ・表示やラベルなどが確認できる ・表示やラベルの重要な部分分かる ・生鮮食品の表示やラベルなどが確認できる ・加工食品の内容表示を読んで理解できる ・アレルギーに関する表示を読んで理解できる
--------------	----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

02 安全を守る

(04) ● 事故に備え、対応する

0401 事故を回避する(各種の標識・注意書き等を理解する(高電圧危険、感電注意、立入禁止等))	0401030 ★ 各種の標識・注意書き等を理解する(高電圧危険、感電注意、立入禁止等)	<ul style="list-style-type: none"> ・標識や注意書きを読み取り、理解できる ・意味を理解し、それに応じた適切な行動が取れる ・危険であるということをなんとかして周囲の人に伝えることができる
--------------------------------------------------	----------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

0402 防犯対策(施錠等)を行う	0402030 ★ 有効な施錠の仕方について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・購入した鍵の説明書が理解できる ・友人や知人に、疑問点を質問したり確認したりすることができる ・防犯の目的にあった鍵について分かる ・防犯のために鍵を購入するのに適切な店舗が分かる ・通常家を空けるときは施錠すること必要があることが分かる ・ピッキングなど頻発する犯罪について分かる
-------------------	----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

0403 防犯に対処する	0403020 ★ 警察(110番)に電話する	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を明確に伝えることができる ・警察官の質問や指示を理解し、適切な受け答えができる ・住所や電話番号などを伝えることができる ・起こったことを順序立てて説明ができる ・警察官の指示に従って当面の対応を行うことができる ・警察が110番だということが分かる
--------------	-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		<ul style="list-style-type: none"> ・場所が分かりにくいときにどのようなものを目印にすればよいか分かる ・目印になりやすいものについて分かりやすく説明ができる ・110番の通報に携帯電話を使わない方がよい場合が分かる ・携帯電話から110番をする際はGPSを有効にしていた方がよいということが分かる
	0403040 ★ 近くの人に知らせる	<ul style="list-style-type: none"> ・隣人や近くの人に、状況説明ができる ・起こったことを順序立てて説明ができる ・詳細な内容でなくても、緊急事態が起きているということを何とか伝えることができる ・どうして欲しいかを伝えることができる
0404 交通事故に対処する		
	0404020 ★ 救急車を要請する	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生場所と状況を伝えることができる ・自分の名前と電話番号を伝えることができる ・救急車を呼ぶ方法が分かる ・交通事故の際の基本的な初期対応が分かる ・救急が119番だということが分かる ・場所が分かりにくいときにどのようなものを目印にすればよいか分かる ・目印になりやすいものについて分かりやすく説明ができる ・119番の通報には携帯電話を使わない方がよい場合があることが分かる ・携帯電話から110番をする際はGPSを有効にしていた方がよいことが分かる
	0404070 ★ 近くの人に知らせる	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故に遭ったとき、通行人に状況を説明できる ・通行人に支援を要請できる ・詳細な内容でなくても、緊急事態が起きているということを何とか伝えることができる ・どうしてほしいかを伝えることができる
(05) ● 災害に備え、対応する		
0501 避難場所・方法を確認する		
	0501020 ★ 自治体広報、掲示、看板等を理解し、現地を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことを人に質問して確認できる ・災害の名称が理解できる ・自分の住む自治体の地区名、町名などが理解できる ・避難場所の位置を地図(略図)で理解できる ・広報、掲示板等の説明を読んで理解できる ・分からないことを人に質問して確認できる
	0501030 ★ 避難場所・方法を理解する・人に聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・避難方法の注意書きを読んで理解できる ・避難場所を示す看板・標識などが理解できる ・避難方法について人に質問して理解できる ・危険な場所について人に質問して理解できる
0502 地震発生時に適切に行動する		
	0502010 ☆ 地震について理解する	
	0502020 ★ 身を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・身の守り方について説明を読んで理解できる ・身の守り方について人に質問して理解できる
0503 台風発生時に適切に行動する		
	0503010 ☆ 台風について理解する	
	0503020 ★ 天気予報・台風情報に留意し理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・天候を示すアイコンが理解できる ・風の強さ、波の高さなど台風に関連した気象用語が理解できる ・新聞やラジオ・テレビ、インターネットの気象情報を理解できる ・ラジオ・テレビ、インターネットの交通情報を理解できる ・台風について人に質問して理解できる

0504 火災発生時に適切に行動する	
0504050 ★ 消防・救急(119番)や警察(110番)に電話する	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急(119番)に電話を掛けることができる ・火事の発生場所と状況を伝えることができる ・けが人の状況を伝えることができる ・警察(110番)に電話を掛けることができる ・自分の名前と電話番号を伝えることができる
II 住居を確保・維持する	
03 住居を確保する	
(06) ● 住居を確保する	
0601 住居を探す	
0601060 ★ 不動産業者に相談する	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の不動産業者の場所が分かる ・住居について希望や条件を伝えることができる ・不動産業者の説明を聞いて理解できる ・不動産の情報を読んで理解できる ・間取りや支払うお金について等、不動産に関する基礎的なことが分かる ・インターネットで不動産に関連する情報を調べることができる
0601090 ★ 居住する地域を選択する	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産の情報を読んで理解できる ・友人や知人から必要な情報を得ることができる
0602 契約する	
0602040 ★ 賃貸契約をする	<ul style="list-style-type: none"> ・契約書の内容を読んで理解できる ・契約に必要な書類をそろえることができる ・契約に関する疑問点を質問できる ・契約の際に友人や知人に同行してもらうことができる
0603 引越しをする	
0603070 ★ 引越し業者に依頼する	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の条件を示して、依頼する事項を正しく伝えることができる ・依頼事項に関する業者の返答が理解できる ・引越し業者の繁忙期や閑散期、料金相場等、引越しに関する基本的なことが分かる
0603080 ★ 必要な手続を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・引越しの際に必要な手続が分かる ・手続に必要な書類について聞くことができる ・職員の質問に答えることができる ・転入届の手続をすることができる ・郵便の転送手続が分かる ・転居のあいさつ等、引越しに関する習慣について分かる
04 住環境を整える	
(07) ● 住居を管理する	
0701 電気・ガス・水道等の使用を開始する	
0701010 ☆ 開始手続について理解する	
0701090 ★ 申込みをする	<ul style="list-style-type: none"> ・電話で必要事項を伝えることができる ・電話連絡先を調べることができる ・電話で使用開始の日程を調整できる ・自宅での作業員の説明を理解できる ・使用時の注意点を理解できる ・トラブル時に電話で対応を依頼できる ・案内書の内容を読んで理解できる
III 消費活動を行う	
05 物品購入・サービスを利用する	
(08) ● 物品購入・サービスを利用する	
0801 対面販売で購入する	
0801020 ★ 必要な品物を扱う店等を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・友人や知人に店の場所を聞くことができる ・友人や知人にどんな店か聞くことができる ・電話帳で店を特定することができる

	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の広告を理解できる ・携帯電話で買い物の情報を検索することができる ・インターネットを利用して買い物の情報を検索することができる ・フリーペーパーなど地域の買い物情報が掲載されている情報ツールについて分かる
0801030 ☆ 目的によって店舗の種類を使い分けることを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用して各店舗の特徴を調べることができる ・インターネットで検索できる情報を理解することができる
0801040 ★ 販売しているところを探す	<ul style="list-style-type: none"> ・販売しているところを聞くことができる ・店の名前や店の種類が分かる ・インターネットを利用して近隣にある店舗情報を調べることができる ・携帯電話を利用して近隣にある店舗情報を調べることができる ・外国人が買い物しやすい場所を聞くためのネットワークを持つことができる ・友人や知り合いに買い物に同行してもらうことができる
0801050 ★ デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で買い物をする	<ul style="list-style-type: none"> ・買いたい物を買うことができる
0801060 ★ 店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・買いたい物がどこにあるか聞くことができる ・商品名を言うことができる ・店内の表示を見て欲しいものがどこにあるか理解することができる ・欲しいものが店内の表示に書かれていない場合でも、欲しいものの売り場を推測することができる ・欲しいものがある場所の説明を理解することができる
0801080 ★ 売り場を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・売り場がどこにあるか聞くことができる ・売り場の説明を理解できる ・説明がよく分からないときに聞き返したり確認したりすることができる
0801100 ★ 店員に商品について尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・希望のサイズを伝えることができる ・希望の量を伝えることができる ・希望の大きさを伝えることができる ・希望の形や特徴を伝えることができる ・サイズの基準が母国と違うことが分かる ・自分の希望するサイズの日本での言い方が分かる
0801130 ★ 値段を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の値札を見て、値段を理解できる ・商品の値札を見て、税込みの値段かどうかを理解することができる
0801140 ★ 商品の機能や値段を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の機能を探ることができる ・商品の値段を探ることができる
0801150 ★ 商品の表示を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・食品に書かれた材料、産地、賞味期限などを読み取ることができる ・食品の成分表示を見て、食べられないものを確認することができる ・商品パッケージのごみ分別の表示を理解することができる ・商品の内容量・数量などの表示を理解することができる ・商品に貼られている割引表示を理解することができる
0801160 ★ 値段・税率を計算する	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の消費税を確認することができる
0801190 ★ 試着を申し出る	<ul style="list-style-type: none"> ・店員を呼ぶことができる ・試着を申し出ることができる
0801200 ★ 色違いのものを頼む	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな色の商品を選ぶことができる ・自分がほしいものの色を言うことができる

0801210 ★ サイズの変更を申し出る	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合うサイズの商品を選ぶことができる ・自分に合うサイズを伝えることができる ・サイズを言う際の単位について分かる
0801220 ★ ポイントカードや割引券を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカードや割引券の利用可否について質問することができる ・必要に応じてポイントカードや割引券を使って買い物ができる ・ポイントカードや割引券の利用ルールについて理解することができる
0801230 ★ クレジットカードを利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカードの利用可否について質問することができる ・必要に応じてクレジットカードを使って買い物ができる ・クレジットカードの利用方法についての質問に答えることができる ・暗証番号を入力する機械の使い方が分かる ・支払方法の選択や確認ができる ・明細を見て最低限確認しなければならないポイントが分かる ・クレジットカード以外にデビットカード、銀聯カードなどが分かる
0801240 ★ 必要なものを選んで購入する	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なものを選んで購入できる ・必要なものを選ぶ際に必要な表示を読んで理解することができる
0801250 ★ 支払う	<ul style="list-style-type: none"> ・支払いの意思を伝えることができる ・支払いの方法を選ぶことができる ・支払いができる
0801260 ★ 返品・交換をする	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて商品の返品・交換をすることができる ・商品の返品や交換に関する基本的なことが分かる
0801270 ★ 注文する	<ul style="list-style-type: none"> ・購入したいものを注文することができる ・取り寄せに関する質問に答えることができる ・インターネットを使って注文することができる ・電話を使って注文することができる
0802 飲食店を利用する	
0802020 ★ 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・店ごとに受けられるサービスと代価を理解した上で、それを利用することができる ・店ごとに受けられるサービスと代価を比較できる
0802030 ★ 希望の食べ物を扱う店を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・食べたいものを示し、店のありかを質問することができる ・相手の示した店のありかが分かる
0802040 ★ 電話で予約する	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の店で予約ができることが分かる ・一定の条件を示して予約の可・不可について質問することができる ・予約の可・不可についての情報を理解することができる ・希望の条件(人数・サービス内容など)を伝えることができる ・店の示す条件を理解できる ・条件の変更を伝えることができる ・予約内容の確認ができる ・予約のキャンセルができる
0802060 ★ 店員と話す	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて店員と話す内容が理解できる ・店員との応答ができる ・注文した品と異なる場合、説明できる
0802080 ★ 店で人数や禁煙・喫煙などの希望を伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・希望の内容と店による許諾可能性を理解できる ・希望の内容を適切に伝えることができる ・希望の内容に対する店員の説明が理解できる ・希望の座席の位置、種類を伝えることができる
0802100 ★ メニューを読む	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューの種類を理解できる ・メニューの情報(食材、調理方法など)を理解できる (不明な点は店員等に質問できる)

0802120	★ メニューを選んで注文する	<ul style="list-style-type: none"> ・店員を呼ぶことができる ・注文する品と数を伝えることができる ・店員による注文の確認を理解できる
0802140	★ 食券を買う	<ul style="list-style-type: none"> ・食券により購入するシステムが理解できる ・必要なものを選んで券売機を利用できる
0802170	★ 追加の注文をする	<ul style="list-style-type: none"> ・注文する品と数を伝えることができる
0802190	★ 支払いをする	<ul style="list-style-type: none"> ・支払いの意思を伝えることができる ・支払いの方法を選ぶことができる ・支払いができる
0803 各種サービスを利用する		
0803010	☆ 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する	
0803040	★ 店舗を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・知らない人を呼び止めることができる ・情報提示を求めることができる ・希望するサービスを扱う店を尋ねることができる ・提供された(店の情報)情報が理解できる
0803080	★ 利用方法を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提示を求めることができる ・追加情報を求めることができる ・提供された情報を理解できる
0803100	★ コンビニエンスストアのサービス(ATM, ファックス, 公共料金の支払い等)を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提示を求めることができる ・追加情報を求めることができる ・希望するサービス内容を伝えることができる ・費用や利用条件などを質問できる ・提供された情報(費用, 利用条件など)を理解できる ・機器の表示(文字・記号)が理解できる ・表示された指示に従って操作・対応できる ・納付書等の記載事項が理解できる ・納付書等に的確に記入することができる
0803110	★ クリーニング店, レンタルビデオ店, 美容院, 理容店を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・来店の目的や希望を申し出ることができる ・費用や利用条件などを質問できる ・情報提示を求めることができる ・追加情報を求めることができる ・提供された情報(費用, 利用条件など)を理解できる ・申込書に必要な事項を記入することができる ・支払いができる ・店員と適切なあいさつを交わすことができる
0804 商品情報(素材, 注意書き等)について理解する		
0804020	★ 商品に添えられた情報を的確に理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し, たどり着くことができる ・提供された商品情報(文字情報)を読み取ることができる ・追加情報を求めることができる
0804040	★ 新聞広告・折り込み広告を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し, たどり着くことができる ・提供された商品情報(文字情報)を読み取ることができる
0805 購入額を確認・計算する		
0805040	★ レシートを確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し, たどり着くことができる ・提供された情報(文字情報)を読み取ることができる ・追加情報を求めることができる
0805050	★ レシートを理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し, たどり着くことができる ・提示された文字情報を読み取ることができる ・追加情報を求めることができる

	0805080 ★ 代金を支払う	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された代金や支払い方法の情報が理解できる ・必要な問い返しができる ・支払い方法などの希望を伝えることができる ・示された支払い方法が理解できる
0806 カード等を利用する		
	0806030 ★ カードの利用の可・不可を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・カード利用の可・不可について質問することができる ・カード利用の可・不可についての情報を理解することができる
06 お金を管理する		
(09) ● 金融機関を利用する		
0901 口座を開設する		
	0901050 ★ 申込みをする	<ul style="list-style-type: none"> ・口座開設の意志を伝えることができる ・係員の説明を聞いて理解できる ・必要事項を記入することができる ・口座の種類と用途が分かる ・口座開設に必要な書類について聞くことができる
0903 ATMを利用する		
	0903040 ★ 預金の引出しをする	<ul style="list-style-type: none"> ・ATMの指示内容(文字情報)を理解できる ・自身に分かる言語に切り替えて使うことができる ・ATMの使い方が分からないときに、係員に聞くことができる
IV 目的地に移動する		
07 公共交通機関を利用する		
(10) ● 電車、バス、飛行機、船等を利用する		
1001 時刻表を確認する		
	1001020 ★ 発車する時刻や掛かる時間を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・親しくない人にものを尋ねる際の適切な切り出しができる ・目的地を伝えることができる ・時刻や掛かる時間を尋ねることができる ・目的地へ行く交通機関の時間や所要時間を聞くことができる ・時間や発車場所を理解できる ・駅名、行き先などの駅の表示が理解できる ・説明してもらった行き方を繰り返して確認することができる ・よく分からないときに聞き返すことができる ・PCで路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる ・携帯で路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる
1002 路線図を確認する		
	1002060 ★ 目的地への行き方を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地への行き方を質問することができる ・目的地への行き方の説明を理解できる ・駅名、行き先などの駅の表示が理解できる ・インターネットや携帯電話を使ってルート検索ができる ・路線図をもらうことができる ・PCで路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる ・携帯で路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる
1004 運賃を支払う・切符を購入する		
	1004060 ★ 券売機を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・券売機の使い方が分かる ・券売機の文字が読める ・券売機の使い方を聞くことができる ・割引切符やお得な運賃のことを聞くことができる ・交通機関の割引等に詳しい人が分かる
(11) ● タクシーを利用する		
1101 タクシーを呼ぶ		
	1101060 ★ タクシー乗り場を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・「タクシー」の表示を理解できる ・タクシー乗り場の場所を聞くことができる ・場所の説明を理解できる

1101070	★ 道路でタクシーを止める	<ul style="list-style-type: none"> ・「空車」の表示を理解できる ・手を挙げてタクシーを止めることができる
1102	行き先を指示する	
1102040	★ 行き先を告げる	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの運転手に行き先を伝えることができる ・道順を説明することができる ・行き先の目印になるものを伝えることができる ・行き先の目印になりやすい建物や場所が分かる ・曲がる場所や止まる場所を具体的に伝えることができる
1103	運賃を支払う	
1103060	★ 運賃を聞き取り、支払う	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーメーターの運賃を理解できる ・運賃を聞き取ることができる ・現金以外の支払い方法を尋ねることができる ・領収書をもらうことができる ・雑談に応じることができる ・現金以外の支払いが可能かどうか聞くことができる ・領収証をもらうことができる

08 自力で移動する

(12) ● 徒歩で移動する

1201	住所・番地を確認する	
1201030	★ 住所表示, 交差点名, 街の案内地図などを読む	<ul style="list-style-type: none"> ・地名などの漢字の読み方を質問できる ・地名などの漢字を読むことができる ・案内地図によく使われる記号を理解することができる ・地図などのローマ字を読んで場所を理解することができる ・住所表示の基本的なルールが分かる
1202	地図を理解する	
1202030	★ 地図上で目的地を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・地名などの漢字を読むことができる ・地図によく使用されている記号の意味が分かる ・PCで目的地の地図を探すことができる ・携帯で目的地の地図を探すことができる
1202060	★ 地図を書いてもらう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の行きたい場所を説明できる ・地図を書いてくれた人の説明が理解できる ・書いてもらった地図について質問や確認ができる
1203	交通標識を理解する	
1203030	★ 目的地の方向や距離を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・地名などの漢字を読むことができる ・交通標識の意味を理解できる ・ローマ字で地名を理解できる
1204	道を聞く	
1204040	★ 目的地までの道を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・人を呼び止めることができる ・親しくない人にもものを尋ねる際の適切な切り出しができる ・目的地を説明することができる ・掛かる時間を尋ねることができる ・説明内容を聞いて理解できる ・説明してもらった行き方を繰り返して確認することができる ・よく分からないときに聞き返すことができる ・説明内容について確認や質問ができる ・説明内容がよく分からないときに地図を書いてもらうことができる ・目的地の目印となる場所や建物などが分かる

VII 人とかかわる

14 他者との関係を円滑にする

(31) ● 人と付き合う

3101	あいさつをする	
3101010	☆ あいさつの種類と目的を理解する	
3101020	☆ TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する	

<p>3101030 ★ 時宜にあったあいさつを学んで実行する (年賀状や暑中見舞いのやりとりをする)</p> <p>(年末年始のやりとりをする)</p> <p>(結婚のお祝い)</p> <p>(葬式に参列する)</p> <p>(見舞いに行く)</p> <p>(引越しのあいさつ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の上司や先生などに定型句で年賀状を書くことができる ・送られてきた賀状に簡単な表現で礼状を書くことができる ・定型句を使って、暑中見舞いを書くことができる ・年末の簡単なあいさつを言うことができる ・新年の簡単なあいさつをすることができる ・お歳暮のような習慣があることが分かる ・簡単な表現で結婚のお祝いの言葉を言うことができる ・お祝いの気持ちを表すことができる ・結婚のお祝いとして一般的に渡されるものについて分かる ・結婚の祝い金の相場が分かる ・定型表現で葬式のあいさつを言うことができる ・香典について分かる ・葬儀の服装やマナーについて分かる ・病院の受付で簡単な表現で用件を告げることができる ・入院した人の居場所を尋ねることができる ・簡単な表現で見舞いの気持ちを言うことができる ・見舞いにふさわしい見舞い品とそうでないものがあることを知っている ・退出することを伝えることができる ・引越しのあいさつをすることができる ・誰にどのようなあいさつをすることが一般的かを知っている ・引越し先で簡単なあいさつをすることができる
<p>3101040 ☆ あいさつの文化的相違を理解する</p>	
<p>3101060 ★ 相手に合わせたあいさつをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に応じたあいさつをすることができる
<p>3101080 ★ 日常のあいさつをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの種類を選択することができる ・あいさつの相手による表現の違いを選択することができる ・自分からあいさつするべき状況を判断できる ・あいさつに伴う非言語行動ができる ・相手のあいさつに応じることができる
<p>3101130 ★ 人間関係のきっかけを作るあい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後付き合いをする相手を選べる ・初対面のあいさつができる ・初対面かどうかわからない場合に話を切り出す方法が分かる
<p>3102 自己紹介をする</p>	
<p>3102010 ☆ 自己紹介の仕方を理解する</p>	
<p>3102020 ☆ 相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する</p>	
<p>3102050 ★ 仕事上の公的な自己紹介をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの種類を選択できる ・敬語、丁寧体を適切に使用できる ・相手の立場に合わせた表現ができる ・所属や職位等、公的なあいさつに必要な事柄を言うことができる ・自身の仕事や立場について必要に応じて簡単に話すことができる
<p>3102070 ★ 私的な場面で自己紹介をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの種類を選択できる ・場面に応じた表現を選択することができる ・自身の家族や趣味、プライベートな事柄について、必要に応じて簡単に話すことができる
<p>3103 日本の一般的なマナーを理解し、マナーにのって行動する</p>	
<p>3103150 ★ 分からないとき、疑問に思ったとき信頼できる相手に質問する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知人や友人に分からない点や疑問に思ったことを聞いたり確認したりすることができる ・何をしたらいいか質問することができる

		<ul style="list-style-type: none"> ・マナーの本などを調べることができる ・携帯やインターネットでマナーや習慣について調べることができる ・マナーについて、地域差や世代差があることが分かる ・日本人の振る舞いを観察してどのように振舞えばいいか真似することができる
--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

VIII 社会の一員となる

15 地域・社会のルール・マナーを守る

(33) ● 住民としての手続をする

3301	各種手続(転入・転出・外国人登録等)をする	
	3301020 ☆ 各種手続の種類や内容について理解する	
	3301080 ★ 役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・「外国人登録」の表示を理解できる ・外国人登録の窓口の場所を聞くことができる ・場所の説明を理解できる ・場所の説明について確認や質問をすることができる
3302	各種税金(所得税, 住民税等)を支払う	
	3302080 ★ 支払方法を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・納付書に書かれた情報を理解できる ・納付方法を聞くことができる ・納付方法の説明を理解できる ・支払いをすることができる ・支払えない場合にどうすればよいか聞くことができる
3303	確定申告・還付申告を行う	
	3303040 ★ 必要性を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・確定申告や還付申告が何か聞くことができる ・確定申告や還付申告の必要性を確認できる ・パンフレットや説明書を読んで理解できる ・確定申告や還付申告ができる場所について聞くことができる ・確定申告や還付申告が可能な時期について聞くことができる ・確定申告や還付申告の公的な情報をインターネットで集めることができる ・確定申告や還付申告に関連する外国語による情報をインターネットで集めることができる ・確定申告や還付申告に詳しい人が分かる

(34) ● 住民としてのマナーを守る

3401	ゴミ出し(ゴミの分け方)について理解する	
	3401040 ★ 居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・生活情報パンフレット, 広報, 町内の掲示などを読んで, ゴミ出しの仕方を理解できる ・分からない点について人に確認することができる ・ごみの分別について, 大まかなルールが分かる ・ごみを捨てる時に分別するための商品記載マークを理解できる
	3401080 ★ 居住地域のゴミ出しの方法について隣人に質問する	<ul style="list-style-type: none"> ・隣人に分からないことを質問することができる ・隣人の説明を聞いて理解できる ・説明で分からないことについて確認や質問をすることができる
3402	公共マナー(ポイ捨て禁止, 歩きタバコ禁止等)を理解する	
	3402030 ★ マナーについて人に相談する	<ul style="list-style-type: none"> ・「ポイ捨て禁止」などの意味を理解できる ・公共マナーの各種について質問して理解できる ・公共マナーの掲示等を読んで理解できる ・日本社会における公共マナーについて基本的な知識を持っている

16 地域社会に参加する

(35) ● 地域社会に参加する

3501 自治会行事に参加・協力する

3501040 ★ 居住地の自治会について隣人に尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会について隣人に聞くことができる ・自治会の活動に関する説明を理解できる ・自治会の役割を理解できる
3501050 ★ 自治会の会員になる	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会参加の意思を伝えることができる ・参加の方法について質問することができる ・申込書などに記入することができる ・会費などの説明を読んで理解できる ・会員の役割を理解できる ・会員を辞めるための連絡ができる
3501100 ★ 行事に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について情報を得ることができる ・行事についての相談に参加できる ・行事で分担の作業を行うことができる ・行事を通じてほかの会員と交流できる ・自治会の行事について提案することができる ・自治会の行事について積極的に協力を申し出ることができる

IX 自身を豊かにする

20 余暇を楽しむ

(44) ● 余暇を楽しむ

4401 外出や余暇の計画を立てる

4401010 ☆ 余暇を過ごす場所や利用方法を知る	
4401070 ★ 適当な人からアドバイスをもらう	<ul style="list-style-type: none"> ・外出や余暇の計画について人に相談できる ・行きたいこと、したいことの希望を述べられる ・分からない点について質問できる ・パンフレットなどを読んで費用や利用条件などを理解できる ・旅行社の申込書などに記入できる

4402 情報(イベント、娯楽施設、地域のサークル活動等)を収集する

4402080 ★ 同僚や周囲の人からの口コミ情報を得る	<ul style="list-style-type: none"> ・知人の話から必要な情報を取ることができる ・分からない点について質問できる
------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

4403 地域の公共施設(図書館、スポーツセンター等)を利用する

4403010 ☆ 施設の種類や制度について知る	
4403030 ★ 利用方法を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の希望を伝えることができる ・説明の内容(費用、利用条件など)を理解することができる ・提示された書類等を読んで理解できる ・利用上の注意点など、分からないことを質問できる

X 情報を収集・発信する

21 通信する

(45) ● 郵便・宅配便を利用する

4501 郵便を利用する

4501020 ☆ 郵便局のシステムを理解する	
4501100 ★ 手紙や葉書を書いて送る	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の形式が分かる ・伝達したいことを書くことができる ・封筒や葉書の宛名の書き方が分かる ・ポスト投函口の表示が理解できる
4501120 ★ 不在配達通知に対応する	<ul style="list-style-type: none"> ・不在通知が何であるか理解する ・不在通知にどのように対応するか理解する ・配達業者に電話で不在通知があったことを伝えることができる ・希望する再配達日を伝えることができる

		・配達業者の連絡先に多言語サービスがあるか調べることができる
4502	宅配便を利用する	
	4502060 ★ 宅配便を受け取る	・配達人とのやり取りができる ・荷物の送り主の名前を確認できる ・受け取りのサイン・印をする場所が分かる
(46) ● インターネットを利用する		
4601	インターネットプロバイダーと契約する	
	4601010 ☆ インターネットのサービス内容・利用方法を理解する	
4602	ネット検索する	
	4602040 ★ インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する	・インターネット検索方法を人に聞くことができる ・インターネット検索方法の説明を理解することができる ・インターネットやパソコンに関連する基礎的な用語を理解している ・インターネットの検索方法について聞いたことをメモにまとめることができる ・検索したい事柄に応じて質問し理解することができる
4603	電子メールを利用する	
	4603090 ★ 電子メールを書く	・メールの書き方について本から情報を得ることができる ・メールの書き方について人から情報を得ることができる ・メールを作成することができる ・メールを作成する際の基本的なマナーについて分かる ・メールを作成する際の件名の付け方が分かる ・メールを作成する際の宛先, CC, BCCの使い分けが分かる ・メールで伝えたほうがよいこととメール以外の手段で伝えたほうがよいことの区別が分かる ・パソコンに日本語で入力することができる ・携帯電話に日本語で入力することができる
(47) ● 電話・ファクシミリを利用する		
4701	電話・ファクシミリを発信する	
	4701100 ★ 電話を掛ける	・相手を呼び出してもらうことができる ・言語のみで説明することができる ・相手が不在の時に対応することができる ・相手が不在の時に伝言を頼むことができる ・相手が不在の時に再度電話をかけることを伝えることができる ・留守番電話に適切に用件を吹き込むことができる ・留守番電話の吹き込み方についての案内指示を理解することができる
4702	電話・ファクシミリを受信する	
	4702070 ★ 応答する	・適切な電話の受け答えができる ・ファクシミリの内容が理解できる ・電話の取次ぎ, 伝言ができる ・相手の話を理解できる ・電話の内容がよく分からないときに確認や質問ができる ・電話の内容について適切なメモを残すことができる ・電話の内容について必要なことを伝言することができる
22 マスメディアを利用する		
(48) ● マスメディア等を利用する		
4801	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネットから情報を収集する	
	4801080 ★ テレビ番組を見る	・テレビ番組を視聴して情報を収集できる ・画面のテロップなどを読んで理解できる ・番組表から, 見たい番組を探すことができる ・番組表を活用して視聴予約をすることができる ・見たい番組を録画することができる ・チャンネルや時間帯によって放送される番組の大まかなジャンルや特徴を知っている

文化審議会国語分科会委員名簿

(敬称略・五十音順)

阿 辻 哲 次	京都大学大学院教授
井 田 由 美	日本テレビ放送網株式会社報道局解説委員
伊 東 祐 郎	東京外国語大学教授留学生日本語教育センター長
井 上 洋	社団法人日本経済団体連合会社会広報本部長
岩 澤 忠 彦	NHK放送研修センター理事・日本語センター長
岩 見 宮 子	公益社団法人国際日本語普及協会理事
内 田 伸 子	お茶の水女子大学客員教授・名誉教授
上 野 善 道	国立国語研究所客員教授
尾 崎 明 人	名古屋外国語大学教授
加 藤 早 苗	インターカルト日本語学校代表取締役
金 田 智 子	学習院大学教授
小 山 豊三郎	愛知県地域振興部国際監
佐 藤 郡 衛	東京学芸大学副学長・理事
嶋 田 和 子	イーストウェスト日本語学校副校長
杉 戸 清 樹	独立行政法人国立国語研究所名誉所員
関 根 健 一	読売新聞東京本社用語委員会幹事
高 木 展 郎	横浜国立大学教授
出久根 達 郎	作家
東 倉 洋 一	国立情報学研究所副所長
中 野 佳代子	公益財団法人国際文化フォーラム理事
納 屋 信	日本文化大学准教授
西 澤 良 之	独立行政法人国際交流基金参与兼日本語試験センター所長
西 原 鈴 子	元東京女子大学教授
林 史 典	聖徳大学教授
春 原 憲一郎	財団法人海外技術者研修協会理事AOTS日本語教育センター長
やすみ り え	川柳作家
山 田 泉	法政大学教授

文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員名簿

(敬称略・五十音順)

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 伊 東 祐 郎 | 東京外国語大学教授留学生日本語教育センター長 |
| 井 上 洋 | 社団法人日本経済団体連合会社会広報本部長 |
| 岩 見 宮 子 | 公益社団法人国際日本語普及協会理事 |
| 尾 崎 明 人 | 名古屋外国語大学教授 |
| 加 藤 早 苗 | インターカルト日本語学校代表取締役 |
| 金 田 智 子 | 学習院大学教授 |
| 小 山 豊三郎 | 愛知県地域振興部国際監 |
| 佐 藤 郡 衛 | 東京学芸大学副学長・理事 |
| 嶋 田 和 子 | イーストウェスト日本語学校副校長 |
| 杉 戸 清 樹 | 独立行政法人国立国語研究所名誉所員 |
| 中 野 佳代子 | 公益財団法人国際文化フォーラム理事 |
| 西 澤 良 之 | 独立行政法人国際交流基金参与兼日本語試験センター所長 |
| 西 原 鈴 子 | 元東京女子大学教授 |
| 春 原 憲一郎 | 財団法人海外技術者研修協会理事 AOTS 日本語教育センター長 |
| 山 田 泉 | 法政大学教授 |

日本語教育小委員会ワーキンググループ委員名簿

(敬称略・五十音順)

- | | |
|---------|------------------------|
| 伊 東 祐 郎 | 東京外国語大学教授留学生日本語教育センター長 |
| 岩 見 宮 子 | 公益社団法人国際日本語普及協会理事 |
| 加 藤 早 苗 | インターカルト日本語学校代表取締役 |
| 金 田 智 子 | 学習院大学教授 |
| 杉 戸 清 樹 | 独立行政法人国立国語研究所名誉所員 |
| 西 原 鈴 子 | 元東京女子大学教授 |
| 山 田 泉 | 法政大学教授 |

日本語教育小委員会ワーキンググループ協力者名簿

(敬称略・五十音順)

- | | |
|--------|----------------------------------------|
| 有澤 田鶴子 | 財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部RHQ支援センター
日本語講師 |
| 荒川 英紀 | 公益財団法人中国残留孤児援護基金中国帰国者定着促進センター
日本語講師 |
| 中新井 綾子 | 啓明学園中学校・高等学校非常勤講師 |
| 矢部 まゆみ | 横浜国立大学留学生センター非常勤講師 |

教材例集作成協力者（イラスト）名簿

(敬称略)

井 上 惠 子 千葉県教育委員会委嘱研究員
千葉県外国人児童生徒学習支援相談室相談員

審議経過

文化審議会国語分科会

第45回：(平成23年1月25日)

- 漢字小委員会の今期のまとめについて
- 日本語教育小委員会の今期のまとめについて
- (* 第10期：平成22年2月～平成23年2月)

第46回：(平成23年5月25日)

- 文化審議会国語分科会長の選出
- 文化審議会国語分科会運営規則等について

第47回：(平成23年10月18日)

- 問題点整理小委員会の審議状況について
- 日本語教育小委員会の審議状況について
- 国語研究等小委員会の審議状況について

第48回：(平成24年1月31日)

- 各小委員会からの審議のまとめについて
- (* 第11期：平成22年5月～平成23年3月)

日本語教育小委員会

第34回：(平成22年12月6日)

- 日本語能力の評価について（ヒアリング）
- 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について
- 教材例について

第35回：(平成22年12月20日)

- 日本語能力の評価について（ヒアリング）
- 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について
- 教材例について

第36回：(平成23年1月11日)

- 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について
- 教材例について

第37回：(平成23年5月25日)

- 主査・副主査の選出
- 今期の小委員会の進め方及び審議スケジュールについて
（*第10期：平成22年2月～平成23年2月）

第38回：(平成23年6月14日)

- 教材例について
- 能力評価について

第39回：(平成23年7月20日)

- 教材例について
- 能力評価について

第40回：(平成23年9月28日)

- 教材例について
- 能力評価について
- 日本語教育コンテンツ共有化システム整備について

第41回：(平成23年11月29日)

- 教材例について
- 能力評価について
- 国語研究等小委員会の審議状況について

第42回：(平成23年12月13日)

- 教材例について
- 能力評価について

第43回：(平成24年1月24日)

- 教材例について
- 能力評価について

第44回：(平成24年1月24日)

- 教材例について
- 能力評価について

日本語教育小委員会ワーキンググループ

第18回：(平成22年9月28日)

- 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について
- その他(能力評価に関するヒアリングについて, 教材例のコンセプトについて)

第19回：(平成22年10月18日)

- 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について
- その他(能力評価に関するヒアリングについて, 教材例のコンセプトについて)

第20回：(平成22年11月19日)

- 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について
- その他(教材例のコンセプトについて)

第21回：(平成22年12月1日)

- 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について
- 教材例について

第22回：(平成22年12月14日)

- 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について
- 教材例について

第23回：(平成22年12月21日)

- 標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について
- 教材例について

第24回：(平成23年6月2日)

- 教材例について

第25回：(平成23年6月8日)

- 教材例について

第26回：(平成23年6月29日)

- 教材例について
- 能力評価について

第27回：(平成23年7月11日)

- 教材例について
- 能力評価について

第28回：(平成23年8月3日)

○能力評価について

※教材例については検討なし。

第29回：(平成23年10月6日)

○教材例について

○能力評価について

第30回：(平成23年11月12日)

○教材例について

○能力評価について

第31回：(平成23年12月6日)

○教材例について

○能力評価について

第32回：(平成23年12月22日)

○教材例について

○能力評価について

日本語教育小委員会ワーキンググループ協力者打合せ

第1回：(平成23年2月1日)

○教材例について

第2回：(平成23年9月20日)

○教材例について

第3回：(平成23年10月12日)

○教材例について

第4回：(平成23年11月8日)

○教材例について